METAL ARMOR

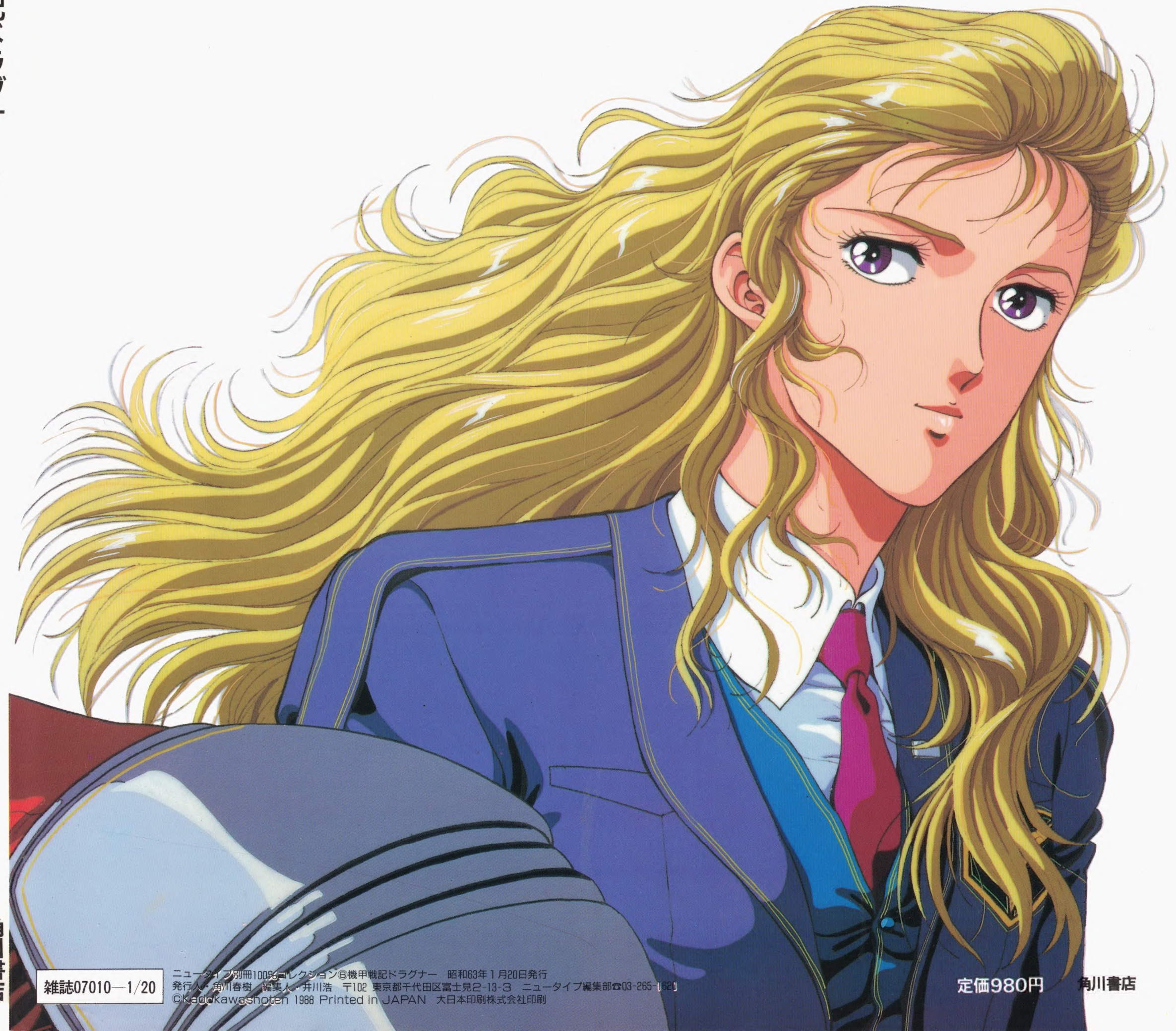
DRAGONAR

SPECIAL EDITION 2

Newtype 1月号別冊

NEWTYPE 100% COLLECTION

NEWTYPE 100% COLLECTION 8 機甲戦記ドラグナー 2 角川書店



雑誌07010—1/20
ニュータイプ別冊100%コレクション⑧機甲戦記ドラグナー　昭和63年1月20日発行
発行人・角川春樹　編集人・井川浩　〒102 東京都千代田区富士見2-13-3　ニュータイプ編集部☎03-265-1620
©Kadokawashoten 1988 Printed in JAPAN
大日本印刷株式会社印刷

定価980円　角川書店

HARUKI KADOKAWA PRESENTS

NEWTYPE 100% COLLECTION—8

METAL ARMOR DRAGONAR 2

●PUBLISHER
TSUGUHIKO KADOKAWA

●MANAGING EDITOR
HIROSHI IKAWA

●EDITORIAL DIRECTOR
SHINOBU KUWAHARA

●CONTRIBUTING EDITORS
AKIO ARANO　HIROYUKI YONEMASU
TAKUYA KUBO　YOSHIHIRO FURUSAWA
TOSHIKO HONDA　SHINICHIRO INOUE

●ART ASSOCIATES
YOSHIKI KINBARA　TADAHIRO KAZUMI
HIROKO TAJIMA　YOSHIKAZU MOTO
HITOMI TAKASE

●EDITORIAL OPERATION
KOICHI IZAWA　SHINGO UEDA
KOICHIRO ITO　TAMAE TOKUMARU
SUSUMU MAGAMI　KENJI OZAWA
HIROMI KOBAYASHI

●BUSINESS ASSOCIATES
TAKASHI CHIBA

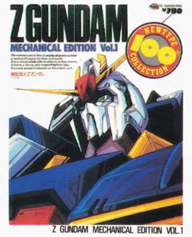
●PUBLICITY
MAKIKO YAMATSU

●ART DIRECTOR
TETSUYA ASAKURA

●ASSOCIATE EDITOR
SHINSUKE NAKAJIMA

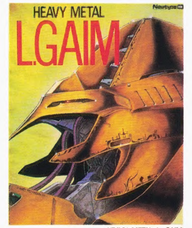
●SUPERVISOR
RYOETSU SATO

GUNDAM ZZ PERFECT EDITION


Z GUNDAM MECHANICAL EDITION VOL.1

Z GUNDAM CHARACTER EDITION VOL.1

Z GUNDAM MECHANICAL EDITION VOL.2


HEAVY METAL L GAIM

A B A B

Newtype
Newtype
©サンライズ・創通エージェンシー
©サンライズ・創通エージェンシー

A B A B

Newtype
Newtype
©サンライズ・創通エージェンシー
©サンライズ・創通エージェンシー

A B A B

Newtype
Newtype
©サンライズ・創通エージェンシー
©サンライズ・創通エージェンシー

METAL ARMOR

DRAGONAR

SPECIAL EDITION

2

DRAGONAR BOARDGAME

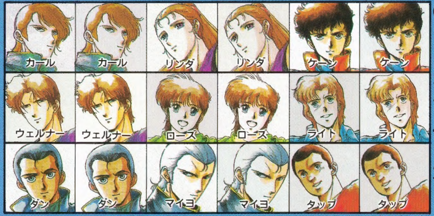
キャラクターユニット＆マーカー

表示用マーカー

制御ノズル	制御ノズル	制御ノズル	メーンノズル	メーンノズル	メーンノズル	融合炉	融合炉	高度
			速度	センサー	センサー	武器	武器	装甲

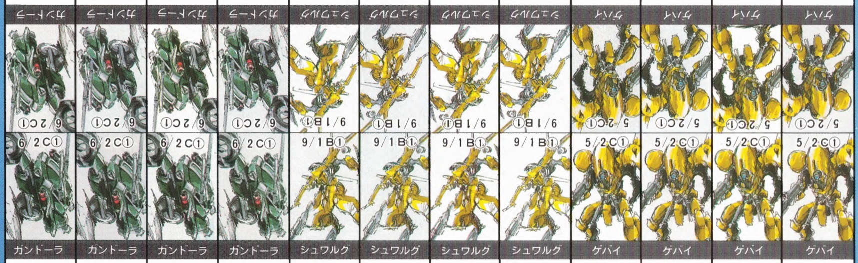
（切り取ってから貼り合わせてください）　▶は折り線

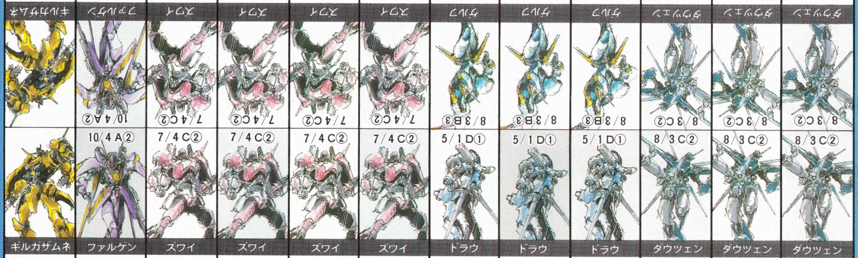
キャラクターマーカー



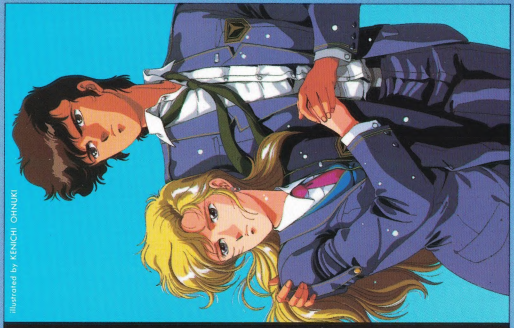
（切り取ってから貼り合わせてください）　▶は折り線

キャラクターユニット（切り取って組み立ててください）





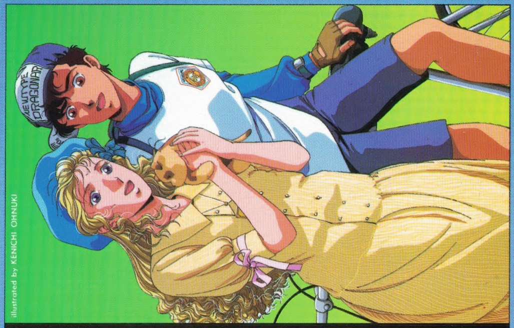
○ルールは50ページから



Newtype

A DATE / / TIME :
□MONO □STEREO
POSITION □NORMAL □CrO2 □METAL
NOISE REDUCTION □ON[ ]□OFF
SOURCE □CD □DISK □TAPE □AC

B DATE / / TIME :
□MONO □STEREO
POSITION □NORMAL □CrO2 □METAL
NOISE REDUCTION □ON[ ]□OFF
SOURCE □CD □DISK □TAPE □AC



Newtype

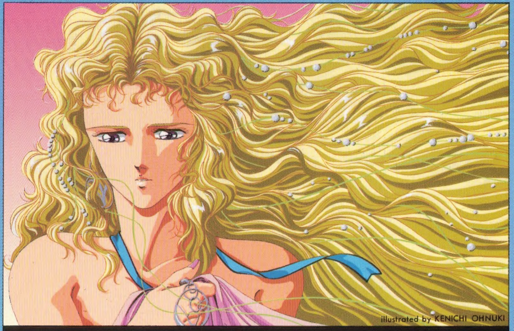
A DATE / / TIME :
□MONO □STEREO
POSITION □NORMAL □CrO2 □METAL
NOISE REDUCTION □ON[ ]□OFF
SOURCE □CD □DISK □TAPE □AC

B DATE / / TIME :
□MONO □STEREO
POSITION □NORMAL □CrO2 □METAL
NOISE REDUCTION □ON[ ]□OFF
SOURCE □CD □DISK □TAPE □AC

Newtype

A DATE / / TIME :
□MONO □STEREO
POSITION □NORMAL □CrO2 □METAL
NOISE REDUCTION □ON[ ]□OFF
SOURCE □CD □DISK □TAPE □AC

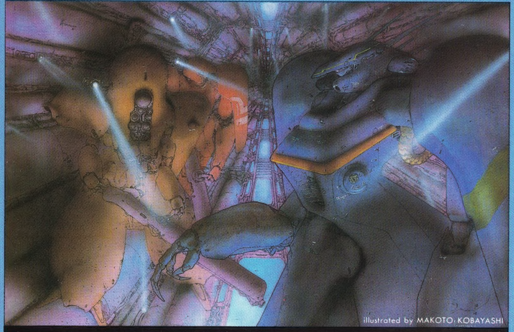
B DATE / / TIME :
□MONO □STEREO
POSITION □NORMAL □CrO2 □METAL
NOISE REDUCTION □ON[ ]□OFF
SOURCE □CD □DISK □TAPE □AC



Newtype

A DATE / / TIME :
□MONO □STEREO
POSITION □NORMAL □CrO2 □METAL
NOISE REDUCTION □ON[ ]□OFF
SOURCE □CD □DISK □TAPE □AC

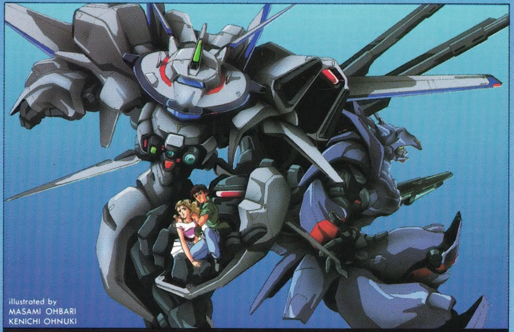
B DATE / / TIME :
□MONO □STEREO
POSITION □NORMAL □CrO2 □METAL
NOISE REDUCTION □ON[ ]□OFF
SOURCE □CD □DISK □TAPE □AC



Newtype

A DATE / / TIME :
□MONO □STEREO
POSITION □NORMAL □CrO2 □METAL
NOISE REDUCTION □ON[ ]□OFF
SOURCE □CD □DISK □TAPE □AC

B DATE / / TIME :
□MONO □STEREO
POSITION □NORMAL □CrO2 □METAL
NOISE REDUCTION □ON[ ]□OFF
SOURCE □CD □DISK □TAPE □AC



Newtype

A DATE / / TIME :
□MONO □STEREO
POSITION □NORMAL □CrO2 □METAL
NOISE REDUCTION □ON[ ]□OFF
SOURCE □CD □DISK □TAPE □AC

B DATE / / TIME :
□MONO □STEREO
POSITION □NORMAL □CrO2 □METAL
NOISE REDUCTION □ON[ ]□OFF
SOURCE □CD □DISK □TAPE □AC

METAL ARMOR

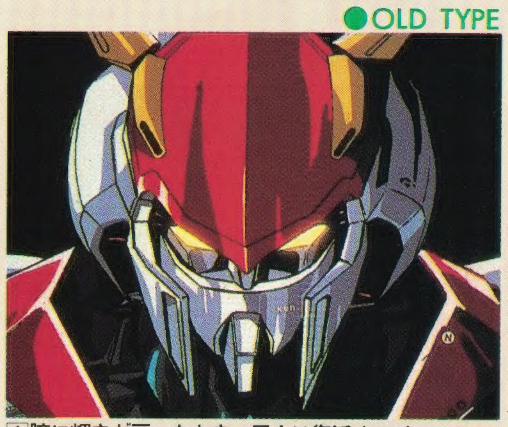
DRAGONAR

SPECIAL EDITION

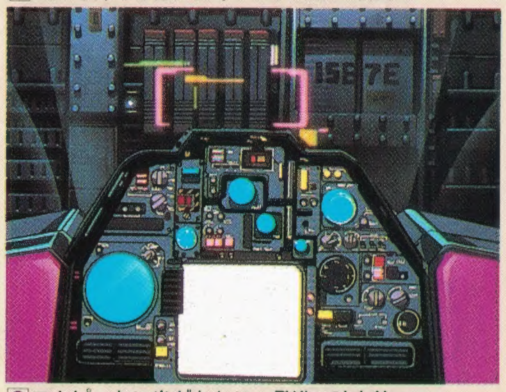
2

DRAGONAR Opening Film

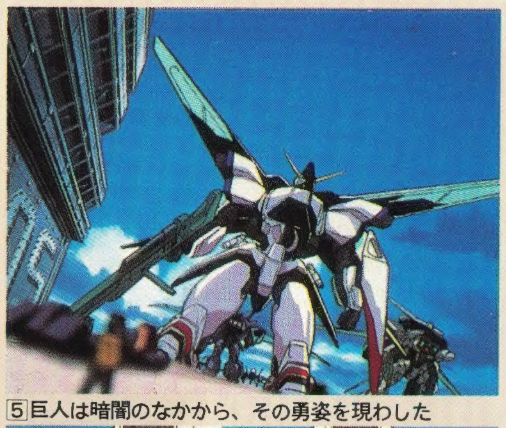
●OLD TYPE

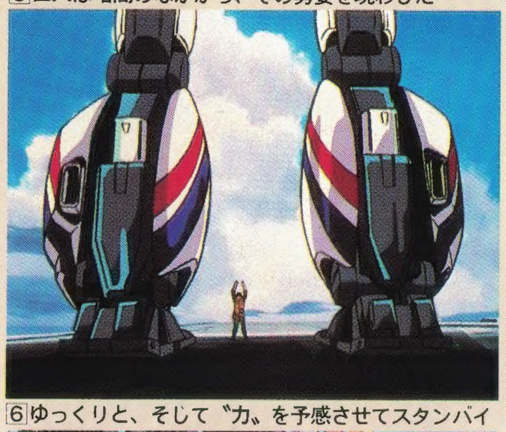

1 瞳に輝きが戻ったとき、巨人は復活する！

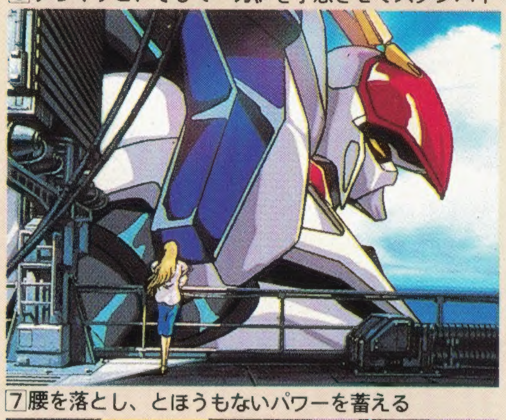
2 巨人を操るのは、少年──ケーン・ワカバ

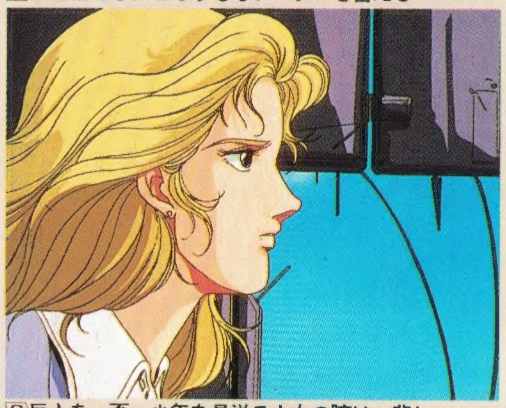

3 コクピットに光がともり、発進の時を待つ

4 少年の瞳も巨人のそれと同じに、鋭く輝いた


5 巨人は暗闇のなかから、その勇姿を現わした


6 ゆっくりと、そして〝力〟を予感させてスタンバイ

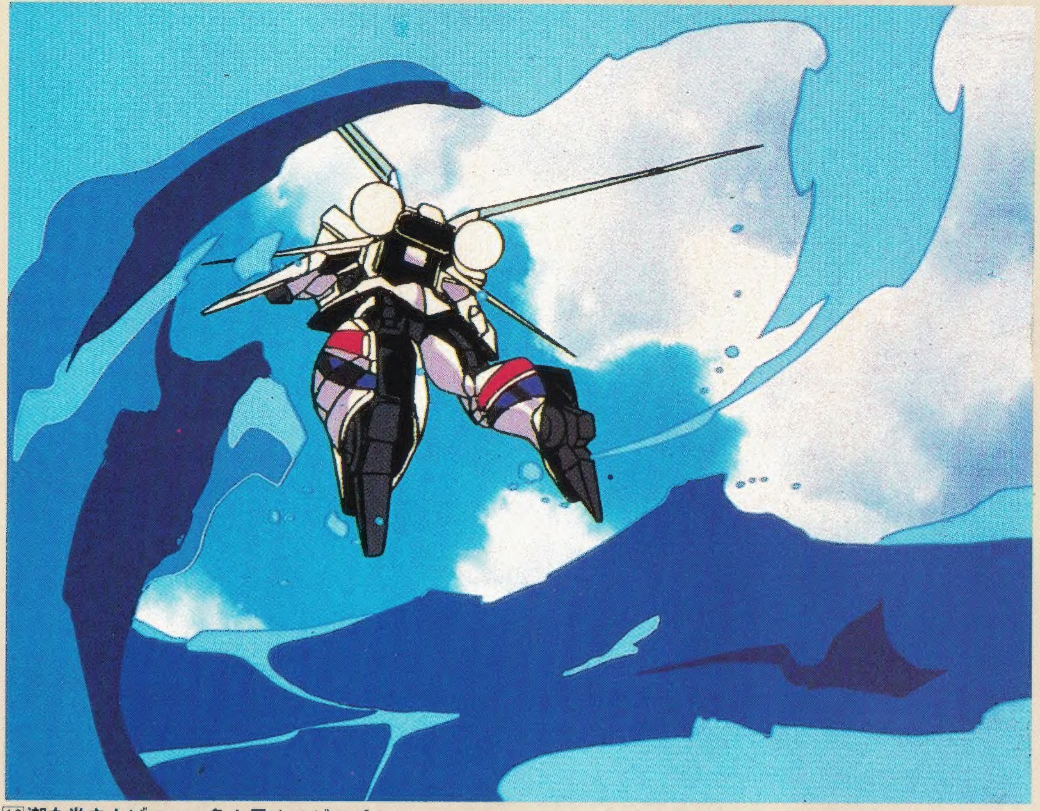

7 腰を落とし、とほうもないパワーを蓄える

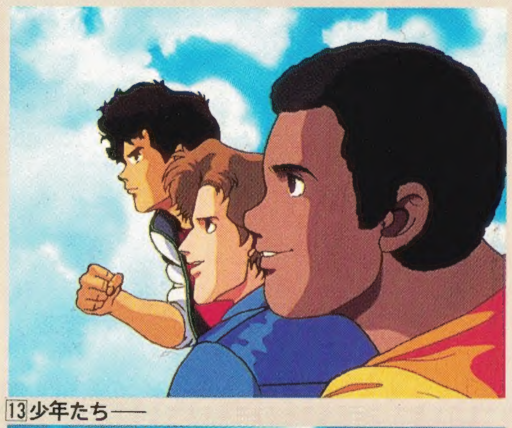

8 巨人を、否、少年を見送る少女の瞳は、悲しい

9 冷たい決意と熱い思いを抱き、出撃する少年

10 誘導員が発進の合図を送る

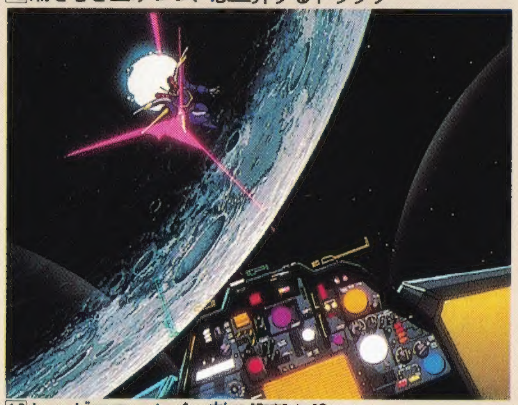
11 スラスターに点火──巨人を大空へと叩き出す


12 潮を巻き上げつつ、急上昇するドラグナー


13 少年たち──

14 そして少女たちの安らぎの時はいつ訪れるのか…!?

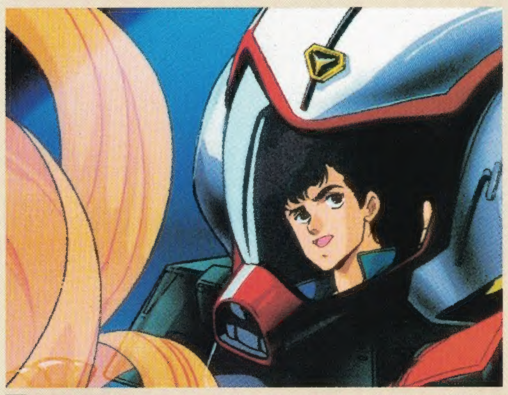
15 宇宙へと上昇する３機

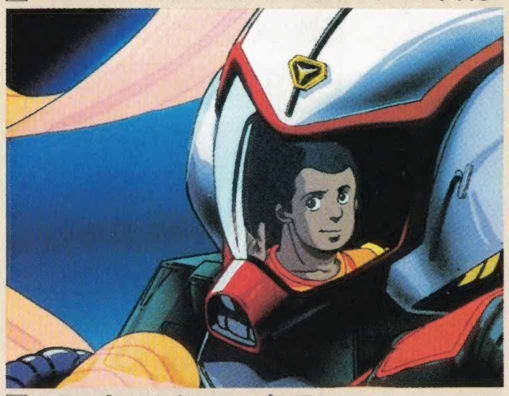

16 レッドアラート！ 敵の迎撃か!?

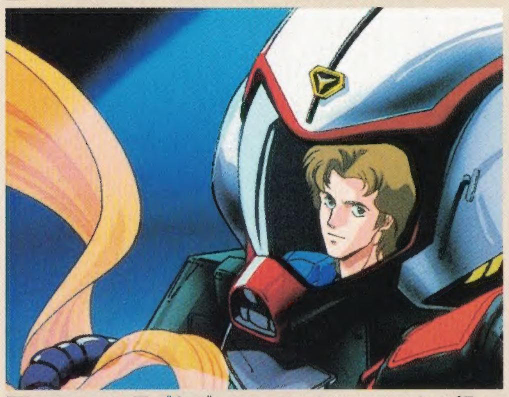
17 迫るミサイルの嵐。蒼き鷹──奴だ！

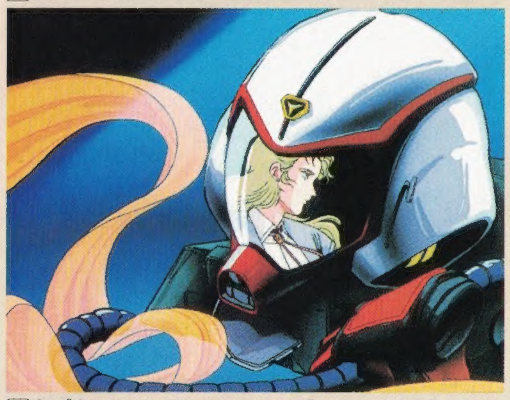
さて、なんやかんやと話題を提供してくれた旧OPフィルム。番組でいちばん話題になったのがコレだったとすら言えるような（正統な評価も受けずに）。このフィルム自体は、なかなか手ごたえを感じさせてくれた。だが、周囲の騒ぎ方は、どこかちょっと？な部分があったような気がするんだよね。大張版ドラグナー、そしてこのOPの是非というものの語られ方が、ね。商品や本編とのかね合い、そして何より一本のフィルムとしての完成度といったさまざまな要素を考慮する必要があったはずなのに、クレジットも入らなかったりと……なんて思ってしまうのだ。（15ページに続く）

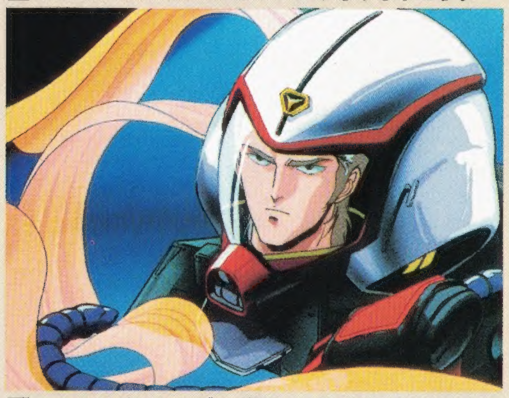
Ending Film

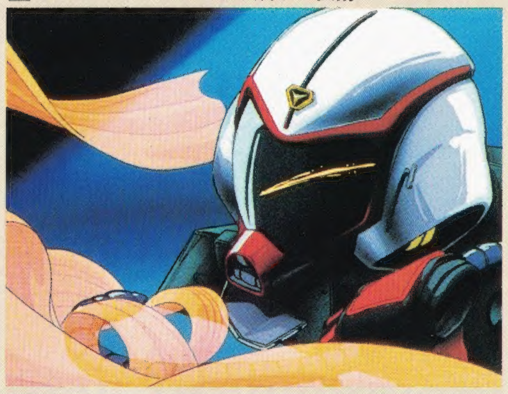

1 スカーフとヘルメット。ヘルメットにケーンが映る

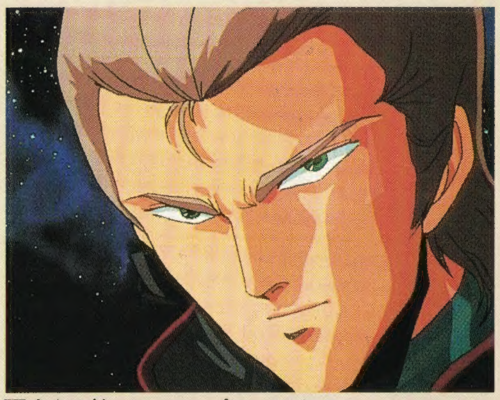

2 やさしげにほほえむタップも現われる

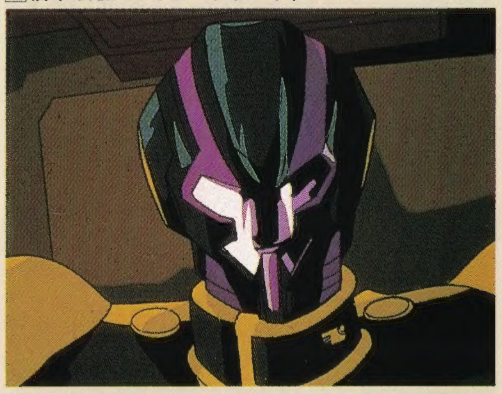

3 スカーフは風でなびいている、そしてライトの顔

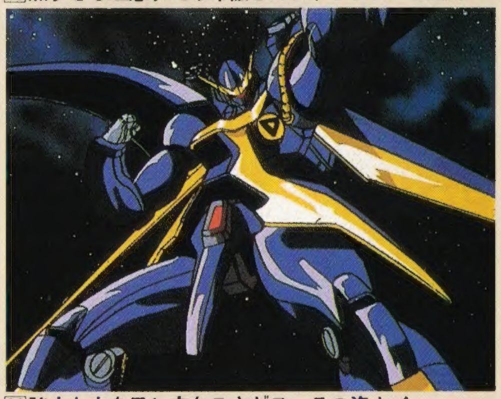

4 たぶん、このスカーフはリンダのものなのだろう…

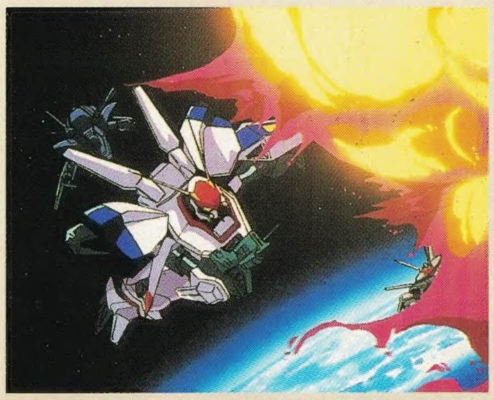

5 マイヨ・プラートだけが険しい表情で

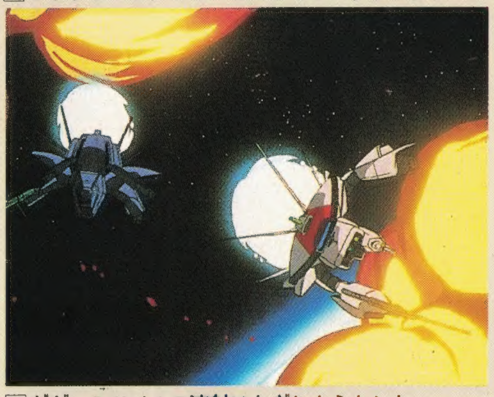

6 そして一条のきらめきが…スカーフは舞いつづける


18 宿命の敵、マイヨ・プラート！


19 熱すぎる理想ゆえの冷徹さで、ドラグナーに迫る

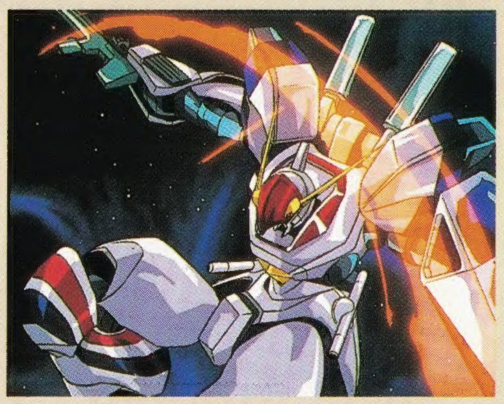

20 強大な力を示し立ちふさがる、その姿よ！

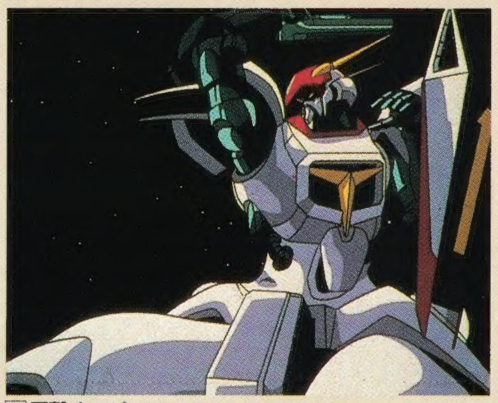

21 かろうじてファルゲンの攻撃をかわすドラグナー

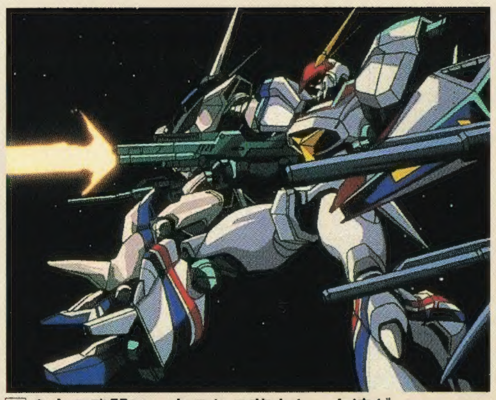

22 だが、ミサイルの連射はとぎれようとしない

23 さらに他のメタル・アーマーの追撃の手が！

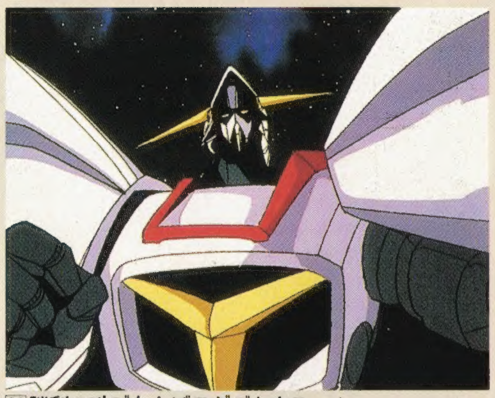
24 キョー悪に迫るダイン！

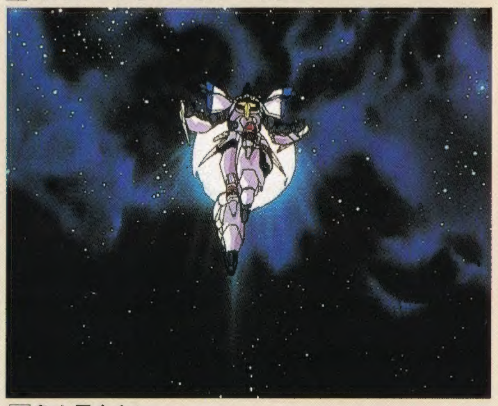

25 激しい敵の攻撃をかわし――


26 反撃する！

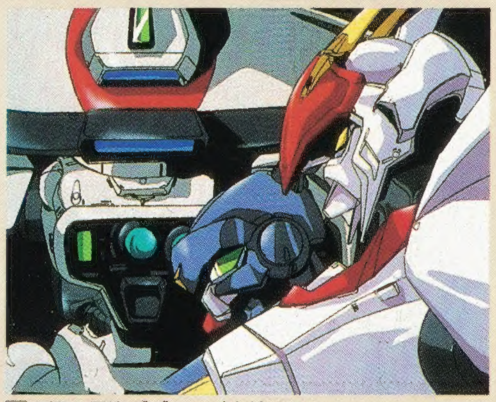

27 3人の武器は、あふれる若さと、友情だ

28 ？


29 勝利の叫びを上げるがごときD－1

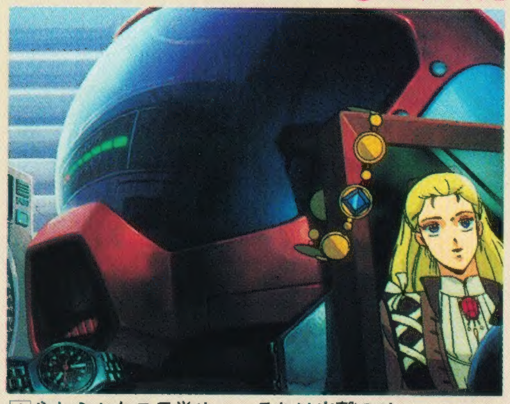

30 急上昇をかけ――

31 D－2、D－3も続く。流星のように舞う3機


32 3機の勇姿がビシッ！と決まる

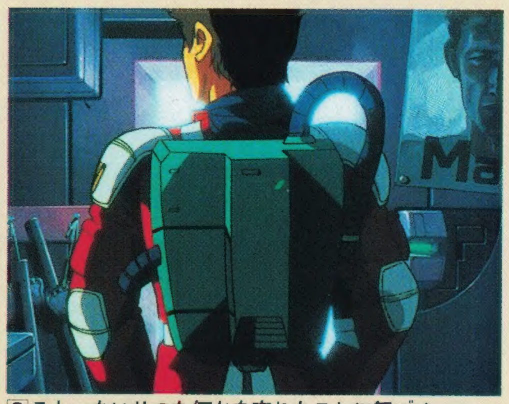
DRAGONAR Opening Film

●NEWTYPE



1 やわらかなる目覚め——それは出撃の時

2 やわらかな光のなかで、戦いの装いをまとう



3 ふと、たいせつな何かを忘れたことに気づく

4 ブレスレット——それは思い人との小さな絆

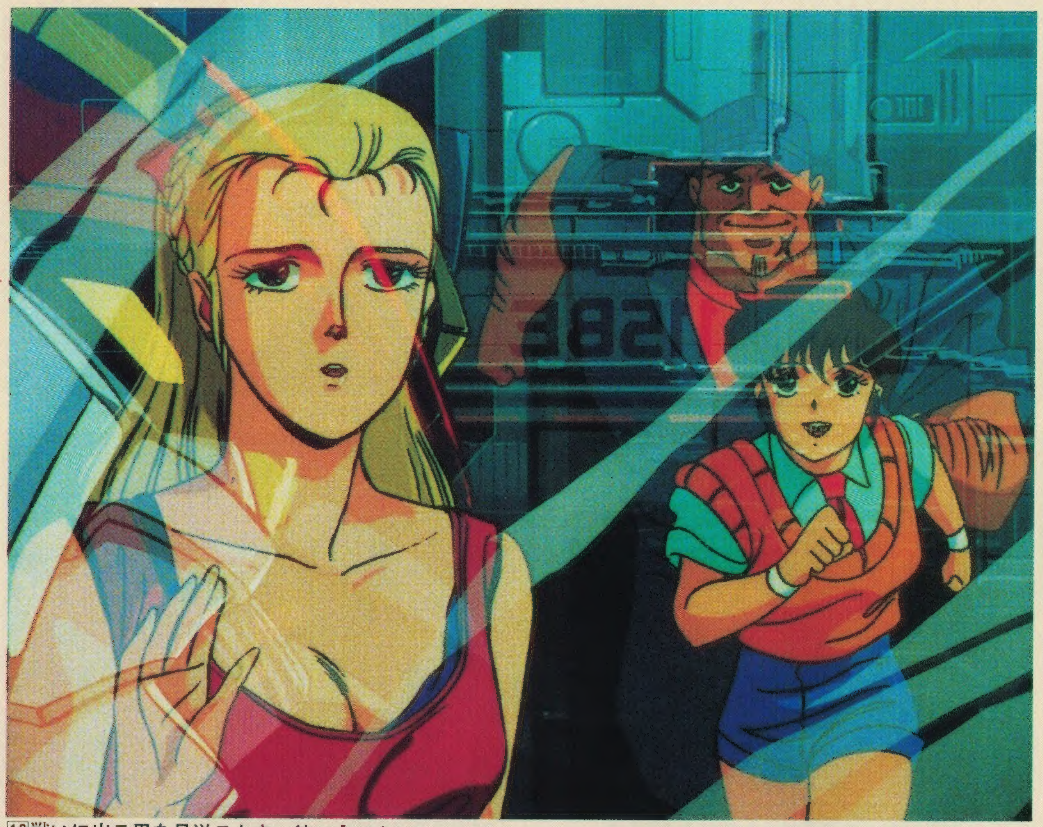
5 それを腕につけた瞬間、思うのは……

6 今、戦場へと向かわん

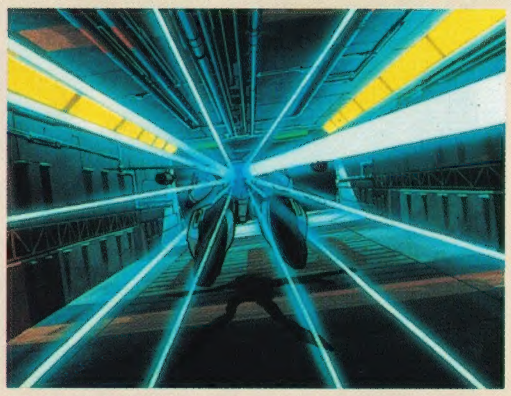
7 愛機の待つ格納庫へと向かう

8 何かをふり切り、しまい込み、そして決意した表情

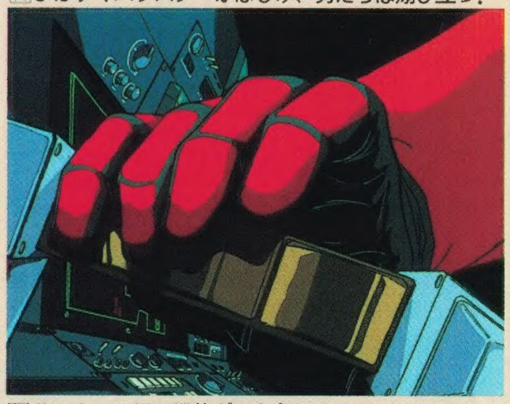
9 仲間——その存在が戦う孤独と恐怖を消してくれる



10 戦いに出る男を見送るとき、待つ女の心には……



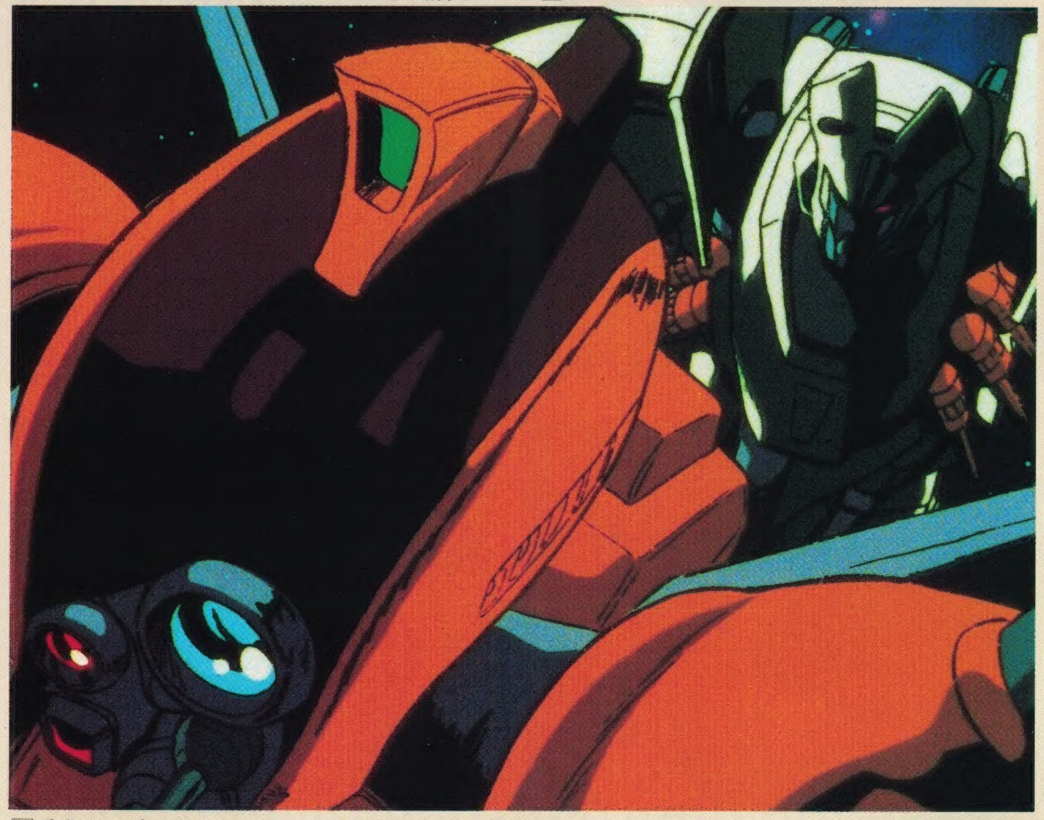
11 まばゆくスラスターがはじけ、男たちは翔び立つ！



12 若い力に、鋼の機体がこたえる

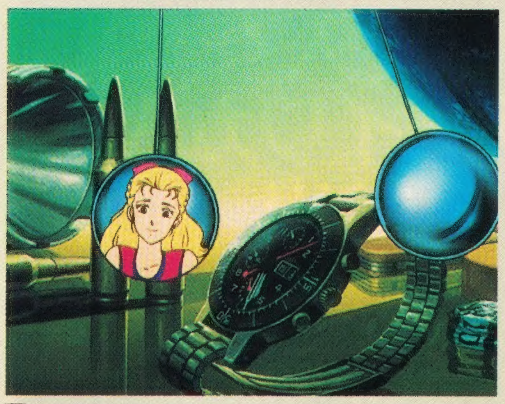
13 そして、発進

14 いつも、いかなるときにも、3人はともに戦う！



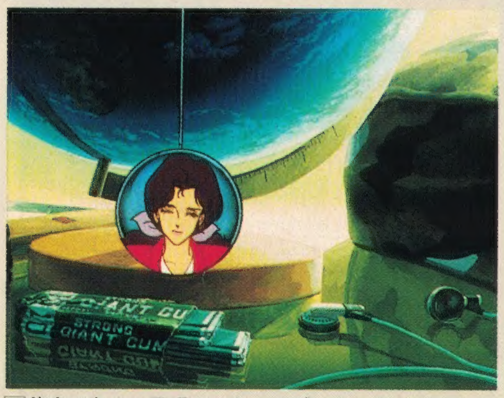
15 瞬時にして敵が迫りくる！

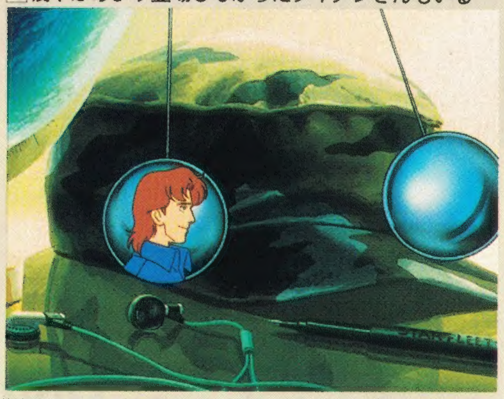
Ending Film


1カッチカッチ、カッチカッチ…ボールレースの音

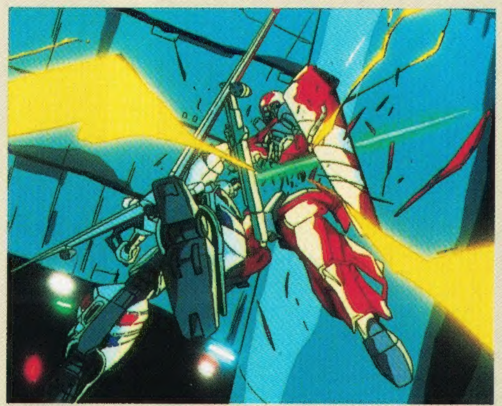
2ぶつかり止まるボールにキャラクターが映る

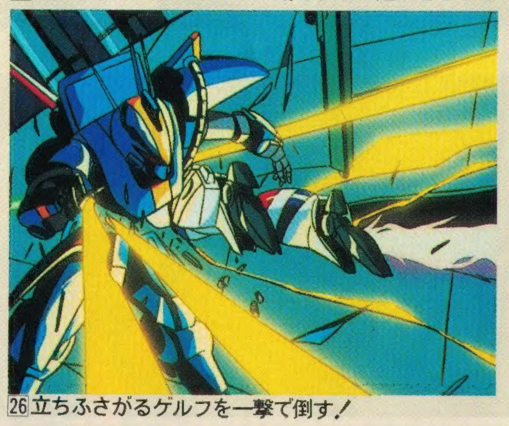
3このEDのコンテは、前EDのボツコンテなのだ

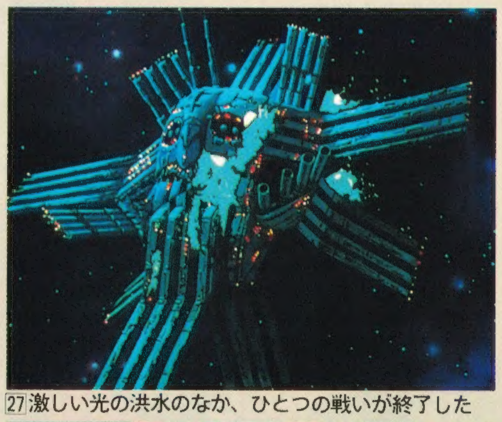

4後半はあまり登場しなかったダイアンさんもいる

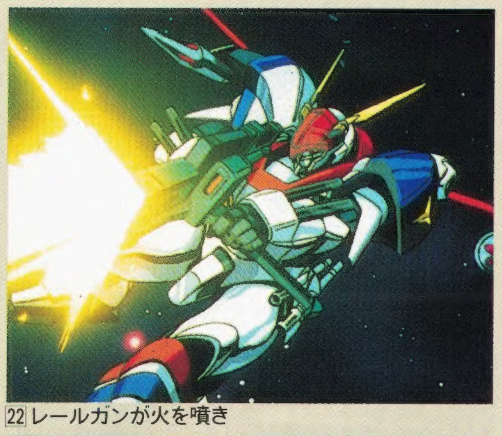

5横顔あり正面顔ありと、わりとコミカルに

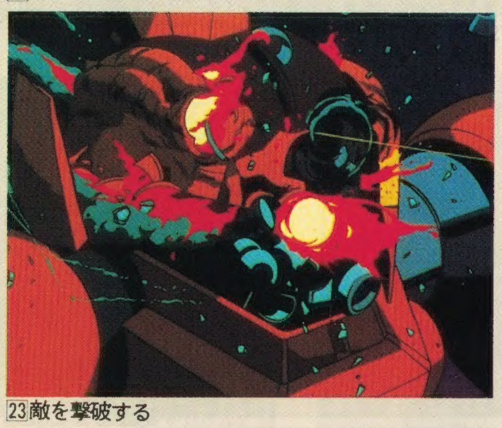
6最後はケーンで決めっ!! ボールレース終了です

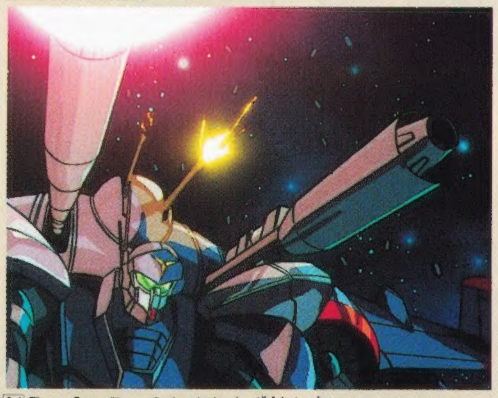

25敵要塞に突入するD—1。滑るように速攻をかける


26立ちふさがるゲルフを一撃で倒す!

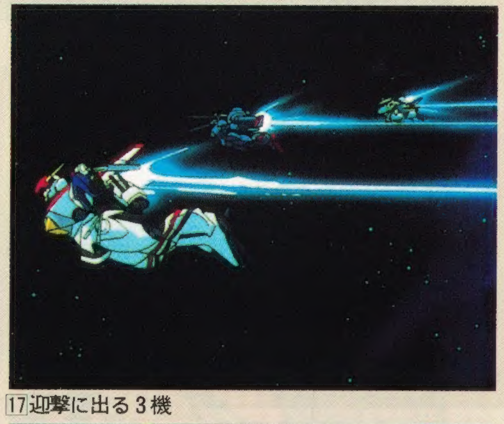

27激しい光の洪水のなか、ひとつの戦いが終了した

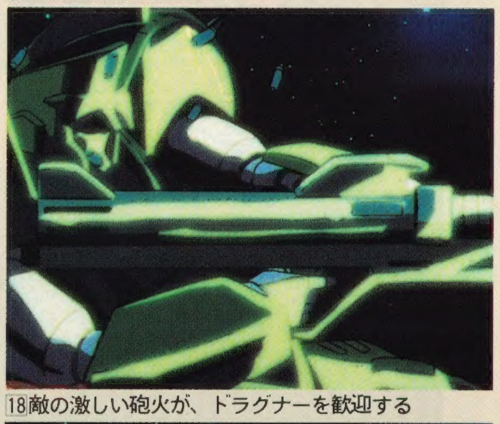

22レールガンが火を噴き

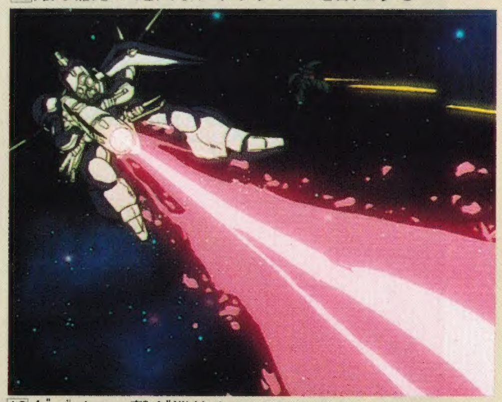

23敵を撃破する

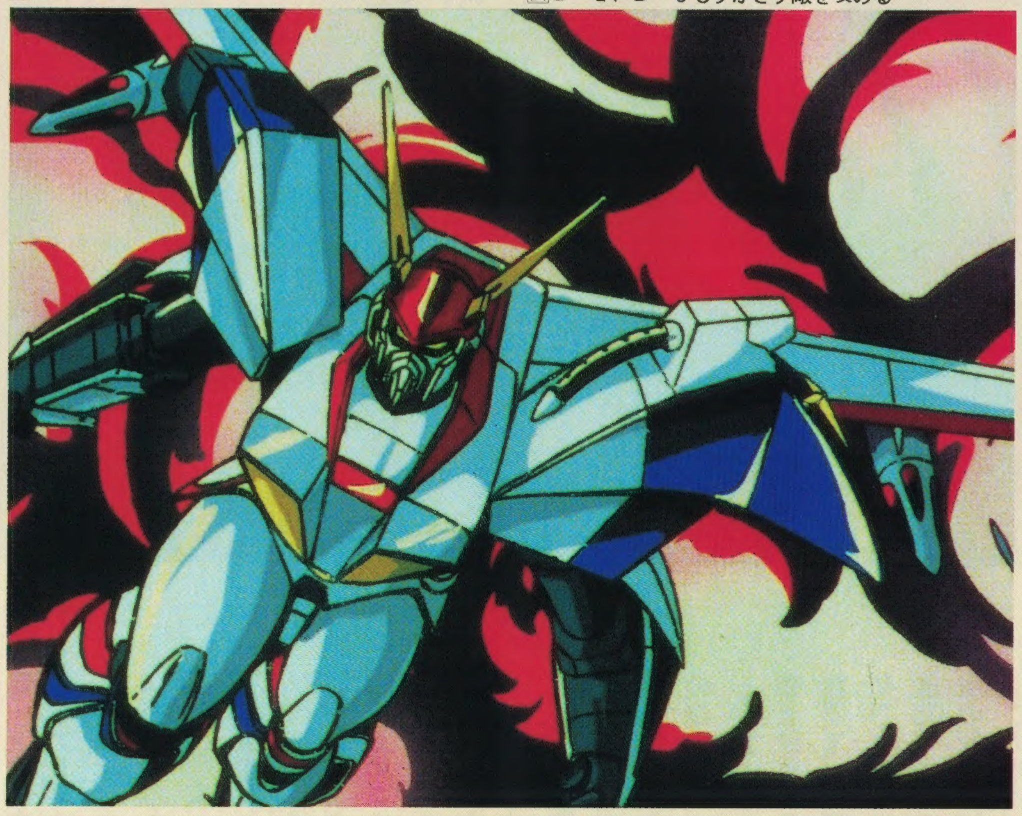

24D—2、D—3もすかさず敵を攻める

16太陽光を背に迫る奴は——蒼き鷹、ファルゲン!


17迎撃に出る3機


18敵の激しい砲火が、ドラグナーを歓迎する


19ゲバイの一撃が機体をかすめた!

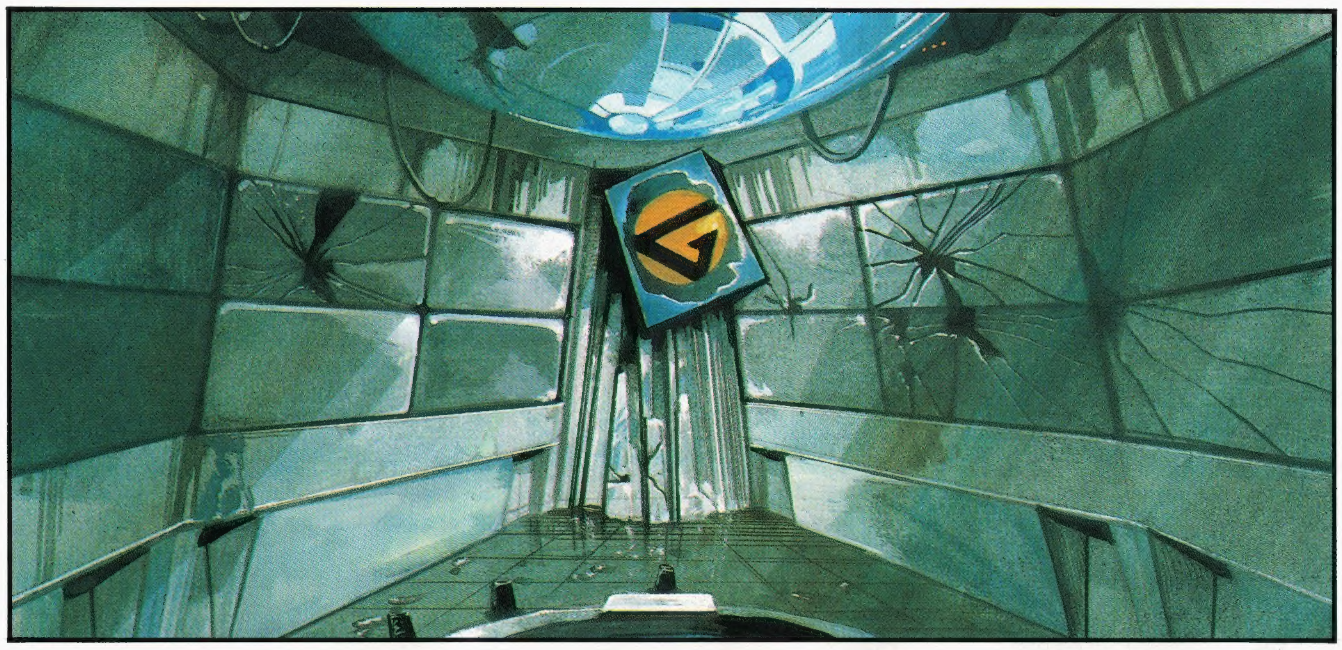

28雄々しく翔ぶ機体に、成長した少年たちを見る

20展開するドラグナー。反撃の時!

そして初めてこのOPへの評価があるのではないかな?「カッコイ〜♡」(むろんカッコイイことは大事ですヨ)とばかりに大張版だよ〜ん、と問答無用に騒いでみたり(これは大張氏が何か、かわいそーな気がした)、頭ごなしに否定してみたりと、今イチ??なこと、多かったもんね。ま、さておき新OPなんだけど、旧OPと好対照でおもしろかった。シャープさに対して、ダイナミックさが感じられたもんね。2サイクルエンジンに対する4サイクル単気筒というか、ストラトキャスターに対するレスポールというか。実りの多い「ドラグナー」OPでした。

29翔び行く先は——蒼き星、地球

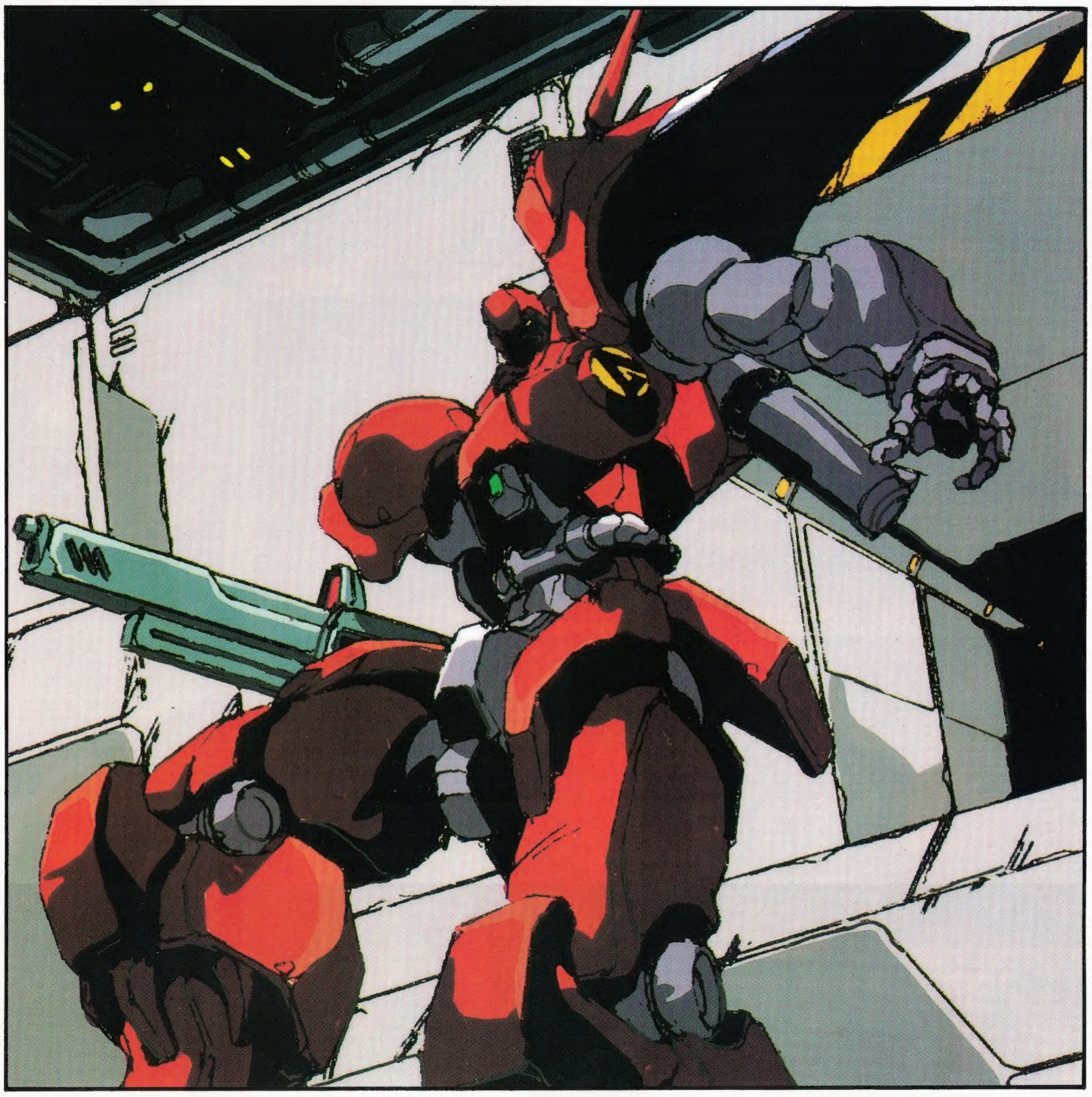
21スコープ内に敵影をとらえたケーン。撃つ!



機甲戦記ドラグナー
第46話

突入！アオイワカバ救出

監督／神田武幸　脚本／奇数和十八
絵コンテ／横山裕一朗　演出／棚沢隆
作監／大貫健一
メカ作監／大張正己



リンダ&ベン軍曹が奮い立つアオイ・ワカバ救出作戦！

ミン大尉によって、ギルトール暗殺の汚名が晴れたマイヨ・プラート。事実を知りドルチェノフに詰め寄るギガノスの兵士たちは、己の過ちに気づかぬまま戦いつづけるドルチェノフ派の兵士たちと、すさまじい戦闘を続けるのだった。最後の砦、巨大宇宙要塞を率いて戦うドルチェノフ。

「ケーン・ワカバをワシの部屋に引っ立てて来い！」

母・アオイを救うため単身ギガノス軍に飛び込んだケーンは、ドルチェノフによって巨大宇宙要塞に監禁されていたのだ。

「俺はあんたの言うとおり連合軍と渡りあったんだ。約束どおり、オフクロを返してくれ！この要塞だって、もう先が見えてることはわかっているんだ」

しかし、巨大宇宙要塞の力で帝国再興を叫ぶドルチェノフは、ケーンを要塞の盾にして攻撃態勢を整えようとする。ドルチェノフの狂気はすでに脳天に達していたのだ。

そのころ、地球連合軍スコッチャー隊は、要塞壊滅の突破口をひらいていた。そこに立ちふさがるドラグナー1型機。

「たのむ、ちょっとの間でいいんだ。突撃するのはやめてくれ！」

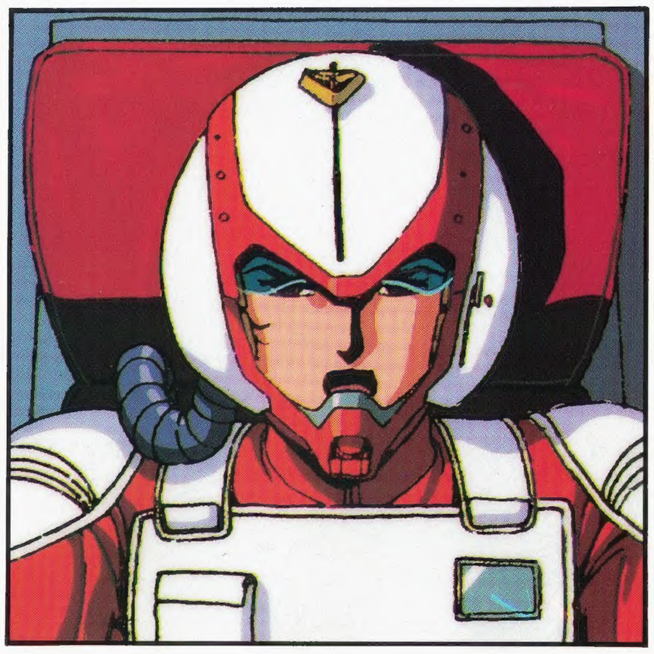
しかし、ラング・プラート博士は要塞の一斉攻撃を決意する。父にすがるリンダとベン軍曹の説得で、戦死者をひとりも出さずに連合軍の前にひとり立ち、戦いつづけるケーンの心を、博士たちも知る。そしてリンダとベンはアオイ救出の任を受け、要塞に乗り込むことになった。

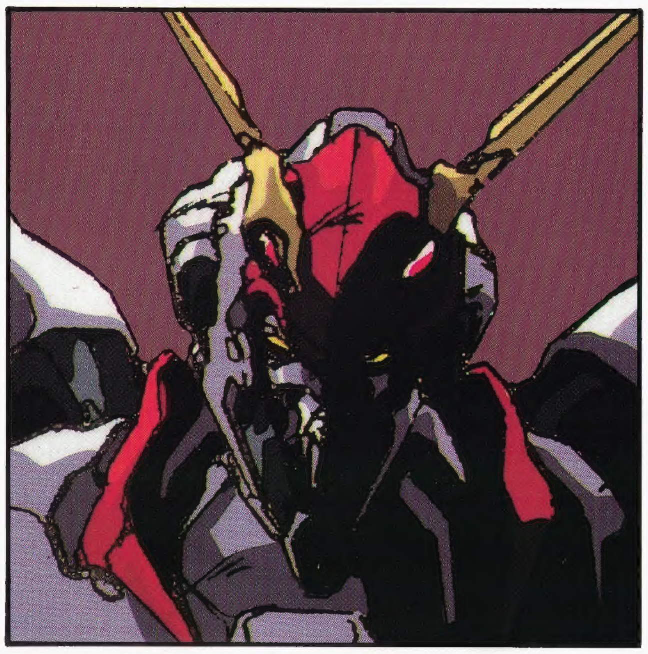
「このままドラグナー1を犠牲にすれば、連合軍勝利のあかつきにも一点の悔いが残ろう。ベン軍曹、本作戦にリンダを同行するがよかろう。きっとケーン君の母君救出には、役に立つぞ」

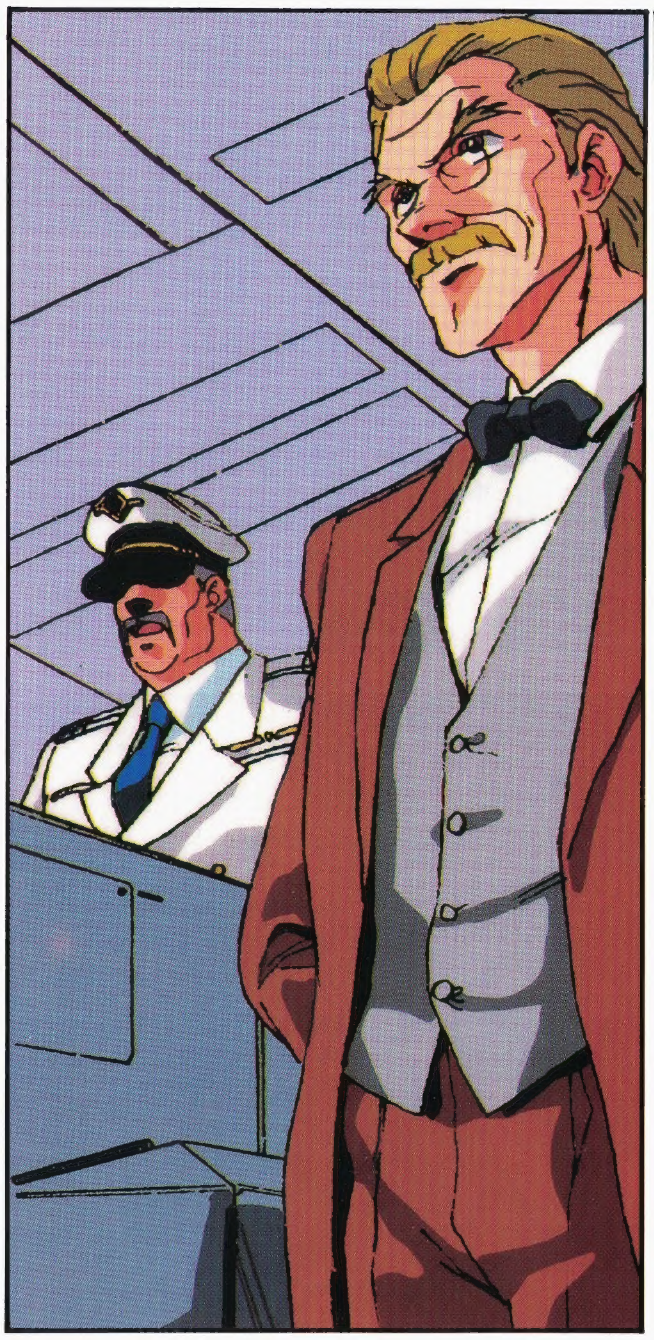
一方、要塞の末端、とある通路に数機のメタル・アーマーの姿があった。ミン、マイヨ、カール、ウェルナーの4人である。

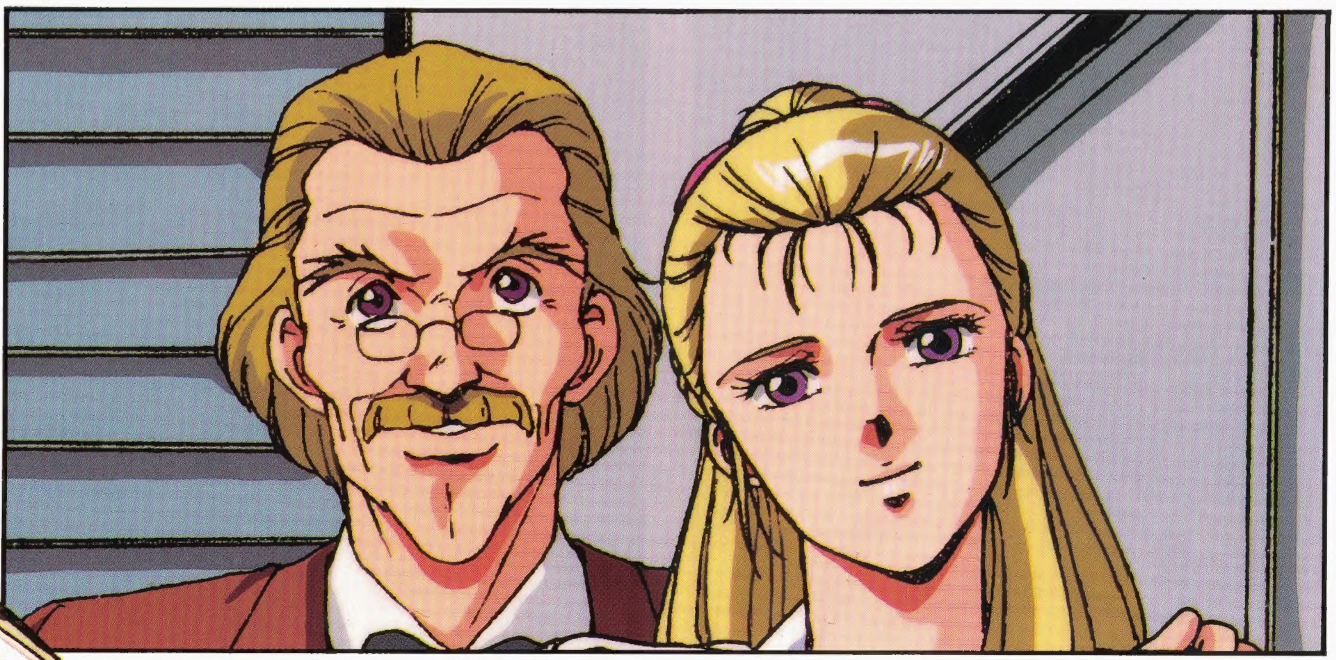
「こっちで間違いないんだろうね。大尉！」

「ああ、間違いない！　私には感じる、ギルトール元帥を殺した真の犯人、仇敵ドルチェノフの存在が……。私にはわかるのだ。待っておれ、







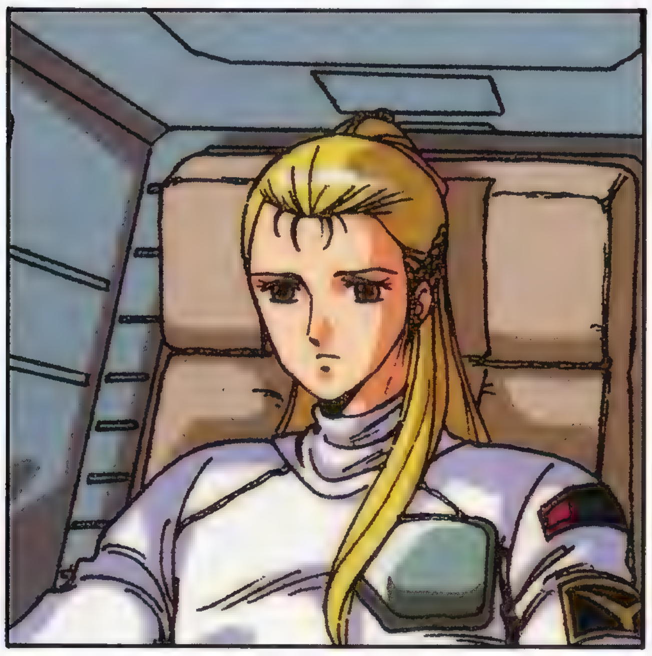


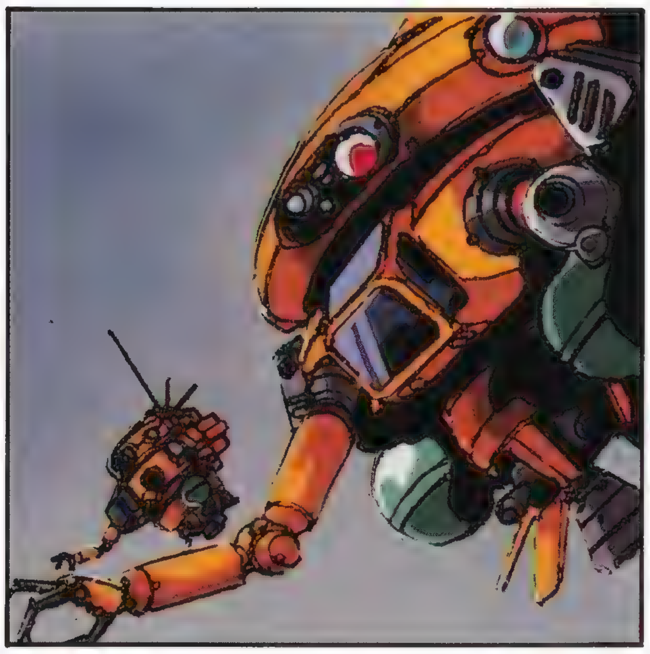
ドルチェノフ」

ドラグーン、ドラグナー2、3、そして戦闘ポッドを引き連れた地球連合軍艦隊は、今まさに要塞に向けて総攻撃を開始しようとしている。そのうち2機の作業ポッドの中に、宇宙服に身を包んだリンダとベンの姿があった。

「これよりドラグーン隊およびD-2、D-3をともなって要塞Dブロックを攻撃、陽動作戦を敢行する。その間、2機の作業ポッドが要塞内に侵入、これはワカバ准尉の母親救出が目的であるから、各ドラグーン隊はこれを支援せよ。以上、成功を祈る!!」

「了解しました」

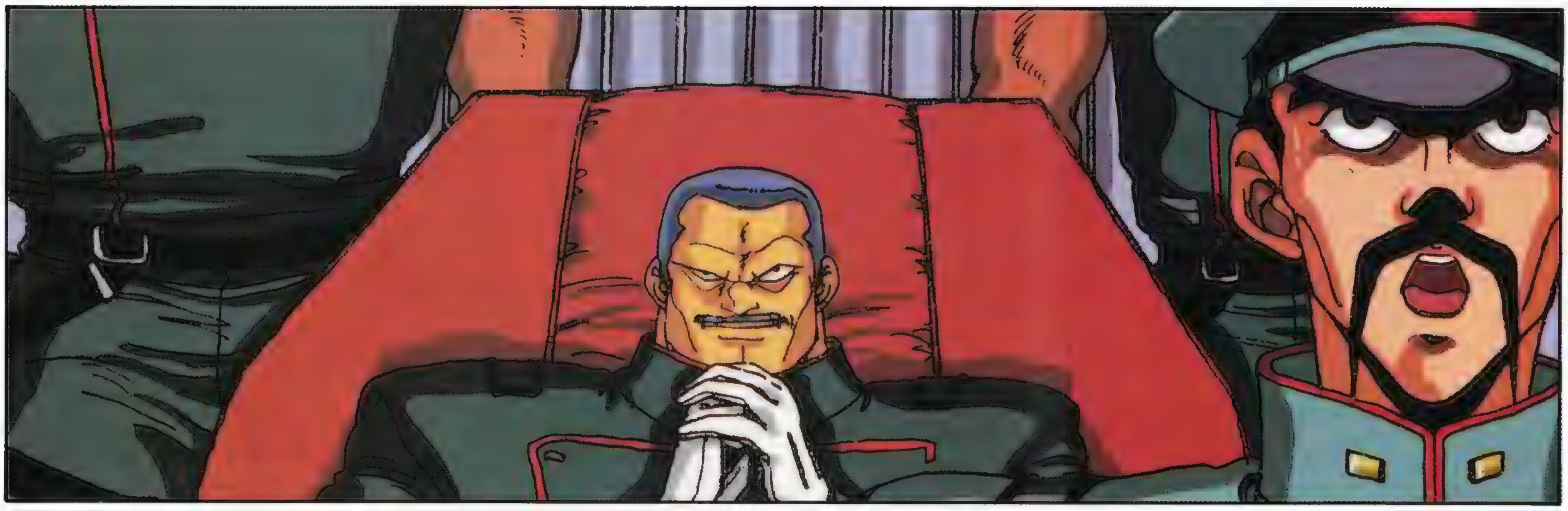


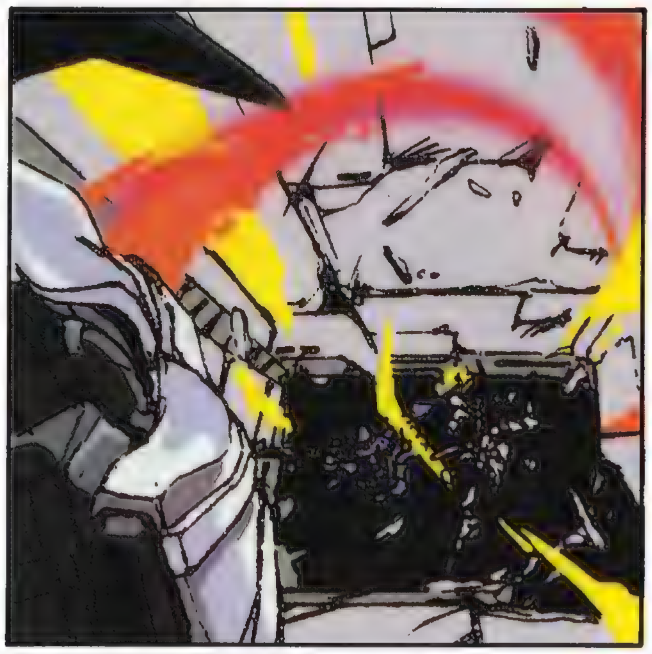


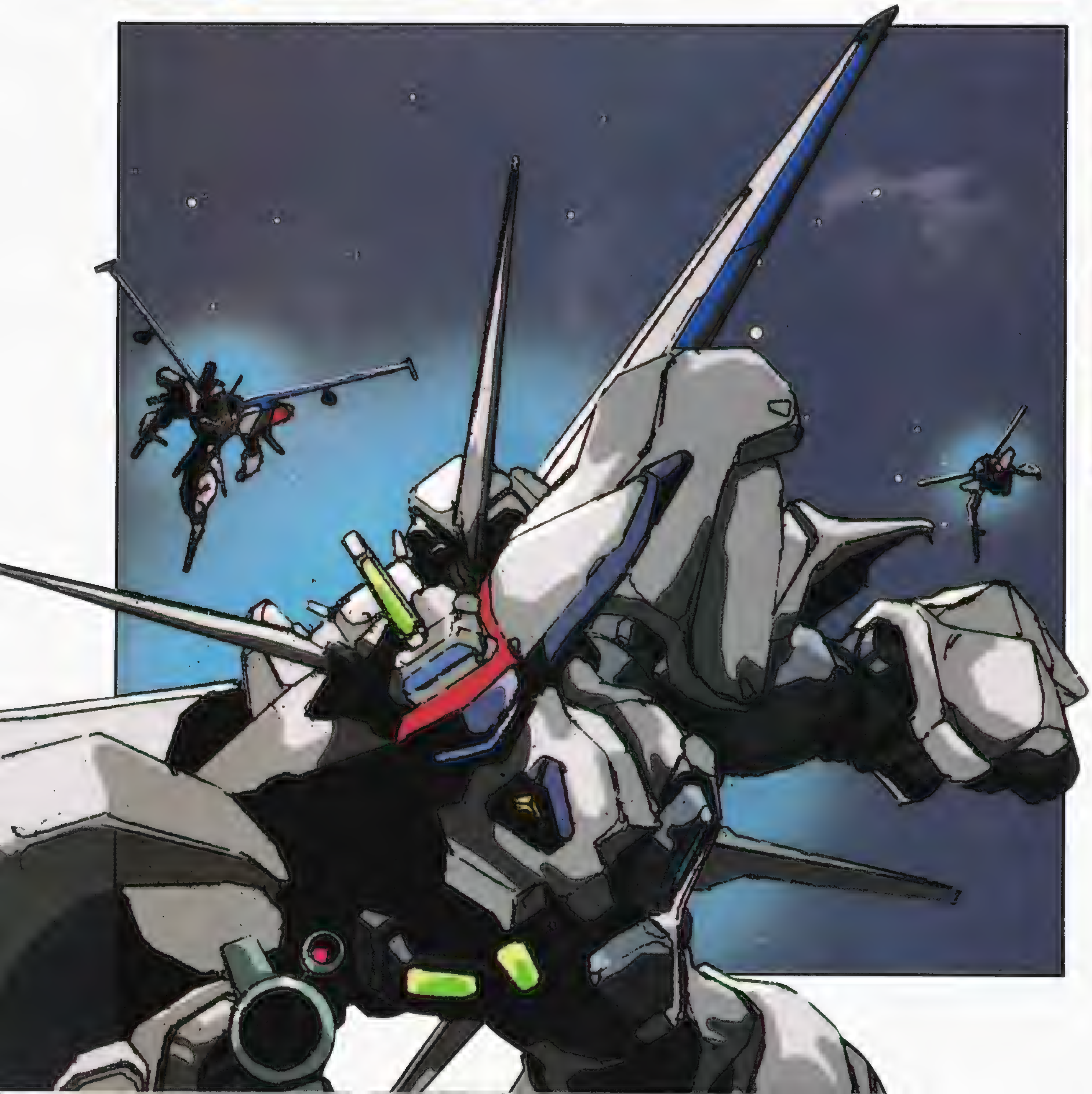
ミセス・ワカバ発見せり！しかし、未だ救助できず苦戦

要塞に向かって出撃したリンダとベンにタップとライトが声をかけて勇気づける。
「軍曹、リンダのこと、よろしくたのむぜ！」
「まかせてください。それより准尉殿、せいぜいハデにD－3であばれてくださいよ」
「わかってますって！」
要塞に立ちふさがるD－1に、連合軍ドラグーン隊が迫る。そのなかにD－2、D－3を発見してガクゼンとなるケーンだった。
「とうとう俺も、本物の裏切り者ってわけか…チックショー！」
その目にくやし涙がにじむ。
ドラグーン隊とD－1の攻防戦に、どちらにも致命傷さえ与えられずにいることを見てとったドルチェノフは、ひくつに笑う。
「グワハハハハ、こんなことは作戦のうちよ。いずれにしても、味方同士が撃ち合って弾薬を消耗するのみだ。われらは高みの見物だわい」
要塞潜入で命がけのリンダとベンは、各所に爆薬をしかけ奥へと進んでゆく。要塞内のメーンコンピュータの端末に持参のトランクケース型コンピュータをつないで、アオイの居場所をさぐるリンダ。
「あったわ、たぶんここよ！」
「あそこですか。見張りがいないってのがちょっと気になりますなぁ。危険ですから、あなたはここで待っていてください」
キーロックを撃ち抜き、ドアの前に立つベン。
「ミセス・ワカバ!?連合軍の者です。救出に…」
一瞬、ドアのすき間にベンが顔をのぞき入れたとき、アオイが悲鳴をあげた。部屋にはアオイのほかに2人のギガノス軍兵士がいたのだ。
「くそー、ハッカーを逆探知されたらしいな」
部屋の中ではアオイが恐怖に顔をこわばらせていた。
「うまくいきすぎると思ったら、このありさまでさぁ。なぁに、ここは何とか切り抜けてみせますから、安心してください」
ところが背後にも敵が出現、今まで元気だったベンも一気に落ちこんでしまった。もう一歩のところでアオイを救出できたというのに……。しかも、リンダまでも巻きぞえにしてしまった

ドラグナーズ・セレクション







ことを悔いるベンであった。
「なんてこったい、挟み撃ちにされちまった」
「軍曹……」
「申しわけありません。自分があらぬことを言い出したばかりに、あなたまで巻き込んでしまって……」
「いいえ、決してあなたのせいなんかじゃないわ。私……。私、ケーンのために何かしないではいられなかったんですもの」
そう言ったリンダの表情はくもっていた。
「中尉殿……申しわけありません」
そのとき、背後の通路で爆発音があがった。数人の声が聞こえてくる。

プラート兄妹感動の再会…ドルチェノフ、大脱出！

「さあボーヤたち、もたもたすんじゃないよ！……そこにいるのは誰だい!?」

現われた人影は、ドルチェノフを捜すミンとマイヨたちだったのだ。

「お兄さま！」

「リンダ……なぜ、ここに？」

駆けよるリンダを抱きしめるマイヨ・プラート。

「へえー、プラート大尉にこんなカワイイ妹がいたとは……あんたたち、知ってたかい!?」

すぐにアオイを救出したベン。感動の再会もままならず、ドルチェノフを求めさらに奥へと進もうとするマイヨだった。

アオイ救出作戦成功を知らされ、男泣きのケーン。気ばって要塞の攻撃に反転した。

「今までの恨み100倍にして返してやる！」

ケーンからもマイヨからも追われ、逃げまどうドルチェノフは、味方を全員盾にして、ひとり宇宙へ出ようとしていた。そこにマイヨたちが追いついたかに見えたが……。

「ちと遅かったようだな。マイヨ・プラート」

マイヨが悔しさのあまり、うなりをあげた。

おわびとべんかい

みなさま、今回はこの本をお買いあげいただき、ありがとうございます　またまた描き下ろしイラストなどで、充実した楽しい仕事をさせていただきました　ところで、このコーナー"第46話誌上再録"はいかがでしたか？これは、初めて「ドラグナー」の作画監督をさせていただいた話数を、そのまま漫画形式でイラストおこししたものです　やはりメカ作監の大張正己氏と２人、今回も描き下ろしでガンバっています　ところで、46話をごらんになれば、おわかりになると思いますが、ちょっとだけ絵のカンジを変えてあるのです。ＴＶのほうは、あまり制作期間がなかったものですから。(でも、こちらも背景入れられなくて）ゴメンなさいデス

Fas hion Freak DRAGONAR

戦いすんで日が暮れて…やってきました「DRAGONAR-FASHION FREAK」のお時間です！
前回のキャミソール姿の女の子たちにつづき、今回は最近流行のリゾートウェアや、
オーソドックスなパーティードレスなど、またまた華やかな横顔をお見せしましょう。
春のリクルートファッションからクリスマス・イヴの過ごし方まで、春夏秋冬、四季おりおりのケーンたちの表情を、ご家族そろってお楽しみくださいませ！

Recruit Fashion

イラスト／大貫健一　ラフ画／羽原信義　コーディネート／本田登志子

リンダちゃんの秘書姿が見たい！という要望で登場したこのページ、世の中が平和なら、当然ありえた!?

統一帝国ギガノスと、地球連合が交戦中のドラグナー世界じゃ、遠いハナシだけど、世の中がごく普通に平和なら、当然こういうこともあったはず……そう、就職というヤツです。世が世ならたぶんケーンたちは1.5流校のオチコボレ学生というところでしょうか。なかなか内定もらうのがキビシかったりして。

❶のケーンみたいなごくアタリマエのリクルートファッションって、初々しくって、案外似合うんじゃないかな。いかにもこのタメだけに買いましたという、そぐわなさがミソ。アガッてうまく答えられない姿は、別にマイナスじゃないのだ。❷のローズなら、まだかわいらしいＯＬ１年生。かいがいしく案内してくれたり、コピーを取ったりしてくれる職場のアイドルさん。シンプルなスーツでもキュートな印象。上司、同性の古参ＯＬにも憎まれない、トクなタイプと言えそうですね。❸のリンダの仕事は、もう美人秘書♥しかない！カッチリしたブレザーにフェミニンなブラウス、タイトスカートにハイヒールを合わせれば、もう最高にエレガントでセクシーな大人の女性です。こういう美女と個室で２人きり、ゾクゾク♡なんて考えるのは、男の性!?　でも、一流の男、一流の品を見なれていて、仕事もバリバリの彼女のような人種をオトすのはなかなか大変。まともにいっても見劣りするから、チャメッ気と男のかわいさで勝負しよう。

さて、問題の❹のマイヨ社長ですが、カッコイイですねえ。渋いですねえ。ノーピークのヘチマカラーの背広を着た、こんなファッショナブルな社長さんなら、さしずめここはファッションメーカーや高級レストラン・チェーンの会社でしょうか。建築会社の面接に行って、最後の最後になってこんな社長さんが出てきたら、ビックリするでしょうねえ〜。ハッキリ言ってなまじじゃ切り抜けられないですねえ。こういう人は、目端も嫌味もかなりききますからねえ。後ろのプラクティーズ隊のように、マイヨ社長と同じノリでいかにも、なら当然大丈夫だろうし、タップみたいな質実剛健誠実タイプなら、今度は正反対でかえって良さそう。ライトはもともとどこへいってもパスしそうな大人だし、第一、コネのないような所をめざしそうもないですもの、ケーンがいちばん危ないですね。ローズじゃなくても見ててヒヤヒヤ、とんでもないコトを言わなきゃいいのですが……。さて、マイヨ社長の会社の試験じゃ、ケーンははたして内定を取れるか否か!?

女の子だけのバカンスは、東南アジアのビーチリゾートでUFUFU。男子禁制のナイショの時間なのヨ

女の子だけで楽しむバカンスは、やっぱり東南アジアのビーチリゾートで決めたい。それも、特定できるならやはりバリ。いつもと違う、エスニックな雰囲気にたっぷりひたるには、ファッションもとおり一辺のビキニやワンピース水着じゃつまりません。ヒンズー教の寺院や、熱帯の街でのショッピングを楽しむのに、男の子なんているだけでジャマ。なるべくならコテージスタイルのホテルに泊まって、いつもと違う時間の流れを感じてみよう。

リンダはいつも、年齢より大人の服装をしてしまっているせいで、セクシーではあっても、明るさが足りない／というワケで、❶のマリリン・モンロー調水着は、ワタクシ＝ローズが選ばせてもらっちゃった。50's感覚のセパレーツって、かわいい女の色気って感じで、絶対イイと思うのヨ♡バラの花模様なんて、レトロでキュートでしょ？もう思いっきり、〝あのころの女の子〟しちゃって、2つわけのクルクルヘアにしちゃおう。ブロンドならではの特権よ、これって。それに、肌の露出が少ない割に、グラマー度が増して見えるんだよ。わたしが着ると子供っぽくなっちゃうケド、リンダなら決まるよ。（ローズ談）

いつも大人っぽくて、キャリアのある女性ってカンジのダイアンさんって、素敵。リゾートのダイアンさんっていったら、有閑マダム風しかないと思って、わたし＝リンダが憧のマダムファッションをダイアンさんにコーディネートしてみました(❷)。男遊び？も適当にこなして、やけた素肌に直接まとうシルクのワンピース。スカートはトロンプルイユ(見せかけ)のオーバースカートを巻いてるけど、これって動くとかなり深く足が見えて、実はキョーアク。素肌にピッタリくっつくんで、男じゃなくても色香にドキドキ、なのだ。大ぶりでアフリカ風のネックレスやブレスレットで思いっきり南方してるけど、ヨーロッパのマダムに最高に似合うスタイル……あああ、わたしも早くこんな服がさりげなく似合う貫禄が欲しい、なんてネ。ケーンにはナイショよ。（リンダ談）

ローズを見てると本当に少女って感じで、微笑ましい。本人は子供っぽいって気にしてるみたいだけど、今しかできないハツラツとした、❸のエアロビクス感覚の水着がいいと思う。たとえて言うなら、芳本美代子風かしら。（ダイアン談）

ドレスアップ中のドレスアップといえば、やはりパーティーシーン! ここまで着飾れば、誰でも主役!?

ドレスアップ中のドレスアップといえば、やはリパーティーシーンでしょう。まあ、女の子なら、自分の結婚式と(たいていの場合、一生に一度のすごいドレスが着れるチャンスですね)、友達の結婚式のゲストという手があるけれど、ドラグナー世界ではちょっとありそうもない。日ごろは軍服を着ていても、パーティーならその機会があってもおかしくない気がするのですが、さて?

マイヨはシブク❶のような背広で決めています。男性も黒タキシード着用が大流行なんて、こんなコンチネンタル・スタイルでビジネスマン風に決めるのは、ヤクザ風ですが似合ってますね。ポケット・チーフを忘れずに。胸ポケットや、えりのボタンホールに花を1輪さしても粋なものです。❷のミンは、TVシリーズでは、とんでもなく勇ましい格好をしていて、それはまたそれで悪くもないけれど、たまにはこんなスタイルもいかがでしょうか。日ごろが日ごろだけに、逆に思いっきり女の子。何歳になっても、ロマンチックな花園のイメージをもちつづけるのはイイものです。と言っても、実はこの上着は、前立て状にシャーリングのフリフリが付いたTシャツなのだ。これなら、超おてんばのミンでもあつ苦しい、と文句を言わないだろう、と。巻き毛のロングヘアにお花というのは、簡単にハデできるアレンジです。

❸❹のリンダとケーンは、正統的パーティーファッションでソシアルダンス中。ケーンの白タキシードはハッキリ言って、花ムコさんですが、まあ、タマのことだし、タップやライトもチャカさないんじゃないかな、たぶん……いちおう。リンダのドレスは、前にシャーリングを寄せて立体感を出したシルク・サテン。ストラップ(ひも)で肩を出し、ストラップ止まりにリボンをつけた、セクシーでかつかわいらしいモノです。こんなドレスで登場されたら、ケーンでなくともクラクラッ♡ときますね、ハイ ハイヒールや、ラインストーン(ガラスのダイヤモンドがキラキラしてるやつ)のアクセサリーで、思いっきり非日常的に演出してしまおう。こんなドレスを着た場合、自分が照れてしまうと途端に似合わなくなります。思いっきり〝その気〟で、主役になって目当ての彼氏と踊ろう。このページの女の子のドレスは、両方とも色違いが手に入るヨ。

Two in Silent Night

2人きりのクリスマス、これを決められなかったらオトコじゃない！さて、ケーンの場合は!?

ＴＶシリーズ内では、デートはしたものの、進んでるのか進んでないのか、今ひとつハッキリしない仲のケーンとリンダ。ライトとタップ、それからマイヨのブーイングを無視して、本の中で２人きりの時間をプレゼント。時はもちろん、12月24日、クリスマス・イヴです。ケーン君、これで決められなきゃ、男がすたるぞ。

楽しげにじゃれる２人ですが、❶のケーンのほうは、清潔にしていればとりあえずなんとかなります。あまりにもダサいとか、ボロい服でなければ、リンダを怒らせてしまうことはない。モンダイは中身と態度。若いみそらで下腹部がぷにぷに、洋ナシ形体型なんてのは論外。もっとも、男性のほうがコソコソしているのは、もっと困る。堂々と、自然に、ふるまいましょう。あとは、照れずに想いをことばにすることだ。僕らが〝この期に及んで照れくさい〟と思うようなコトも、女の子はことばとして欲しがるもの。女の子が、女の子自身に対して言いわけができるよう、ロマンチックなムードを演出しよう。

❷のリンダのほうは、実はシンプルにして究極のオシャレをしているのだ。シルクのランニング型インナーに、シルクのシャツブラウスをさらりとはおる。色はなるべく白。せいぜいが生成りとか薄い水色くらいで抑えよう。間違っても黒や濃いパープルのインナーを身につけてはいけない。アクセサリーも、小さいピアス、ブレスレット、細いチェーンのネックレスなどを単品で。そ・し・て・プラスアルファをひとつ、身につけて欲しい。それは〝香り〟だ。セクシーすぎる〝タブー〟や、はやりの〝プワゾン〟なんていうクセのある香りではなくて、清楚なフローラル・ノート（花の香り）で迫ろう。金髪美人のリンダなら〝アンフィニ〟〝ディオリッシモ〟〝クリスタル〟などがおススメ。ただし、いくら清楚な香りでも、プンプンするほどかけるべからず。あくまで自然に。

さて、リンダとケーンのサイレント・ナイト、どんなコトになりますやら「ねえ、リンダ！リンダったらリンダ！」「なに？　ウルサイわねえ～」「ん～っと、今月の24日ヒマかなァ。おヒマなら来てよね、オレとのデート。ねッ、お願い!!　ヨロシク、どうしても!!」なんて、ひたすら明るくお願いされたら、リンダでなくてもＯＫしたくなる!?　「しょうがないわねえ、まあ、いいか」と言ってもらえばしめたもの。がんばれ、ケーン!!「オ～イ、俺たちゃどーなってんだよォ～、ひで～。ヒイキ！」　（ライト＆タップ談）

メタル・アーマー列伝 PART2

鉄の騎士、メタル・アーマーの勇姿を再び君に！ 大人気アニメーター・大張正己、西井正典、内田順久、重田智、城前龍治による描き下ろしメタル・アーマーとともにニュータイプがおくります。このコーナーでは特に、TV放映された第27話〜第48話に登場し活躍した印象深いメタル・アーマーをフィルムセレクトしました。君のお気に入りのメタル・アーマーは、もう見つけられたかナ⁉

DRAGONAR-1 CUSTOMTYPE

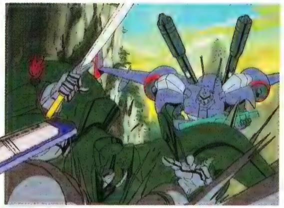
⬅レーザーソード二刀流！　この武器はパイロットの熟練度が高くないと使いこなせない

⬇ハンガーアウトした３機のカスタムタイプ　火力、機動力ともに他のMAを寄せつけない力をもつ

ドラグナー1型機カスタムタイプ

いわゆるD－1の改良型で、度重なる戦闘で疲弊した機体を修復し、いくつかの改良を加えたもの。中国・重慶にある連合軍のメタル・アーマー量産工場において、MA開発の第一人者であるラング・プラート博士の陣頭指揮により一連の作業が進められた。左肩の重力場感知システムをはじめ、６連デュアルミサイルポッドを装備できるウイング、パワーアップされたハンドレールガンなどが追加されているが、装甲部分の強度はそのままで、厚さと重量を軽減するのに成功。相対的に全備重量の増加が抑えられている。頭頂高17.6ｍ。運行自重78.7ｔ。出力も24万ポンドとアップ、パイロットの実力を身につけはじめたケーンとの相性は抜群だった。

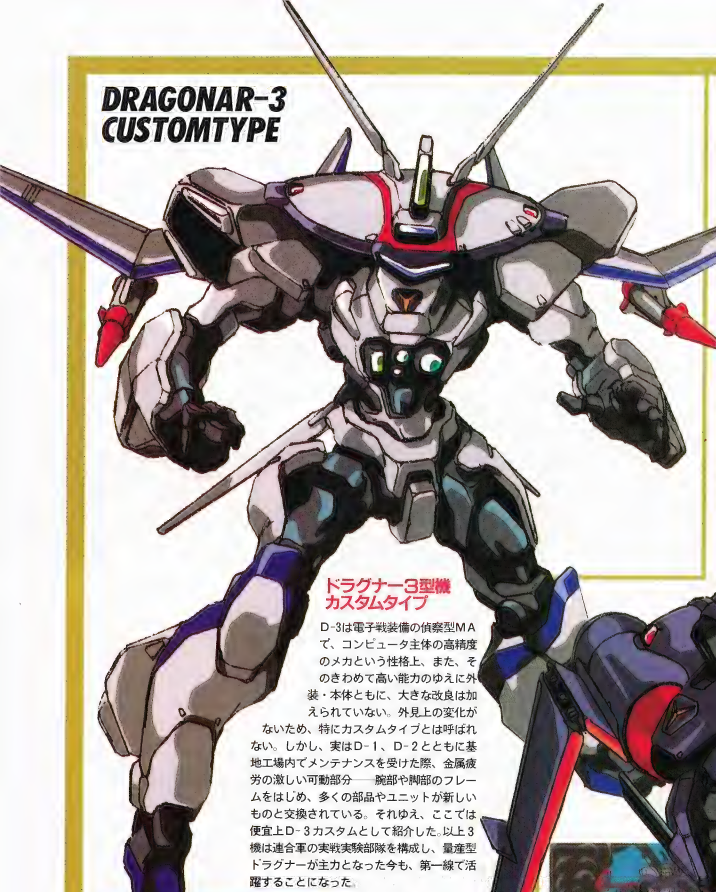
DRAGONAR-2 CUSTOMTYPE



ドラグナー2型機カスタムタイプ

タップ・オセアノが搭乗するD－３型機は、タップの性格をも反映している。D－１カスタムと同様、MA量産基地で改造されたもので、特に火力の増大が顕著である。背部ポッドに取り付けられたレールキャノンは280㎜から640㎜へと口径が大幅にアップ。さらに２連装自動砲もプラスされている。また、飛行用大型エンジンとウイングの搭載により、速力と航続距離も引き上げられた。次々に登場するギガノス側の新型MAに対抗するため、特にD－２の攻撃力が期待されたのだ。頭頂高16.8ｍ　運行自重132.5ｔ

⬆大破したドラグーンの脇に立つD－２　支援MAとしては白眉！



DRAGONAR-3 CUSTOMTYPE

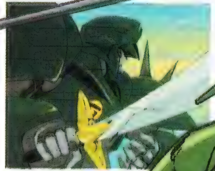
ドラグナー3型機カスタムタイプ

D－3は電子戦装備の偵察型MAで、コンピュータ主体の高精度のメカという性格上、また、そのきわめて高い能力のゆえに外装・本体ともに、大きな改良は加えられていない。外見上の変化がないため、特にカスタムタイプとは呼ばれない。しかし、実はD－１、D－２とともに基地工場内でメンテナンスを受けた際、金属疲労の激しい可動部分――腕部や脚部のフレームをはじめ、多くの部品やユニットが新しいものと交換されている。それゆえ、ここでは便宜上D－３カスタムとして紹介した。以上３機は連合軍の実戦実験部隊を構成し、量産型ドラグナーが主力となった今も、第一線で活躍することになった。

⬅敵MAのセンサーを狂わせるため、一体のMAに見せかける「三位一体攻撃」臨機応変なD兵器ならではの技

⬇敵の攻撃にふっとぶD－３ 頭部のロートドームの裏面が見える珍しいショットである

GEIZUM

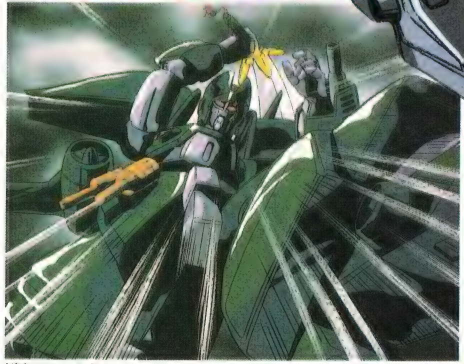


⬆特殊鋼の青竜刀は、たとえMAの装甲であろうと一刀両断する能力がある。原始的だが恐ろしい威力をもつ武器だ

⬇いかにも野戦部隊といった趣のグン・ジェム隊の装備がスゴイ

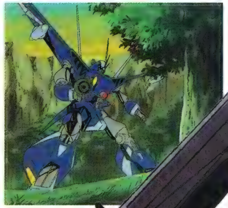
ゲイザム
(グン・ジェム大佐搭乗機)

グン・ジェム大佐の専用機であるゲイザムは、先行量産型メタル・アーマーと呼ばれ、ギガノスのMA開発史において究極のメカをめざしたギルガザムネへの進化途上に位置している。CMP（最大戦闘出力維持）43万ポンドという数字は、ほかと比べてずば抜けたものではないが、50㎜ハンドレールガンや30㎜機関砲、対MAハンドグレネード、白兵戦用ハイブリッドブロードサーベル(青竜刀)といった強力な武装と、強烈なパーソナリティーの持ち主である大佐自身の闘気とが相まって、ケーンたち連合側の兵士を圧倒する実力を見せつけた。頭頂高17.7m、運行自重95.2t。装甲は、シモールA型ヘビーコーティングという特殊なもので、MAX370㎜の厚さも、そうとうヘビー。



⬆青竜刀はその威力が大きすぎ、ツカに大きな圧力が加わる。これが弱点となり、ゲイザムはD-1に敗れる

STARK DAUZEHN

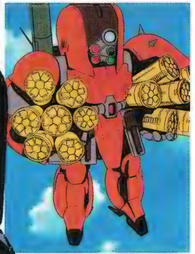


スターク・ダウツェン
(ジン中尉搭乗機)

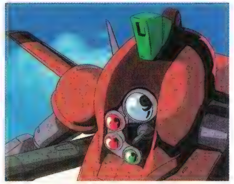
飛行ユニットと一体になったフォルグ・アーマー、ダウツェンの強化量産タイプで、ジン中尉専用機。その最大の特徴は、エリントポッド2個をウイングに取り付けることによって、D-3と同様の電子戦用MAとしての能力を発揮できる点である。月面本部基地から派遣されたゲルポック隊のアデン中尉が倒されたときその搭乗機である電子戦対応の偵察型MA、レビ・ゲルフ・マッフに代わって、スターク・ダウツェンが駆り出されたこともあった。頭頂高18.7m。運行自重57.8t。ミサイルポッドや30㎜機関砲(腕部)、爆弾投射機といった標準装備に加えて220㎜という大口径のレールキャノンをもっているところがいかにもグン・ジェム隊らしい。

⬇野外で待機中のグン・ジェム隊MA。スターク・ダウツェンの青いボディーがひときわ目を引く

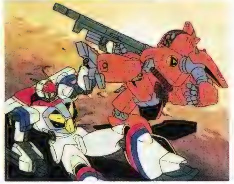
STARK GEWEI



⬆ミサイル地雷「土蜘蛛」を輸送するスターク・ゲバイ。強力なマニピュレーターの力を生かした作戦



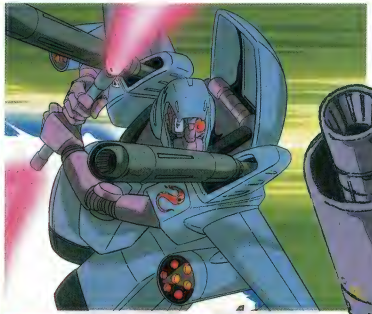
⬆巨大なカメラが特徴的なスターク・ゲバイのフェース



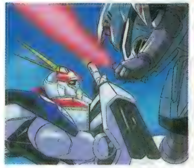
➡質量を生かした強烈なフット・スタンプ攻撃。必死にかわすD-1。MA同士の肉弾戦は一撃で決まる

スターク・ゲバイ
(ゴル大尉搭乗機)

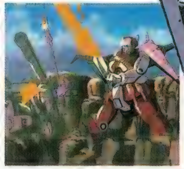
ギガノス軍の独立愚連隊とも言うべき庸兵たちの集団、グン・ジェム隊の幹部(グン・ジェム大佐と四天王)は、それぞれが自分で特注したカスタムタイプのMAを愛機としている。このスターク・ゲバイは、強化量産型MAの一種で、ゴル大尉の専用機。頭頂高18.2m。運行自重150.4tと、オリジナルのゲバイよりやや大きくなっているが、特にゴルの趣味で武装が著しく強化されている。身長とほぼ同じという大型の450㎜レールキャノンをもち、さらに50㎜ハンドレールガン、30㎜機関砲、対MA用のハンドグレネード（手榴弾）まで下げているというぐあい。頭部のとさかのように見えるのは、新たに取り付けられた重力場感知システム。背部には飛行用ユニットも搭載されている。



⬅スターク・ガンドーラの主武器は前後からレーザーを発振させる「レーザーなぎなた」である



⬆D－1とつばぜり合いを展開するS・ガンドーラ。パワーで押し勝つ！



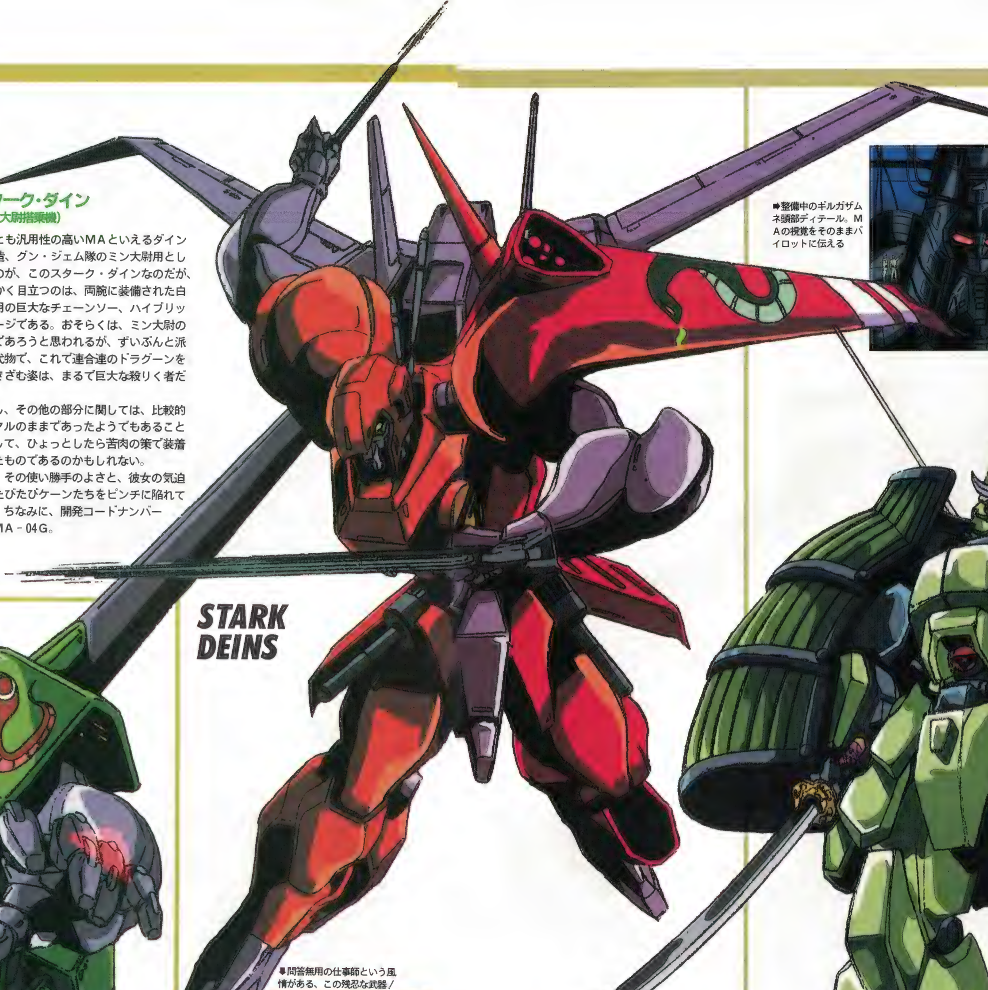
⬆いっせい砲撃の腕もたしか。さすが天下無敵のグン・ジェム隊である

STARK GAN-DOLLA

スターク・ガンドーラ
（ガナン大尉搭乗機）

スタークの名称と、肩のコブラマークが示すように、このMAもグン・ジェム隊のために用意されたもので、搭乗者はそのなかのガナン大尉。当然カスタムメイドであり、このタイプのガンドーラはこれ１機しか存在しない。だが、スターク・ダインと同じく、かなりノーマルタイプのパーツを使用した設計となっている。しかし、両肩のレールキャノンはかなりのパワーアップをほどこされているため、攻撃力に関しては、そうとう改善されている。

この機のみが、ほかのスタークシリーズと異なり長距離飛行能力を有しない局地戦用であったため、ガナンは苦労したことであろう。開発コードナンバーはAMA－06G。



STARK DEINS

スターク・ダイン
（ミン大尉搭乗機）

もっとも汎用性の高いMAといえるダインを改造、グン・ジェム隊のミン大尉用としたものが、このスターク・ダインなのだが、ともかく目立つのは、両腕に装備された白兵戦用の巨大なチェーンソー、ハイブリッドサージである。おそらくは、ミン大尉の趣味であろうと思われるが、ずいぶんと派手な代物で、これで連合連のドラグーンを切りきざむ姿は、まるで巨大な殺りく者だった。

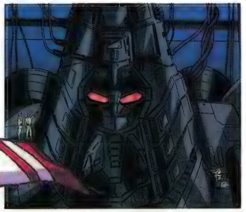
しかし、その他の部分に関しては、比較的ノーマルのままであったようでもあることからして、ひょっとしたら苦肉の策で装着させたものであるのかもしれない。

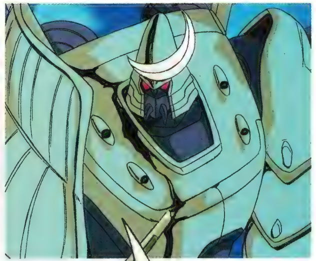
だが、その使い勝手のよさと、彼女の気迫は、たびたびケーンたちをピンチに陥れていた。ちなみに、開発コードナンバーはFMA－04G。

⬇問答無用の仕事師という風情がある、この残忍な武器！

⬇D－１との空中戦に挑むスターク・ダイン。レーザーソードにチェーンソーで対抗するぞ！

➡整備中のギルガザムネ頭部ディテール。MAの視覚をそのままパイロットに伝える





⬆チェンドルが乗るギルガザムネはオリーブドラブのカラリング。完全なチューニングをうけている

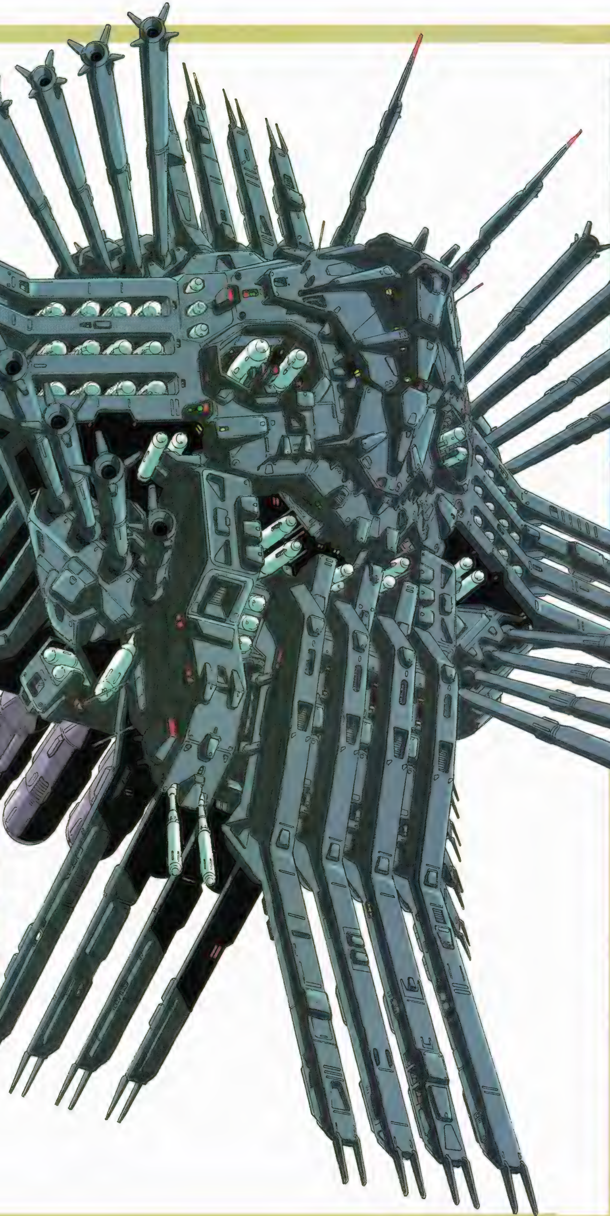
GILLGAZAMUNE

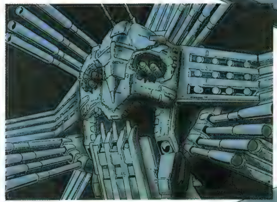
ギルガザムネ
（究極の巨大メタル・アーマー）

28ｍを超す巨体、それにともなう厚い装甲、そしてさらには、機体の制御を頭脳から直接行なう思考コントロールシステムを搭載する究極のMA。開発コードナンバーはYGMA－14。初登場は、秘密工場へと迫りつつあったドラグナー遊撃隊を迎え撃つために、中国奥地でグン・ジェムが使用したときであった。

戦力としては、単体のMAとして最強であることは確実で、特に思考コントロールシステムはその巨体を人間のようにすら操ってみせていたが、残念なことに、このシステムはパイロットに多大な精神的負荷を与えてしまうのであり、それが弱点となっている。まだハードウェアと人間を直接リンクさせるのは無理だったのだ。

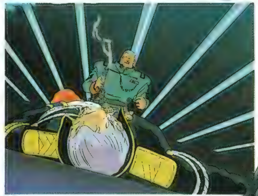
THE BIG FORTRESS





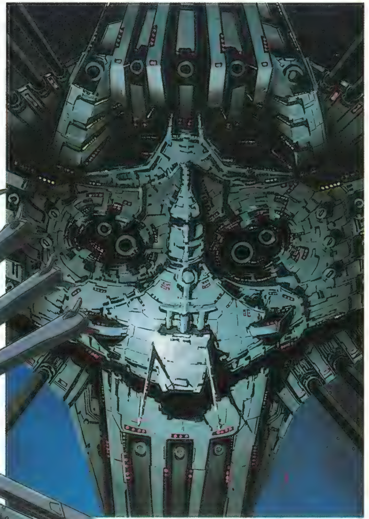
⬆要塞の主砲は思考コントロールの影響で、実に素早く可動する

巨大宇宙要塞



⬆ギルトールを殺したドルチェノフの最後の砦となった

ケーンたちドラグナー遊撃隊の活躍により、ブラクティーズ隊、ゲルポック隊、そしてグン・ジェム隊などの精鋭部隊が次々と撃破されたため、ギガノスの地球派遣軍は次第に後退を余儀なくされていった。ギルトールを暗殺して新たな総統となったドルチェノフは、その劣勢を挽回すべく、最後の切り札を出撃させた。
それがこの超巨大宇宙要塞である。ギルガザムネで一部が試験採用されていた思考コントロール装置をさらにスケールアップしたシステムを導入し、6人のオペレーターによって各部が動かされている。内部にはギルガザムネをはじめ、多数のMAを搭載しその母艦としての役割も果たせるうえ、巨大砲やミサイルなどの武器が表面をくまなく覆っており、敵を寄せつけない。差し渡しが数kmにもおよぶ、文字どおりの移動要塞〝動く帝国〟で、これを出撃させたこと自体、ギガノスの焦りの表われであったのだ。



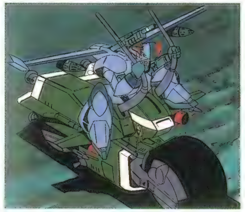
⬆正面から見ると、要塞の表面のディテールは、まさにドクロのそれである　遠近感やモヤのない宇宙で、このクッキリとした「顔」を見たハイロットの恐怖心は、いかはかりか…

ドラグーン

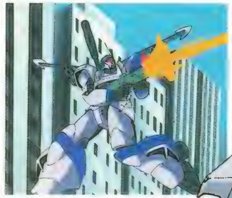
⬆トラグーンは非常に高いポテンシャルをもつMAだが、特に傑出した能力はもたない

地球に亡命したラング・プラート博士の指導により連合軍が開発した、ドラグナーの量産タイプ。D－1からD－3までの長所をできる限り盛り込もうという欲ばった設計思想にもかかわらず、このようにスマートな機体に仕上がったのも博士によるところが大きい　D－1の格闘性能、D－2の火力、D－3の索敵能力をあわせもち、なおかつMA搭乗経験の浅い連合軍側のパイロットでも対応できる操作性のよさなど、至れり尽くせりのメカといえるが、それゆえ搭乗者の能力や熟練度によってドラグーン自体の動きも大きく左右されることになった　量産品の宿命か、軽量化が災いしたのか、敵の高機動MAと比べると今ひとつ線の細い印象は否めない　頭頂高17.3m　運行自重79.2t

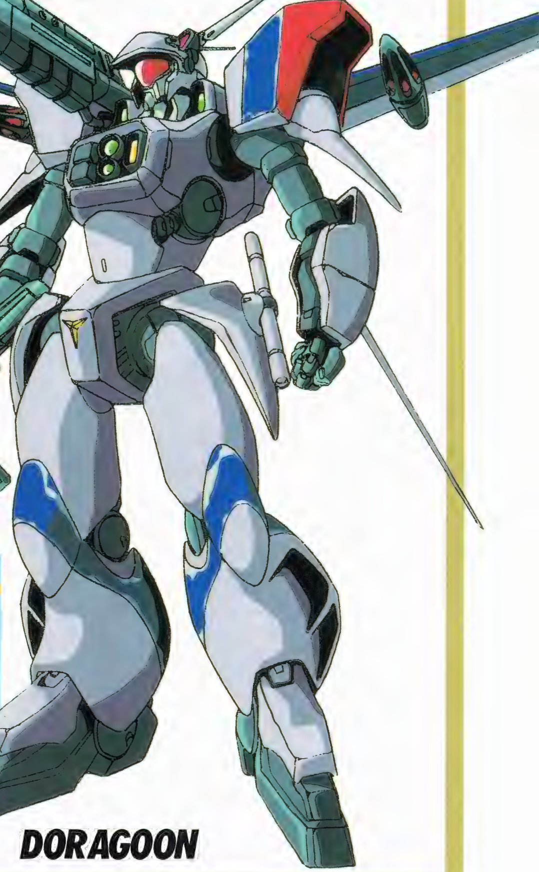
⬆グン・ジェム隊にやられる。やはり組織戦で挑まねば！



⬅カントーラに馬乗りになり、その砲身をねじ曲げる　運動性の良い機体はハイロットの腕しだいて生きてくる



⬆ビル街て市街戦を展開するトラグーン。操縦性の良さが生かされる場面である



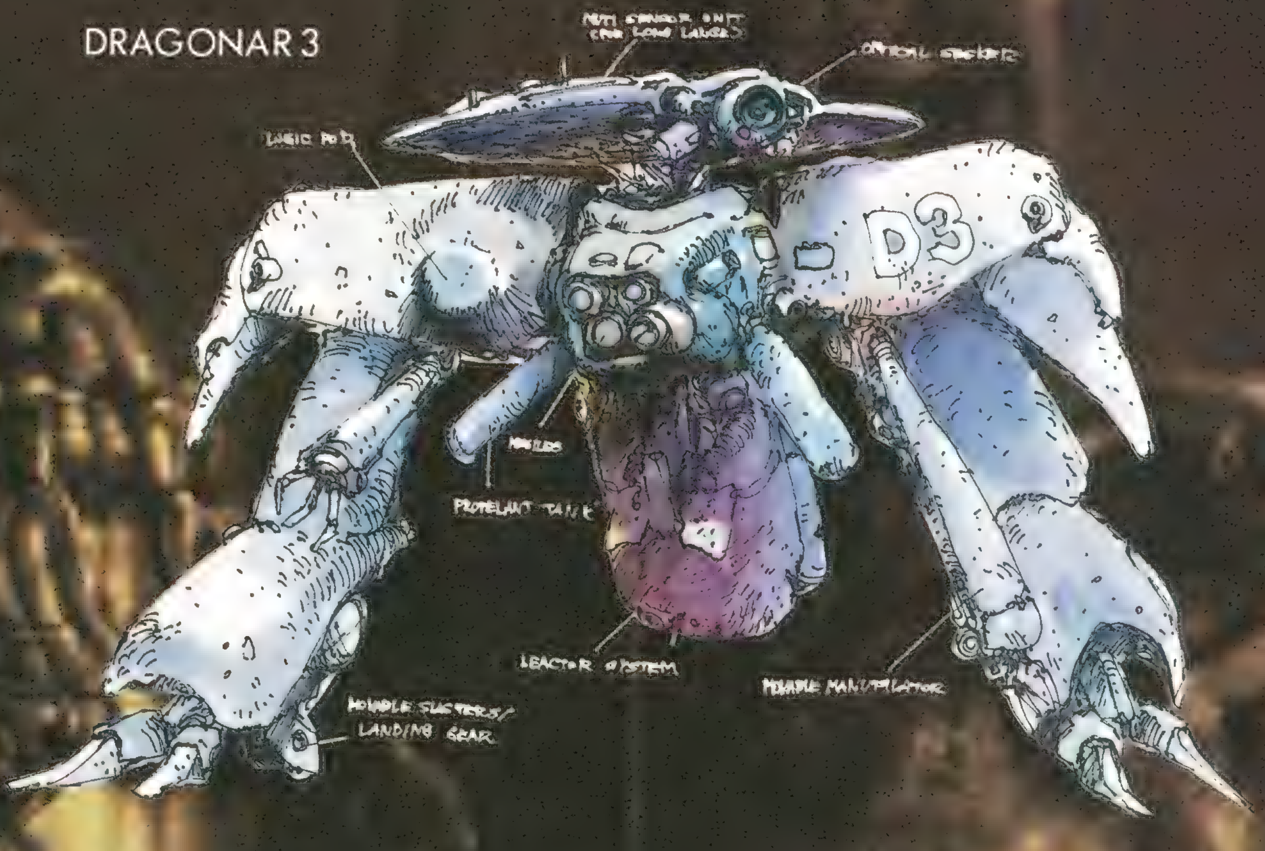
DORAGOON

DRAGONAR 1

MAKOTO KOBAYASHI PRESENTS

D.Weapons

DRAGONAR 3



DRAGONAR–ORIGINAL 3D STORY CUSTOM–MODEL & DIORAMA HOW TO MAKING & PHOTOGRAPHY

ボン・ヨヨヨーン。こんにちは私が小林誠です。ドラグナー別冊用という事でジオラマフォトをつくってしまいました。編の人、アリガトウ。江戸っ子かい？けっこうリキ入れてるだろ？という感じでこういう本でもあり少少詳しくつくり方を書きます。まずデザインですが、オリジナルはいまいち見はえがしないので…かと云って大張さんのは絵的な部分が強いので、いーかげんな私は今日も漫画の連載などせずに、気のきいたカレンダーのイラストなど描かずに立体をつくりながらデザインを起こしてゆきます（落書き程度のラフデザインは書きますが、本当に落書きなんたな、これが）。ロボットの骨になるのは既製のプラモのロボットで、これに熱処理して曲げたプラスチック板や、エポキシ粘土という2種混合型の即硬粘土で外形をつくってゆきます。実はそれだけで出来てしまいますので、簡単です。でもいっぱい数があったので、すごいでしょ。空母のブリッジは、紙の箱にプラモのパー[illegible]けています。ビルは発泡スチロールにエポキシ粘土と鉄道模型用建築物の窓、宇宙船内は木の板にプラモのパーツを貼って、光っているのは蛍光塗料にブラックライトという紫外線ライトをあてて光らせています。写真は増感という方法で荒らしたものです。

STAFF

●ARTWORK, DIRECTION
MAKOTO KOBAYASHI

●PHOTOGRAPHER
MASAMI YOSHIDA

●ASSISTANTS
TAKAYUKI TAKEYA
YASUSHI NIRASAWA
TAKUYA HAITANI

MAKOTO KOBAYASHI PRESENTS

D.Weapons

DRAGONAR SYSTEM PHASE41 (D WEAPON TYPE NUMBER 0616～0918)

宇宙空間の広域作業用ポッドから派生したいわゆるMSW(マン・シルエット・ウェポン)は、アーマー装甲・兵装の運用が可能なMA(メタル・アーマー)へ発展、限定した宇宙空間を戦闘空域とする兵器体系が完成した。一方、2001年からテオブランク＆ロックウェル・インターナショナルによって実験段階に入った高出力反重力システムは実用に耐えうる結果を示し、MAに装備運用する事で大気重力圏内におけるメタル・アーマーの使用を可能とした。大気内戦闘用メタル・アーマーはドラグナーと呼ばれ、2019年8月より実戦配備が開始、空母ペングリオンに58機が装備運用されている。

MAKOTO KOBAYASHI PRESENTS

D.Weapons

2019 NOVEMBER 8 MISSION STATUS 891097 DRAGONAR–POLICE CUSTOM:BIRAL&HITANI

…各地区の警戒機に告ぐ。ブラジル西地区の第209 セクターにおいて事件発生。３個体のレプリカントが軍用のパワーローダーを強奪して逃走。キャスネット通りを通行人を殺傷しながら暴走し、ホテル「アリーナ・スクロール」を占拠した。コード87C。対処方法はG3。BIRALスコードロンは急行。指示はMBへ直接現場で行なわれる。くり返す。

…俺の名は、エリック—F—ノストロモ。SSと呼ばれるスペシアルスコードロン（ゾンダー・アインザッツ・コマンド）の第28区リーダーで、この町を守る「正義と暴力の男」って云う訳だ。このブラジル地区は事件が多い。工場の町という事もあるんだが、工場で造ってるもんが化け物なんだから、はっきり云ってデトロイトなんか目じゃない。３週間に１度は、17・８の娘の形をして人間の頭を片手で潰せる〝レプリカント〟が町へ逃げ出すんだから、俺達SSは大モテって所だ。ニュー上海のドラッグバーでやってた俺はそういう訳でホテル（アリーナ・スクロール）の屋上に仲間のデュバルと待機している。やれやれ、こんなデッカいポリスドロイドに乗らなくても事が片づくような気のきいた武器をエライさんが考えてくれんのはいつになるやら…。

MAKOTO KOBAYASHI PRESENTS

D.Weapons

D-8810Gunship-Pod&D-1S photographed by Carnel White at Starship Tycondelog(NCC-1180-D)

70%の人類が宇宙移植した時点で勃発した宇宙間戦争は、この後2980年に集結するまで、実に63年間にわたってくり広げられた　月を中心とする軌道植民コロニアルと地球軍とのこの闘いは、地球生態の全滅という形で結着がつけられた　特に2975年からの５年間にわたる「イルルニュ戦争」は、地球側が、太陽を超新星化して太陽系全域を滅亡させる自滅兵器「イルルニュ」を建造、それを阻止せんとするルナ側の攻撃は激烈をきわめ、わずかの差で「イルルニュ」発振部分を完全に破壊して事無きを得た「イルルニュ」は莫大なヒーク演算量を持つ制御コンピューターを必要とする機械で、このため地球は生体頭脳をメモリーシステムに導入することで演算能力の向上を計り、結果2977年当時、57%の地球人類が脳摘出、運用されていたという記録が残っている　もともと宇宙兵器として進化してきたＤ兵器は超兵器としての発達をとげ、それが月側の勝利への強力な推進力となった訳たが、戦闘が終結した現在、この超演算コンピューターはいまだ発見されていない（兵員必携「第８次宇宙戦争」2982年度版）

MAKOTO KOBAYASHI P RESENTS

D.Weapo ns

THE FUTURE ULTIMATE MACHINES

SPECIFICATIONS:
CARRIER SHIP:BENGLIONE 〈NCC-1701〉
VARIABLE FIGHTER1 〈CODE NAME:DRAGONAR1〉
SYSTEM No.2701492-D CODE V-7071NR DIN.
VARIABLE FIGHTER3 〈CODE NAME:DRAGONAR3〉
SYSTEM No.2701498-D CODE S-7198SQ DIS.

Provisional NASA Report No.92316 rank 1 This photographs are highly classified and not abbreviated or edited.

空母ベングリオン（NCC 1701）のデッキ上は、今までにない緊張した空気に包まれている。西暦2019年、７月。インド洋。何やら今まで空母へ搬入され続けていた異様な整備機械の数々　デッキ全面に施された強力大規模な補強工事、見なれない顔の技術者・科学用員達。そして排除された新鋭戦闘機

「着艦する機体がある。作業開始。Ｔマイナス2401。コード緊急のＣ。Ｃ12。接近中」

機体が接近し、肉眼で確認可能な距離になると、ベングリオンのデッキクルー達は軽いパニックに陥る　異形の機体　四肢を持ち、ゆらゆらと浮遊したり、考えられない加速で展開するスコードロン

「おい、これは悪夢じゃない、ＳＦだぜ」

デッキクルーの１人が呟く　あっけにとられる既存のクルーを尻目に、技術者達は手際良く作業を続ける

「着艦する。Ｔマイナス0021」

すさまじい、それでいて聞きなれぬ金属音と共にそれはデッキへ着艦した。舞い降りたと表現した方が良いかもしれない。機体は全部で８機。３つのバリエーションがあるのが見てとれる。

「ドラグナー１、ドラグナー２、ドラグナー３です、艦長　直ちに訓練プログラムに入るので、指示を」　科学用員がマニュアルの束をキャプテンにわたし、ベングリオンは通常の訓練作業を開始した　ただ異なるのは、扱う機体が全く違う事だけだ。

2019年、７月13日　Ｄ兵器は初めて実戦配備される　母艦はNCC 1701ベングリオン

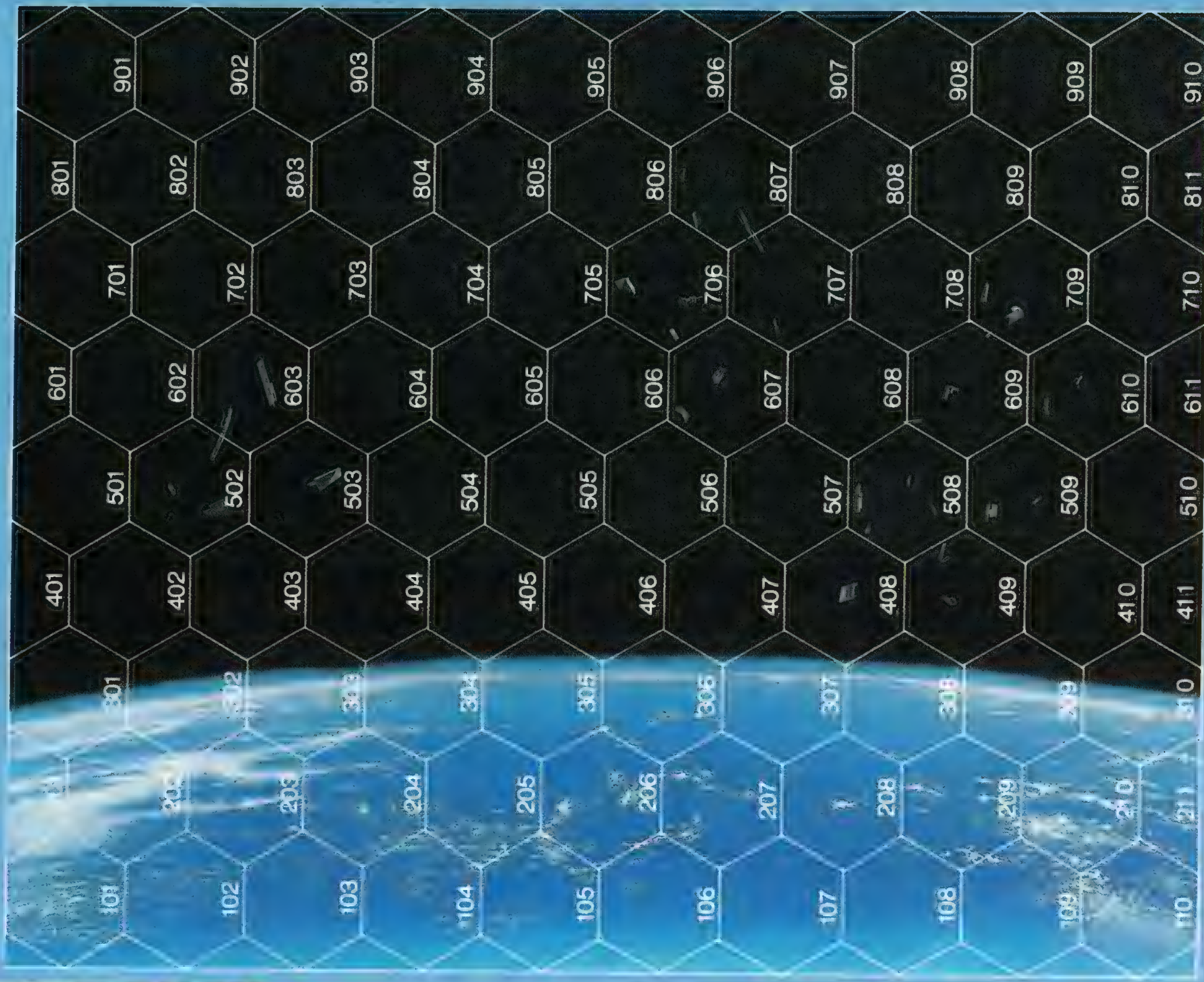
新しい戦争形態の始まりは、いつも異様だ

後方モニター
F
M
C
FRONT
メーン・モニター
高度・速度計
250
300
350
400
450
200
150
100
50
(m/sec)
15000
12000
9000
6000
3000
0(m)
ダメージ表示欄
メーン ノズル
センサー
HUD
1500

DRAGONAR BOARDGAME

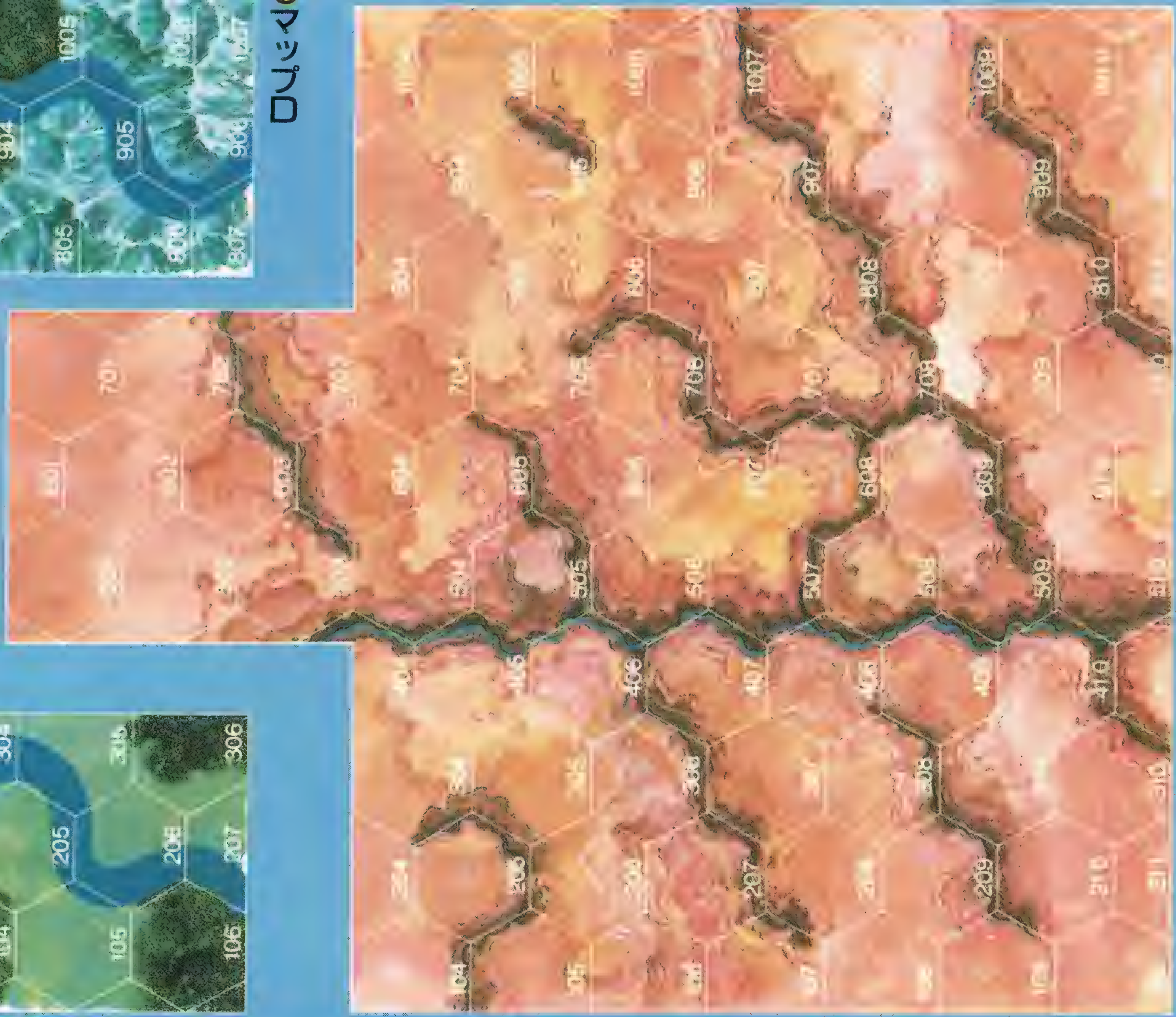
移動用マップ　　戦闘ディスプレイ

マップC



マップA

マップD



マップB

NEWTYPE PRESENTS

DRAGONAR BOARDGAME

●機甲戦記ドラグナーボードゲーム

game system／KUNIHIKO TAKEDA
illustration／MASAMI OHBARI
KENICHI OHNUKI
HAJIME KATOKI
HIROAKI GOHDA

ドラグナーファンの君たち、きょうも元気かい!? このボードゲームは、君がひとりぼっちで寂しいときに…何だか頭が寒っぽくなったときなどに、よりいっそう楽しく遊んでもらえるようつくってあります。ちょっとムズかしそうでヤダナ…という君、君。ちょっと遊んでみなさいよっ

DO YOUR BEST!

ボードゲーム **CONTENTS**

Ⓐゲームの準備
Ⓑゲームの手順
Ⓒメカの能力
Ⓓ移動
Ⓔ戦闘
Ⓕ修理
Ⓖ戦功ポイント
Ⓗイベント・セクション
Ⓘゲームチャート
Ⓙダメージ記録シート

illustrated by MASAMI OHBARI

はじめに

このゲームは、〝機甲戦記ドラグナー〟のストーリーを基に、ひとりプレイ用にデザインされた、アドベンチャーゲームです このなかで、プレイヤーのあなたは、D－1、D－2、D－3の各メカを自由に駆使し、生き残るため、また地球連合軍のため、ギガノスとの戦いを演じていきます ゲームのスタート時、あなたは地球連合軍輸送船アイダホに、3つのメカとともに乗っています

ゲームは最初は宇宙空間で始まり、状況に合わせて、使用するマップを次々に変えて進行します 途中にはたくさんのイベントがあなたを待っています 敵の攻撃、追跡は勿論、情報の収集や補給物資を受けることもあるでしょう こうして発生するさまざまな事件をくぐりぬけつつ、最終的には中国の重慶に行き、ドラグナーのパイロット登録装置を解除してもらうことが目的です

A ゲームの準備

このゲームでは次のものを使います。

移動用マップ　49ページにある6角形のマス目(ヘクスと言います)のかかっている地図です。キャラクターのゲーム進行上での位置を表現するものです。

戦闘ディスプレイ　移動用マップの右側(48ページ)にあるコクピットのディスプレイのことです。敵と遭遇した際に、このディスプレイ上で戦闘を処理します。

キャラクター駒　登場する各メカニックのイラストが描かれた立体駒です。戦闘ディスプレイに置いて使います(ピンナップ裏にあります)。

表示用マーカー　戦闘ディスプレイ上で進行中ドラグナーの状況を示すための(立体ではない)駒のことです。ダメージの状態や、速度などをこれで表示します(ピンナップにあります)。また、これとは別に人物の姿の描かれたマーカーがありますが、これは、オマケですので、通常のゲーム進行では使うことはありません。

鉛筆　戦闘ディスプレイ上に入りきらない細かい状況をメモするために、筆記用具が必要です。

サイコロ　このゲームでは、ひとつないし2つの6面のサイコロを使います。

まず、移動用マップと戦闘ディスプレイを外してください。次にマーカーとキャラクター駒を切り取り、キャラクター駒のほうは三角形の立体に組み立てます(立体にすると裏と表で違う種類のメカになりますが、ゲーム中では自分に向いているほうが、そのときのメカとします)。

筆記用具とサイコロを用意したら、次に示したゲームルールに目を通してください。これで準備は完了です。

B ゲームの手順

ゲームは次のような順序で進んでいきます。

①キャラクターの移動　移動のルールに従って移動用マップ上を、キャラクター駒を移動させます。

②イベント・チェック　キャラクター駒の停止したヘクス番号を読み、ルールの後半にある〝イベント・セクション〟の、同じ番号のところの指示に従います。

③戦闘　②の結果、敵と遭遇した場合には、戦闘が発生し、ゲームは戦闘ディスプレイ上で行なわれます。戦闘は更に次の手順で行なわれます。

a.　Dメカの攻撃　ドラグナーのほうから攻撃できる敵を攻撃します。

b.　Dメカの移動　戦闘中の相対位置を変えるため、速度や高度を変更したり、方向転換を行ないます。

c.　敵の反応移動　ドラグナーの移動に対応して、敵が位置を変更します。

d.　敵の攻撃　敵が、ドラグナーに対して攻撃を行ないます。

このa~dの手順を繰り返して、戦闘を解決します。

④キャラクターの変更　戦闘、あるいはイベント・チェックが終了したら、プレイヤーは乗っているメカを自由に変更できます。戦闘によって今までのメカが破損したり、状況が変わったり、あるいは全くの気まぐれによって、です。現在乗っているメカを決めたら、再び①の移動を行ない、ゲームを更に進めます。

C メカの能力

ドラグナーの各メカおよび敵メカは4つの記号または数字でその能力を表現されています。これはそれぞれのキャラクター駒に印刷されており、次のような意味をもっています。

基本命中値　最初の数字は、射撃による基本命中値を表現しています。これが高ければ高いほど、攻撃が成功しやすくなります。

格闘戦能力　基本命中値の後にある数字は近接して格闘する際の能力を表現しています。高いほど有利。

運動性　戦闘中の細かな回避運動や姿勢制御能力を表現しています。Aが最高でDが最低です。相手の射撃の成功率を修正します。

装甲　最後に丸で囲んだ数字は、そのメカの装甲の強さを表現しています。この数字が高いほど、ダメージを吸収する力が高くなります。

この4つの能力はゲーム中最も重要な要素ですが、このほか各メカには、その破損状態を示すためのいくつかの能力があります。これらについては、『Ⓔ戦闘』の項で説明します。

D 移動

移動には2つの種類があります。それは移動用マップでの大きな移動と、戦闘ディスプレイ上での、戦闘時の移動です。ここでは前者についてだけ、説明します。

移動用マップでの移動

このゲームでは、プレイヤーはドラグナーの3つのメカ、D-1、D-2、D-3のなかのどれかひとつに、常に乗っているものとします。実際には、各メカはある種の輸送手段(ゲーム開始時はアイダホ)によって同時に運ばれているのですが、ゲームマップ上には、ドラグナーのキャラクター駒しか置きません。このゲームでは、そういった輸送手段が戦闘に巻き込まれることがありません。プレイヤーが選んだメカは、その輸送手段から、少しだけ離れた所を、警戒を兼ねて進んでいると考えてください。

キャラクター駒は、1回の移動について、マップAでは2ヘクス分、ほかのマップでは3ヘクス分だけ自由移動ができます。現在乗っているキャラクター駒を、移動用マップ上で指定された範囲内で、自由に移動させてください。駒が止まったら、そこで移動が終了し、イベントのチェックが行なわれます。イベント・セクションの、止まっているヘクス番号のところを読んで、指示に従ってください。

E 戦闘

イベントの結果、敵と遭遇した場合には、戦闘ディスプレイを使用します。指示に従って、戦闘ディスプレイ上に敵のキャラクター駒を置いて、戦闘を解決していきます。戦闘は、まずドラグナーによる攻撃、および移動が先に行なわれ、次に敵の反応移動があり、最後に敵の攻撃が行なわれるというサイクルです。これを、敵がいなくなるまで以下のルールによって繰り返し行なっていきます。

1　戦闘ディスプレイの説明

以下にディスプレイ上のさまざまな表について説明します。

a.　メーン・モニター　中央に扇形に広がるのは、敵の位置を表わすメーン・モニターです。左方、右方、そして正面の3方向について、それぞれ、距離別に分けられています。ここに敵のキャラクター駒を配置し、その位置を示します。

b.　後方モニター　後方の敵を、遠距離・中距離・近距離それぞれに分けて、表示する部分です。メーン・モニターと全く同様に使います。

c.　高度計・速度計　自機の速度と高度を示します。右下が高度計でその上を曲がりながら伸びているのが速度計です。マーカーを上に置いて、状況を表示します。

d.　ダメージ表示欄　現在の自機の破損状態を示しています。その破損状態に応じて、マーカーを置きます。

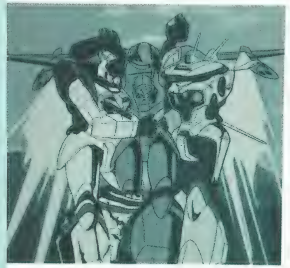
2　敵の配置

イベント・セクションで、遭遇する敵の種類および数が決まったら、それぞれについて、自機との相対位置を決めます。〝E-2敵の出現位置決定表〟P54を見てサイコロを2つ振ってください。その結果として指示された位置に、敵のキャラクター駒を置くのです。イベントによっては、このときのサイコロの目に修正を与えているものもあるので注意してください。

3　自機の移動

戦闘ディスプレイ上での移動は、相手との相対位置や、距離を有利なほうへ変更したり、高度や速度を変えることを指します。プレイヤーは、次のルールに従って、それらの変更をすることができます。

a.　方向転換　相手との相対位置を変えるために、方向を変えること



です。右旋回、左旋回、反転、および前進（方向を変えない）の4つのオプションがあり、この選択によって、相手の反応移動が決定されます。

b. 高度の変更 自機の移動の際に、1回につき高度を1段階変えることができます。上昇させると、自動的に速度が1段階低下し、下降すると、速度が1段階上昇します。高度は高くなると射撃のダメージが上昇し、低くなると地上の敵との戦闘の際、命中率が上昇します。

c. 速度の変更 高度を変更したら、速度も変更することもできます。1回につき、2段階まで、加速、あるいは減速することができます。これは、高度の変更に伴う変化を別にして考えます。速度は、メカによって上限があり、それ以上は加速できません。D-1およびD-2は、秒速250㍍まで、D-3は350㍍までが限界です。速度は、命中率に修正を与えます。

4 敵の反応移動
自機の移動に対応して敵が動き、新たな相対位置が決まります。3で行なった行動にあわせて、〝E—4反応移動表〟P54を見て、サイコロを2つ振って、指示された位置にそれぞれの敵キャラクターを移動させてください。

5 攻撃の成否
a. 射撃の命中判定 近距離にいない敵は、射撃によってのみ攻撃することができます。命中判定は、各メカのキャラクター駒に書かれている最初の数字（基本命中値）に対し相手の運動性の修正と、速度・高度および距離の修正を加えます。サイコロを2つ振り、出た目の合計が、修正後の命中値以下なら成功です。

☆運動性 Aタイプのターゲットを攻撃するときは、命中値-2、Bタイプ-1、Cタイプ0、Dタイプ+1。

☆距離の修正（正面および左右） 遠距離のターゲットを攻撃するときは、-3、中距離-1、近距離+1、これは敵の攻撃についても同様。

☆速度の修正 高速で移動するほど、自機の命中値および、敵の命中値の両方が低下します。速度が200㍍と250㍍のときは命中値が-1に、300㍍と350㍍のときは-2に、400㍍と450㍍のときは-3になります。

☆高度の修正 地上の敵と交戦する場合は、自機および敵の命中値が高度の修正を受けます。3000㍍以下は+1、9000㍍以上は-1です。

☆距離の修正（後方の敵の場合） 後方にいる敵を攻撃する場合には、遠距離は-3、中距離-1、近距離0。また、後方の敵によるドラグナーへの攻撃は、遠距離の場合-2、中距離0、近距離+2となります。

6 ダメージ
a. ダメージの決定 攻撃が成功したら、ダメージを、〝E—6aダメージ決定表〟P55から求めます。サイコロを2つ振り、その合計と攻撃を行なったメカの名を交差させます。その位置に書いてある数字が、ターゲットがこうむるダメージです。

b. 装甲 ダメージ決定表で求められたダメージは、各メカの装甲によって吸収され、さらに装甲によって吸収しきれないダメージも、メカ本体のさまざまな部分に加えられます。与えられたダメージから、各メカの装甲の値を引いてください。この結果が0以下の場合は、メカ本体にダメージは加えられません。装甲の耐久力が1低下するだけですむのです（耐久力については後述）。もし、ダメージが装甲値よりも大きかった場合には、さらにメカの各部分に具体的な損傷が与えられます。ダメージが装甲よりも1ポイント大きいごとに1回、〝E—6b破損部分決定表〟P55を見てサイコロを2つ振ってください。これによって、メカ本体の具体的な破損箇所が決定されるのです。

c. 耐久力と破損結果 各メカはそれぞれの部分に個別の耐久力をもち、破損部分決定表によって求められたダメージにより、その部分の耐久力は徐々に減少させられます。ルールの終わりにあるダメージ記録シートの所定の欄を、ダメージを受けるたびにひとつずつ消していってください。各部分の破損状態が進むに従い、そのメカの能力も減少していくことになります。次に各部分の説明と、破損に伴う結果を説明します。

融合炉 メカのエネルギーを発生している部分。動力部分です。耐久力が0になった時点で、そのメカは行動不能（あるいは爆発）し、ゲームから除かれます。

illustrated by
HIROAKI GOHDA

メーン・ノズル 主な推進手段です。耐久力を4分の1以上失うと、速度の上限が1段階(50)低下します。半分以上失ったら、戦闘時に、速度を1段階ずつしか変化できなくなります。4分の3以上失った場合は、さらに、高度が全く変化できなくなります。0になったら、行動不能となり、ゲームから除かれます。

制御ノズル 姿勢制御など細かな行動を可能にするシステムです。耐久力を半分以上失ったら、運動性が1段階下がります。4分の3以上失うと高度を変更できなくなり、0になると旋回(反転も含む)ができなくなります（前進のみになる訳です）。

武器 射撃用の武装を示しています。耐久力を半分以上失うと命中値が2下がります。0になると、射撃不能となり、以後、格闘戦しか行なえなくなります。

センサー 情報収集システムを表わしています。耐久力を半分以上失うと、敵の出現位置が、常に1段階近くなります（遠距離は中距離、中距離は近距離に）。0になった場合は、命中値が1低下します。

装甲 攻撃が命中すれば、自動的に装甲にダメージが与えられます。これは装甲値やダメージの大きさに関係なく、常に1です。つまりダメージが与えられたメカは、そのダメージをすべて装甲で吸収しても、装甲の耐久力が1だけ失われるのです。装甲の耐久力が0になったら、以後そのメカの装甲値は0と見なしてください。

☆破損部分決定表で指示された部分の耐久力がない場合には、その時点で最も耐久力の残っている部分にダメージを与えてください（大体の場合、装甲に回ることになるでしょう）またドラグナー以外のメカには、センサーの数値を設けてないので、この場合も、他の最も耐久力の残っている部分にダメージが与えられます。

DRAGONAR BOARDGAME

☆破損状態に合わせて、ダメージ表示欄に、所定のマーカーを置いてください。黄色・ピンク・赤の順に、破損状態が進んでいることを示します。

F 修理

イベント・チェックの結果、戦闘が発生しなかった場合は、次の移動を行なう前に、特定のメカの破損部分を修理することができます。サイコロをひとつ振ってください。出た目が1または2のときは、ダメージを受けた、どこかひとつの部分の耐久力が1回復します。出た目が3以上なら、同様に2回復します。

G 戦功ポイント

敵を倒したり、ある特定のイベントを解決することによって、軍の評価が高まります。これを戦功ポイントと呼びます。このポイントは敵を1機倒すごとに+1、そのほかに、イベントセクションの指示によって増減します。このポイントは、ゲーム自体の得点と同じ意味をもち、また高いほど、ゲーム中に有利なことが起こります。

H イベント・セクション

ルールをすべて読み終わったら、いよいよゲームスタートです。D-1~3までの3機のなかからひとつを選んで、マップAのセクションをまず読んでください。あとは、ただ指示に従っていけば、自然とマップB、C、そしてDと進んでいきます。

スタート時の高度と速度は、各マップのセクションの初めごとに指定してあります。途中でメカを乗り換えた場合の高度と速度も、この指示と同じにして始めてください。

また、戦闘によって自機が行動不能になった場合の対応についても、各マップごとに異なる指示が与えられます。これも各セクションの初めに書いてあります。

マップA〈地球引力圏〉

奪われたドラグナーを追跡していたギガノス軍によって、コロニー・アルカードは破壊されてしまった。偽装した連合軍輸送船アイダホは、3体のドラグナー・メカを載せたままコロニーを脱出、地球へ向かった。

スタート・ヘクス（ゲームはここから始まります） 902、戦闘ディスプレイの最初の設定速度は50にしてください。また、マップAでは、高度のファクターはゲームに使用しません。無視してください。

行動不能時のオプション ドラグナーが、メーン・ノズルの破損によって「行動不能」に陥ったときは、そのメカは自動的にアイダホに回収されたものとみなし、敵との相対位置はそのままにして、代わりのメカを登場させて戦闘を継続します。融合炉が破壊されて「行動不能」になったときは、サイコロをひとつ振ってください。出た目が1のとき、そのメカは爆発したとみなし、以後ゲームには登場しません。敵もすべて後退し、そこでの戦闘は終了とみなします。出た目が2以上のときは、メーン・ノズルのときと同様です。

202~204 301と同様。
205~207 304と同様。
208~211 308と同様。
301~303 敵機動艦隊と接触。突破する前にゲバイ2機、ダイン1機、ドラウ1機と交戦しなくてはならない。戦闘が終了したら、大気圏へ入ることができる。マップBの211へ。
304~305 敵機動艦隊と接触。突破するためにゲバイ1機、ダイン1機、ドラウ2機と交戦しなくてはならない。戦闘が終了したら、大気圏へ入ることができる。マップBの510へ。
306 地球大気圏突入。マップBの1007へ。
307~310 敵機動艦隊と接触。突破する前にダイン2機、ドラウ2機と交戦しなくてはならない。戦闘が終了したら、大気圏突入。マップBの910へ。
402 敵中継ステーションと接触。発進してきたドラウ3機と戦わなければならない。もし、現在の自機がD-3なら、戦闘終了後、ステーションの情報システムを撹乱し、機能を停止させることに成功する。その場合は戦功ポイントを5得る。
405 敵の通信を傍受し、敵中継ステーションが406にあることを知る。
406 402と同様。
408 残骸の陰に潜んでいた敵の急襲を受ける。自機がD-3ならこの戦闘を回避できるが、そうでない場合は、2機のゲバイと戦うこと。
409 敵の通信を傍受し、ギガノス軍中継ステーションが410に存在することがわかる。
410 402と同様。
502 敵の通信を傍受し、ギガノスの中継ステーションが402にあることを知る。
503 残骸のなかに、使用可能なパーツを発見する。自機の破損箇所のなかから、好きな部分の耐久力を3回復できる。
504 連合軍の通信が入り、連合軍の艦隊が609に集結していることを知る。
505~507 敵の追跡隊と接触。ダイン2機と戦闘すること。
509 503と同様。
510 409と同様。
603 504と同様。
606 504と同様。
607 408と同様。
609 地球連合艦隊と合流する。以後、敵と遭遇した場合、交戦しなくてはならない敵メタル・アーマーの数が少なくなる。指示のいちばん最後に名前を書かれているメタル・アーマーの数を1減らしてよい。これは、Aマップ上にいる限り有効。
610 408と同様。
702~704 505と同様。
706 503と同様。
707 408と同様。
708 505と同様。
806~809 505と同様。
905~907 505と同様。
○その他のヘクスでは、何も発生しません。

マップB〈グランド・キャニオン〉

連合軍輸送艦アイダホは、ドラグナーを乗せて地球へたどり着いた。しかし、そこは連合軍基地から遠い、ギガノスの勢力圏に近い地域だった。

スタート時の速度・高度 スタート地点は、Aマップの指示によって決められたとおりです。戦闘ディスプレイに移る際の最初の設定は、速度が150㍍、高度は6000㍍（と9000㍍の間）です。

行動不能時のオプション メーン・ノズルの破損による「行動不能」は、墜落と見なし、そのメカは自動的にゲームから除かれます。融合炉の破損による「行動不能」の結果は、マップAのときと同様です。ただし、ここではサイコロを振って1、5、3で爆発します。

104 連合軍の補給隊に接触。戦況ポイントが8以上なら、補給を受ける。耐久力を合計で3回復できる（どのメカの、どの部分の耐久力を直しても構わない）。
107 敵の偵察隊と遭遇。ゲバイ2機と交戦すること。戦いたくなければ、これを回避することもできる。ただし、その場合は戦功ポイントを2失なう。
108 107と同様。ただしゲバイ3機。
205 107と同様。ただし敵はガンドーラ4機。ガンドーラは地上の敵として戦う（高度が3000㍍以下のとき、両者の射撃命中値が+1）。
207 敵の通信を傍受。敵の補給基地が407にあり、周囲を敵が警戒していることがわかる。
306 敵と遭遇。シュワルグ1機、ダウツェン2機と戦う。ただし自機がD-3のときは、相手の接近を察知し、これを回避できる。
307 306と同様。
308 207と同様。
405 敵の補給部隊と遭遇する。これは回避しても構わない。交戦する場合は、護衛のゲバイ1機、シュワルグ1機、ダウツェン1機と戦うこと。相手をすべて倒したら戦功ポイントをさらに2得られる。
406 306と同様。
407 敵補給基地発見！ 発進してきたシュワルグ2機、ダウツェン2機と戦うこと。戦闘終了後、補給基地を破壊し、さらに戦功ポイントを4得る。
408 406と同様。
409 敵の通信を傍受し、敵基地が609にあることを知る。もし現在の自機がD-3なら、基地を攻撃する際の、比較的手薄な進入系路をチェックできる（609に着いたときに詳しく指示）。
501 敵の奇襲を受ける。シュワルグ1機。ダウツェン2機と戦う。ただし自機がD-3なら、これを

DRAGONAR BOARDGAME

❶ ゲームチャート

E-2 敵の出現位置決定表

サイコロの目の合計	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
敵の出現位置	後方近	後方中	左方近	右方近	左方中	右方中	左方遠	正面中	正面近	正面遠	右方遠

E-4 反応移動表

F：正面　B：後方　R：右方　L：左方
c：近距離　f：遠距離　m：中距離

①右旋回の場合

敵のいた位置	サイコロの目の合計	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
	右方	Bc	Bm	Lm	Lm	Lc	Fc	Rm	Rc	Fm	Bc	Bf
	後方	Lf	Bc	Bf	Rm	Fm	Rm	Rc	Lc	Fc	Rc	Bm
	正面	Bf	Bm	Fm	Lm	Lf	Lm	Lc	Fc	Bm	Bc	Rc
	左方	Bc	Rm	Lc	Rm	Bf	Bm	Lm	Lf	Lc	Bc	Fc

②左旋回の場合

敵のいた位置	サイコロの目の合計	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
	後方	Rf	Bc	Bf	Lm	Fm	Lm	Lc	Rc	Fc	Lc	Bm
	左方	Bc	Lm	Rc	Lm	Bf	Bm	Rm	Rf	Rc	Bc	Fc
	右方	Bc	Bm	Rm	Rm	Rc	Fc	Lm	Lc	Fm	Bc	Bf
	正面	Bf	Bm	Fm	Rm	Rf	Rm	Rc	Fc	Bm	Bc	Lc

③前進した場合

敵のいた位置	サイコロの目の合計	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
	正面	Bc	Rc	Rm	Fc	Rc	Fc	Lc	Fm	Lc	Lm	Bf
	右方	Bf	Bc	Lm	Lc	Fc	Rc	Rf	Rm	Rc	Bm	Bc
	左方	Bf	Bc	Rm	Rc	Fc	Lc	Lf	Lm	Lc	Bm	Bc
	後方	Lf	Bm	Lm	Rm	Rf	Bf	Bm	Lm	Lf	Bf	Rc

④反転した場合

敵のいた位置	サイコロの目の合計	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
	後方	Rf	Fm	Rm	Lm	Lf	Ff	Fm	Rm	Rf	Ff	Lc
	左方	Ff	Fc	Lm	Lc	Bc	Rc	Rf	Rm	Rc	Fm	Fc
	右方	Ff	Fc	Rm	Rc	Bc	Lc	Lf	Lm	Lc	Fm	Fc
	正面	Fc	Lc	Lm	Bc	Lc	Bc	Rc	Bm	Rc	Rm	Ff

回避できる。また、奇襲のため、出現位置決定の際、サイコロの目の合計に−2すること。

502 連合軍の通信により、友軍基地が701にあることがわかる。

503 107と同様。

505 205と同様。

506〜507 306と同様。

508 306と同様。ただし、シュワルグは1機ではなく2機。

509 508と同様。

602〜603 502と同様。

604 205と同様。

605 207と同様。

606 104と同様。ただし戦功ポイントが12以上であること。

608 508と同様。

609 敵基地を発見、攻撃する。発進してくるゲバイ2機、シュワルグ1機、ダウツェン1機、および敵基地と交戦すること。敵基地は地上の敵とみなし、自機の高度が3000㍍以下の場合、双方の命中値が+1になる。移動しないので戦闘ディスプレイ上には表示しないが、毎回命中値8、ダメージはファルゲンと同様で、攻撃してくる。装甲はなく、攻撃された場合は、破損部分決定表で融合炉の結果が出るか、合計で20のダメージを与えると壊滅。基地を壊滅させると、戦功ポイントを10得られる。また、D-3によって以前、侵入経路を探っていた場合には、シュワルグとダウツェンは発進してこない。

610 508と同様。

701 北米基地に到着。耐久力を合計で5ポイント回復してよい。ここでドラグナーは空母に積載され、太平洋に出る。マップCの、101へ。

702 501と同様。

703 502と同様。

704 107と同様。

705 405と同様。

706 409と同様。

708〜709 508と同様。

805 104と同様。ただし戦功ポイントが15以上の場合。

806 409と同様。

807 108と同様。

808 405と同様。

809 409と同様。

810 104と同様。

811 205と同様。

906 805と同様。

907 207と同様。

○その他のヘクスでは停止するごとにサイコロをひとつ振り1〜3が出たらシュワルグが1機出現します。

マップC〈海岸線〉

スタート時の速度・高度 速度は150㍍、高度は、0〜3000㍍です。

行動不能時のオプション マップBと同じ。ただし、融合炉は1のみ爆発。

302 敵の奇襲。ズワイ4機と戦う。自機がD-3でない場合は、出現位置決定のサイの目に−2。

303 敵の通信を傍受。敵部隊が903に集結中であることを知る。

501 敵基地を発見！ 戦闘に入る。マップBの609と同様に解決すること。ただし発進するのはシュワルグ2機、ダウツェン1機。D-3の特典については無視。

503 友軍の通信によって、補給物資が802にあることがわかる。

603 303と同様。

702 503と同様。

703 303と同様。

802 補給を受ける。戦功ポイントが21以上なら、耐久力を合計で4直せる。20以下なら2回復。

803 敵偵察部隊を発見。シュワルグ2機、ダウツェン2機と戦う。戦いたくなければ、戦功ポイントを2失って、回避できる。

903 連合軍基地攻略のため、集結中の敵部隊と遭遇する。シュワルグ2機、ダウツェン2機、ズワイ2機と戦う。戦功ポイントを5失って、これを回避してもいい。

1001 友軍基地に到着。クラフトユニットを受け取り、各機速度の上限が2段階上昇する。ここより中国へ向かう。マップDへ。

1003 803と同様。

○その他のヘクスで停止したときは、サイコロをひとつ振り、1〜2が出たらズワイ2機と遭遇し交戦する。

マップD〈重慶〉

スタート地点 106。速度250㍍、高度9000〜12000㍍。

103〜104 抗ギガノス組織より、402、403に敵との情報。

203〜205 敵兵の侵入を受け、自機以外の残りの2機（もしまだあれば）が破損。1機について2回、破損箇所決定表でサイコロを振り、耐久力を減らすこと。

301〜302 補給部隊と接触。戦功ポイントが25以上なら3ポイント、35以上なら10ポイントの耐久力を好きなように回復できる。

402〜403 敵の猛追撃を受ける。ファルゲン1機、ゲルフ3機と戦う。また、出現位置決定の際、サイコロの目に−1すること。

701〜702 通信により、重慶基地が1006にあるとわかる。

801〜805 401と同様。

902〜906 401と同様。

1006 重慶到着。ゲーム終了。

○その他のヘクスでは、6分の1の確率でゲルフ2機と遭遇、交戦する。

E-6a ダメージ決定表

攻撃したメカ	サイコロの目の合計	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
攻撃したメカ	ドラグナー1	1	2	2	3	3	4	4	4	4	5	6
	ドラグナー2	2	3	3	4	4	5	5	5	5	6	7
	ドラグナー3	1	1	2	2	2	2	3	3	3	3	3
	ダイン	1	2	2	2	2	2	3	3	3	4	4
	ゲバイ	1	1	2	2	2	2	3	3	3	4	4
	ファルゲン	2	3	3	3	3	3	4	4	4	5	6
	シュワルグ	1	2	2	2	2	2	3	3	3	3	3
	ガンドーラ	1	1	2	2	3	3	3	3	3	3	3
	ダウツェン	2	2	2	2	3	3	4	4	4	5	5
	ゲルフ	2	2	3	3	3	4	4	4	4	4	5
	ドラウ	1	1	1	2	2	2	2	2	3	3	3
	ズワイ	1	1	2	2	3	3	3	3	3	4	4

E-6b 破損部分決定表

サイコロの目の合計	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
破損部分	融合炉	メーンノズル	センサー	武器	メーンノズル	メーンノズル	制御ノズル	制御ノズル	武器	センサー	融合炉

戦功ポイント記録欄

ダメージ記録シート

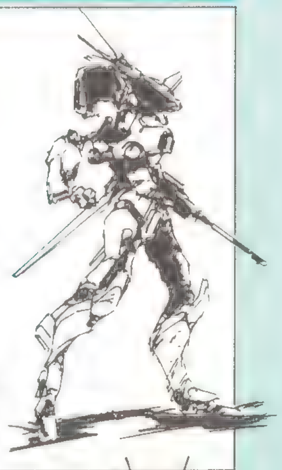
ドラグナー1

融合炉	□□□□
メーン・ノズル	□□□□□□
制御ノズル	□□□□□□ □□□□□□
武器	□□□□□□
センサー	□□
装甲	□□□□□□□□□□

ドラグナー2

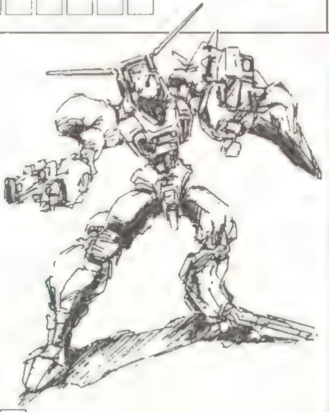
融合炉	□□□□
メーン・ノズル	□□□□□□
制御ノズル	□□□□□□ □□□□□□
武器	□□□□
センサー	□□
装甲	□□□□□□□□□□

ドラグナー3



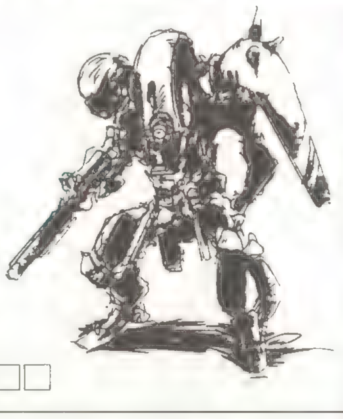
融合炉	□□□□
メーン・ノズル	□□□□
制御ノズル	□□□□□□ □□□□□□
武器	□□
センサー	□□□□□□□□
装甲	□□□□□□□

ダイン



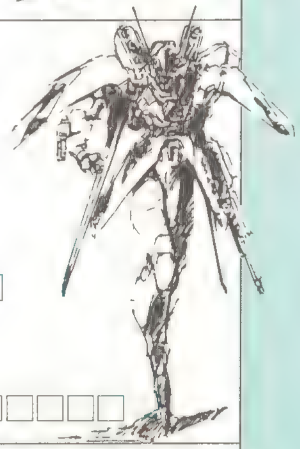
融合炉	□□
メーン・ノズル	□□
制御ノズル	□□□□
武器	□□□□
装甲	□□□□□□

ゲバイ



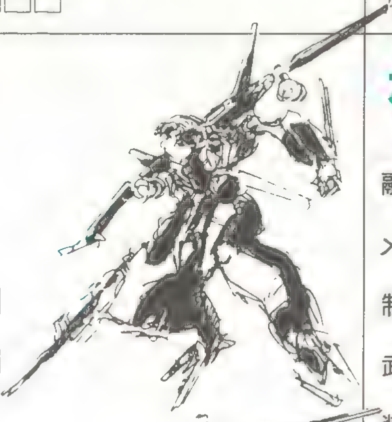
融合炉	□□
メーン・ノズル	□□
制御ノズル	□□□□
武器	□□□□
装甲	□□□□□□

ファルゲン



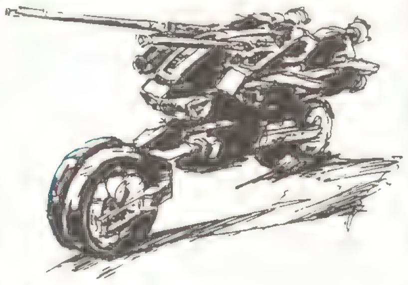
融合炉	□
メーン・ノズル	□□
制御ノズル	□□□□□□□□
武器	□□□□□□
装甲	□□□□□□□□□□□□

シュワルグ



融合炉	□□
メーン・ノズル	□□
制御ノズル	□□□□
武器	□□□□
装甲	□□□□

ガンドーラ



融合炉	□
メーン・ノズル	□□
制御ノズル	□□
武器	□□□□
装甲	□□□□□□

ダウツェン

融合炉	□
メーン・ノズル	□□
制御ノズル	□□
武器	□□□□□□
装甲	□□□□□□□□

ゲルフ

融合炉	□
メーン・ノズル	□□
制御ノズル	□□□□
武器	□□□□
装甲	□□□□□□□□□□□□

ドラウ

融合炉	□
メーン・ノズル	□
制御ノズル	□□
武器	□□
装甲	□□□□

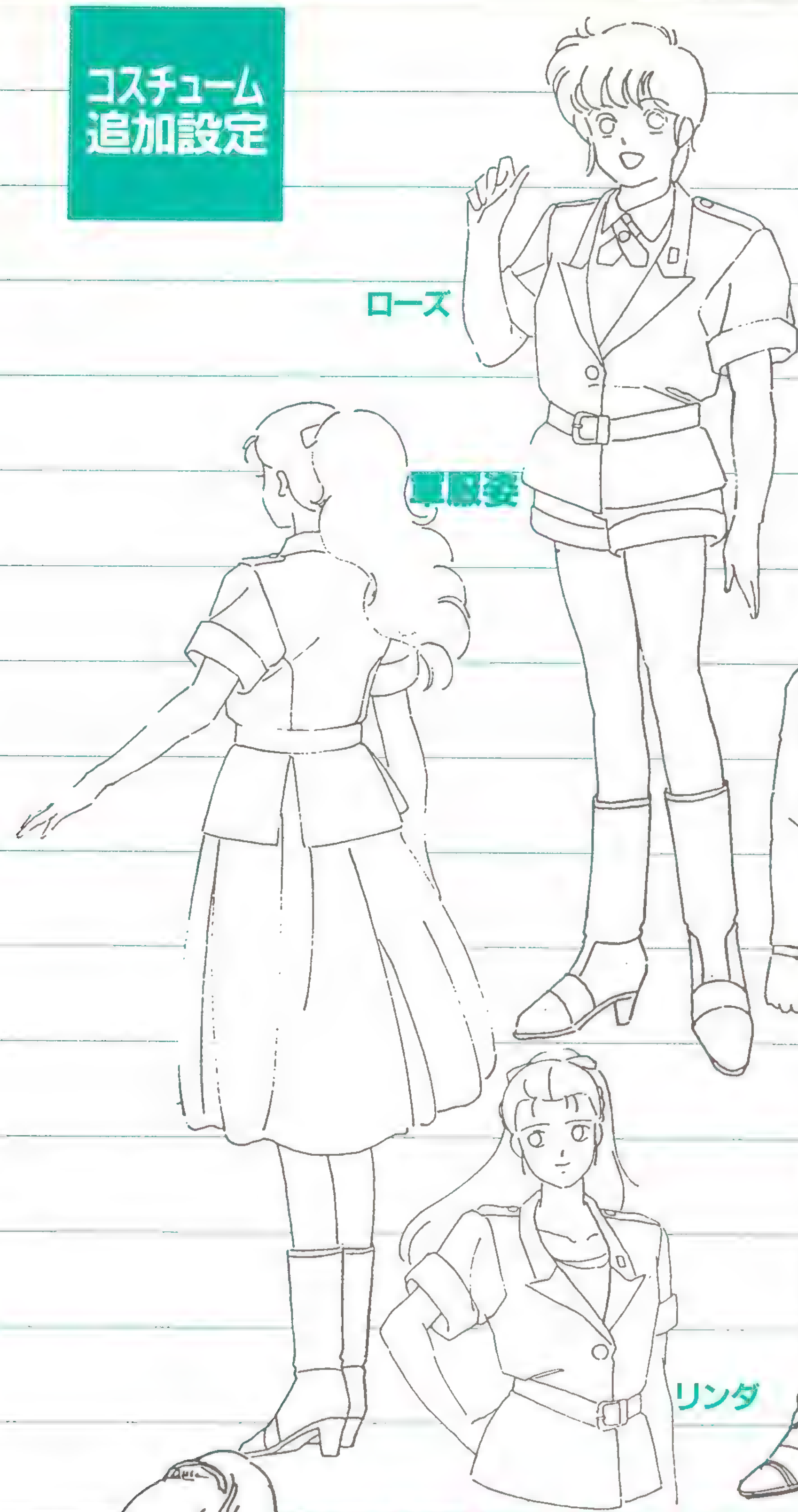
ズワイ

融合炉	□
メーン・ノズル	□□□□
制御ノズル	□□□□
武器	□□□□□□
装甲	□□□□

コスチューム
追加設定

完璧版 設定資料集
CHARACTER FILE

第21話以降、芦田豊雄&まんどりる・くらぶデザインのゲストキャラを中心に構成。小説版ドラグナー（角川文庫近刊）のためのオリジナルキャラ、クレスタをはじめ大貫健一の新設定や原画もファン必見だぞ



ローズ

軍服姿

リンダ

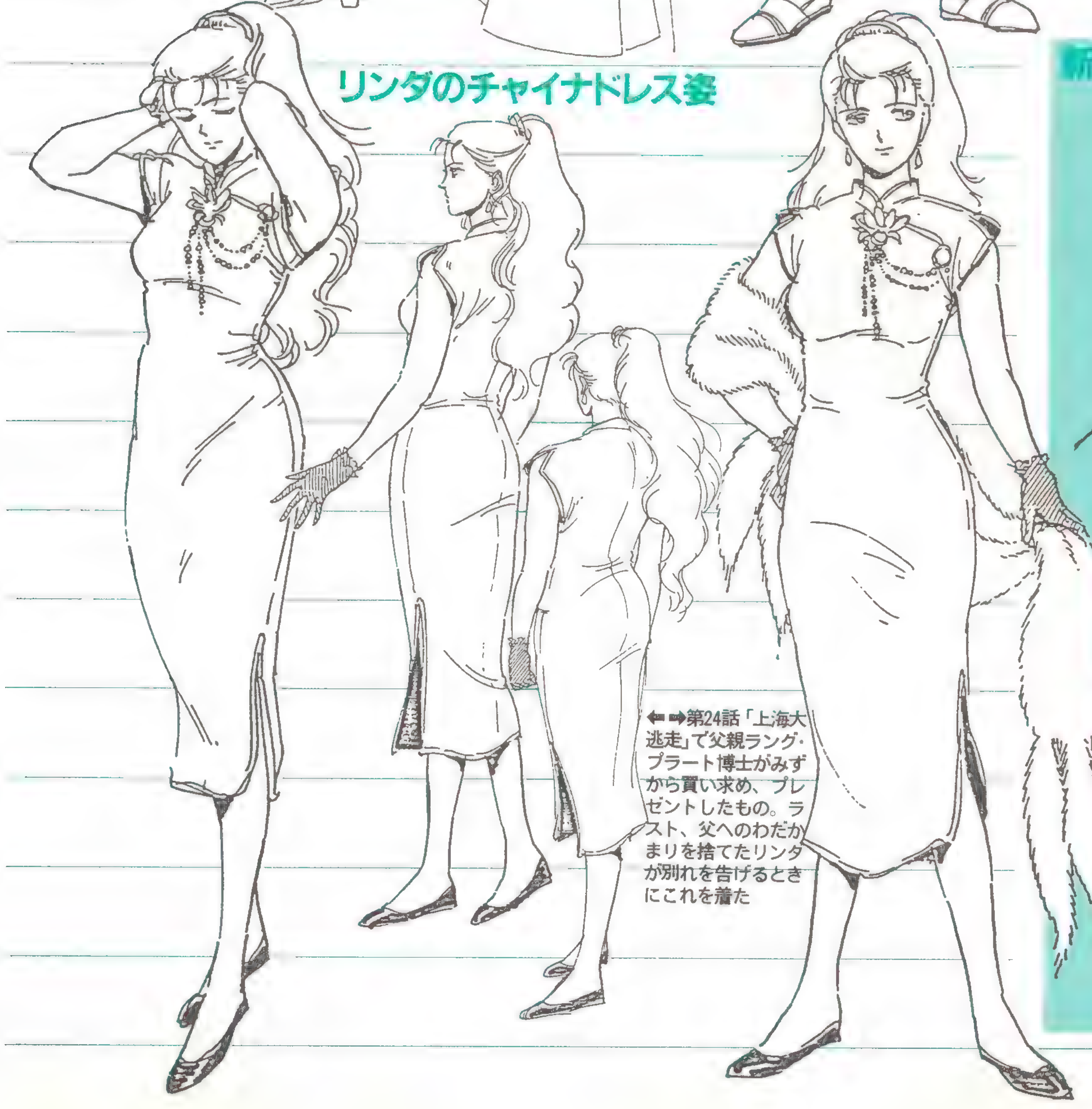
⬇第25話「D兵器改造計画」用に設定された制服姿。一度は軍を離れようとした3人は、重慶基地でD-1やD-2が廃棄処分にされ、量産タイプにとってかわられると知り、再び軍に戻る決意をするのだが……。歓迎パーティーのシーンでは、さらにフォーマルな装いをしていた。リンダとローズの軍服は第28話「脅威の毒蛇部隊」から。ドラグナー遊撃隊の後方支援にベンとともにつくため。階級はリンダが中尉でローズが少尉です

地球連合軍制服正装姿

ライト

タップ

ケーン

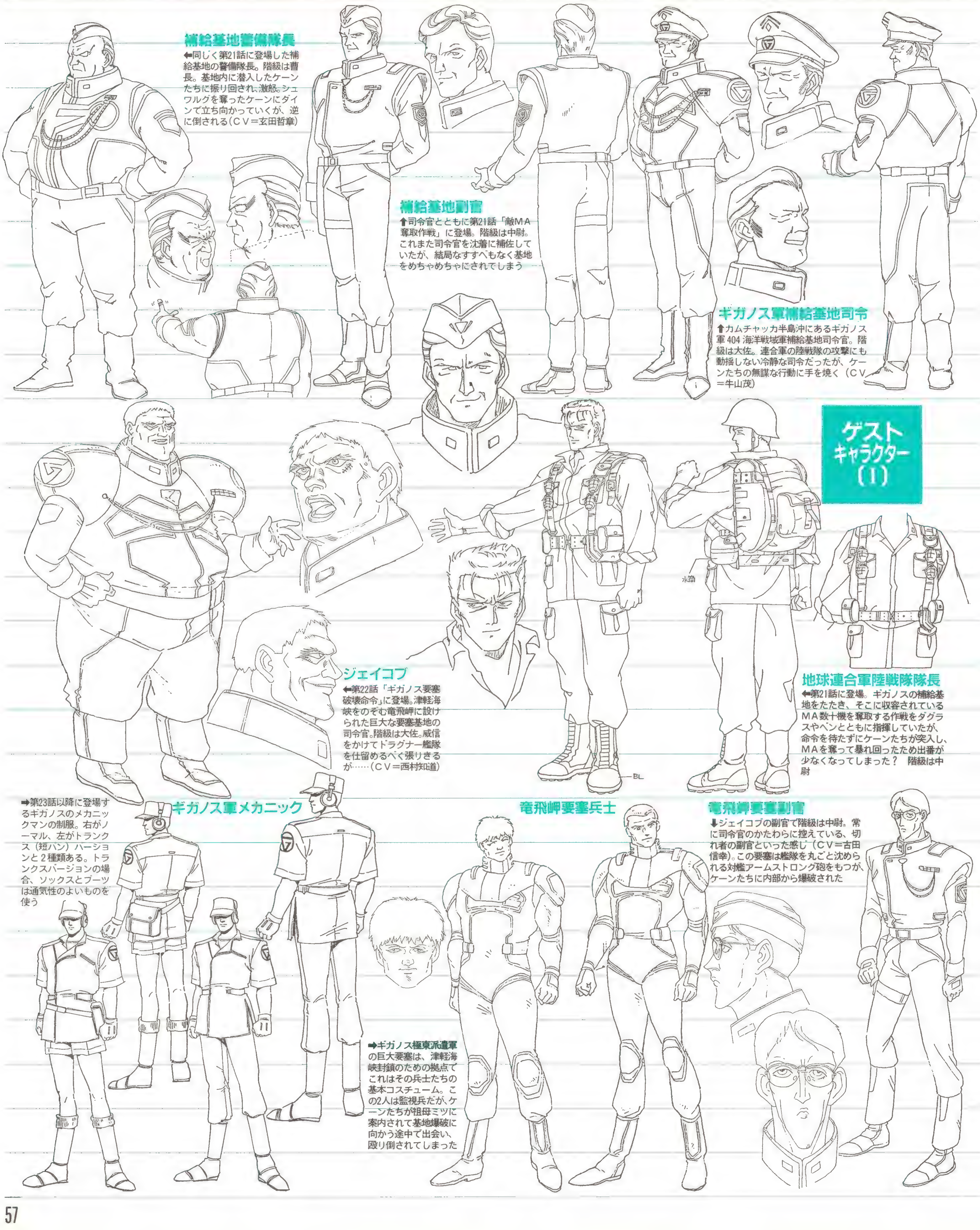


リンダのチャイナドレス姿

⬅➡第24話「上海大逃走」で父親ラング・プラート博士がみずから買い求め、プレゼントしたもの。ラスト、父へのわだかまりを捨てたリンダが別れを告げるときにこれを着た

新設定ヘルメット

ゲスト キャラクター (1)



補給基地警備隊長

⬅同じく第21話に登場した補給基地の警備隊長。階級は曹長。基地内に潜入したケーンたちに振り回され、激怒。シュワルグを奪ったケーンにダインで立ち向かっていくが、逆に倒される(CV=玄田哲章)

補給基地副官

⬆司令官とともに第21話「敵MA奪取作戦」に登場。階級は中尉。これまた司令官を沈着に補佐していたが、結局なすすべもなく基地をめちゃめちゃにされてしまう

ギガノス軍補給基地司令

⬆カムチャッカ半島沖にあるギガノス軍404海洋戦域軍補給基地司令官。階級は大佐。連合軍の陸戦隊の攻撃にも動揺しない冷静な司令だったが、ケーンたちの無謀な行動に手を焼く(CV=牛山茂)

ジェイコブ

⬅第22話「ギガノス要塞破壊命令」に登場。津軽海峡をのぞむ竜飛岬に設けられた巨大な要塞基地の司令官。階級は大佐。威信をかけてドラグナー艦隊を仕留めるべく張りきるが……(CV=西村知道)

地球連合軍陸戦隊隊長

⬅第21話に登場。ギガノスの補給基地をたたき、そこに収容されているMA数十機を奪取する作戦をダグラスやベンとともに指揮していたが、命令を待たずにケーンたちが突入し、MAを奪って暴れ回ったため出番が少なくなってしまった？　階級は中尉

ギガノス軍メカニック

➡第23話以降に登場するギガノスのメカニックマンの制服。右がノーマル、左がトランクス(短パン)バージョンと2種類ある。トランクスバージョンの場合、ソックスとブーツは通気性のよいものを使う

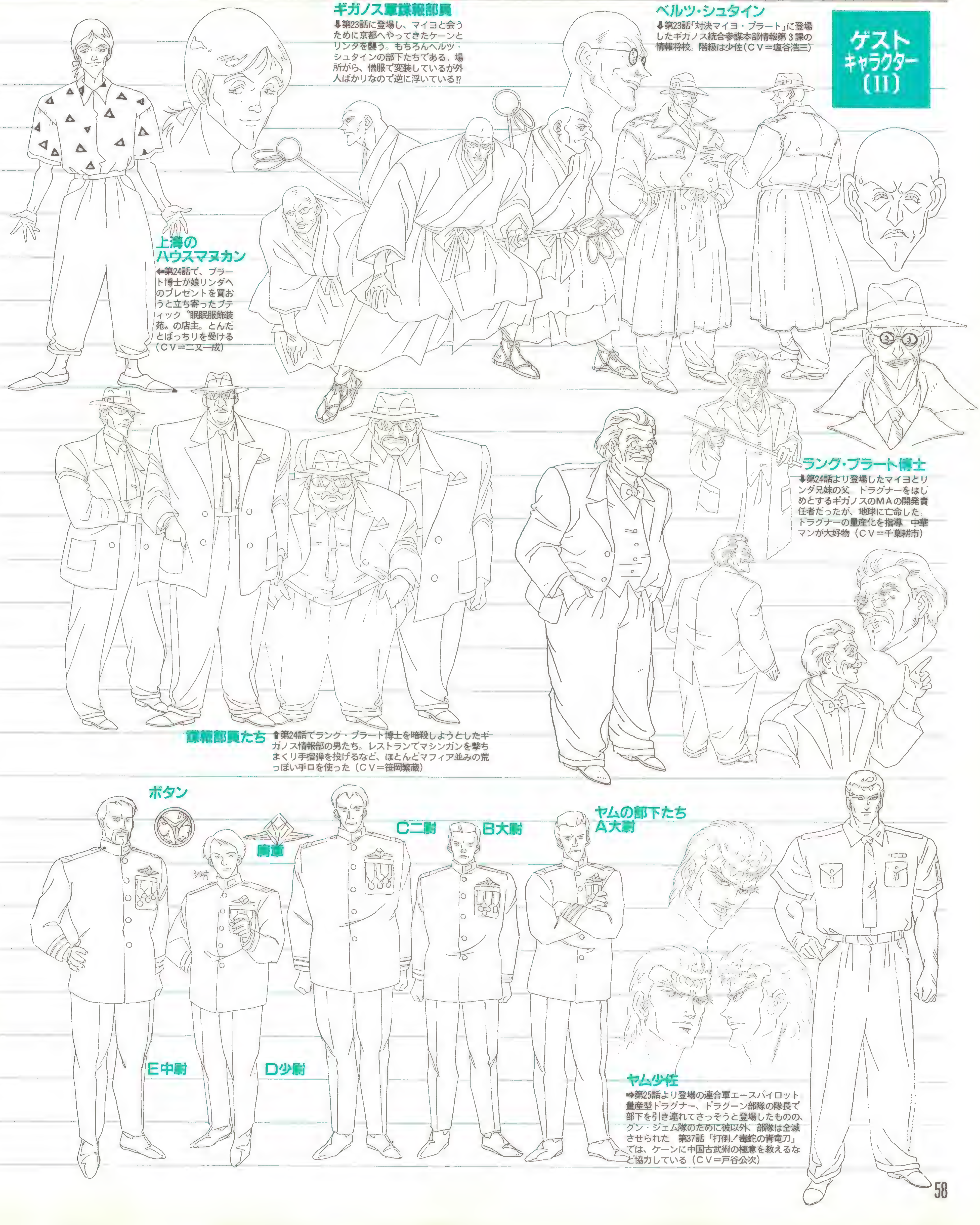
竜飛岬要塞兵士

➡ギガノス極東派遣軍の巨大要塞は、津軽海峡封鎖のための拠点でこれはその兵士たちの基本コスチューム。この2人は監視兵だが、ケーンたちが祖母ミツに案内されて基地爆破に向かう途中で出会い、殴り倒されてしまった

竜飛岬要塞副官

⬇ジェイコブの副官で階級は中尉。常に司令官のかたわらに控えている、切れ者の副官といった感じ(CV=古田信幸)。この要塞は艦隊を丸ごと沈められる対艦アームストロング砲をもつが、ケーンたちに内部から爆破された

ゲスト キャラクター〔II〕



ギガノス軍諜報部員

⬇第23話に登場し、マイヨと会うために京都へやってきたケーンとリンダを襲う。もちろんベルツ・シュタインの部下たちである。場所がら、僧服で変装しているが外人ばかりなので逆に浮いている⁉

ベルツ・シュタイン

⬇第23話「対決マイヨ・プラート」に登場したギガノス統合参謀本部情報第3課の情報将校。階級は少佐(CV＝塩谷浩三)

上海のハウスマヌカン

⬅第24話で、プラート博士が娘リンダへのプレゼントを買おうと立ち寄ったブティック〝眠眠服飾装苑〟の店主。とんだとばっちりを受ける（CV＝二又一成）

ラング・プラート博士

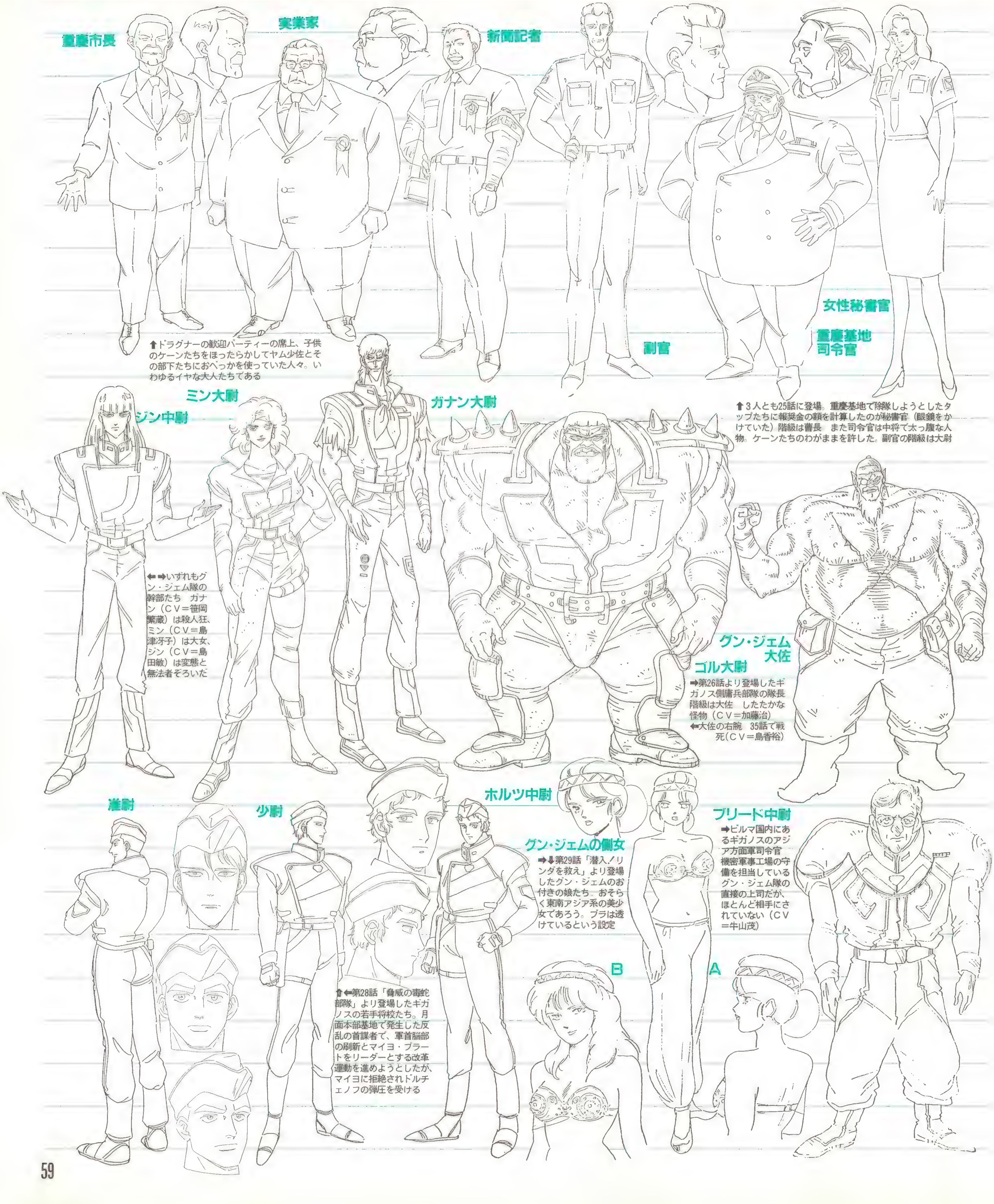
⬇第24話より登場したマイヨとリンダ兄妹の父。ドラグナーをはじめとするギガノスのMAの開発責任者だったが、地球に亡命した。ドラグナーの量産化を指導。中華マンが大好物（CV＝千葉耕市）

諜報部員たち

⬆第24話でラング・プラート博士を暗殺しようとしたギガノス情報部の男たち。レストランでマシンガンを撃ちまくり手榴弾を投げるなど、ほとんどマフィア並みの荒っぽい手口を使った（CV＝笹岡繁蔵）

ヤム少佐

➡第25話より登場の連合軍エースパイロット量産型ドラグナー、ドラグーン部隊の隊長で部下を引き連れてさっそうと登場したものの、グン・ジェム隊のために彼以外、部隊は全滅させられた。第37話「打倒!毒蛇の青竜刀」では、ケーンに中国古武術の極意を教えるなど協力している（CV＝戸谷公次）



⬆ドラグナーの歓迎パーティーの席上、子供のケーンたちをほったらかしてヤム少佐とその部下たちにおべっかを使っていた人々。いわゆるイヤな大人たちである

⬆3人とも25話に登場。重慶基地で除隊しようとしたタップたちに報奨金の額を計算したのが秘書官（眼鏡をかけていた）階級は曹長　また司令官は中将で太っ腹な人物。ケーンたちのわがままを許した。副官の階級は大尉

⬅➡いずれもグン・ジェム隊の幹部たち　ガナン（ＣＶ＝笹岡繁蔵）は殺人狂、ミン（ＣＶ＝島津冴子）は大女、ジン（ＣＶ＝島田敏）は変態と無法者ぞろいだ

➡第26話より登場したギガノス側傭兵部隊の隊長　階級は大佐　したたかな怪物（ＣＶ＝加藤治）
⬅大佐の右腕　35話で戦死（ＣＶ＝島香裕）

➡⬇第29話「潜入！リンダを救え」より登場したグン・ジェムのお付きの娘たち．おそらく東南アジア系の美少女であろう。ブラは透けているという設定

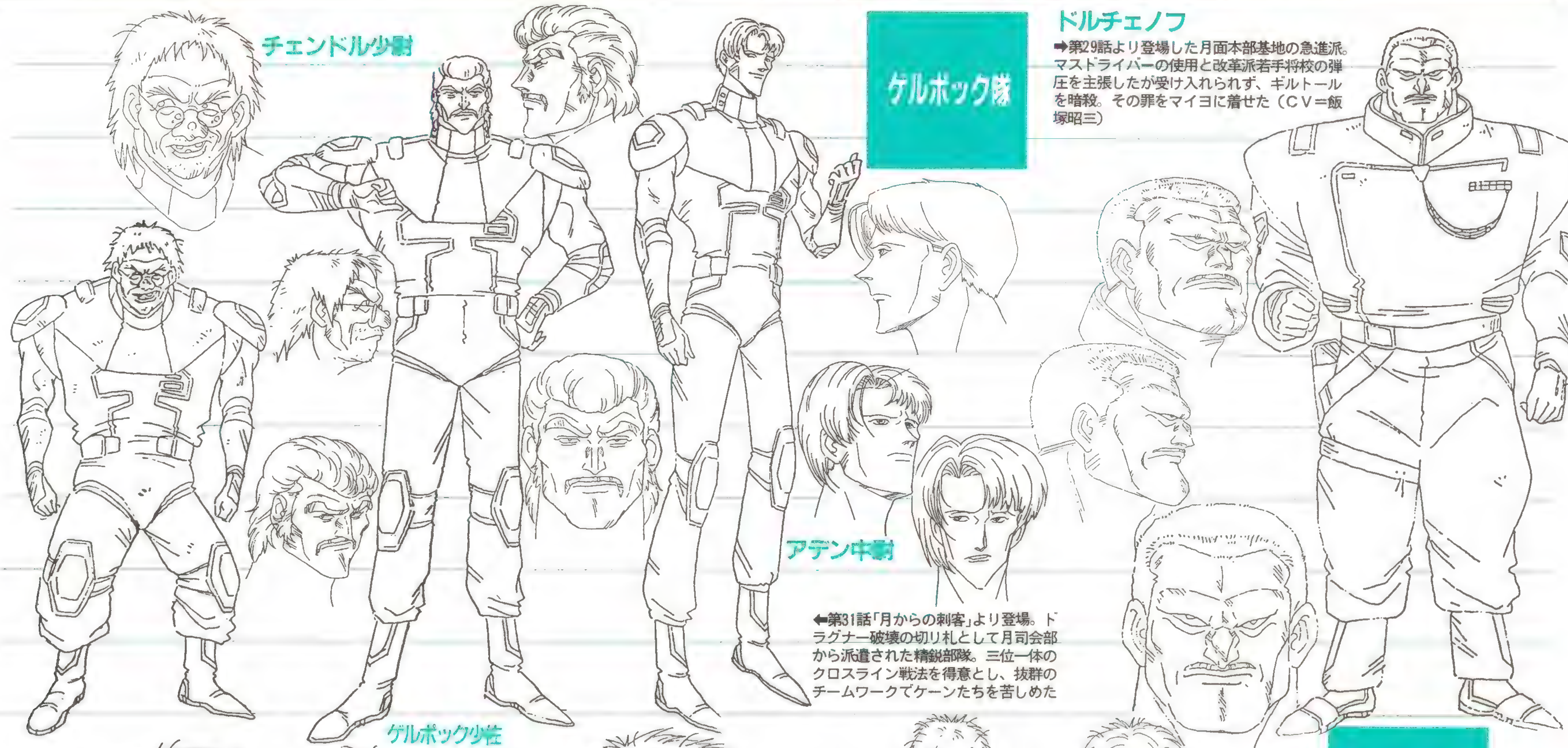
➡ビルマ国内にあるギガノスのアジア方面軍司令官機密軍事工場の守備を担当しているグン・ジェム隊の直接の上司だが、ほとんど相手にされていない（ＣＶ＝牛山茂）

⬆⬅第28話「脅威の毒蛇部隊」より登場したギガノスの若手将校たち。月面本部基地で発生した反乱の首謀者で、軍首脳部の刷新とマイヨ・プラートをリーダーとする改革運動を進めようとしたが、マイヨに拒絶されドルチェノフの弾圧を受ける

ゲルボック隊

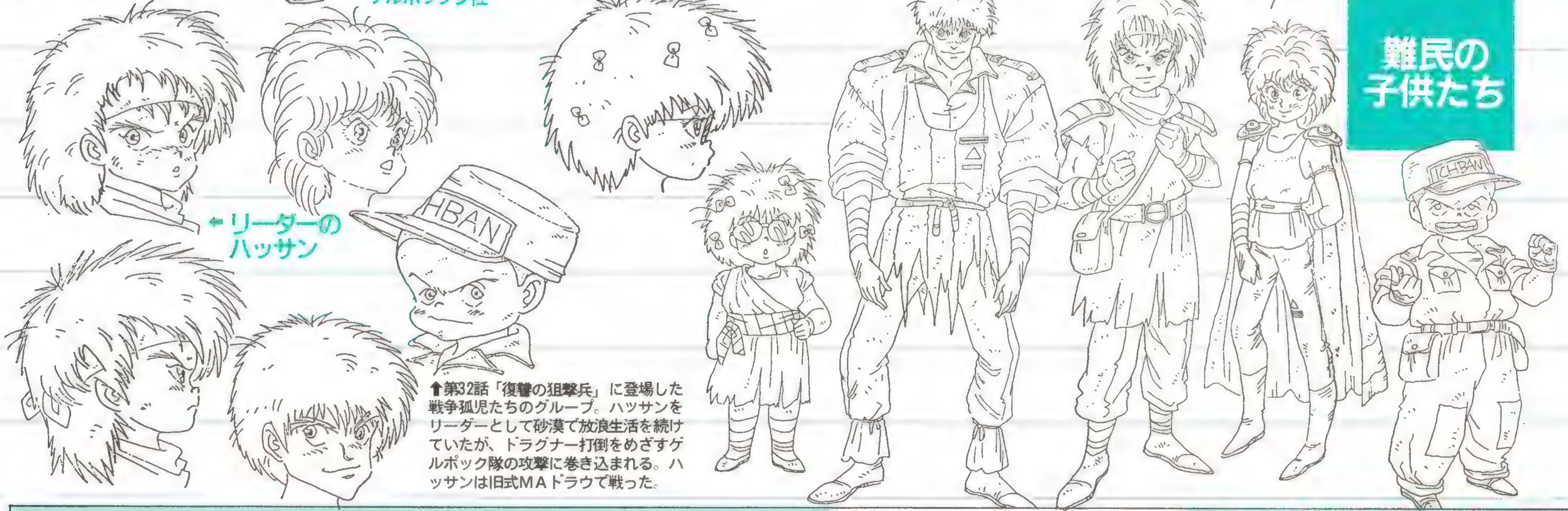
ドルチェノフ

➡第29話より登場した月面本部基地の急進派。マスドライバーの使用と改革派若手将校の弾圧を主張したが受け入れられず、ギルトールを暗殺。その罪をマイヨに着せた（CV＝飯塚昭三）



⬅第31話「月からの刺客」より登場。ドラグナー破壊の切り札として月司会部から派遣された精鋭部隊。三位一体のクロスライン戦法を得意とし、抜群のチームワークでケーンたちを苦しめた

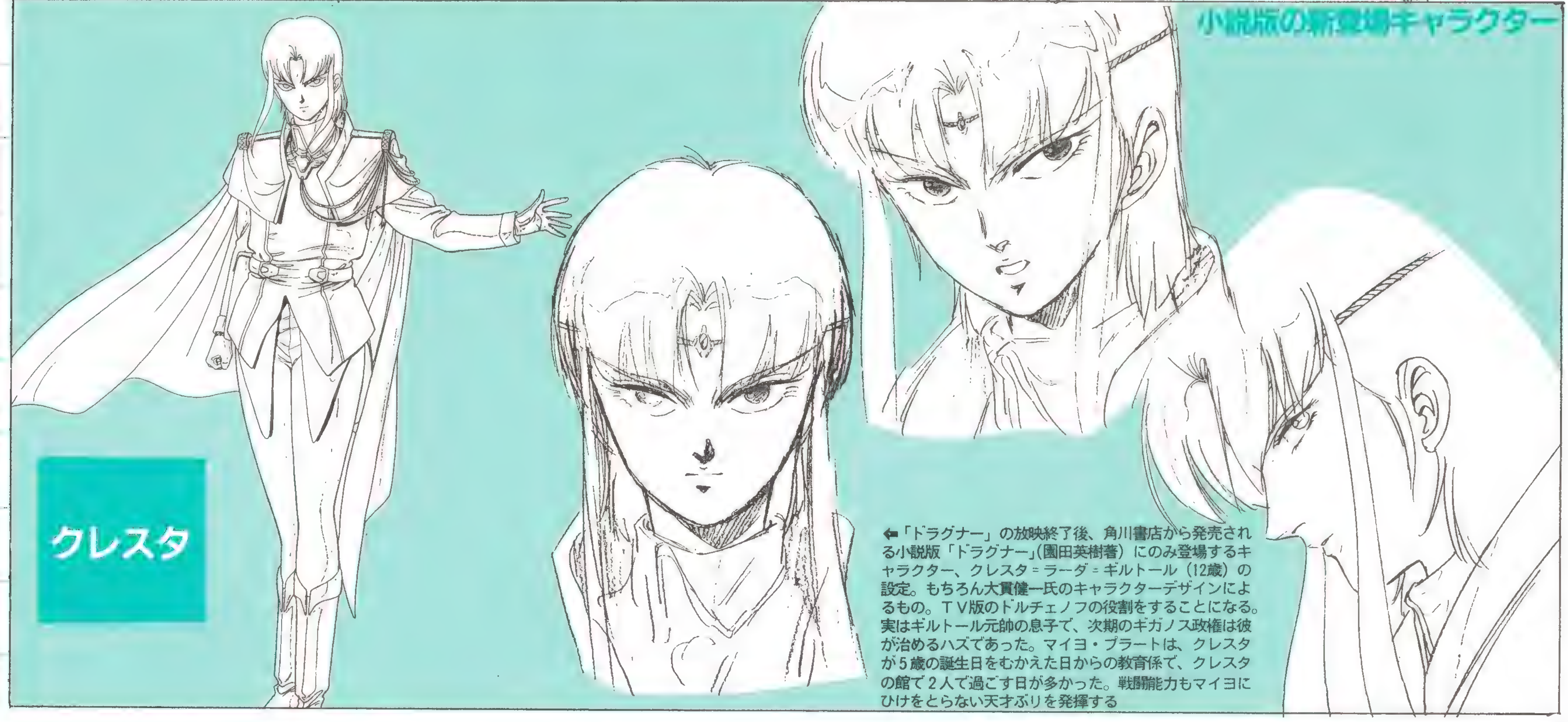
難民の子供たち



⬆第32話「復讐の狙撃兵」に登場した戦争孤児たちのグループ。ハッサンをリーダーとして砂漠で放浪生活を続けていたが、ドラグナー打倒をめざすゲルボック隊の攻撃に巻き込まれる。ハッサンは旧式MAドラウで戦った。

小説版の新登場キャラクター

クレスタ



⬅「ドラグナー」の放映終了後、角川書店から発売される小説版「ドラグナー」(園田英樹著）にのみ登場するキャラクター、クレスタ＝ラーダ＝ギルトール（12歳）の設定。もちろん大貫健一氏のキャラクターデザインによるもの。ＴＶ版のドルチェノフの役割をすることになる。実はギルトール元帥の息子で、次期のギガノス政権は彼が治めるハズであった。マイヨ・プラートは、クレスタが５歳の誕生日をむかえた日からの教育係で、クレスタの館で２人で過ごす日が多かった。戦闘能力もマイヨにひけをとらない天才ぶりを発揮する

描き下ろしキャラクター表情集

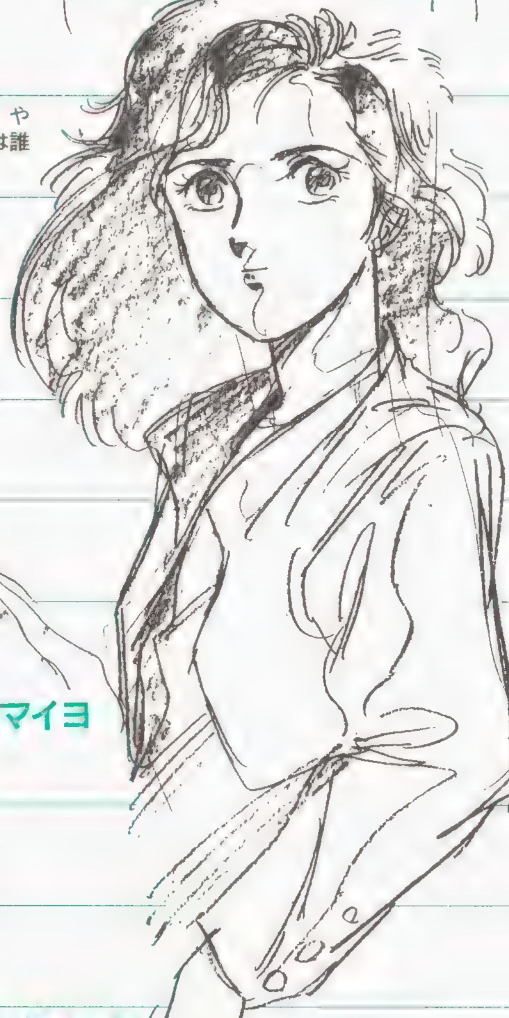
今回の描き下ろしキャラクター表情集は、TVシリーズ終了後のそれぞれのキャラクターをスケッチしてみました。大人になったケーンやリンダたちの表情を楽しんでください。おまけはマイヨの成長記録集…大貫健一先生のイメージスケッチのかずかずをご披露します。

ケーンとアオイ

⬅ギガノスから救出されたアオイとケーンのスナップ。ケーンにビンタをくらわすぐらい深い愛をもつ母の、やわらかな表情➡大人になったケーンと、その娘。やはり母親はリンダちゃんでしょう。ちょっとオシャマでやんちゃな…でも、やっぱり女の子というカンジがステキでしょ♡

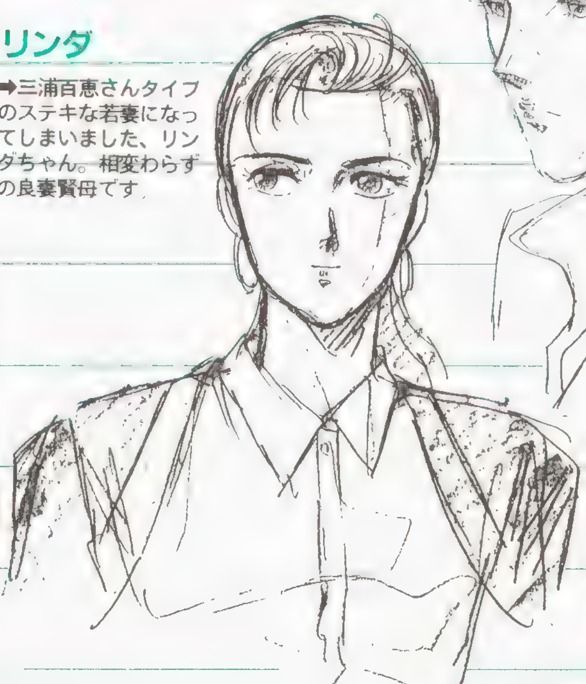
ケーンの娘

ケーン



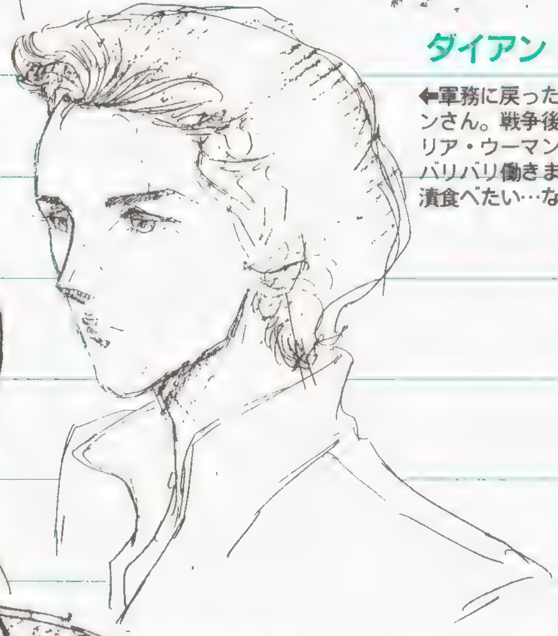
ローズ

➡大人っぽくなっちゃっても、やっぱりローズ。オシャレ感覚は誰にも負けませ〜ん



リンダ

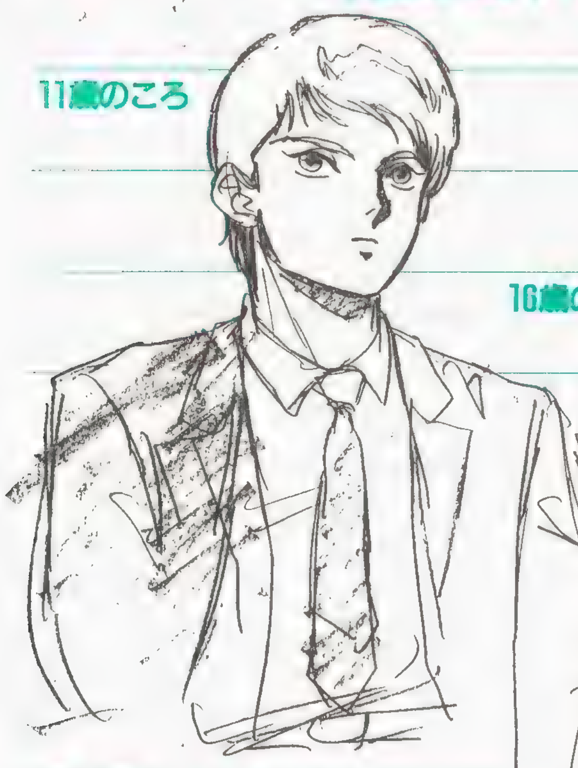
➡三浦百恵さんタイプのステキな若妻になってしまいました、リンダちゃん。相変わらずの良妻賢母です



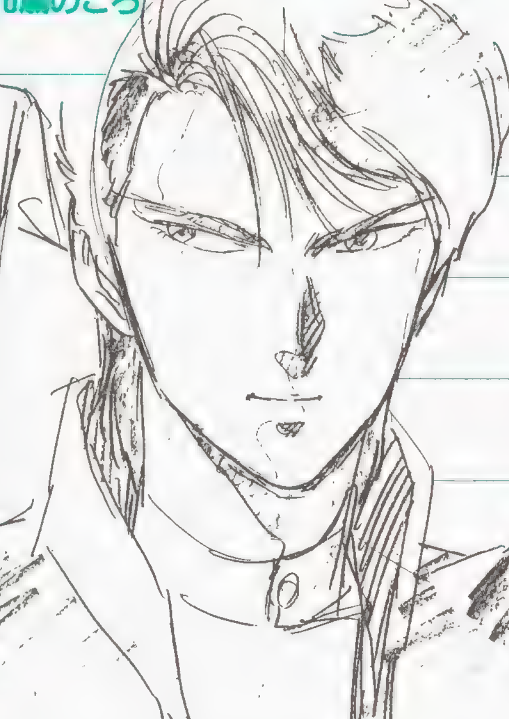
ダイアン

⬅軍務に戻ったダイアンさん。戦争後はキャリア・ウーマンとしてバリバリ働きます。柴漬食べたい…な〜んて

子供のころのマイヨ



11歳のころ



16歳のころ

若かりしころのマイヨ

⬆ガキンチョのころからエリート教育を受けてきたマイヨ。でも、やはり子供のころってば、誰でもカワイイものなのよ♡11歳のマイヨって、誰かに似てると思いません!?「オーメン２」のダミアン君ね♡16歳…ケーンと同年代のマイヨは、クールな美少年になってしまいました。ゾクゾクッ！

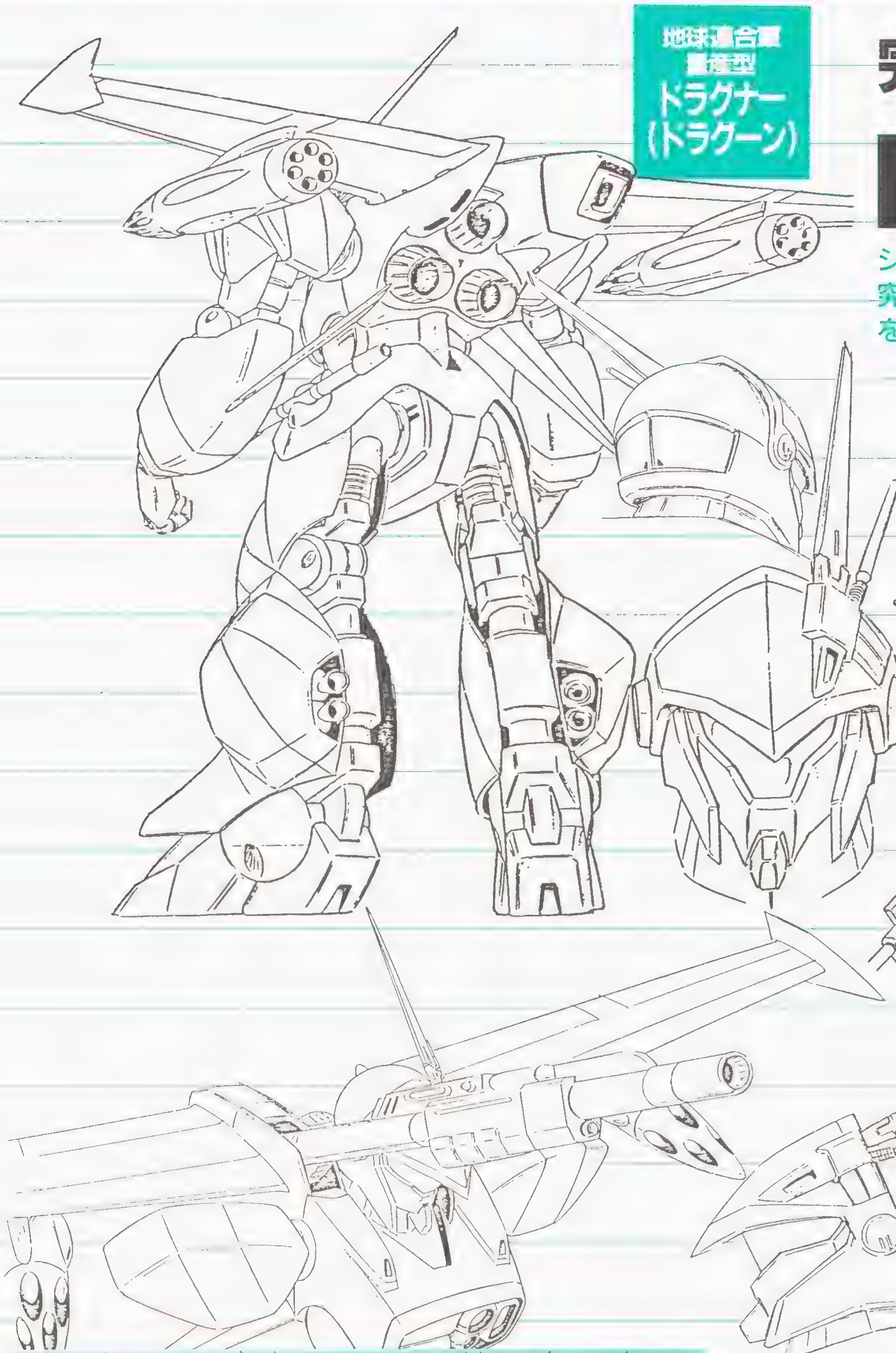
ライトとその恋人

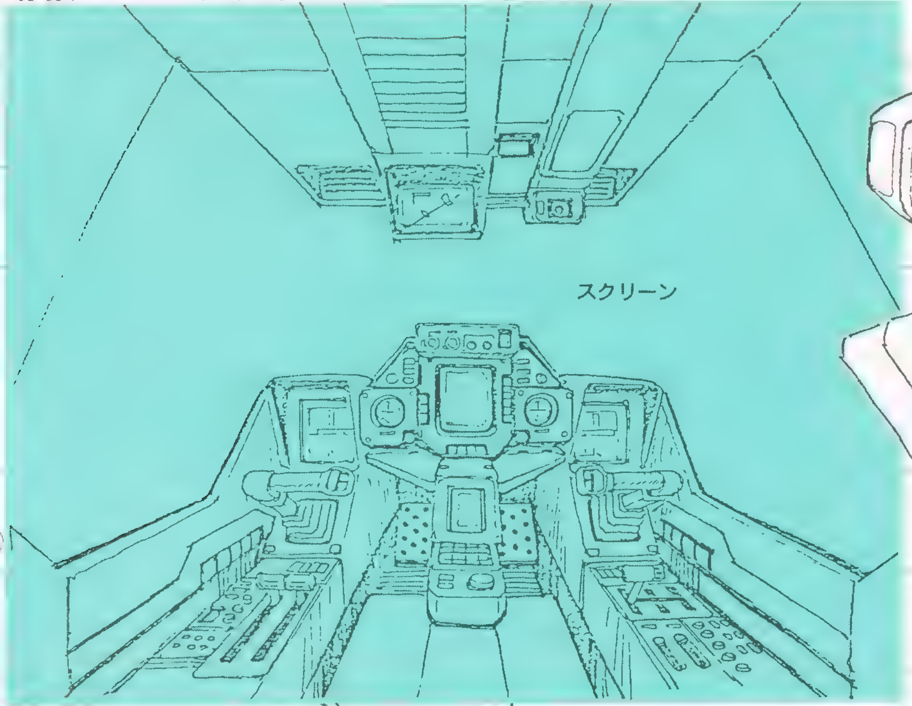
⬇恋人の現われなかったライト君のために、大貫先生がデザインしてくださいました。雑誌モデルをしている女の子…だそうです

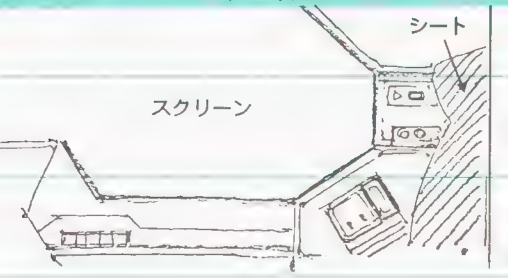
地球連合軍
量産型
ドラグナー
(ドラグーン)

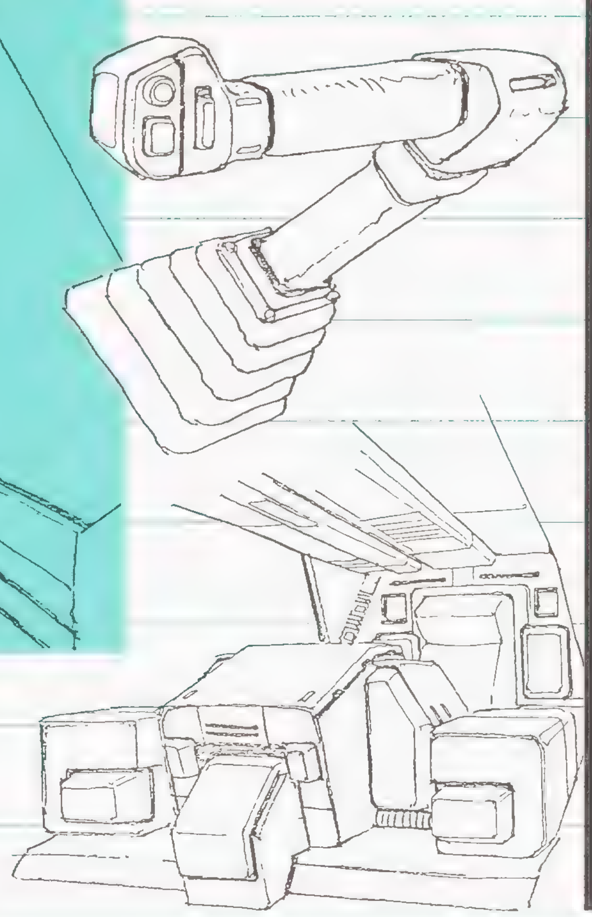
完璧版 設定資料集
MECHANIC FILE

シリーズ後半で活躍する量産型ドラグナーや各カスタムタイプから、究極の巨大メタル・アーマー・ギルガザムネまでの設定、スペックなどを総特集。これで「ドラグナー」の主要メカに関するデータは完璧だ！









コクピット

⬆➡量産型ドラグナーのコクピットは、ドラグナー1～3共通のコクピットを基に改良されたもので、レバーの操作性などが向上。全体にやや狭くなったほかは、モニター類も見やすくなっている

機甲戦記ドラグナー メカ・スペック①

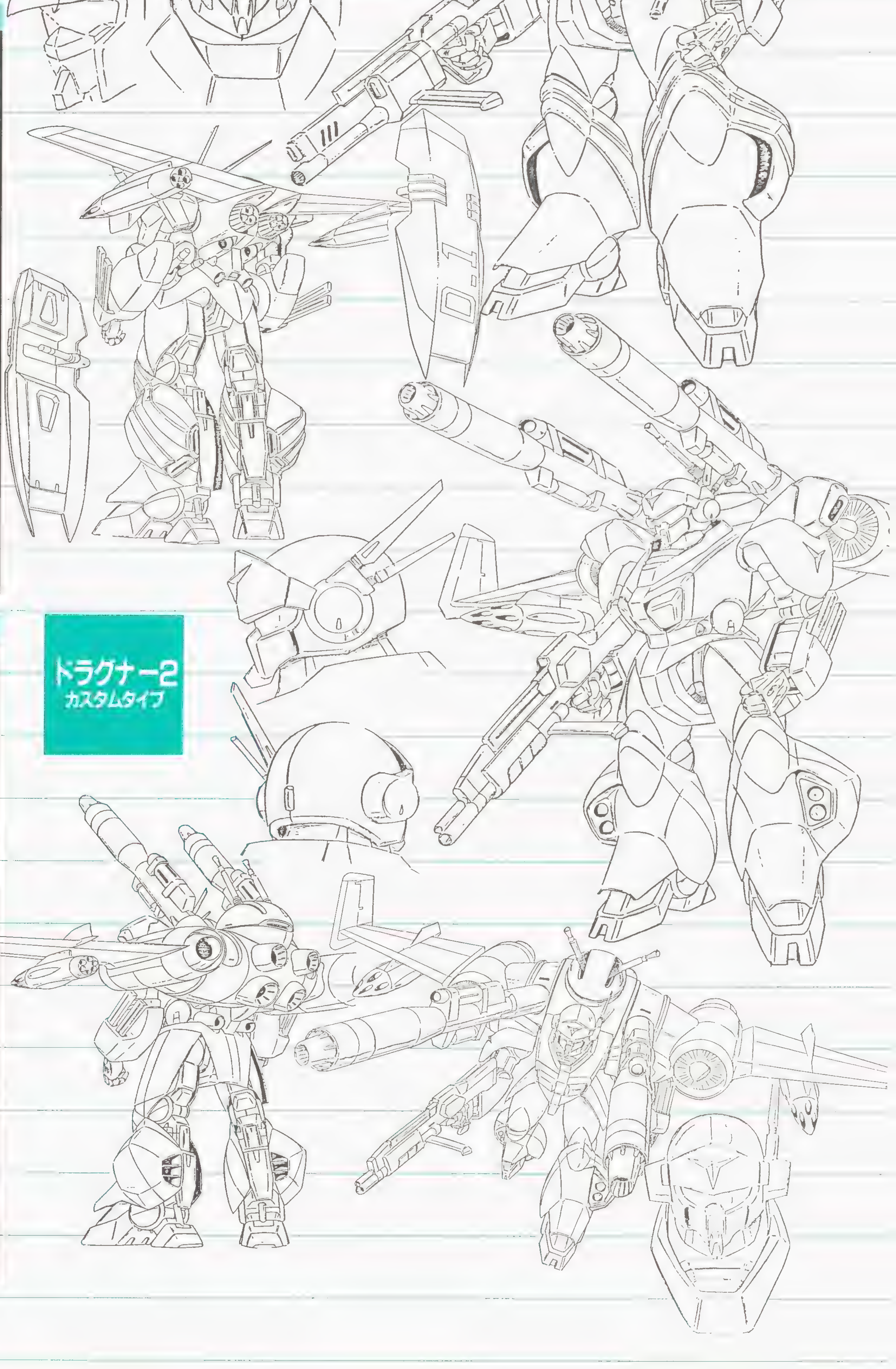
開発コード	No. MBD 1A 略称 ドラグーン(量産型ドラグナー)
25話～	地球連合軍量産型メタル・アーマー
頭頂高	17.3m
動力	IHI－301型 超小型核融合炉
出力	28万ポンド（ドライ） 34万ポンド（CMP） ※アフターバーナー使用時、8万ポンドをプラス。 メーンノズル×3 姿勢制御ノズル×17
最大速度	M（マッハ）0.98／SL（海面高度） M1.47(32000フィート)
航続距離	2920ノーチカルマイル（5408km）
CMP時間	46秒（MAX）〔回復時間 CMP≦5 2秒～CMP＝46 12秒〕
重量	運行自重 79.2t 最大発進重量 116.8t
出力重量比	1.199（ドライ） 1.798（CMP＋A／B）
探知装置	イメージセンサー TAS14型 重力場感知システム WG3S型
装甲	トリプルハートニス型 ヘビーコーティング
装甲厚	MAX 250mm
乗員	パイロット 1名
基本武装	●460ミリレールキャノン KGX 9型 発射速度 240発／分 携行弾数 120発 弾種 徹甲弾，爆裂弾及びプラズマ化弾 ●55.6ミリハンドレールガン LPS22型 発射速度 2200発／分 携行弾数 810発 弾種 徹甲弾及び爆裂弾 ●10連デュアルミサイルポッド×2 ●白兵戦用レーザーソード ハードポイント 2（ペイロード総量17.5t）

機甲戦記ドラグナー　メカ・スペック②

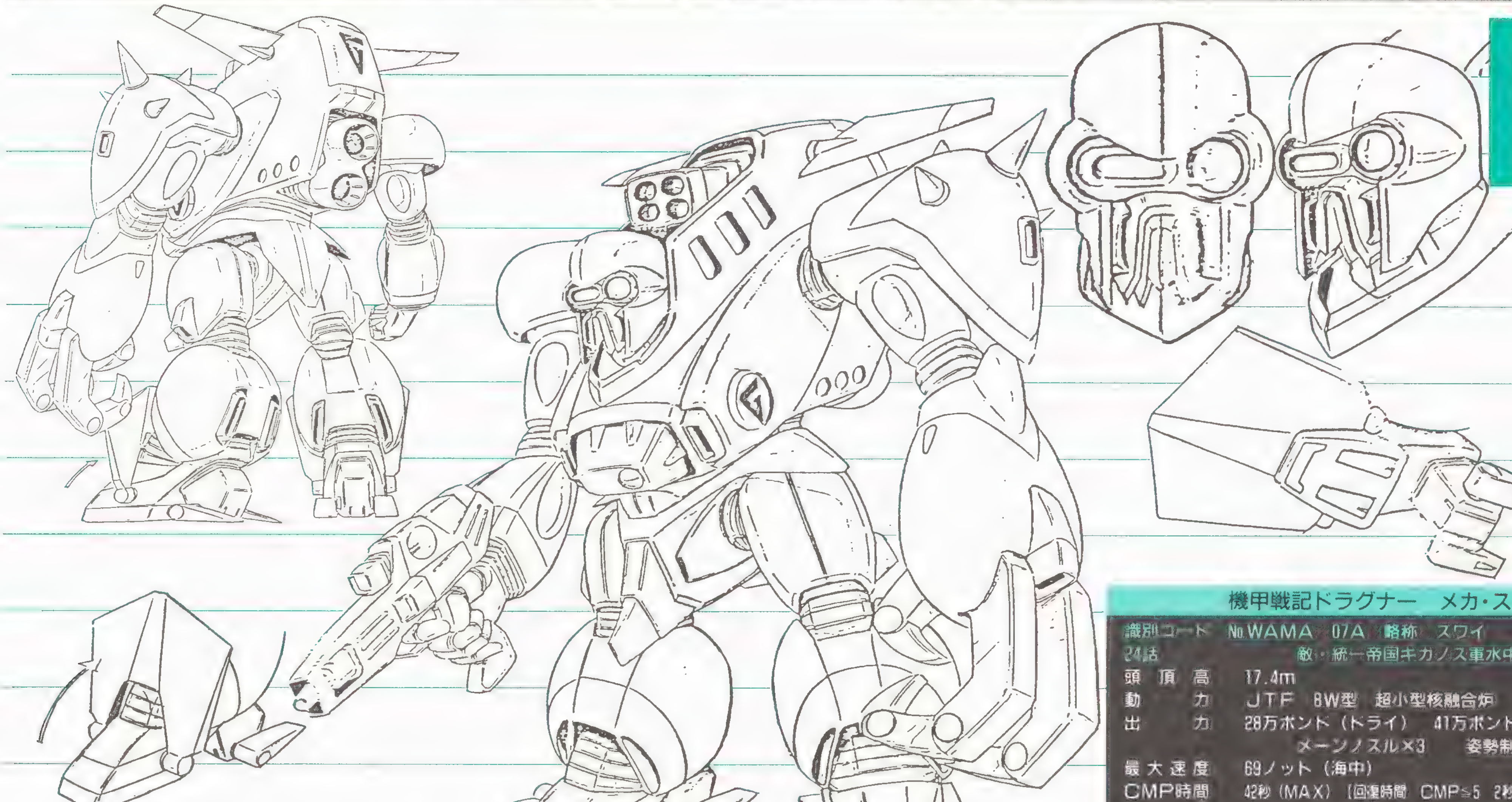
開発コード	No XD 01SR "ドラグナー1型カスタム" 略称 ディーワンカスタム
25話〜	主人公ケーン・ワカバ専用メタル・アーマー
頭頂高	17.6m
動力	FPW−4M型　超小型核融合炉×2
出力	24万ポンド（ドライ）　39.5万ポンド（CMP） ＊アフターバーナー使用時、9.5万ポンドをプラス。 メーンノズル×6　姿勢制御ノズル×16
最大速度	M（マッハ）0.98／SL（海面高度）　M1.64（32000フィート）
航続距離	2460ノーチカルマイル（4556km）
CMP時間	32秒（MAX）　［回復時間　CMP≦5　1.8秒〜CMP＝32　8秒］
重量	運行自重　78.7t　最大発進重量　121.6t
出力重量比	0.987（ドライ）　2.015（CMP＋A／B）
探知装置	イメージセンサー　TAS15型　重力場感知システム　WG3S型
装甲	トリプルハードニス型　ヘビーコーティング
装甲厚	MAX　155㎜
乗員	パイロット　1名
基本武装	●55.6ミリハンドレールカン　LPS32型 発射速度　2200発／分　携行弾数　1620発 弾種　徹甲弾及び爆裂弾 マルチディスチャージャー 携行弾数　5発　弾種　徹甲弾、爆裂弾及びプラズマ化弾 ●6連デュアルミサイルポット×2 ●白兵戦用レーザーソード×2 ●白兵戦用アサルトナイフ×2 ●スーパーハイブリッドシールド ●対MA用手留弾　●スローインホム ●2連25ミリ機関砲×2 発射速度　1500発／分　携行弾数　800発 弾種　徹甲弾及び爆裂弾 ○ハードポイント　2（ペイロード総量18t）

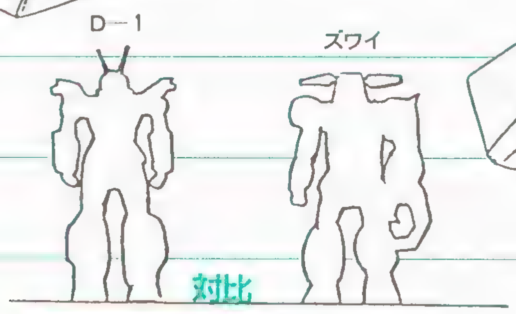
機甲戦記ドラグナー　メカ・スペック③

開発コード	No XD 02SR "ドラグナー2型カスタム" 略称 ディーツーカスタム
25話〜	タップ・オセアノ専用メタル・アーマー
頭頂高	16.8m
動力	FPW 4DM型　超小型核融合炉×2
出力	32.4万ポンド（ドライ）　42.9万ポンド（CMP） ＊アフターバーナー使用時、12万ポンドをプラス。 メーンノズル×8　姿勢制御ノズル×14
最大速度	M（マッハ）0.90／SL（海面高度）　M1.32（32000フィート）
航続距離	5850ノーチカルマイル（10836km）
CMP時間	52秒（MAX）　［回復時間　CMP≦5　2秒〜CMP＝52　26秒］
重量	運行自重　132.5トン　最大発進重量　189.9トン
出力重量比	0.853（ドライ）　1.445（CMP＋A／B）
探知装置	イメージセンサー　TAS12型　重力場感知システム　WG9型
装甲	トリプルハードニス型　ヘビーコーティング
装甲厚	MAX　475㎜
乗員	パイロット　1名
基本武装	●640ミリレールキャノン　BM　06型 発射速度　180発／分　携行弾数　240発 弾種　徹甲弾　爆裂弾及びプラズマ化弾 ●88ミリハンドレールカン　LPS33型 発射速度　1450発／分　携行弾数　660発 弾種　徹甲弾及び爆裂弾 マルチディスチャージャー 携行弾数　3発　弾種　徹甲弾、爆裂弾及びプラズマ化弾 ●75ミリ2連装自動砲 発射速度　130発／分　携行弾数　260発 弾種　徹甲弾及び爆裂弾 ●10連デュアルミサイルポット×2 ●2連ヘビーデュアルミサイル×2 ●白兵戦用アサルトナイフ×2 ●2連25ミリ機関砲×2 発射速度　1500発／分　携行弾数　800発 弾種　徹甲弾及び爆裂弾 ○ハードポイント　2（ペイロード総量27t）



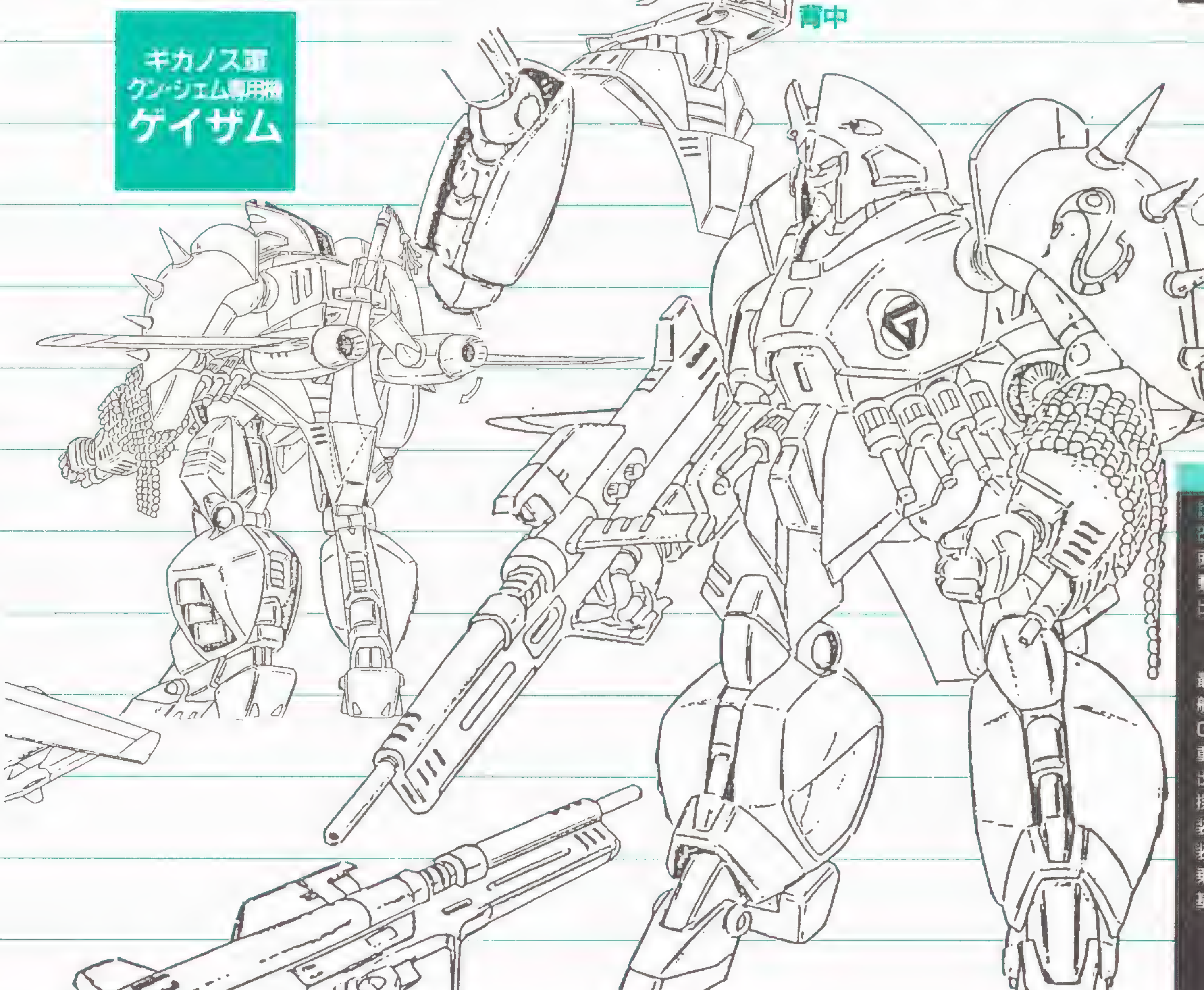
ギカノス軍
ズワイ



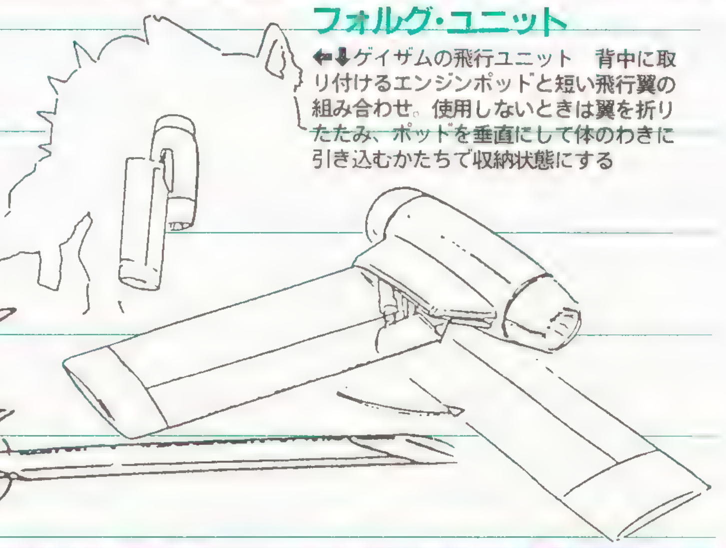


機甲戦記ドラグナー　メカ・スペック④	
識別コード	No.WAMA　07A　略称　ズワイ
24話	敵・統一帝国ギカノス軍水中用メタル・アーマー
頭頂高	17.4m
動力	JTF　8W型　超小型核融合炉
出力	28万ポンド（ドライ）　41万ポンド（CMP） メーンノズル×3　姿勢制御ノズル×17
最大速度	69ノット（海中）
CMP時間	42秒（MAX）［回復時間　CMP≤5　2秒～CMP=42　18秒］
重量	運行自重　97.0t　最大発進重量　152.0t
探知装置	イメージセンサー　AS7型　重力場感知システム　GVL5W型 水中センサー　WP2型　デュアルソナー
装甲	ステライト2型　アンチソナーコーティング
装甲厚	MAX　250mm
乗員	パイロット　1名
基本武装	●50ミリハンドレールガン　SSX5W型 発射速度　1600発　分　携行弾数　240発 弾種　徹甲弾及び爆裂弾 ●4連デュアルミサイルポット

ギカノス軍
グン・ジェム専用機
ゲイザム



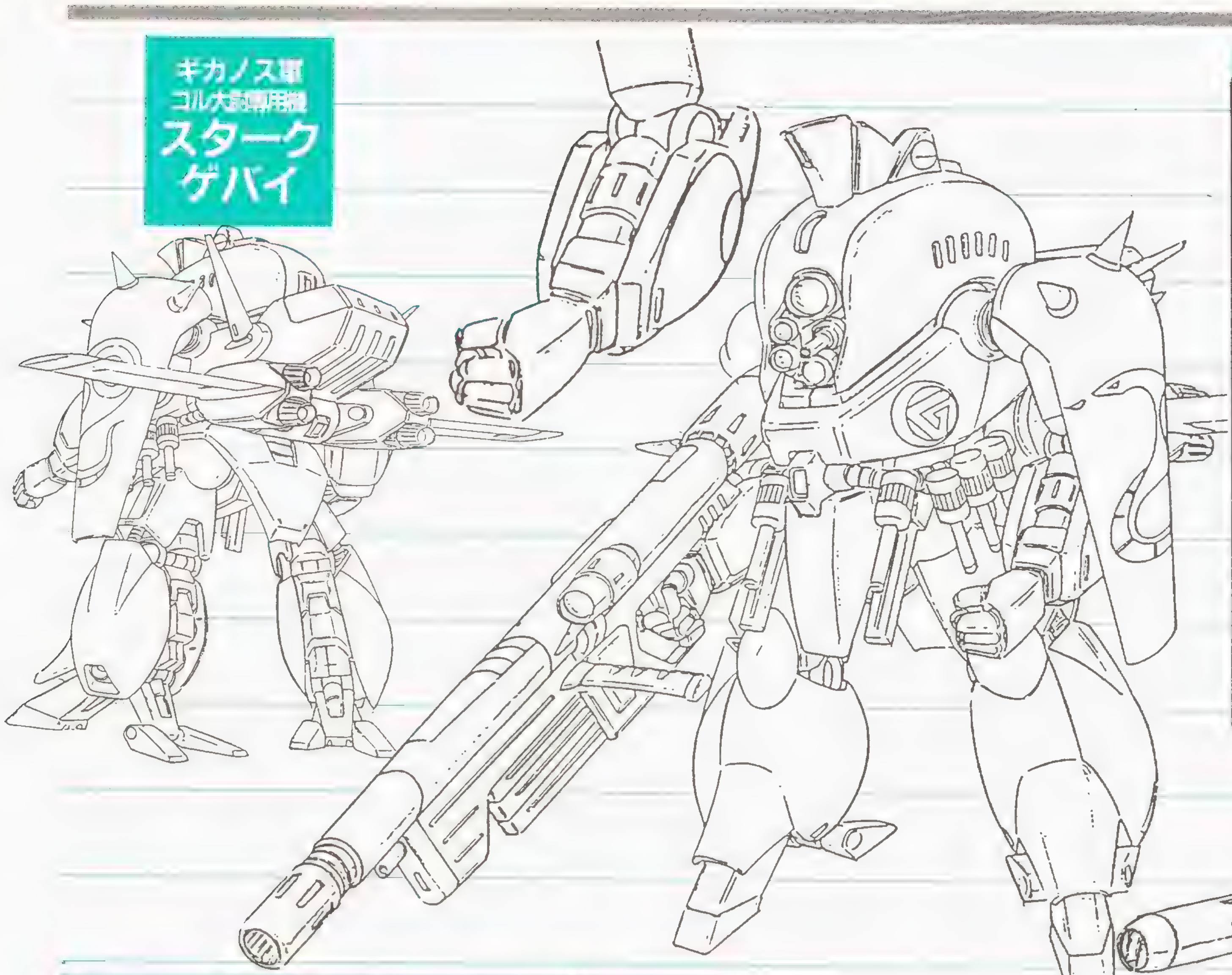
フォルグ・ユニット



⇐⇓ゲイザムの飛行ユニット　背中に取り付けるエンジンポッドと短い飛行翼の組み合わせ。使用しないときは翼を折りたたみ、ポッドを垂直にして体のわきに引き込むかたちで収納状態にする

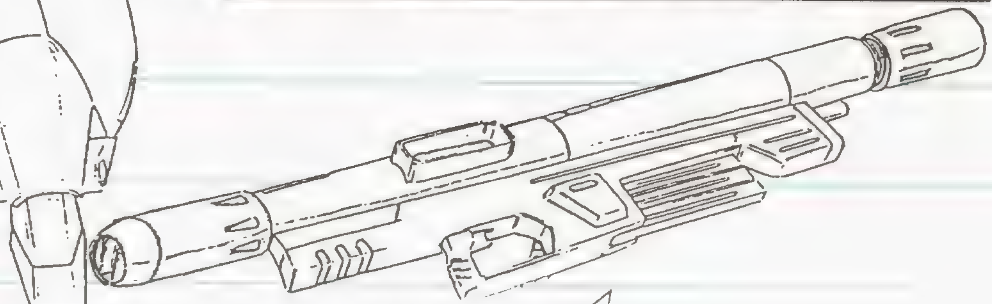
機甲戦記ドラグナー　メカ・スペック⑤	
識別コード	No.YAMA　13　略称　ゲイザム　グン・ジェム大佐専用機
26話～	敵・統一帝国ギカノス軍アジア方面軍グン・ジェム隊MA
頭頂高	17.7m
動力	JTF—8A型　超小型核融合炉
出力	30万ポンド（ドライ）　43万ポンド（CMP） ※アフターバーナー使用時、10万ポンドをプラス。 メーンノズル×2　姿勢制御ノズル×6
最大速度	M（マッハ）0.97／SL（海面高度）　M1.51（32000フィート）
航続距離	1680ノーチカルマイル（3111km）
CMP時間	39秒（MAX）［回復時間　CMP≤5　2秒～CMP=39　15秒］
重量	運行自重　95.2t　最大発進重量　143.7t
出力重量比	0.947（ドライ）　1.673（CMP+A　B）
探知装置	イメージセンサー　ASV5型　重力場感知システム　GLV5型
装甲	シモールA型　ヘビーコーティング
装甲厚	MAX　370mm
乗員	パイロット　1名（グン・ジェム）
基本武装	●50ミリハンドレールガン　SSX5R型 発射速度　2400発／分　携行弾数　960発 弾種　徹甲弾及び爆裂弾 ●30ミリ機関砲　SSX5R型 発射速度　4500発　分　携行弾数　1200発 弾種　徹甲弾及び爆裂弾 ●対MAハンドグレネード×8 ●白兵戦用ハイブリッドブロードサーベル

ギカノス軍
ゴル大尉専用機
スタークゲバイ



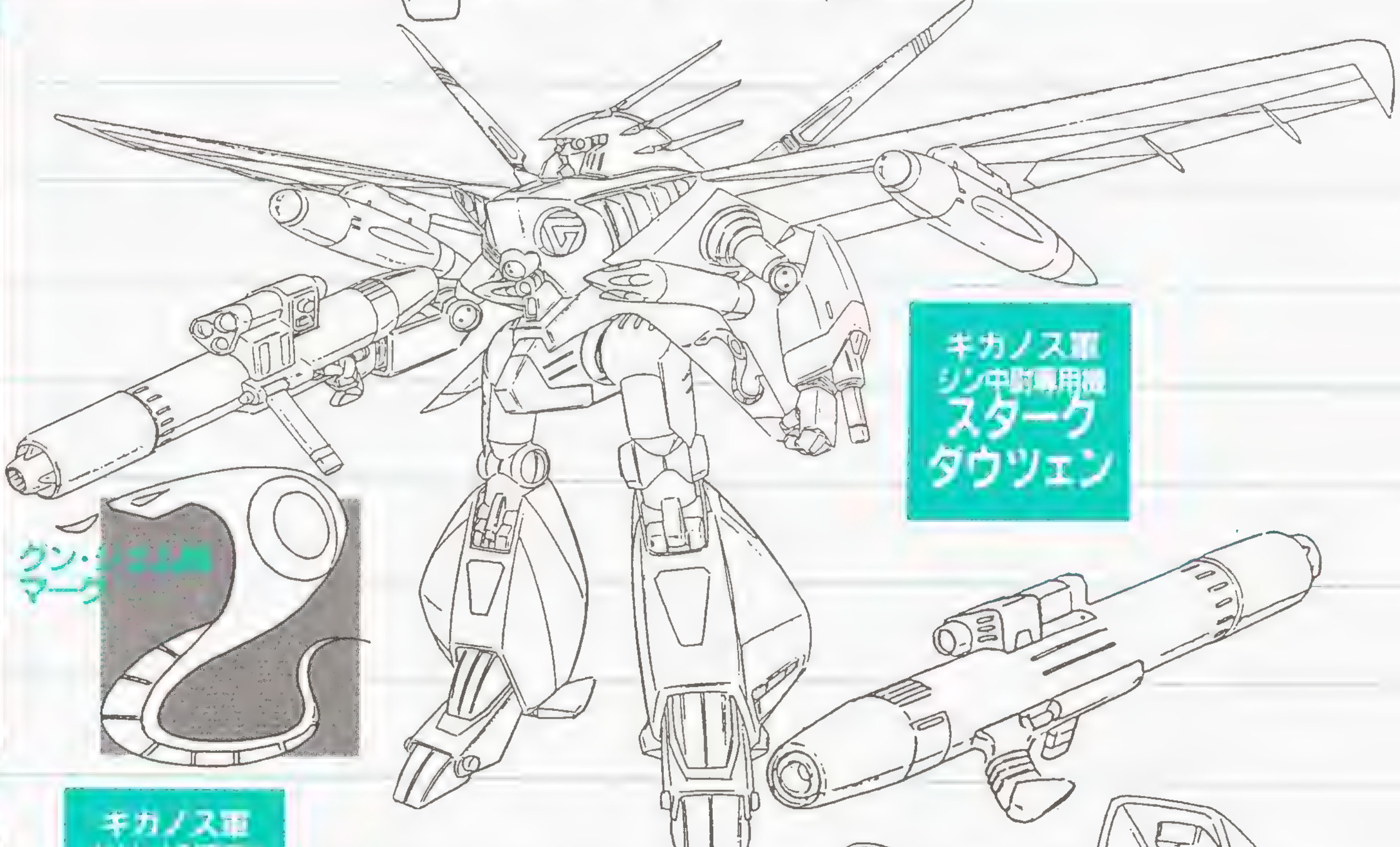
機甲戦記ドラグナー　メカ・スペック⑥

識別コード	No.AMA　03G　略称 スターク・ゲバイ　ゴル大尉専用機
26話〜	敵・統一帝国ギガノス軍アジア方面軍グン・ジェム隊MA
頭頂高	18.2m
動力	JTF　2G型　超小型核融合炉
出力	32万ポンド（ドライ）　44万ポンド（CMP） ＊アフターバーナー使用時、6万ポンドをプラス。 メーンノズル×4　姿勢制御ノズル×6
最大速度	M（マッハ）0.82　SL（海面高度）　M0.98（16000フィート）
航続距離	1650ノーチカルマイル（3056km）
CMP時間	40秒（MAX）〔回復時間　CMP≦5　2秒〜CMP＝40　26秒〕
重量	運行自重　150.4t　最大発進重量　207.7t
出力重量比	0.699（ドライ）　1.310（CMP＋A／B）
探知装置	イメージセンサー　AS7M型　重力場感知システム　GVS5型
装甲	マルチプルハイブリッド型　ヘビーコーティング
装甲厚	MAX　375mm
乗員	パイロット　1名（ゴル）
基本武装	●450ミリレールキャノン　SBX12型 発射速度　90発／分　携行弾数　60発 弾種　プラズマ化弾 50ミリハンドレールガン　SSX5S型付 発射速度　2100発／分　携行弾数　360発 弾種　徹甲弾及び爆裂弾 ●30ミリ機関砲×2 発射速度　1500発／分　携行弾数　600発 ●対MAハンドグレネード×8



機甲戦記ドラグナー　メカ・スペック⑦

識別コード	No.AFA　03G　略称　スターク・ダウツェン　シン中尉専用機
26話〜	敵・統一帝国ギガノス軍アジア方面軍グン・ジェム隊MA
頭頂高	18.7m
動力	JTF　7N型　超小型核融合炉
出力	23万ポンド（ドライ）　30万ポンド（CMP） ＊アフターバーナー使用時、9万ポンドをプラス。 メーンノズル×2　姿勢制御ノズル×8
最大速度	M（マッハ）0.98　SL（海面高度）　M1.62（32000フィート）
航続距離	3600ノーチカルマイル（6667km）
CMP時間	33秒（MAX）〔回復時間　CMP≦5　3秒〜CMP＝33　16秒〕
重量	運行自重　57.8t　最大発進重量　86.2t
出力重量比	1.210（ドライ）　2.052（CMP＋A／B）
探知装置	イメージセンサー　ASF3型　重力場感知システム　GVLF3型
装甲	ステライド2型　ヘビーコーティング
装甲厚	MAX　150mm
乗員	パイロット　1名（ジン）
基本武装	●220ミリレールキャノン　SBX07型 発射速度　240発／分　携行弾数　80発 弾種　徹甲弾及び爆裂弾 ●30ミリ機関砲　発射速度　4500発／分　携行弾数　1200発 ●5連IRMポッド×2 ●爆弾投射機×2 ●電子戦用エリントポッド×2 ○ハードポイント　4（ペイロード総量18t）



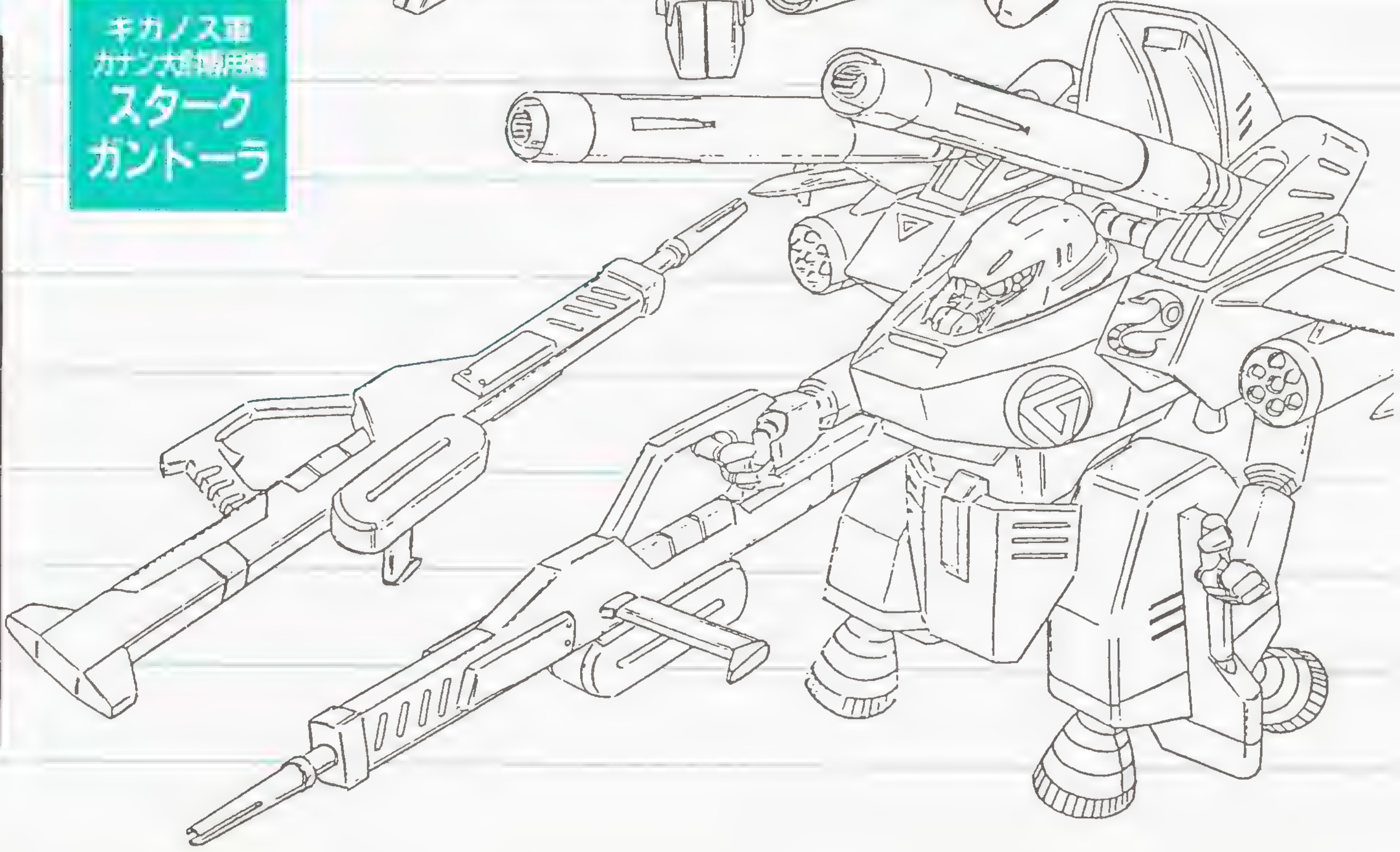
ギカノス軍
シン中尉専用機
スタークダウツェン

グン・ジェム隊マーク

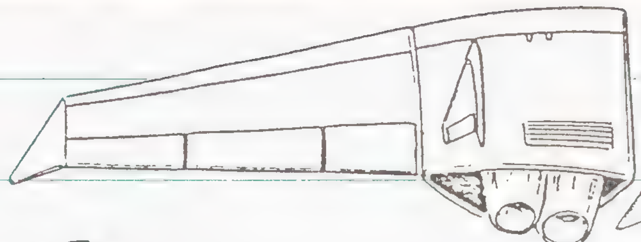
機甲戦記ドラグナー　メカ・スペック⑧

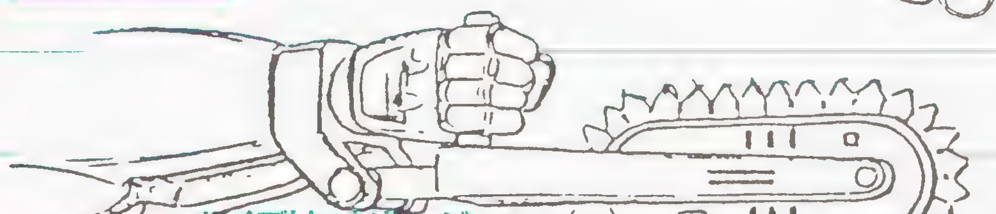
識別コード	No.AMA　06G　略称 スターク・ガントーラ　カナン大尉専用機
26話〜	敵・統一帝国ギカノス軍アジア方面軍グン・ジェム隊MA
全高	8.5〜13.2m（合体時、砲身含ます）
動力	JTF　2R型　超小型核融合炉×2
出力	13.2万ポンド×2（ドライのみ） メーンノズル×4　姿勢制御ノズル×4
最大速度	580km／h（地上）
重量	運行自重　21.5t（ドーラ）　23.6t（ガンツァー） 戦闘重量　42.6t（ドーラ）　42.9t（ガンツァー）
出力重量比	1.406（ドーラ、ドライのみ）
探知装置	イメージセンサー　AS7M型　重力場感知システム　GVS5型
装甲	ステライド2型　ヘビーコーティング
装甲厚	MAX　220mm
乗員	パイロット　1名（ガナン）
基本武装（ドーラ）	●450ミリレールキャノン　SBX10型 発射速度　120発／分　携行弾数　120発 弾種　徹甲弾、爆裂弾及びプラズマ化弾 ●75ミリハンドレールガン　SSX14型 発射速度　2000発／分　携行弾数　375発 弾種　徹甲弾及び爆裂弾 ●7連IRMポッド×2　●デュアルミサイル×2 ●白兵戦用レーザーソード×2 ハードポイント　4（ペイロード総量13t）
（ガンツァ）	●80ミリマルチディスチャージャー×2

ギカノス軍
カナン大尉専用機
スタークガントーラ

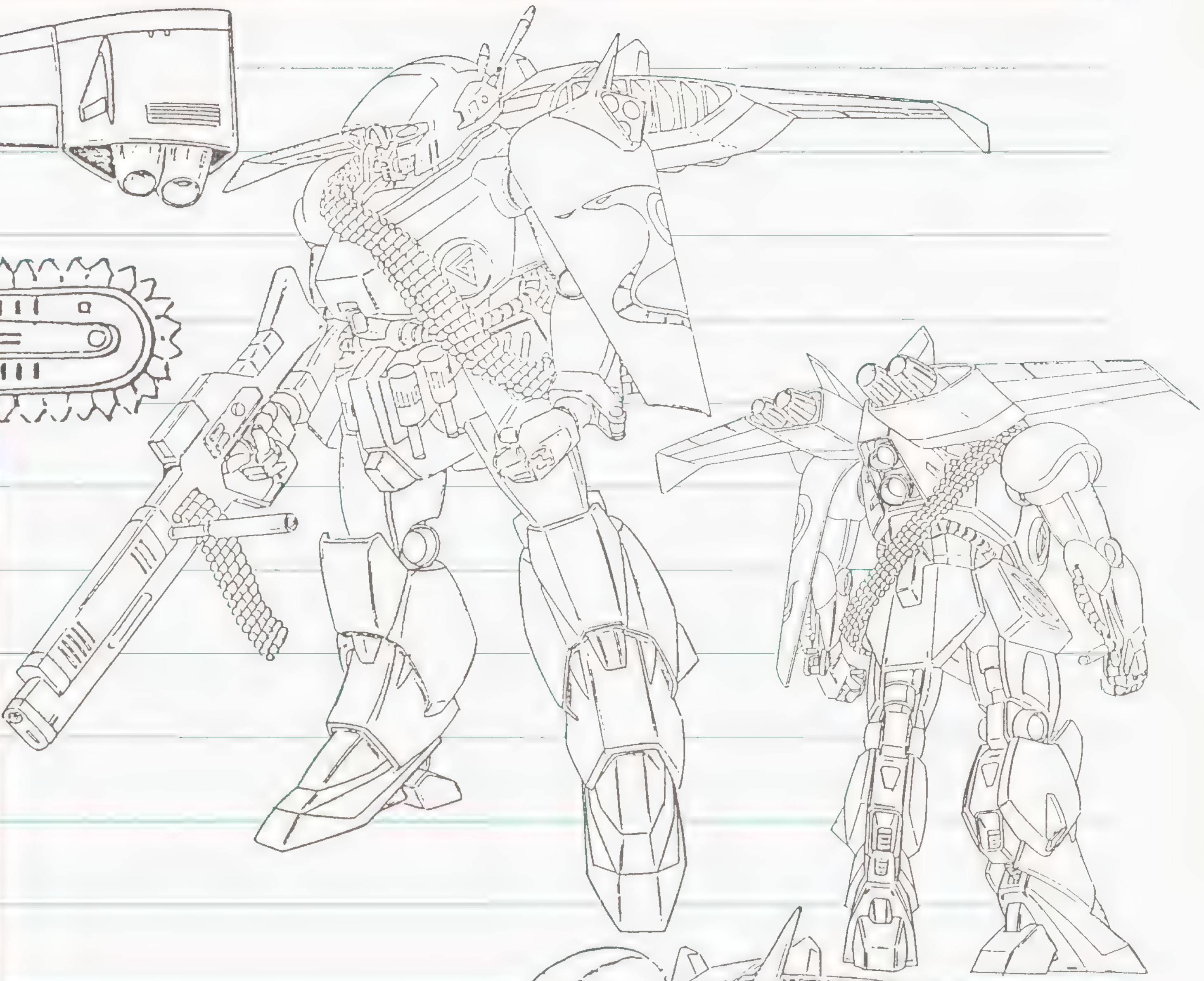


ギガノス軍 ミン大尉専用機 スターク ダイン





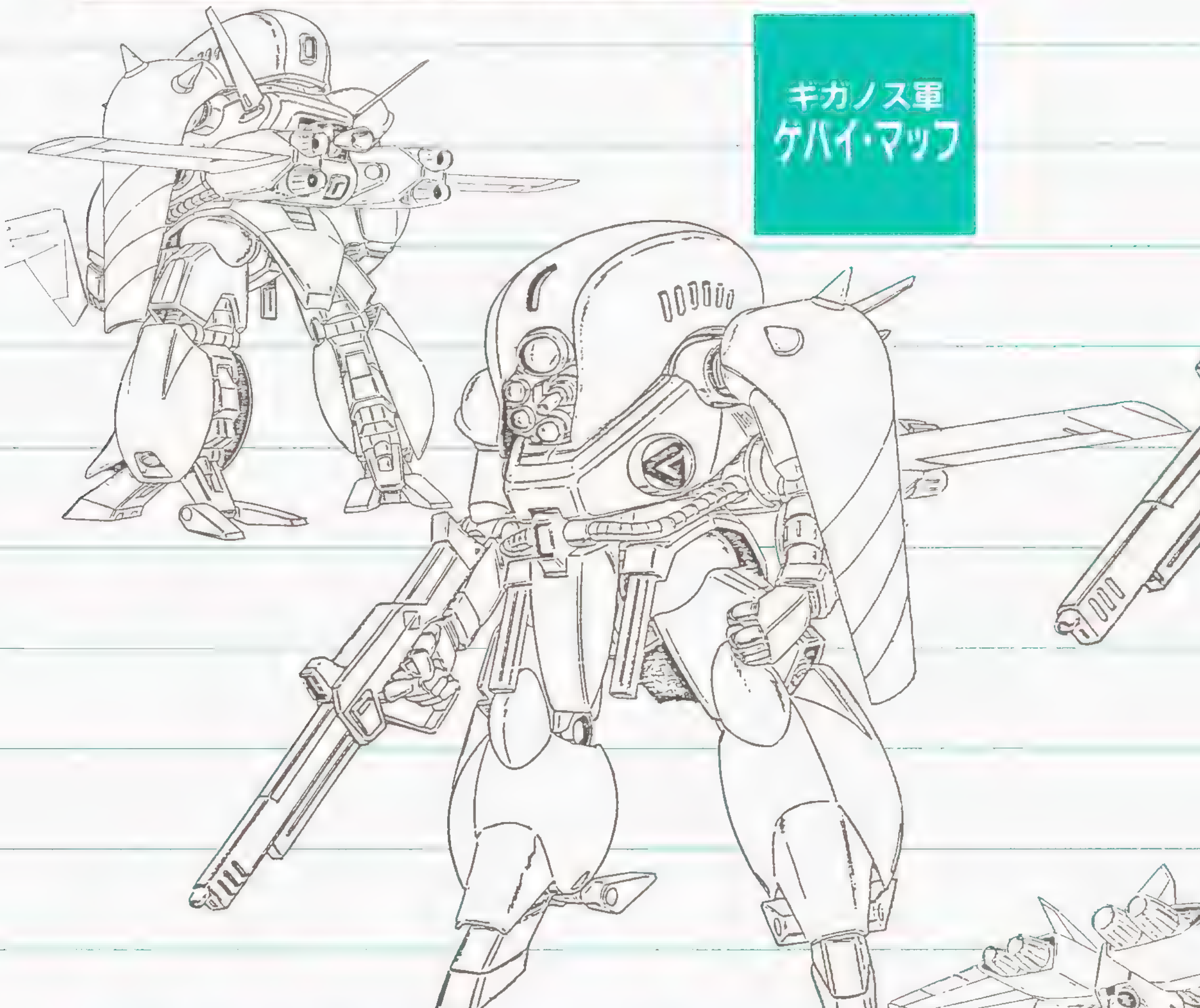
ハイブリッドサージ



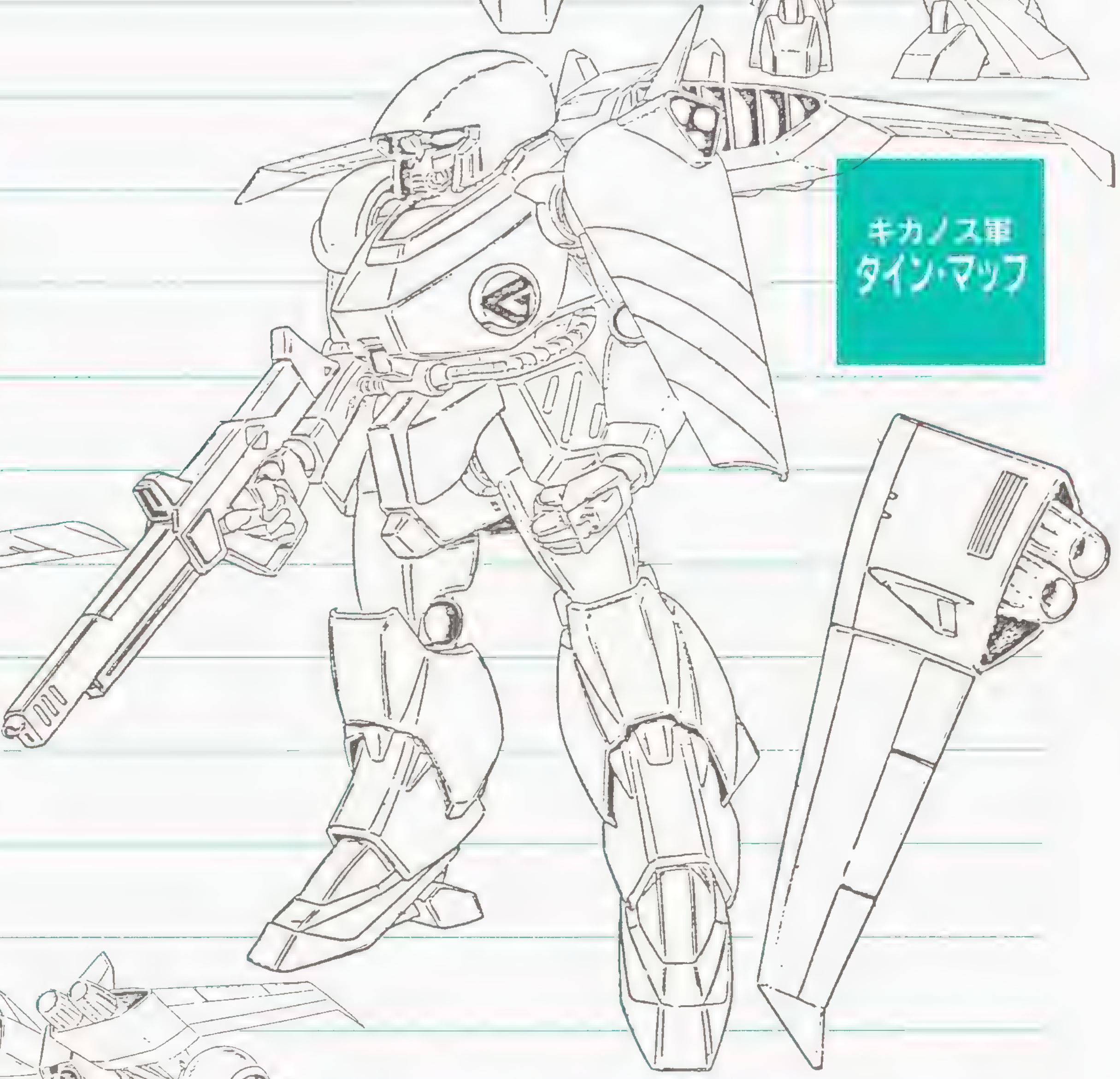
機甲戦記ドラグナー　メカ・スペック❾

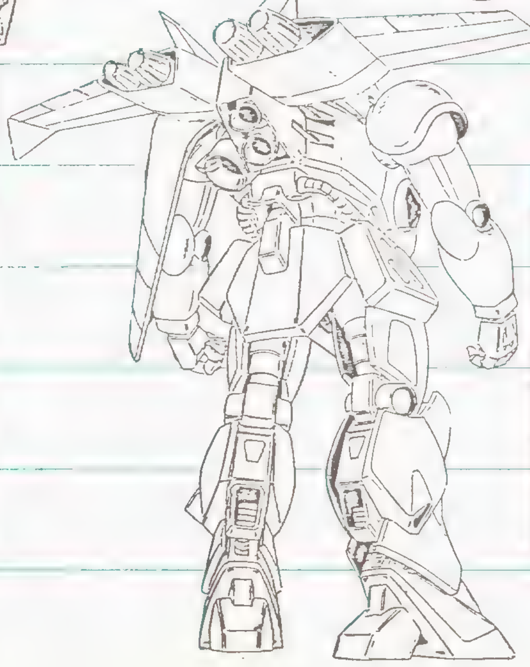
識別コード	№FMA　04G　略称　スターク・ダイン　ミン大尉専用機
26話～	敵・統一帝国ギガノス軍アジア方面軍グン・ジェム隊MA
頭頂高	17.9m
動力	JTF　3M型　超小型核融合炉
出力	16万ポンド（ドライ）　27万ポンド（CMP） ＊アフターバーナー使用時、4万ポンドをプラス。 メーンノズル×6　　姿勢制御ノズル×6
最大速度	M（マッハ）0.96　SL（海面高度）　M1.32(32000フィート)
航続距離	1740ノーチカルマイル（3222km）
CMP時間	23秒(MAX)　【回復時間　CMP≦5　3秒～CMP=23　18秒】 運行自重　62.3t　　最大発進重量　89.6t
出力重量比	0.810（ドライ）　1.569（CMP＋A　B）
探知装置	イメージセンサー　AS3M型　重力場感知システム　AVS5型
装甲	ステライト2型　ヘビーコーティング
装甲厚	MAX　215mm
乗員	パイロット　1名（ミン）
基本武装	●50ミリハンドレールガン　SSX5T型 発射速度　2200発　分　　携行弾数　960発 弾種　徹甲弾及び爆裂弾 ●2連20ミリ機関砲×2 ●対MAハンドグレネード×4 ●白兵戦用ハイブリッドサージ（のこぎり）×2

ギガノス軍 ゲバイ・マッフ



ギガノス軍 ダイン・マッフ





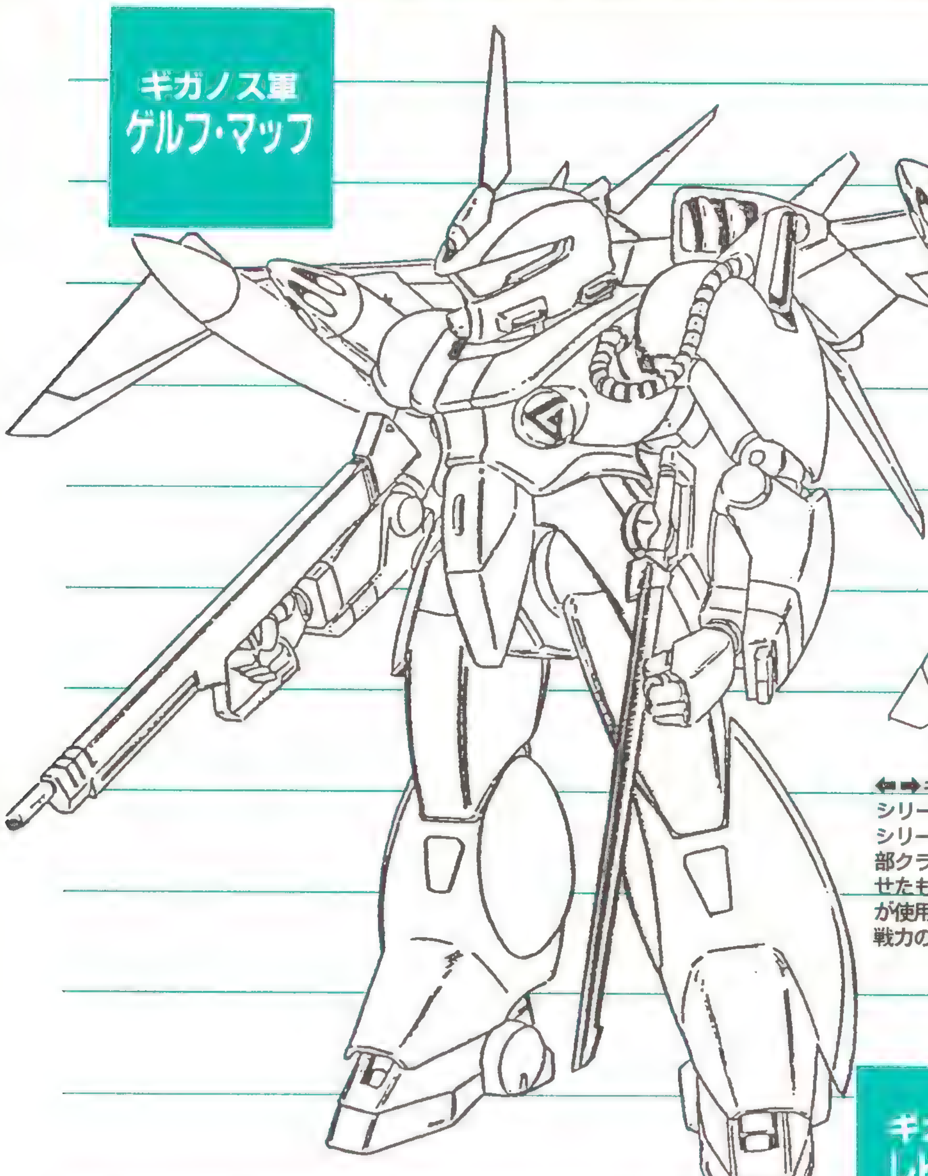
機甲戦記ドラグナー　メカ・スペック⑪

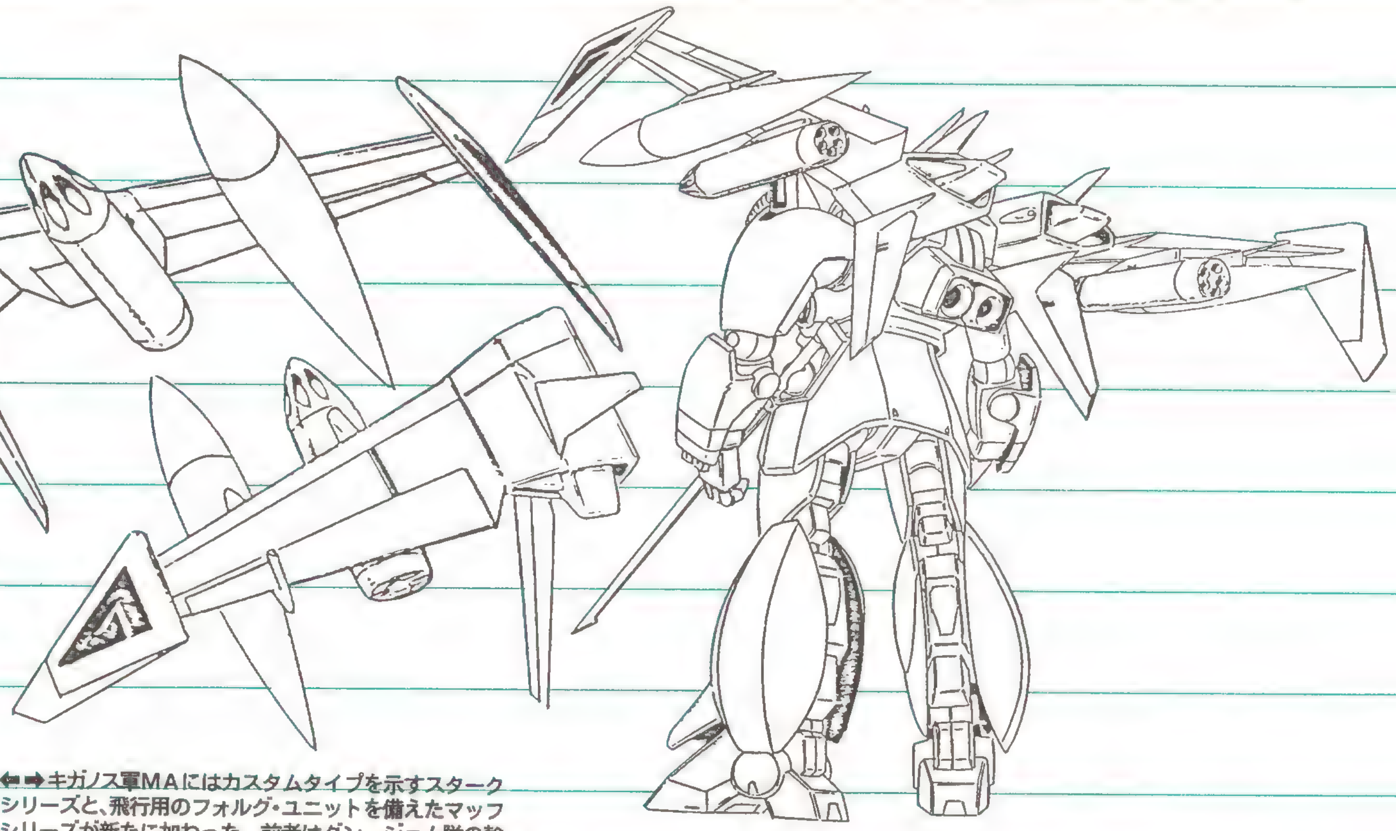
識別コード	№MAFFU　04　略称　ダイン・マッフ
30話～	MAダイン専用フォルダ・ユニット
全幅	16.2m
動力伝達システム	DFGS　5B
出力	16万ポンド（ドライ）　25万ポンド（CPM） ＊アフターバーナー使用時、4万ポンドをプラス。 メーンノズル×4
基本重量	18.2t
（以下、ダインに装着時のデータ）	
最大速度	M（マッハ）0.92　SL（海面高度）　M0.95(9800フィート)
航続距離	1970ノーチカルマイル（3093km）

機甲戦記ドラグナー　メカ・スペック⑩

識別コード	№MAFFU　05：略称　ゲバイ・マッフ
30話～	MAゲバイ専用フォルグ・ユニット
全幅	16.7m
動力伝達システム	DFGS　C6
出力	31万ポンド（ドライ）　42万ポンド（CMP） ＊アフターバーナー使用時、5万ポンドをプラス。 メーンノズル×4
基本重量	18.2t
（以下、ゲバイに装着時のデータ）	
最大速度	M（マッハ）0.80　SL（海面高度）　M0.86(9800フィート)
航続距離	1540ノーチカルマイル（2852km）

ギガノス軍 ゲルフ・マッフ

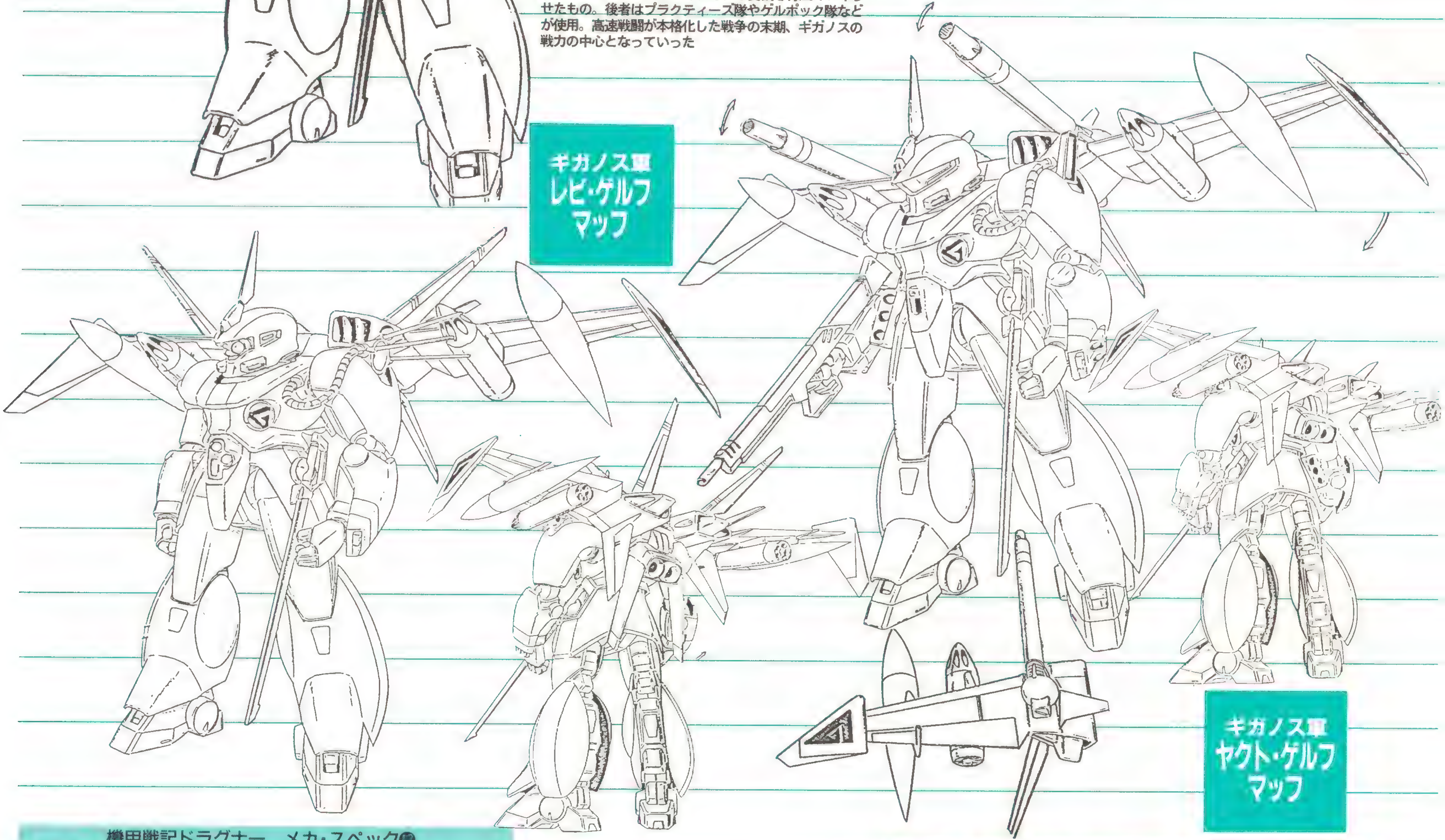




⇔キガノス軍MAにはカスタムタイプを示すスタークシリーズと、飛行用のフォルグ・ユニットを備えたマッフシリーズが新たに加わった。前者はグン・ジェム隊の幹部クラスのメンバーが、それぞれの愛機を特注でつくらせたもの。後者はプラクティーズ隊やゲルポック隊などが使用。高速戦闘が本格化した戦争の末期、ギガノスの戦力の中心となっていった

ギガノス軍 レビ・ゲルフマッフ

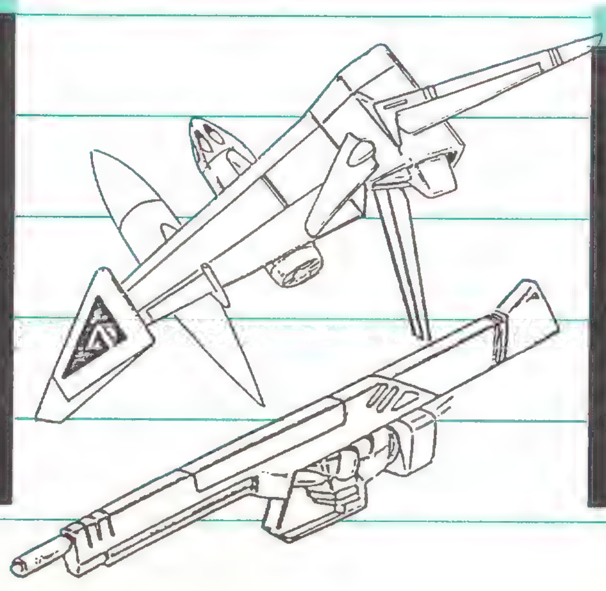
ギガノス軍 ヤクト・ゲルフマッフ



機甲戦記ドラグナー　メカ・スペック

識別コード	№MAFFU　08C　略称　レビ・ゲルフ・マッフ
30話〜	MAレビ・ゲルフ専用フォルグ・ユニット
全幅	21.1m
動力伝達システム	DFGS　C9
出力	25万ポント（ドライ）　38万ポンド（CMP） ＊アフターバーナー使用時、14万ポントをプラス。 メーンノズル×2 姿勢制御ノズル×2
基本重量	24.6t
（以下、レビ・ゲルフに装着時のデータ）	
最大速度	M（マッハ）0.86　SL（海面高度）　M0.94(9800フィート)
航続距離	2850ノーチカルマイル（5278km）
搭載兵装	●5連ミサイルポット×2 ●EDWアンテナ（注） ◎ハードポイント　4(ペイロード総量17.2t)

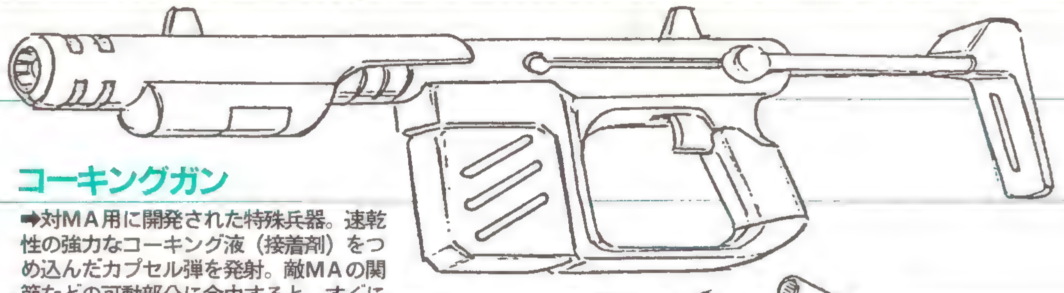
（注）電子偽装のこと　Eエレクトリック　Dディセプション　Wウォーフェア



機甲戦記ドラグナー　メカ・スペック

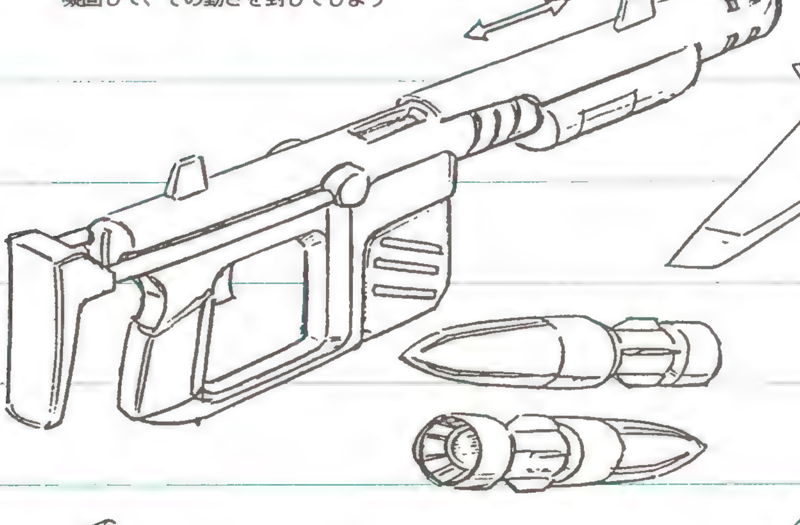
識別コード	№MAFFU　08B　略称　ヤクト・ゲルフ・マッフ
30話〜	MAヤクト・ゲルフ専用フォルグ・ユニット
全幅	26.1m
動力伝達システム	DFGS　C9
出力	25万ポント（ドライ）　38万ポント（CMP） ＊アフターバーナー使用時、14万ポントをプラス。 メーンノズル×2 姿勢制御ノズル×2
基本重量	27.8t
（以下、ヤクト・ゲルフに装着時のデータ）	
最大速度	M（マッハ）0.83　SL（海面高度）　M0.92(9800フィート)
航続距離	2790ノーチカルマイル（5167km）
搭載兵装	●5連ミサイルポット×2 ●220ミリレールキャノン×2（本体より移転） ◎ハートポイント　4(ペイロード総量14t)

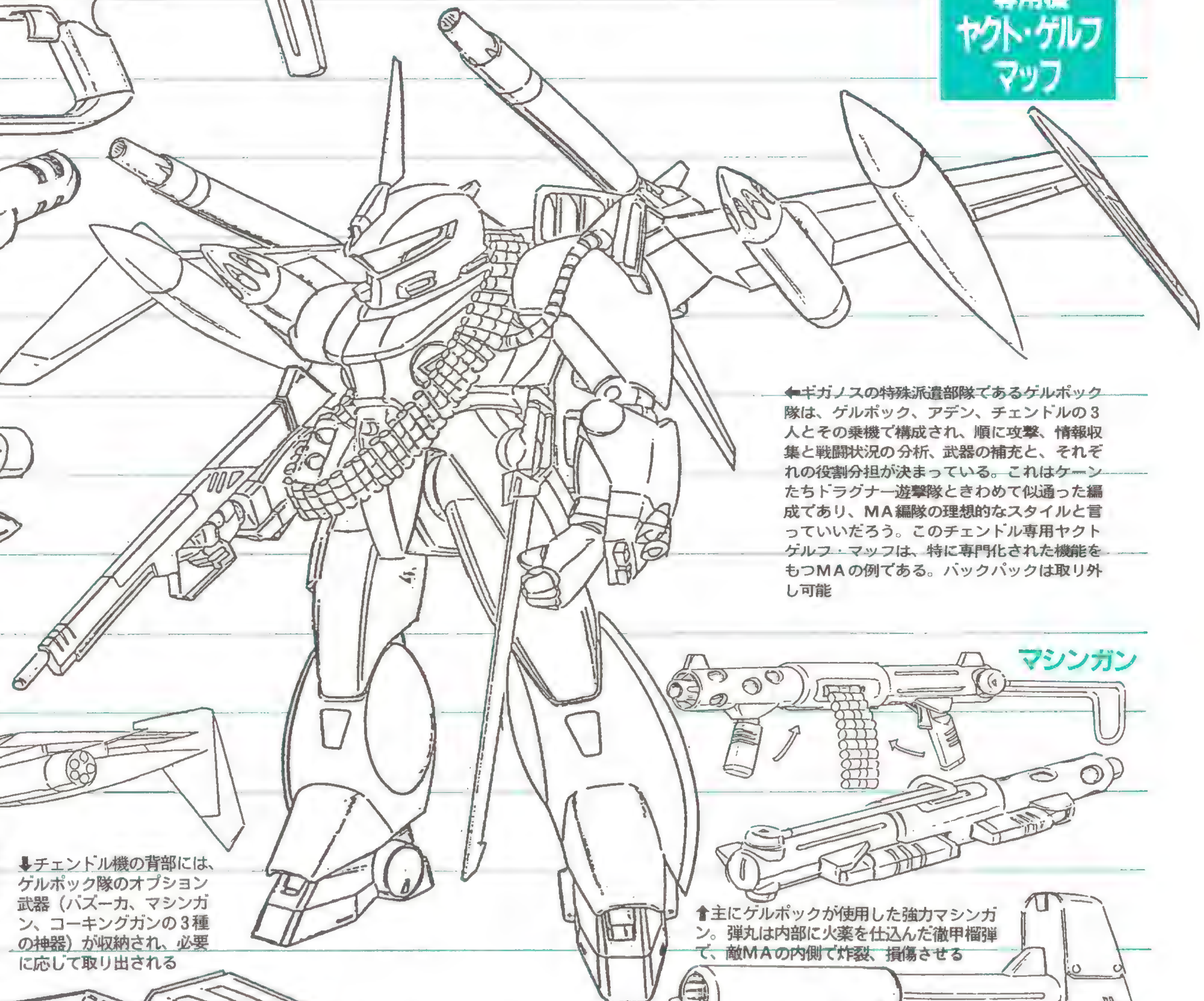
ギガノス軍 チェンドル少尉 専用機 ヤクト・ゲルフマップ



コーキングガン

➡対MA用に開発された特殊兵器。速乾性の強力なコーキング液（接着剤）をつめ込んだカプセル弾を発射。敵MAの関節などの可動部分に命中すると、すぐに凝固して、その動きを封じてしまう

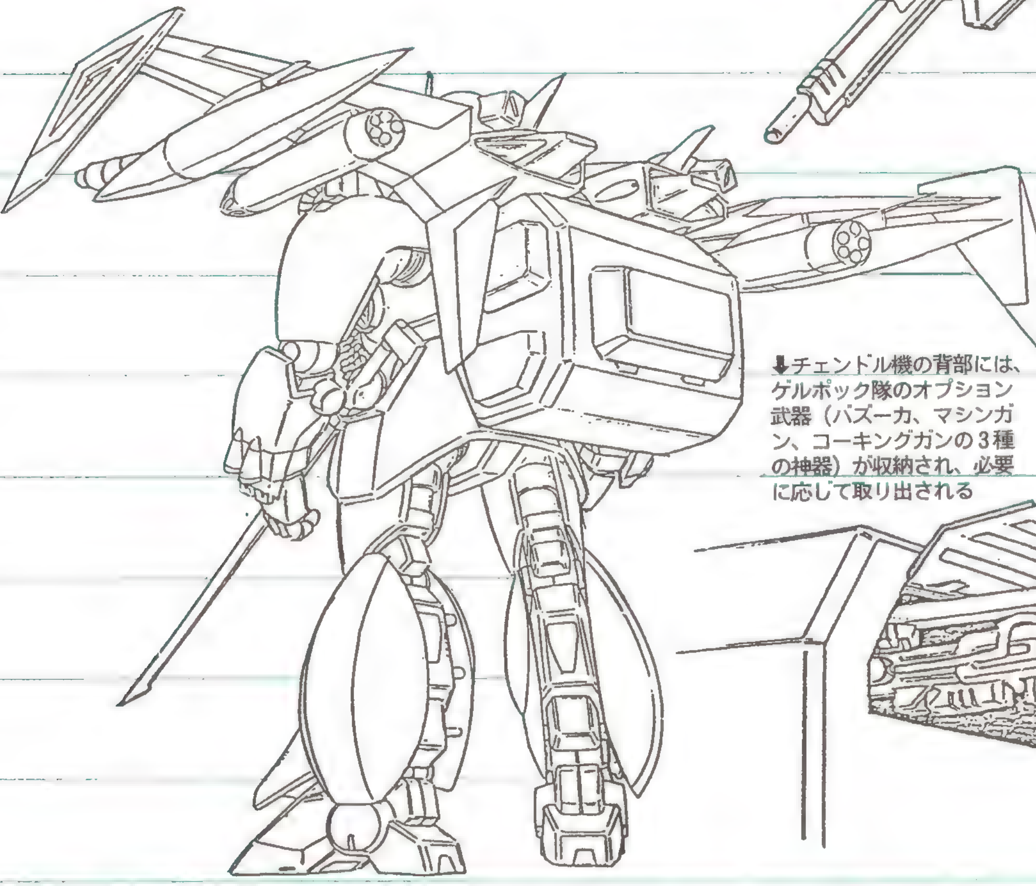




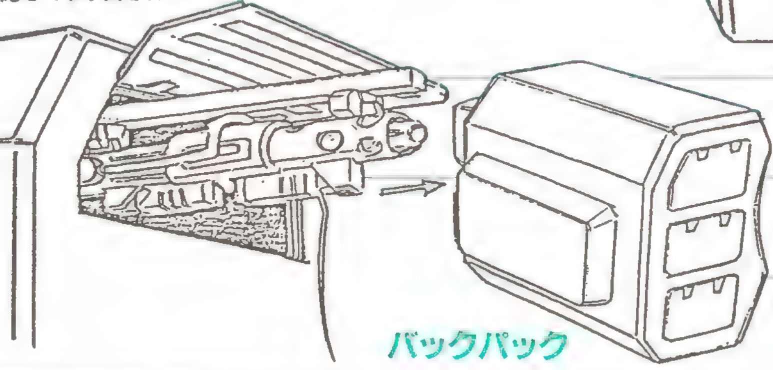
⬅ギガノスの特殊派遣部隊であるゲルポック隊は、ゲルポック、アデン、チェンドルの3人とその乗機で構成され、順に攻撃、情報収集と戦闘状況の分析、武器の補充と、それぞれの役割分担が決まっている。これはケーンたちドラグナー遊撃隊ときわめて似通った編成であり、MA編隊の理想的なスタイルと言っていいだろう。このチェンドル専用ヤクトゲルフ・マップは、特に専門化された機能をもつMAの例である。バックパックは取り外し可能

マシンガン

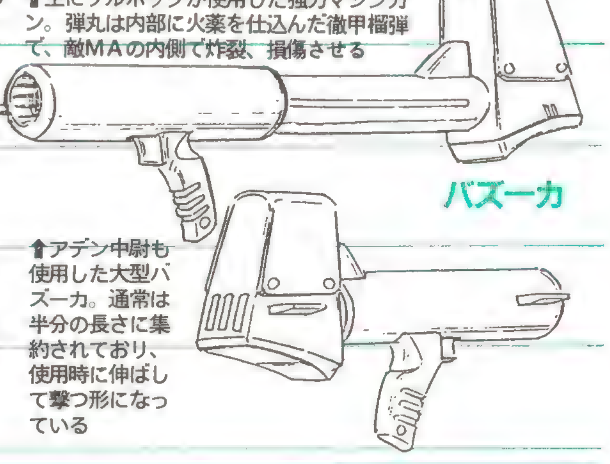
⬆主にゲルポックが使用した強力マシンガン。弾丸は内部に火薬を仕込んだ徹甲榴弾で、敵MAの内側で炸裂、損傷させる



⬇チェンドル機の背部には、ゲルポック隊のオプション武器（バズーカ、マシンガン、コーキングガンの3種の神器）が収納され、必要に応じて取り出される



バックパック

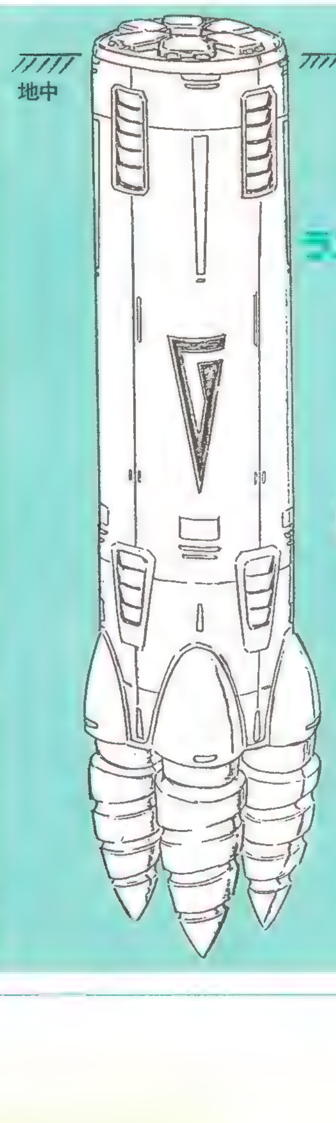


バズーカ

⬆アデン中尉も使用した大型バズーカ。通常は半分の長さに集約されており、使用時に伸ばして撃つ形になっている

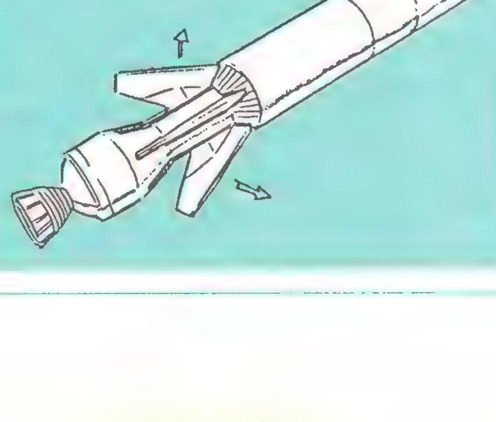
ギガノス軍 対空地雷"土蜘蛛〃

第34話「追撃！土蜘蛛作戦」でグン・ジェム隊が使用した武器。また試作品の段階だが、一部隊を瞬時に全滅させられるほどの威力があることが、実験により証明された。敵部隊の進路上にコントロール装置とランチャーを埋め込み、攻撃距離内に侵入すると自動的に6つの発射口から対空・対地ミサイルが連続発射される仕組みだ。ただしこの回では、ゴル大尉のミスでプラクティーズ隊やゴル自身が土蜘蛛作戦に身をさらす羽目になった

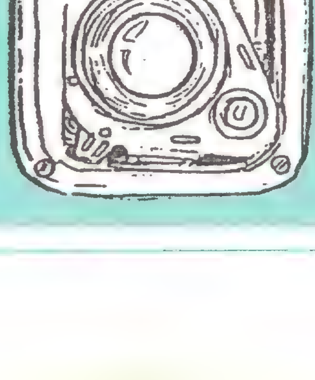


ランチャー部

発射口

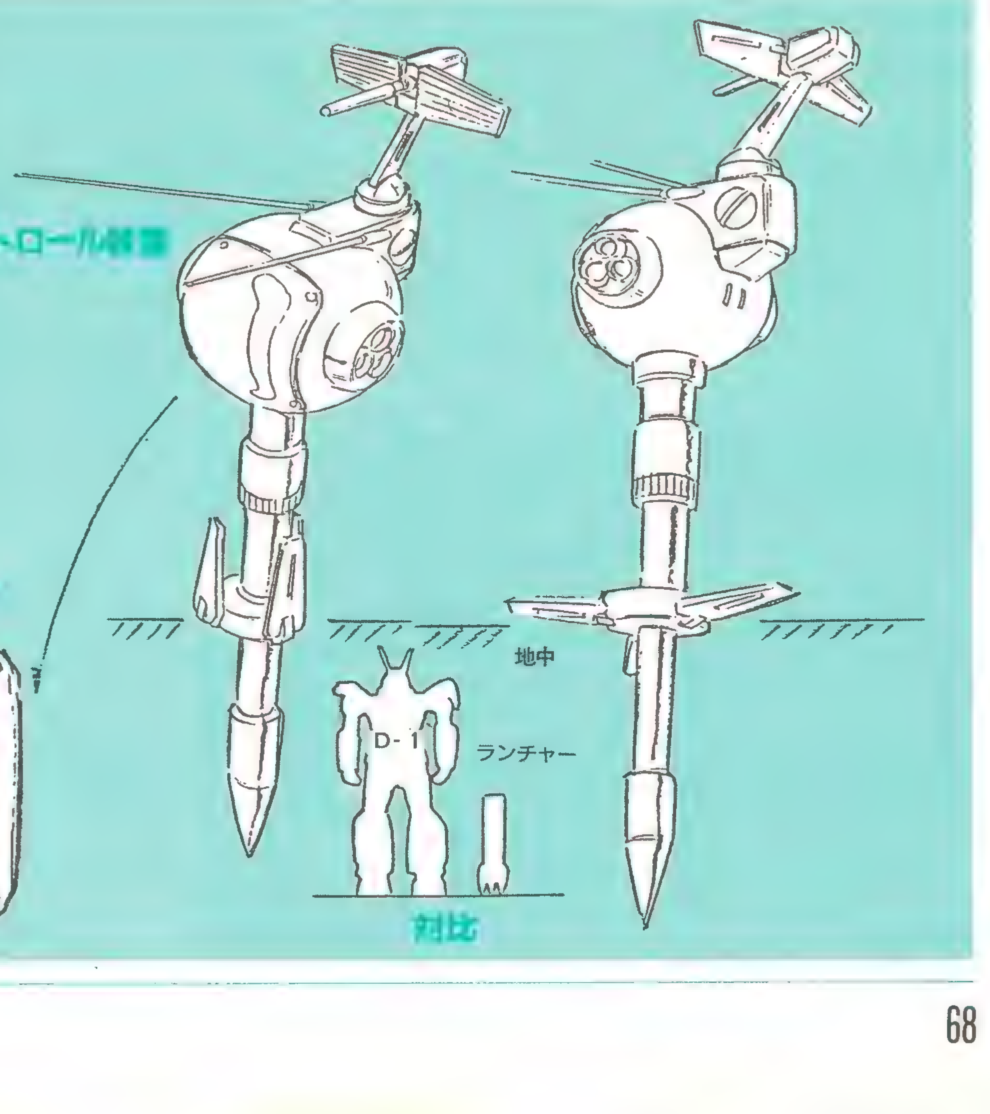


ミサイル



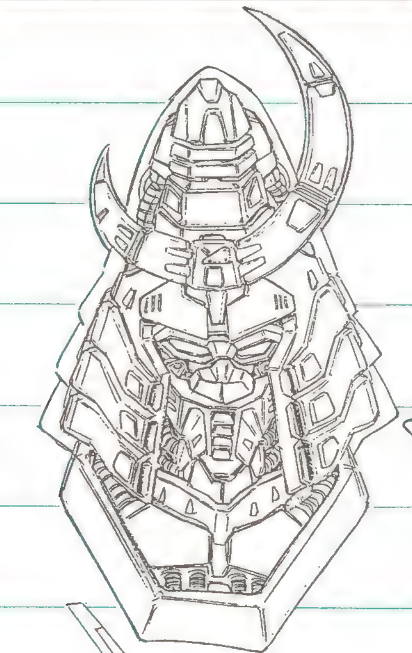
モニターアイ

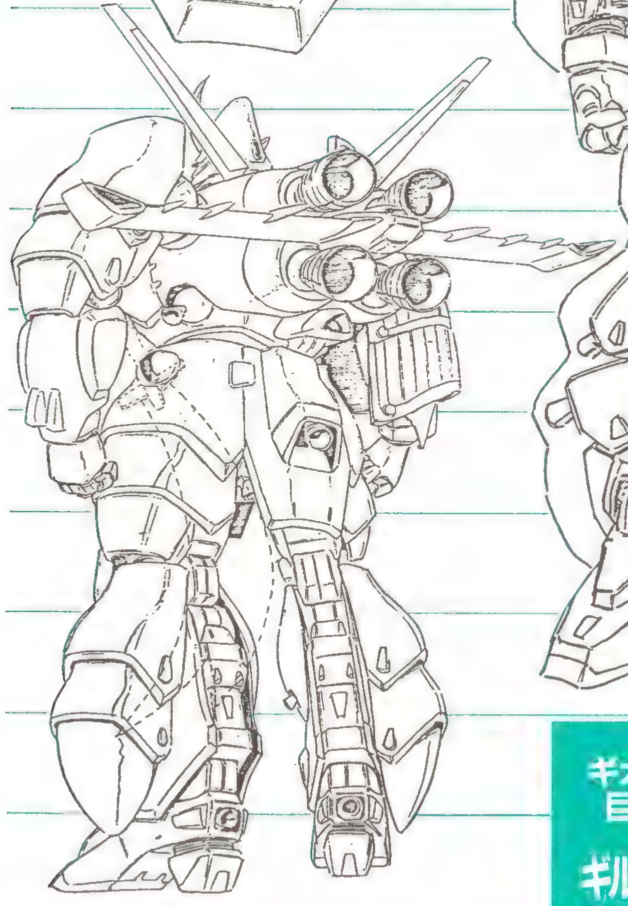
コントロール装置



対比

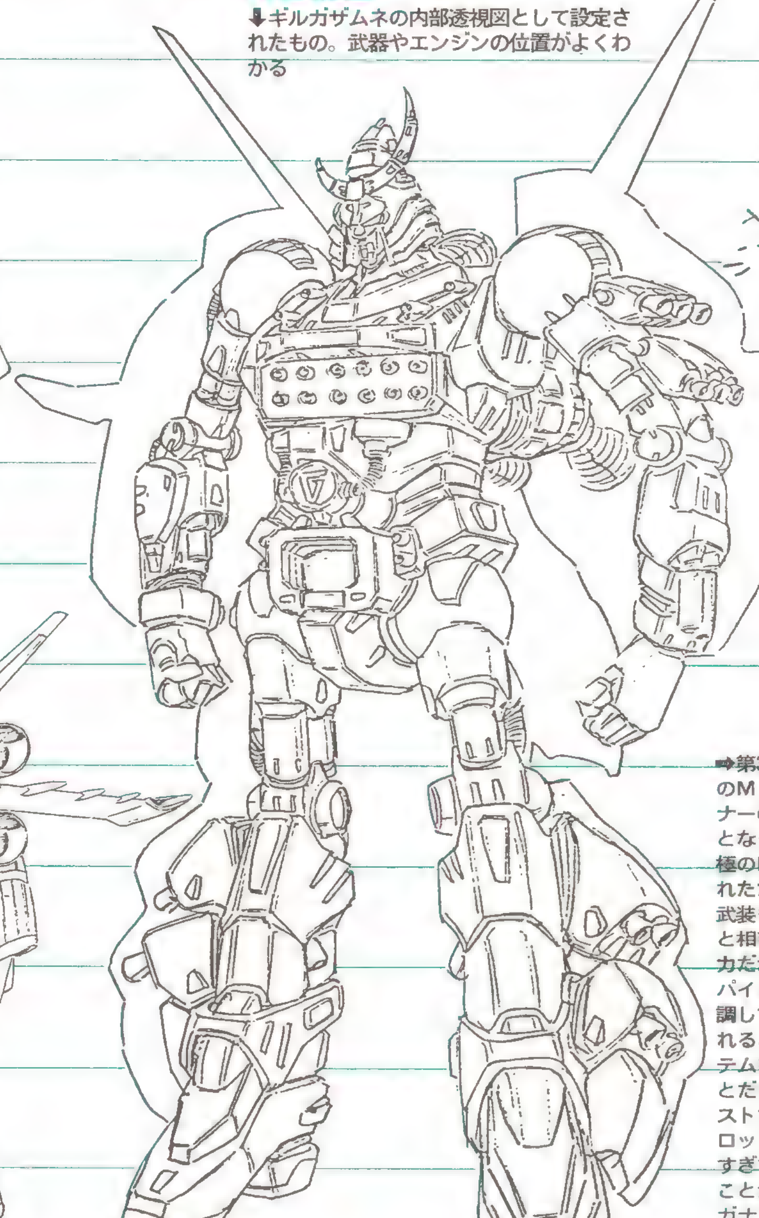
ギガノス軍 巨大MA ギルガザムネ

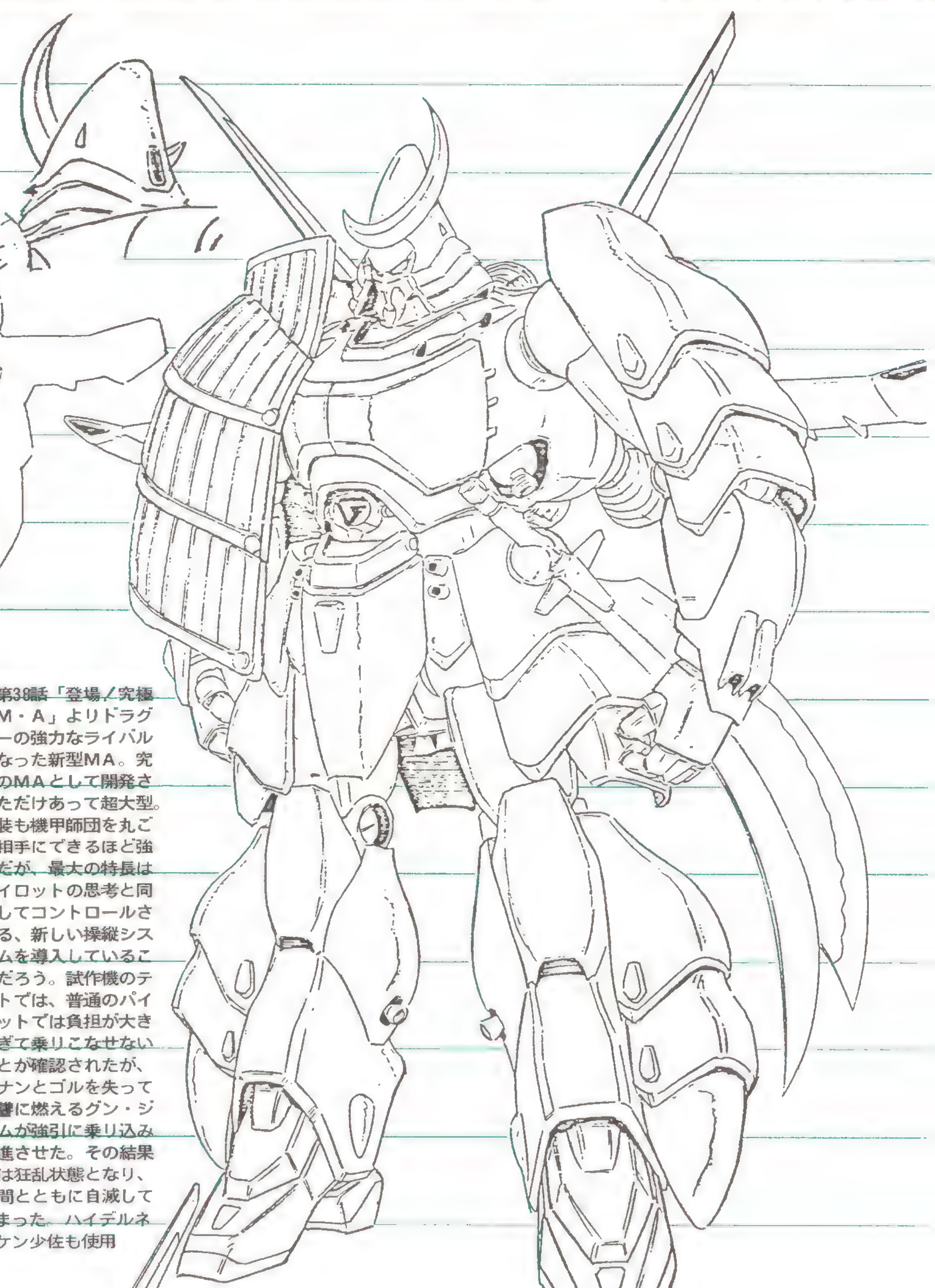




内部構造

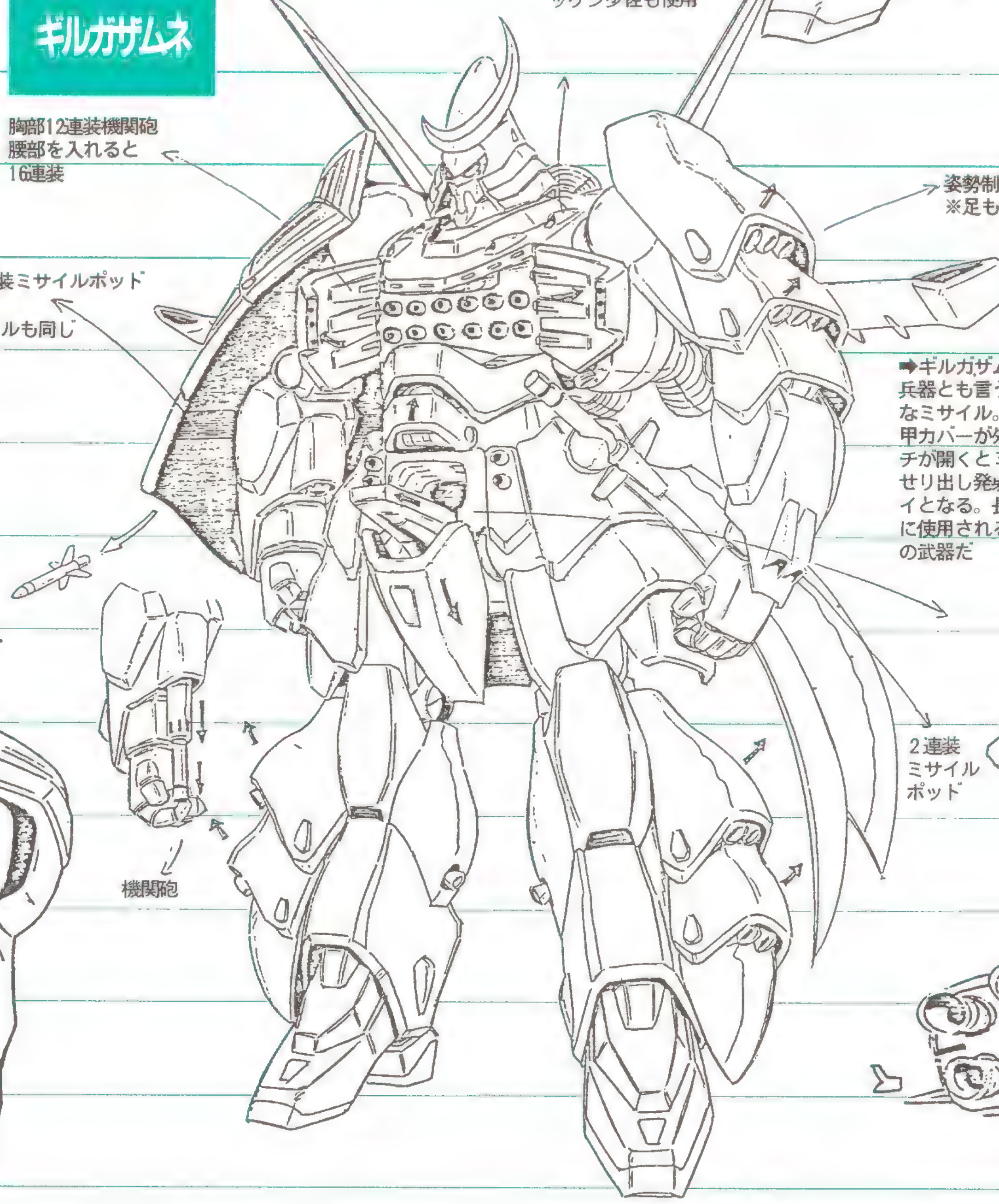
⬇ギルガザムネの内部透視図として設定されたもの。武器やエンジンの位置がよくわかる





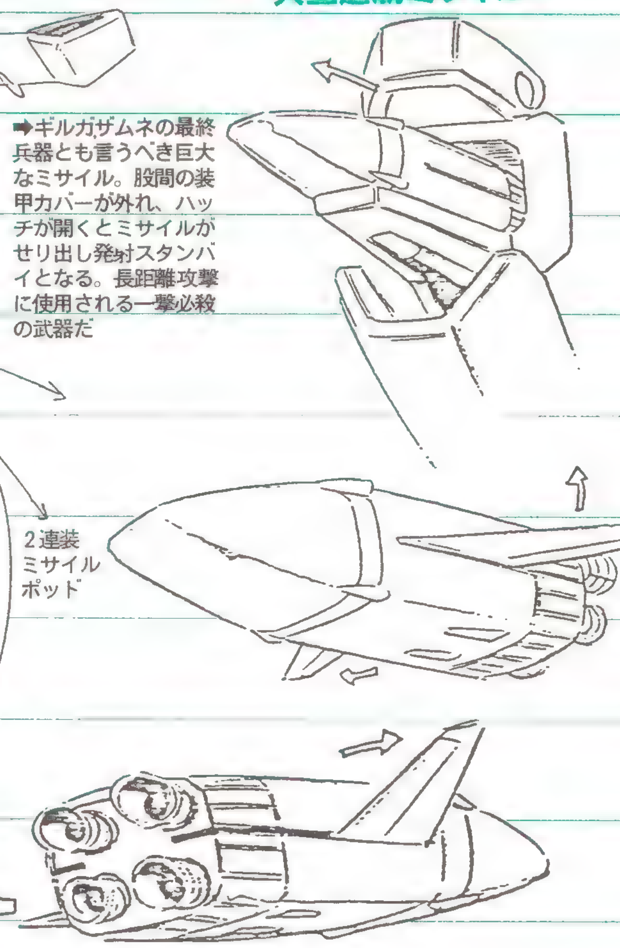
➡第38話「登場／究極のM・A」よりドラグナーの強力なライバルとなった新型MA。究極のMAとして開発されただけあって超大型。武装も機甲師団を丸ごと相手にできるほど強力だが、最大の特長はパイロットの思考と同調してコントロールされる、新しい操縦システムを導入していることだろう。試作機のテストでは、普通のパイロットでは負担が大きすぎて乗りこなせないことが確認されたが、ガナンとゴルを失って復讐に燃えるグン・ジェムが強引に乗り込み発進させた。その結果彼は狂乱状態となり、仲間とともに自滅してしまった。ハイデルネッケン少佐も使用

ドラグナー対比



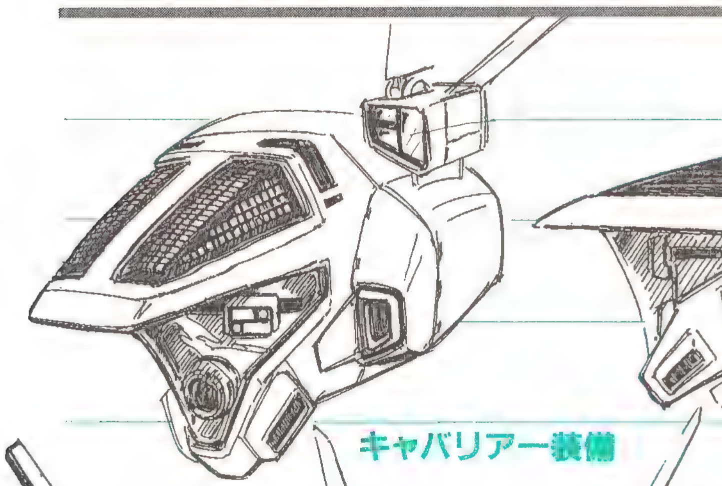
大型巡航ミサイル

➡ギルガザムネの最終兵器とも言うべき巨大なミサイル。股間の装甲カバーが外れ、ハッチが開くとミサイルがせり出し発射スタンバイとなる。長距離攻撃に使用される一撃必殺の武器だ

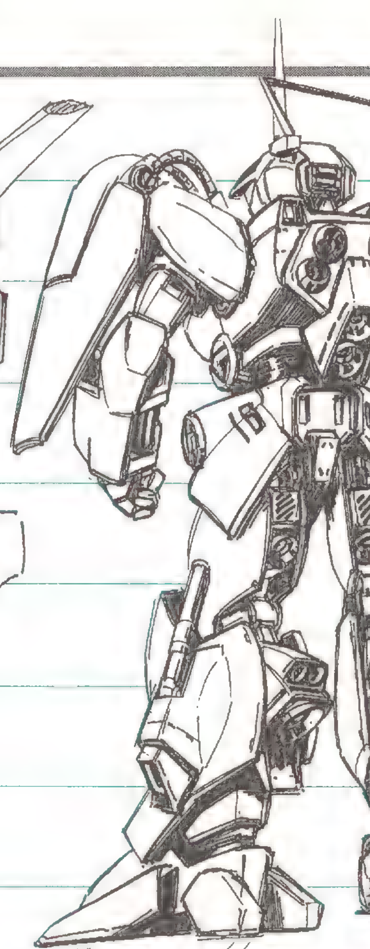


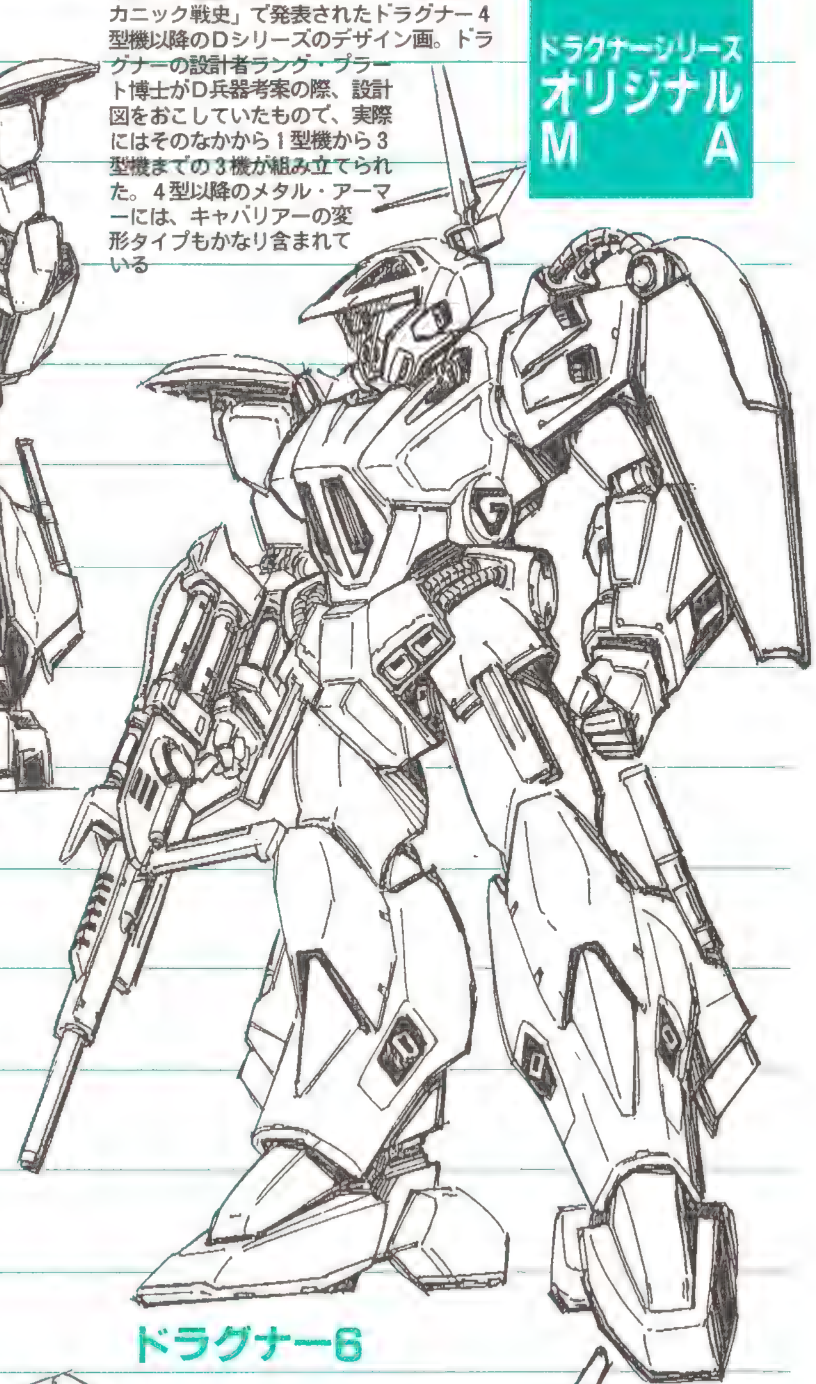
ドラグナーシリーズ
オリジナルMA

⬇NTで連載された「ドラグナー世界のメカニック戦史」で発表されたドラグナー4型機以降のDシリーズのデザイン画。ドラグナーの設計者ラング・プラート博士がD兵器考案の際、設計図をおこしていたもので、実際にはそのなかから1型機から3型機までの3機が組み立てられた。4型以降のメタル・アーマーには、キャバリアーの変形タイプもかなり含まれている

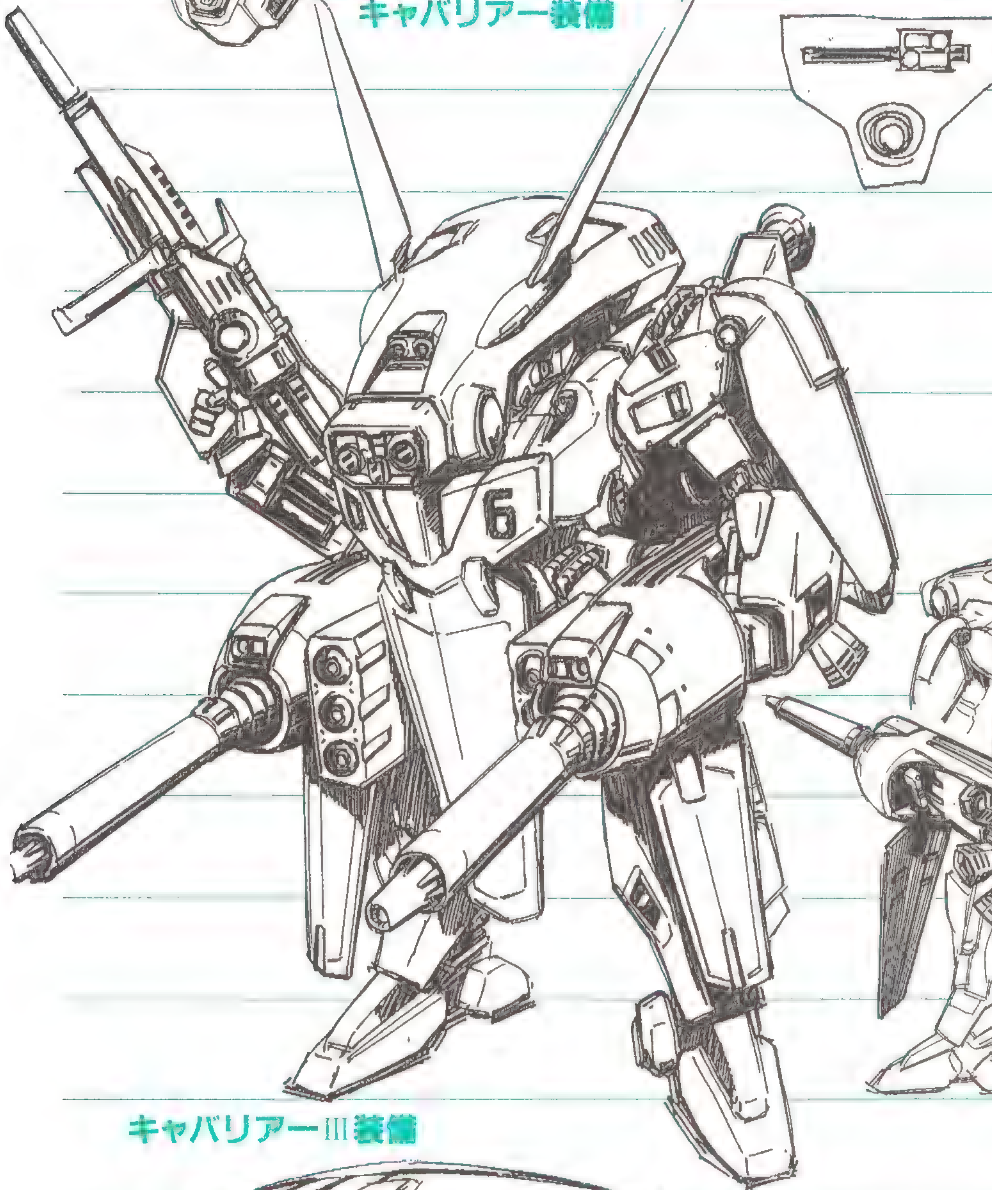


キャバリアー装備

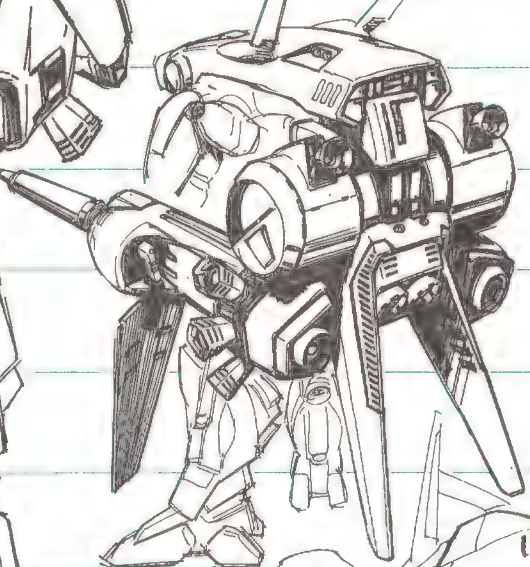




ドラグナー6

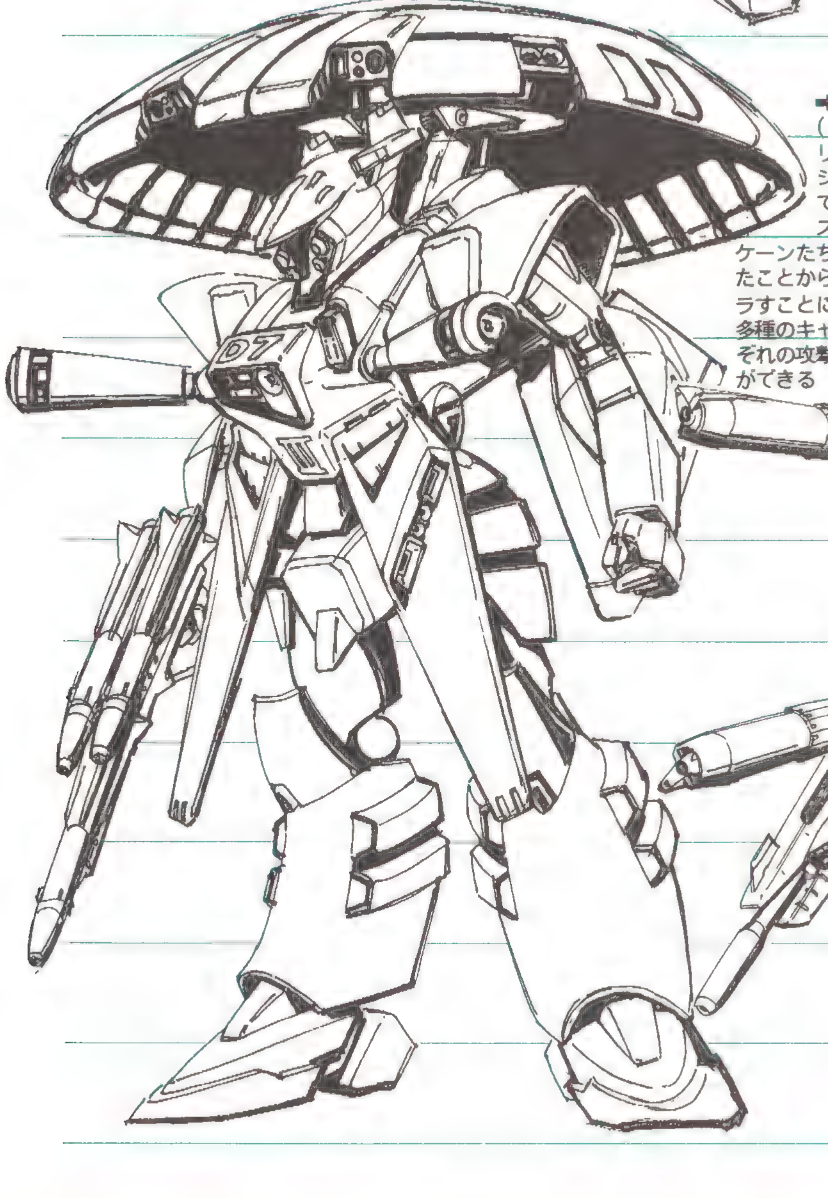


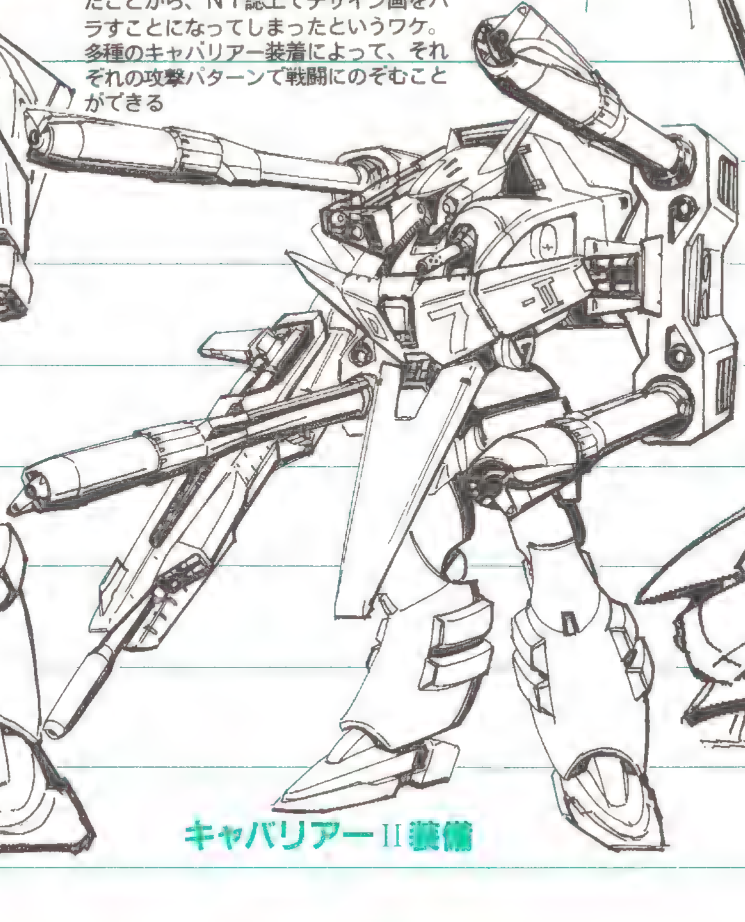
キャバリアーIII装備



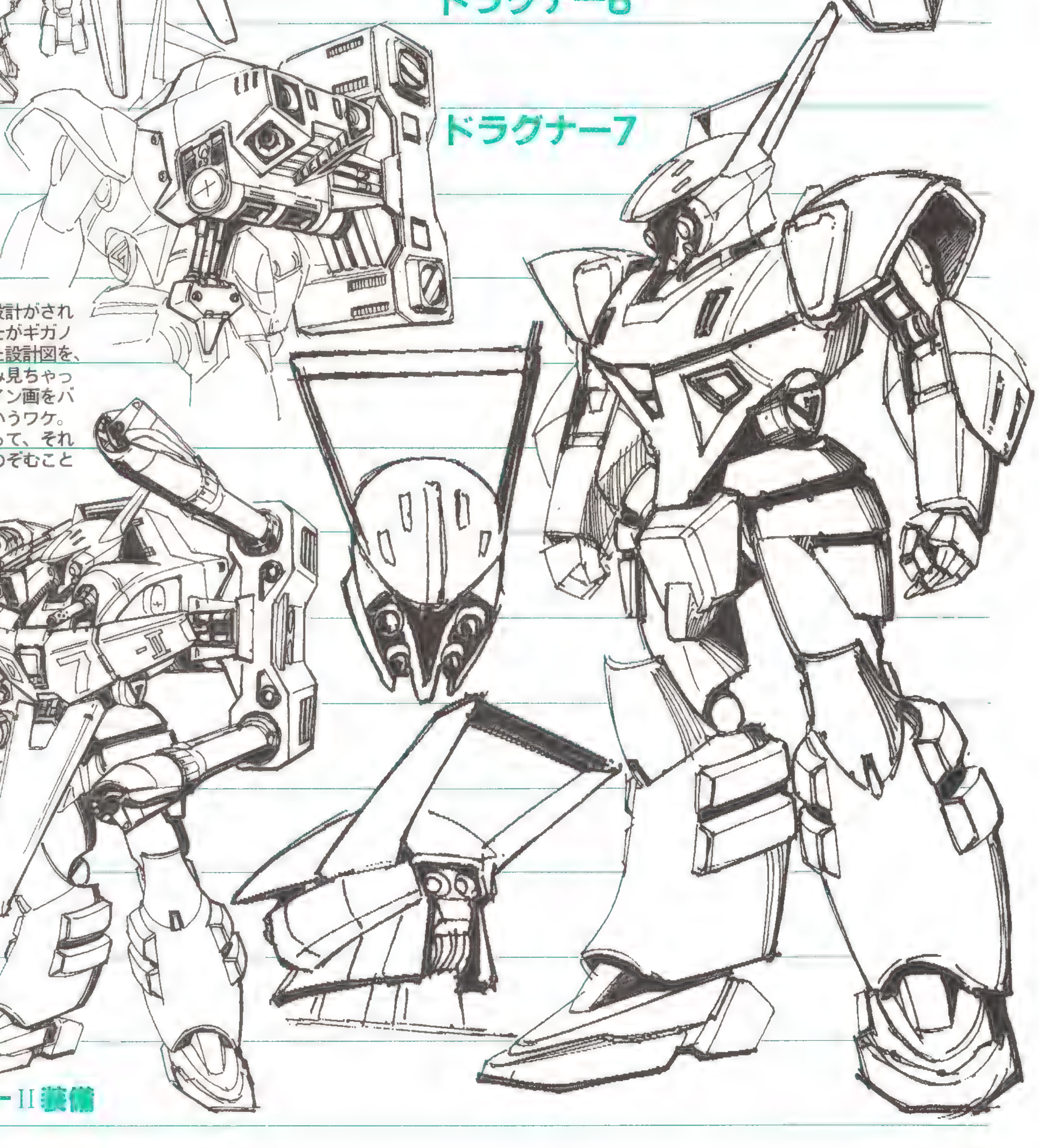
ドラグナー7

➡キャバリアー0型（D—1専用キャバリアー）のバリエーションとして様々な設計がされていた。プラート博士がギガノスから持ってきていた設計図を、ケーンたちワルガキ隊がぬすみ見ちゃったことから、NT誌上でデザイン画をバラすことになってしまったというワケ。多種のキャバリアー装着によって、それぞれの攻撃パターンで戦闘にのぞむことができる





キャバリアーII装備



ENCYCLOPEDIA of Dragonars World and BROADCAST LIST

SECOND EDITION

Broadcast List

お待ちかね、スタッフリストです。11月21日現在のデータからなので完全ではありませんが、あとは自分でチェックしてネ。「機甲戦記ドラグナー」全48話のサブタイトル&スタッフリストで、君もリッパな「ドラグナー」通になっちゃおう！ そのあとは大事典（改訂版）でお楽しみくださいませ

話数	タイトル名	シナリオ	演出	絵コンテ	作画監督（メカ作監）	原画スタッフ
1	炎の日	五武冬史	篠幸裕	横山裕一朗	遠藤裕一	塩山紀生 神宮彗 服部憲知 金森賢二 向山祐治 ネオメディア 山下プロダクション
2	廃墟の死闘	星山博之	鹿島典夫 日高政光	鹿島典夫	中村旭良	中村プロ 村瀬修功 平井久司 柴沢勝志
3	ギガノスの蒼き鷹	松崎健一	福田満夫	谷田部勝義	山田きさらか（重田亜津史）	ビーボォー 酒井啓史 スタジオサニー 山根理宏 アルゴシップ
4	男たちの戦場	五武冬史	浜津守	浜津守	服部憲知	山下プロダクション ネオメディア 内藤孝一
5	誓いの出撃	星山博之	棚沢隆	高松信司	松本清	今隈真一 古沢英明 牧野田啓介 釘宮洋 高村弘之 高橋勇治 水野祥司 松下清志
6	戦士への試練	松崎健一	篠幸裕	菊池一仁	遠藤裕一	スタジオマーク 西井正典 中野深雪 グループどんぐり 杉浦幸次 栗井重紀 吉川文代 工藤千恵子
7	さらばチェホフ	五武冬史	日高政光	山崎和男	中村旭良	中村プロ 村瀬修功 平井久司 柴沢勝志
8	捕虜奪回作戦（前編）	星山博之	福田満夫	鹿島典夫	山田きさらか	青鉢芳信 酒井啓史 スタジオマーク 重田亜津史 皆川晴輝 小田不二夫 佐藤英幸
9	捕虜奪回作戦（後編）	平野靖士	棚沢隆	川瀬敏文	松本清	動画工房 松本清 いまぐましんいち 啓介 釘宮洋 高橋勇治 村松尚雄
10	体あたりの防戦	星山博之	杉島邦久	高松信司	服部憲知	山下プロダクション 坂本三郎 金森賢二 グループどんぐり 中野深雪 栗井重紀
11	熱望の大地	松崎健一	篠幸裕	滝沢敏文	遠藤裕一	塩山紀生 スタジオダブ 藁谷均 中野美佐緒 佐久間信一
12	それぞれの帰還	平野靖士	福田満夫	ふくだみつお	山田きさらか（内田順久）	スタジオマーク 重田亜津史 佐藤英幸 金森賢二 酒井啓史 山下プロダクション 内藤孝一
13	マスドライバー発射指令	五武冬史	日高政光	菊池一仁	中村旭良	中村プロ 村瀬修功 平井久司 柴沢勝志
14	新たなる旅立ち	星山博之	杉島邦久	杉島邦久	服部憲知	山下プロダクション 大竹紀子 スタジオムー 大島康弘 グループどんぐり 広田真由美
15	D艦隊危機一髪	松崎健一	棚沢隆	井内秀治	大森英敏	松本清 いまぐましんいち 釘宮洋 牧野竜一 酒井啓史 アトリエ戯雅
16	補給基地の罠	星山博之	篠幸裕	篠幸裕	遠藤裕一	塩山紀生 坂本三郎 遠藤裕一 青木芳信
17	ノーラッド破壊工作	五武冬史	福田満夫	ふくだみつお	八幡正	スタジオダブ 藁谷均 中野美佐緒 佐久間信一 国村尚志
18	奇襲の蒼き鷹	松崎健一	杉島邦久	杉島邦久	山田きさらか（内田順久）	スタジオマーク 高杉唯美 皆川晴輝 酒井啓史 川元利造 西井正典 中野深雪

話数	タイトル名	シナリオ	演出	絵コンテ	作画監督（メカ作監）	原画スタッフ
19	飛行兵器D	星山博之	日高政光	滝沢敏文	中村旭良	中村プロ　村田修功　平井久司　柴沢勝志
20	洋上の再会	奇数和十八	篠幸裕	篠幸裕	服部憲知	酒井啓史　中尾正樹　内藤孝一　スタジオムー　アニメ・アール　服部憲知　山下プロダクション
21	敵MA奪取作戦	鎌田秀美	井内秀治	関田修	大森英敏	いまぐましんいち　釘宮洋　アトリエ戯雅　スタジオマーク　スタジオひまわり　動画工房
22	ギガノス要塞破壊命令	平野靖士	福田満夫	ふくだみつお	遠藤裕一	坂本三郎　スタジオダブ　藁谷均　遠藤裕一　青鉢芳信　塩川紀生
23	対決マイヨ・プラート	五武冬史	杉島邦久	谷田部勝義	八幡正	藁谷均　中野美佐緒　佐久間信一　スタジオダブ
24	上海大逃走	奇数和十八	日高政光	井内秀治	山田きさらか（内田順久）	高杉貴美　重田亜津史　佐藤英幸　酒井啓史　川元利造　内藤孝一　スタジオマーク
25	D兵器改造計画	松崎健一	篠幸裕	篠幸裕	中村旭良	中村プロ　村瀬修功　平井久司　柴沢勝志
26	恐怖のグン・ジェム	星山博之	谷田部勝義	関田修	服部憲知	スタジオムー　山本佐和子　大島康弘　塩山紀生　山下プロダクション　スタジオMAX
27	見参／ドラグナー遊撃隊	五武冬史	日高政光	アミノテツロー	中村旭良	中村プロ　村瀬修功　平井久司　柴沢勝志
28	脅威の毒蛇部隊	五武冬史	福田満夫	ふくだみつお	八幡正	スタジオダブ　藁谷均　佐久間信一　中野美佐緒　西村誠芳
29	潜入／リンダを救え	奇数和十八	杉島邦久	杉島邦久	大森英敏	アトリエ戯雅　酒井啓史　スタジオマーク　今隈真一　岸野尚之
30	必殺／チェーンソーアタック	松崎健一	関田修	井内秀治	遠藤裕一	アニメ・アール　井上哲　浜川修二郎　塩山紀生　坂本三郎　遠藤裕一　スタジオムー
31	月からの刺客	星山博之	篠幸裕	篠幸裕	山田きさらか（内田順久）	佐藤英幸（補）　スタジオマーク　重田亜津史　高杉貴美　松本俊一　青鉢芳信　スタジオどんぐり　スタジオMAX　内藤孝一
32	復讐の狙撃兵	平野靖士	福田満夫	ふくだみつお	服部憲知	山本佐和子　大島康弘　尾林幸男　酒井啓史　スタジオギグ　スタジオ絵夢　スタジオムー
33	ギガノスの異変	奇数和十八	日高政光	井内秀治	中村旭良	中村プロ　村瀬修功　平井久司　柴沢勝志
34	追撃／土蜘蛛作戦	松崎健一	関田修	谷田部勝義	大森英敏	アトリエ戯雅　イマグマシンイチ　伊藤修一　上野けん
35	恐怖／無限機動砲	五武冬史	杉島邦久	杉島邦久	遠藤裕一	アニメ・アール　井上哲　浜川修二郎　坂本三郎　遠藤裕一　スタジオMAX　グループどんぐり
36	猛攻／怒りのグン・ジェム	星山博之	篠幸裕	篠幸裕	山田きさらか（内田順久）	佐藤英幸（補）　スタジオマーク　重田亜津史　スタジオギグ　酒井啓史　スタジオシップ　西村元秀　スタジオ絵夢　内藤孝一
37	打倒／毒蛇の青竜刀	奇数和十八	日高政光	日高政光	中村旭良	中村プロ　村瀬修功　平井久司　柴沢勝志　柳沢哲也
38	登場／究極のMA	松崎健一	福田満夫	ふくだみつお	服部憲知	スタジオMAX　スタジオムー　グループどんぐり　スタジオマーク　西村潤子　工藤千恵子　服部憲知　森悦史
39	壮絶／グン・ジェムの最期	平野靖士	棚沢隆	杉島邦久	小田不二夫	スタジオ絵夢　スタジオギグ　スタジオSD　スタジオアルゴシップ　スタジオビッグバン　いまぐましんいち
40	狡猾／ハイデルネッケン少佐	星山博之	関田修	井内秀治	遠藤裕一	アニメ・アール　井上哲　スタジオマーク　佐藤英幸　酒井啓史　森悦史　城前龍治　西村潤子

話数	タイトル名	シナリオ	演出	絵コンテ	作画監督(メカ作監)	原画スタッフ
41	復活!ギガノスの蒼き鷹	奇数和十八	篠幸裕	篠幸裕	中村旭良	中村プロ 村瀬修功 平井久司 柳沢哲也
42	発動!ギガノス無敵要塞	五武冬史	日高政光	井内秀治	菊池城二(内田順久)	タイガープロダクション 大戸幸子 嶋津郁雄 宮崎龍四郎 海藤裕美子 佐々木久美子 鈴木佐智子 スタジオマーク 葦野芳晴 林伸昌
43	決断!巨大要塞攻撃指令	奇数和十八	福田満夫	ふくだみつお	服部憲知	スタジオたくらんけ 山田真史 遠藤慎一 スタジオムー スタジオMAX 工藤千恵子 城前龍治 森悦史
44	非情!ドラグナー対ドラグナー	松崎健一	関田修	井内秀治	山田きさらか	スタジオマーク 高杉晴美 重田亜津史 江面久 中村プロ 村瀬修功 アニメ・アール 浜川修二郎
45	特攻!復讐の蒼き鷹	星山博之	篠幸裕	井内秀治	中村旭良	中村プロ 村瀬修功 平井久司 柳沢哲也 スタジオギグ 坂本三郎 スタジオMAX 内藤孝一
46	突入!アオイワカバ救出	奇数和十八	棚沢隆	横山裕一朗	大貫健一	南町奉行所 スタジオサンシャイン
47	肉迫!ミン大尉の猛追	五武冬史	日高政光	日高政光	遠藤裕一	スタジオたくらんけ スタジオサンシャイン スタジオどんぐり
48	大宇宙(おおぞら)の凱歌	五武冬史	福田満夫	ふくだみつお	中村旭良(内田順久)	中村プロ

Coming Soon

予告ナレーションと粗筋

●第1話予告
ナレーター「西暦2087年、宇宙は熱い炎に包まれた。軍事独裁政権ギガノスが、地球諸国へ戦いを開始したのである」
ケーン「いきなり、何だっていうんだよォ!」
ライト「僕たちBランクの青少年」
ケーン「ナンだぁ?」
タップ「まぁまぁまぁ!つべこべいわずに逃げるんだよォ!」
ケーン「機甲戦記ドラグナー、ウォォォォォ〜〜〜!!近場に見参!」

●第1話「炎の日」
コロニー・アルカードに、ギガノス軍から奪った秘密兵器ドラグナーを乗せた連合軍の艦が入港、偶然ドラグナーに乗ったケーン、タップ、ライトの3人は追撃するギガノスのMAを撃退。しかしアルカードは……。

●第2話予告
ライト「まったくケーンの無鉄砲にはアキれるなぁ。あのまま突っ込んでたら、コロニーごと吹き飛ばされてたぜ」
タップ「俺なんかチビっちまったもんね」
ライト「汚えなぁ」
タップ「冗談だよォ。で、ケーンまだ寝てんのか?」
ライト「あんだけハデに立ち回りゃ疲れるわな」
ケーン「おふくろォ今から行くぜ!ギガノスのアホタレどもブッ叩いてやる!」
ライト「これだァ」
タップ「奴はマジだぜェ」
ケーン「次回、機甲戦記ドラグナー『廃墟の死闘』!」
ライト「おめェ、寝てたんじゃねぇの!?」

●第2話「廃墟の死闘」
アルカードに残った母親が心配なケーンはドラグナーで捜しに行くことを決意。タップ、ライトとともに無断で出撃する。そこへギガノスのMAが襲いかかる。何とかこれを倒した3人は戦時特令法で軍属となる。

●第3話予告
ケーン「こんなのアリかよ〜/ たかが紙切れ一枚でヒモ付きだぜェ」
ライト「あたしにも自分の人生設計ってあったんだけどねェ」
タップ「それより、とんでもねぇ敵艦がご登場あそばすんだと」
ケーン「ギガノスもしつこいね、人間あきらめが肝心なのによ」
ライト「新手ってどんな奴だ?」
タップ「そりゃまぁ見てのお楽しみ」
ライト「次回、機甲戦記ドラグナー『ギガノスの蒼き鷹』!」
ケーン「バーロー! 男は顔じゃない!」

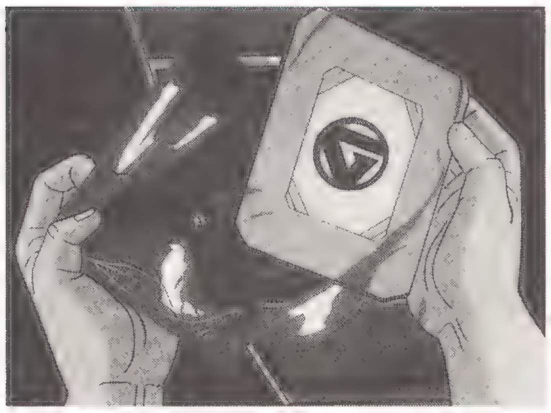
●第3話「ギガノスの蒼き鷹」
ドラグナーのパイロットとしてのケーンたちの猛訓練が始まった。そこへ〝ギガノスの蒼き鷹〟と呼ばれるマイヨ・プラートが偵察にくる。マイヨの動きに圧倒されるケーンたちを見て、パイロットの未熟な腕に疑問をもつ。

●第4話予告
ケーン「ぜ〜ったい忘れねぇからな、あの野郎っ!ド紫なんかで気取りやがって!」
タップ「わかった、わかった、わかったって!」
ライト「けどねェ、やっぱ多少はテクニックとか、そういうモンも必要なんじゃないの?ねぇオセアノ三等空士」
タップ「一に根性、二に根性」
ケーン「次回、機甲戦記ドラグナー『男たちの戦場』/ 男の気持ちは男しゃなくっちゃあ!」
タップ「なんか危ねぇなァ……」

●第4話「男たちの戦場」
何とか連合軍の艦隊と接触ができ、ひと安心のケーンたち しかしD兵器奪回をめざすギガノスの執拗な攻撃により、ドラグナーを守るためギニールをはじめとする多くの人々が散っていく ケーンは無力な自分に涙する

●第5話予告
タップ「なぁケーン、そう落ち込むなって」
ライト「そーいうこと。ツラいのはわかるがな」
ケーン「けどよォ……」
タップ「そこで踏んばるのが男ってモンじゃねぇのかァ?」
ライト「リンダ女史が言ってたぜ、背中に陰りをもつ人って、意外と頼れる人なのねって」
ケーン「俺の背中、陰り、ある?」
ライト「ああ、まっ黒」
ケーン「次回、機甲戦記ドラグナー『誓いの出撃』!」
ライト「立ち直りだけは早いんだよね、オタクのばあい」

●第5話「誓いの出撃」
アイダホの難民たちが食料と薬の不足に悩んでいることを知ったケーンは、タップと倉庫に潜び込み、これを手に入れる。皆の感謝を受け、リンダとの距離も近づき大満足。一方、D兵器のパイロットに疑問を抱くマイヨは…。



●第6話予告
ケーン「なあ!?どうなるんだよ俺たち…」
タップ「わかんねーよ、んなこと」
ライト「推進剤、弾薬、ほとんどスッカラカンだし」
タップ「でもよォ、生きてるだけ俺たち運が強いのかもな」
ケーン「ジョーダンじゃないよ!腕だよ腕!」
ライト「腕といやあ、今度出てくるムッサいオッサン。スゴ腕らしいぜ…」
ケーン「ナニ者たい、そいつぁ」
タップ「次回、機甲戦記ドラグナー『戦士への試練』!」
ケーン「試練ねぇ……アイダホに戻りたいよおお!!」
ライト「アイダホじゃなく、リンダだろ!?」
ケーン「ピンポーン」

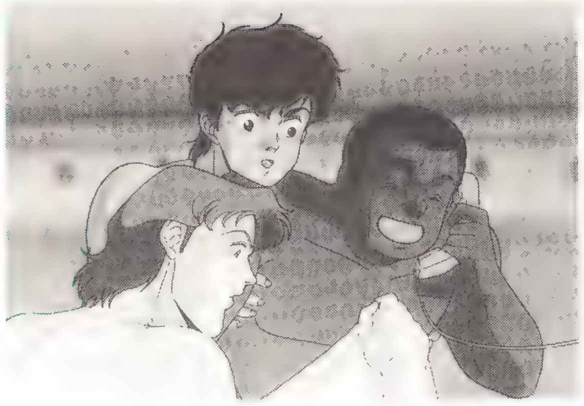
●第6話「戦士への試練」
爆発に巻き込まれたため、宇宙を漂流していたドラグナー3機は、ギガノスの宇宙ステーションに不時着。ギガノス軍チェホフ中尉に捕らえられてしまった。出世をもくろむチェホフは、D兵器を軍本部に輸送しようとする。ケーンたちにドラグナーの整備をさせようとして、逆にD-3のコクピットにとじこめられてしまった チェホフと3人組の奇妙な戦いが始まる 実戦派のチェホフに、戦う術を学ぶ3人組であった。

●第7話予告
ライト「きょうはなかなかリキが入っていたねェ、ケーン君」
ケーン「まったく、やってくれるよあのオッサン。こちとら体ズタボロ」
タップ「まぁいい線いってたんじゃないの?」
ライト「これからが問題たねェ……どうやってあそこをおん出るか」
タップ「うまくいかないのが、お話のセオリーだったりして……」
ケーン「次回、機甲戦記ドラグナー『さらばチェホフ』!」
タップ「さよならだけが人生か」
ケーン「あれ? やけに浸ってますねェ」
タップ「僕はいつだってこうよ」

●第7話「さらばチェホフ」
補給艦にマイヨ直属のプラクティーズが立ち寄る 手柄が欲しいプラクティーズは、チェホフを銃殺し、ドラグナーを手に入れようとする。しかしケーンたちの怒りの攻撃に、プラクティーズは敗走させられる。

●第8話予告
ケーン「あったまにきたぜ、まったくぅ!あのチャラチャラしたおもちゃの兵隊どもめ!」
ライト「プラクティーズの面々だと」
タップ「なんだか知らねェが、まぁトッチャンの敵は討てたってわけだ」
ライト「いい教官だったのになぁ……」
ケーン「そうだ、リンダ、や、アイダホは敵にとっ捕まっちまったっていうじゃないか!」
タップ「次回、機甲戦記ドラグナー『捕虜奪回作戦・前編』!」
ケーン「リンダ、待ってろ、これから救けに行くからなぁ!」
ライト「おお、燃え上がっちゃってぇ」

●第6話予告



●第8話「捕虜奪回作戦（前編）」
アイダホがギガノスの宇宙中継基地に連れ去られたことを知ったケーンたちは、アイダホ奪回のためにチェホフの補給艦で中継基地に潜入する。一方、アイダホの難民に妹リンダの姿を認めたマイヨは、再会を果たすが……。

●第9話予告
ケーン「さぁ～て、なんとか潜り込めたけど、これからが問題だぜ」
タップ「まぁ首尾よく行きゃいいんだけどねェ……」
ライト「案ずるなかれ、子羊たちよ。このライト・ニューマン様が後にひかえておますの忘れてません？」
タップ「ヘイヘイ、お代官様、コンピュータさばきのほう、頼んまっせ！」
ケーン「なんたって頼りはオタクだけなんスから」
ライト「ウンウン。次回、機甲戦記ドラグナー『捕虜奪回作戦・後編』！」
ケーン、タップ「ブタもおだてりゃ木に登る／っと」

●第9話「捕虜奪回作戦（後編）」
敵の中継基地に潜入したケーンたちは、コンピュータにニセの情報を流して撹乱し、捕虜となっていたリンダたちアイダホの避難民の救出に成功。基地を脱出して一路地球へと向かった

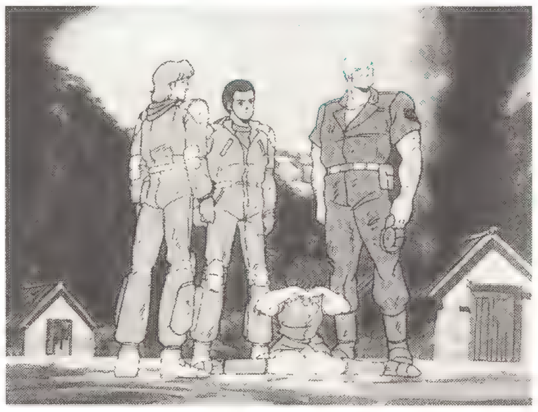
●第10話予告
ケーン「アーッ気に入らねぇ、気に入らねぇったら気に入らねェ！」
ライト「うん？ ひょっとしてあの蒼き鷹とかいうキザな奴のこと？」
ケーン「ああ／ 思い出すのもムカッ腹が立つぜ／ あーっ、気に入らねぇ！」
タップ「それ、ジェラシーって奴とちゃう？」
ケーン「わかります？」
タップ「次回、機甲戦記ドラグナー『体あたりの防戦』！」
ケーン「リンダちゃんは俺のものだ。誰にも渡さねぇぞ…」

ライト「彼女がイヤだと言ったら？」
ケーン「エッ、エッ!?」
タップ「ケーンの負け！」

●第10話「体あたりの防戦」
地球を目前にしたケーンたちは、みずからの腕を磨くためにタグラスに特訓を申し込むだが、その成果を待たずに、マイヨの攻撃を受けることとなったケーンたちは、キャバリアーを犠牲にしてこれを撃退する

●第11話予告
ケーン「さぁて、いよいよ秒読み開始だぜ！」
ライト「10時間後には大地を踏めるってわけだ」
ケーン「でも敵さん、このままスンナリ通しちゃくれねェだろうな」
ライト「ああ、まず死にもの狂いで来るだろうな」
タップ「次回、機甲戦記ドラグナー『熱望の大地』！」
ケーン「あり!? ご機嫌直ったようね、タップ」
タップ「最後の正念場だ、気張って行こうぜェ！」
ケーン＆ライト「鳴いたカラスがもう笑った！」

●第11話「熱望の大地」
いよいよ大気圏突入をすることとなったアイダホ。リンダたち難民の協力のもとに、タンクの切り離し作業が進む。ケーンたちは、これを阻止しようとするギガノス軍の攻撃を退け、ついに地球に降り立つこととなる。



●第12話予告
ライト「どうにかたどり着けたな」
タップ「それにしてもよく揺れるなァ……ウッ、俺、気持ち悪い……。ウ～～」
ライト「おい、よせよタップ」
ケーン「司令部に着いたら俺たち、お役御免になるんだな。でもリンダたちどうするんだろう」
ライト「人それぞれさ」
ケーン「またギガノスのあほタレメカが邪魔しやがんだろうな」

ライト「次回、機甲戦記ドラグナー『それぞれの帰還』！」
タップ「来るなら来てみろ……オッウッ！」
ケーン「大丈夫かね、こちらさん」

●第12話「それぞれの帰還」
連合軍艦隊との接触もでき、有頂天のケーンたち。連合軍司令部へ行けば、パイロットとしての登録が解除されるのである。難民たちのなかにも上陸を待望する者たちがおり、人々はそれぞれの道をめざし、別れていった

●第13話予告
ライト「いよいよ俺たちはドラグナーともお別れだなぁ」
ケーン「リンダちゃんともお別れかぁ……」
タップ「湿っぽい話はなしにしようぜ／ パーッと行こう、パーッと！」
ケーン「あれ？ 浮かれてんの、オタク」
タップ「俺はなぁ、俺は……クゥゥ……」
ライト「察してやれよ、ケーン」
ケーン「次回、機甲戦記ドラグナー『マスドライバー発射指令』！」
タップ「テレビの前の君たち、俺たちとともに青春しようではないか。さぁ、夕陽に向かって！」

●第13話「マスドライバー発射指令」
いよいよ連合軍司令部も目の前。ケーンたちの接近で、上陸してお別れパーティーが開かれる。リンダと別れを惜しむケーンは、必死にアプローチする。そんなとき、連合軍司令部がマスドライバーの直撃を受けてしまう。

●第14話予告
ケーン「なんだ、なんだ、なんだァ!? 何が起こったんだよォ」
タップ「落ち着けよ、ケーン。司令部が直撃くらったらしい」
ケーン「ぬあにぃー!?」
ライト「パーティーのオチにしちゃ、敵さん気の利いたことやってくれたぜ」
ケーン「俺たちの登録解除はどうなるんだよオ!?」

タップ「次回、機甲戦記ドラグナー『新たなる旅立ち』！」
ケーン「ちょっとぉ、新たなるってリンダちゃんは!?」
ライト「リンダもローズもダイアンさんもお別れだ！」
ケーン「ヘ!?」
タップ「これからの俺たちの旅路には青春はないんだァ！」

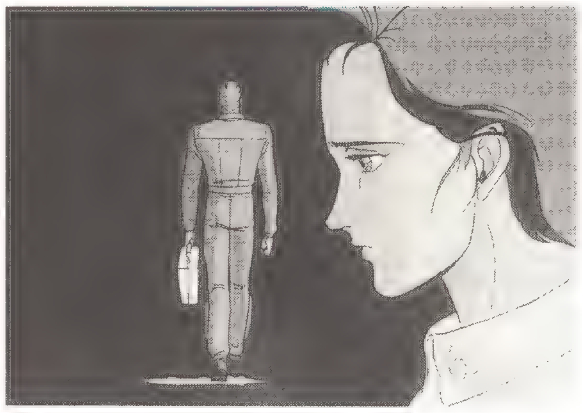
●第14話「新たなる旅立ち」
マスドライバーによって連合軍司令部は壊滅。ケーンたちは再び再召集を受け、准尉としてドラグナー・パイロットの任に就く。そして新たに、D兵器をノーラッドの連合軍総司令部へ輸送することを命ぜられる。

●第15話予告
タップ「俺たちもとうとう准尉殿さ」
ケーン「へへっ、一応将校だもんな」
ライト「それも最低のな……」
ケーン「えっ!?」
タップ「あ――っ、連合軍将校となったからには、この戦局にかんがみ……」

ライト「ちょっとォ！」
タップ「うぅ～ん、将校となったからには給料もいっそう上がり……」
ライト「それが本音か！」
ケーン「次回、機甲戦記ドラグナー『ドラグナー艦隊危機一髪』！」
タップ「まぁーたあの紫色のキザ野郎が登場か、しつこい野郎だせっ。納豆の糸じゃあるまいし！」

●第15話「D艦隊危機一髪」
D兵器輸送を阻止しようとするギガノス軍は、新型潜水艦クルーフヒートで攻撃をしかける。空母は被弾し、そこへMAが襲いかかる。しかし仮飛行用パーツを装着したD-1の活躍により撃退されるのであった。

●第16話予告
ライト「人が死ぬから戦争というのかねぇ」
ケーン「戦争だから人が死ぬんだろ！」
タップ「誰も死なない戦争ってないもんだなぁ……」



ケーン「ムリムリ／ あのギガノスのキザ野郎がいる限り」
ライト「紫色のあいつか！」
タップ「あのダンナ、近ごろ負けが込んでるからなぁ……」
ライト「また必死に打って出てくるぜ」
ケーン「次回、機甲戦記ドラグナー『補給基地の罠』／ やってやろうじゃない／ ドカーンと！」
ライト「うらやましいねェ、オタクのそういう思考回路」
ケーン「えっ!? やっ、そりゃどーも」

●第16話「補給基地の罠」
ギガノスの偵察機を撃墜したケーンたちは、パイロットが友人のヒルであったことに驚く。ケーンたちはヒルを助けるために努力するが、銃殺を恐れるヒルは脱走してしまう。一方、補給基地ではマイヨが罠を張って待っていた。

●第17話予告
ケーン「さーて、いよいよノーラッドに到着か」
タップ「犠牲も多かったが、義理は果たせたってわけだぜ」
ケーン「リンダちゃんに会いたいよォ！」
ライト「なんだ、その唐突さは？」
タップ「ローズも今ごろどうしていることやら……」
ライト「へっ、2人で空しい妄想ブッこいてろォ」
ケーン「次回、機甲戦記ドラグナー『ノーラッド破壊工作』！」
タップ「なにィー！ またあの紫のキザ野郎のお出ましかよォ」
ライト「ダイアンさぁ～ん！」
タップ「あのねぇ……」

●第17話「ノーラッド破壊工作」
連合軍ノーラッド総司令部へたどり着いたケーンたちは、重慶でしかパイロットの登録解除はできないと申し渡される。また、破壊工作のためノーラッドに潜入したマイヨはリンダと再会し、2人が兄妹であることが知れる

●第18話予告
タップ「ガーン／なんてもんじゃなかったぜ、きょうのショックは」
ライト「あのリンダが、奴の妹だなんてなぁ……」
ケーン「だからなんだっつうんだよ！ 敵の回し者だとでも言いてぇのかよォ」
タップ「落ち着けよケーン。俺はただ、このことを胸に秘めてたリンダがかわいそうだと思ってさぁ」
ライト「ああ、つらかったろうに……」
ケーン「なんかねえのか、落ち込んでるリンダを、こうパァッと明るくするようなもんかよォ！」
タップ「次回、機甲戦記ドラグナー『奇襲の蒼き鷹』！」

●第18話「奇襲の蒼き鷹」
ドラグナーのフライトユニットを受け取り重慶をめざすケーンたち。まずバンクーバーにD兵器を輸送するために、おとり部隊を出すが、これを見破ったマイヨの奇襲を受けることになる

●第19話予告
タップ「なぁ聞いたか。リンダの兄貴、どうやら前線送りになるらしいぞ」
ライト「ほんとうに？ やっこさん、とうとう俺たちをあきらめたか」
タップ「なんでも南部戦線の激戦地らしい」
ケーン「いいザマだぜィ。どこでも行って、おっ死ねばいいんだ！」
ライト「おいケーン、言いすぎだぞ」
ケーン「うっせえ！」
タップ「次回、機甲戦記ドラグナー『飛行兵器D』！」
ケーン「もう向かうところ敵なしだぜィ！」
ライト「といつも申しておるケーン君です」

●第19話「飛行兵器D」
フライトユニットを装備したドラグナーの訓練が始まった。ケーンたちはその威力に大ハシャギ。一方、ドラグナー追撃の度重なる失敗に対し、マイヨは南部戦線に更迭されることになる

●第20話予告

タップ「ケーンのおやじさんが!?」
ライト「この空母に立ち寄るってさ」
タップ「よかったなケーン。何年ぶりだ。おやじさんと会うの」
ケーン「冗談じゃねえ！ アイツの目的は俺に会いに来るんじゃねぇんだよ」
ライト「えっ!? ケーン……」
ケーン「アイツは秘密兵器ドラグナーの性能を視察に来るだけなんだよォ！」
ライト「次回、機甲戦記ドラグナー『洋上の再会』！」
ケーン「俺は嫌たからな。絶対会ってやるもんか！」
ライト「なんかいわくありそうね」

●第20話「洋上の再会」

ケーンたちの艦に連合軍の参謀が視察に来ることになった。その参謀とはケーンの父であり、自分と母親を捨てたと思い込んでいるケーンの態度は冷たかった。だが父親の危機に、ケーンは自分のこだわりを捨て、出撃する

●第21話予告

ケーン「オラァやるぜ！ とことん戦って、この戦争早く終わらせるんだ!!」
タップ「どったの？ その張り切りようは」
ライト「ようし、じゃあ手始めに秘密補給基地でも襲ってやるか！」
ケーン「秘密基地でも何でも、ギガノスのアホたれどもは、この俺がぶっ叩いてやる！」
タップ「エッ!? 叩くだけ？」
ライト「格納されている新型メカも、ごっそり頂いちまうのさ」
ケーン「次回、機甲戦記ドラグナー『敵MA奪取作戦』！」
タップ「軍曹も参加するんだってよ」
ライト「あっ、そう」

●第21話「敵MA奪取作戦」

ギガノスの補給基地内に新型MAが格納されていることを知ったケーンたちは、これを奪取する作戦を敢行する。だが調子に乗って大あばれしたケーンたちが手に入れたのは、新型MAの操縦桿ひとつであった

●第22話予告

ケーン「は～るばる来たぜ、青森――」
タップ「はぁー、やけに張り切ってますね」
ケーン「見ろ。あれが竜飛岬」
ライト「どうしちまったの？」
ケーン「いよいよ日本列島だ！ あそこには、俺の婆ちゃんがいるんだ!!」
タップ「あー、なるほど」
ライト「しかし、あの辺はギガノスの占領圧だ。それに竜飛岬には要塞ができたらしいぞ」
タップ「次回、機甲戦記ドラグナー『ギガノス要塞破壊命令』！」
ケーン「何としても叩きつぶしてやる！」

●第22話「ギガノス要塞破壊命令」

ケーンの故郷である日本列島に接近したD艦隊。津軽海峡にあるギガノスの要塞を破壊するためにケーンたちは出撃するが、D-2が被弾してしまう。しかしケーンの祖母の協力を得ることができ、要塞破壊に成功する。

●第23話予告

タップ「なぁ、ケーン。お前京都に上陸するんだってな」
ライト「それもリンダ女史と2人きりで」
ケーン「ああ。それで頭が痛ェんだよ」
ライト「あれ～何の悩みかな？」
タップ「コノ！ コノ！ 歯ブラシちゃんとももったか？」
ケーン「ちょっと、何考えてんだよお前ら。俺はあのマイヨ・プラートに呼び出されているんだよ」
ライト「次回、機甲戦記ドラグナー『対決マイヨ・プラート』！」
ケーン「奴には借金なんかしてねぇんだけどな」
タップ&ライト「いってらっしゃ――い」

●第23話「対決マイヨ・プラート」

南部戦線へ更迭されたマイヨ・プラートは月からの密命を受けた。マイヨは命令に応じるかわりに、D-1のパイロットであるケーンと接触する手はずを取ることを要求する。そしてケーンはリンダとともに京都でマイヨと会見する。

●第24話予告

ケーン「ぎょうざにしゅうまい、ワンタン、ピータン・タンタンメン」
ライト「何それ？」
タップ「ザーサイ、フカヒレ、ペキンダックにウーロン茶」
ライト「だから何だっつーのよ」
ケーン「いよいよ中国大陸ですよ」
タップ「上陸するは、国際都市上海。今から腹すかしとこっと」
ケーン「次回、機甲戦記ドラグナー『上海大逃走』！」
ライト「うかれるのもいいけど、あそこには敵の諜報員がうじゃうじゃいるんだぞ」
タップ「満腹に敵なし！」
ケーン「サイチェーン」

●第24話「上海大逃走」

ようやく上海に到着したD艦隊。そんなとき町中でギガノスの諜報員に追われる老人を助ける。何と彼こそが重慶からドラグナーの視察にきたラング・プラート博士であった

●第25話予告

ライト「われら連合軍に量産型新鋭機ドラグーンが配備されたらしいな」
タップ「ああ、これからの戦況もドーンと変わってくるぞ。なあ、ケーン」
ケーン「う～～～ん」
ライト「俺たちの使命もこれで報われた」
タップ「いよいよドラグーンの時代か」
ケーン「それが気に入らねーんだよ！ 量産型なんかに負けてたまるかよ！ 次回、機甲戦記ドラグナー『D兵器改造計画』！ ドラグナーは不滅だい!!」
タップ&ライト「あれまァ！」

●第25話「D兵器改造計画」

ついに重慶に到着したケーンたち3人は、これで軍から解放されると大喜び。だが量産型のドラグーンの登場によってドラグナーが解体されると知ったケーンは、再び軍に戻る。

●第26話予告

ケーン「来やがんぞ～とんでもねぇ野郎がよ」
タップ「あのキザ野郎がまた出たか!?」
ケーン「ちゃうちゃう、ちゃうって！」
ライト「だから何が!?」
ケーン「ギガノスの汚物、グン・ジェム隊さ」
ライト「そいつらが次なる敵ってわけか」
ケーン「次回、機甲戦記ドラグナー『恐怖のグン・ジェム』！」
タップ「そうなると俺たちのドラグナーも徹底的にパワーアップしなきゃな」
ケーン「博士ー、まんじゅうなんか食ってる場合じゃないっすよォ～～～！」

●第26話「恐怖のグン・ジェム」

新たにドラグナー討伐の任についたのは、無敵を誇るグン・ジェム隊であった。ケーンたちはこのグン・ジェム隊と戦うためにパワーアップしたドラグナーで出撃するか、そのパワーを十分に発揮できず苦戦を強いられる

●第27話予告

タップ「とんでもない奴が出現したもんだぜ」
ライト「ギガノスの汚物か」
ケーン「でもよー、わが精鋭ドラグーン隊もあっけなくやられちまうんだもんな」
タップ「そのヤム少佐たけどな、決死隊5人で敵陣に潜入するらしいぞ」
ライト「次回、機甲戦記ドラグナー『見参！ドラグナー遊撃隊』！」
タップ「うまいこと、たのんますよ！」
ケーン「なーに、少佐たちの骨はわれらドラグナーがひろってあげますよ！」

●第27話「見参！ドラグナー遊撃隊」

ケーンたちの新たな任務は、ドラグナーによる遊撃隊を編成し、ギガノスの秘密工場を発見して破壊することであった。しかしその秘密工場の守備隊は、あのグン・ジェム大佐率いるならず者集団グン・ジェム隊であった

●第28話予告

ケーン「なかなか手ごわい奴だったぜ、あのデカハイク」
ライト「これから先あの手がゾロゾロ出てくると思うとゾッとしますなぁ」
タップ「あの機動力には完全に負けてるもんな。こういうときの二枚目ってつらいよねぇ」
ケーン「誰のこと？」
タップ「もちろんこのオレ…エッ？」
ケーン「次回、機甲戦記ドラグナー『脅威の毒蛇部隊』！」
タップ「さーて、二枚目キャラのふんばりを見せてやるか！」
ケーン「オレ帰るわ」
ライト「オレも」

●第28話「脅威の毒蛇部隊」

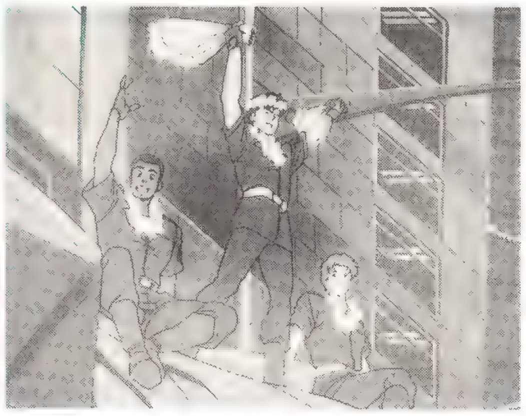
月で起こった若手将校達の反乱は、収拾に努めるマイヨの努力もむなしく、依然、膠着状態が続いていた。一方、ドラグナー遊撃隊はグン・ジェム隊の強襲を受け、ドラグナーを破壊されたうえ、リンダをさらわれてしまう

●第29話予告

ケーン「大変だ！ リンダがさらわれちまったぞ!! どうする？ ヤバイぞ！」
ライト「落ち着けよ」
ケーシ「これが落ち着いていられるかよ！ リンダがどうなってもいいってのか、この薄情者!!」
タップ「頭冷やせよ。対策を考えようぜ」
ケーン「対策たと？ さらっていったのはグン・ジェム隊なんだぞ！ 俺は行くぜ。行ってリンダを必ずこの手に奪い返してやる!!」
ライト「次回、機甲戦記ドラグナー『潜入！リンダを救え』！」
ケーン「ところで、グン・ジェム隊の基地ってどこ？」

●第29話「潜入！リンダを救え」

ドラグナーを破壊されてしまったケーンは、リンダを救出するために単身、グン・ジェム隊の基地に向かう。リンダの機転と、ドラグーンで駆けつけたタップとライトの協力もあり、救出に成功、追っ手のガナンを退ける。



●第30話予告

ローズ「ねぇ、ミン大尉に会ったんだって？」
リンダ「ええ、噂どおりの人だったわ」
ローズ「うわー。私、そういう人に憧れちゃうんだな」
リンダ「ローズ」
ローズ「エヘヘ。女性としての魅力を備えた女戦士か」
リンダ「あなただって十分魅力的よ」
ローズ「ホントに!?」
リンダ「次回、機甲戦記ドラグナー『必殺！チェーンソーアタック』！」
ローズ「アマゾネスのおネェ様。私にも欲しい、あなたの何分の一かのそのふくらみを…」

●第30話「必殺！チェーンソーアタック」

グン・ジェム隊のミン大尉は、補給に立ち寄ったダンたちを率いてドラグナーを強襲する。味方さえ巻き込むミンの攻撃にドラグナーは苦戦を強いられるが、何とかこれを撃退する。ミンはドラグナーに復讐を誓うのであった

●第31話予告

ダン「何て奴たあの女は！ たとえ上官とはいえ、言語道断だぞ!!」
ウェルナー「まったく、この聖戦を何と心得ている！」
カール「しかし彼女、かなりの使い手であることは事実のようだな」
ウェルナー「おっ!? 貴公やけにあの女の肩をもつではないか」
カール「次回、機甲戦記ドラグナー『月からの刺客』！」
ウェルナー「カール・ゲイナー少尉！」
カール「あっ？」
ウェルナー「質問に答えていないぞ」
カール「月の本部から、そのスジのプロが――」
ダン「貴公、あの女に…」
カール「エヘン、エヘン……まいったな」

●第31話「月からの刺客」

ドラグナー打倒のために新たに送り込まれてきたゲルポック隊は、チームプレイでケーンたちを翻弄し、タップとともにD-2を拉致する。しかし逆に、救出にきたケーンたちのチームプレイで、ゲルポック隊はアテンを失う

●第32話予告

タップ「ハアー、俺はもう一時はダメかと思ったぜ」
ケーン「出来の悪い友達ほど大事にしなくっちゃってね」
タップ「どういう意味よ!?」
ライト「しかし奴らはチームの一員をなくしたんだ。今度こそ本気で突っ込んでくるぞ」
タップ「まさか、グン・ジェム隊の電子戦用員を組み込んでくるなんてことねぇだろうな」
ライト「ジン中尉とかいったな」
ケーン「次回、機甲戦記ドラグナー『復讐の狙撃兵』！」
タップ「どうする？」
ライト「どうしよう？」
ケーン「どうしましょう？」
ケーン&タップ&ライト まる！

●第32話「復讐の狙撃兵」

ドラグナーに復讐を誓うゲルポックは、アテンの代わりにグン・ジェム隊のジン中尉をメンバーに加え、再度ドラグナーに襲いかか

機甲戦記ドラグナー

●スタッフ

企画	サンライズ
原案	矢立肇
シリーズ構成	五武冬史
音楽	渡辺俊幸
キャラクターデザイン	大貫健一
メカデザイン	大河原邦彦
美術	中村光毅
	岡田有章
音響	藤野貞義
撮影	酒井幸徳
監督	神田武幸
プロデューサー	神谷寿一(NAGOYAテレビ)
	稲垣光繁(創通エージェンシー)
	吉井孝幸(サンライズ)
制作	NAGOYAテレビ
	創通エージェンシー
	サンライズ
コスチュームデザイン協力	鈴木雅久
色彩設定	前とも子
	山崎恭子(補佐)
編集	布施由美子(井上編集室)
音響制作	千田啓子
効果	依田安文
調整	依田安文
録音	整音スタジオ
現像	東京現像所
広報制作	村田光
制作デスク	富田民幸
	古沢文邦(補)
文芸設定	鎌田秀美
設定制作	井上幸一
	松永良和
OPアニメーション	大張正己
	大森英敏

●キャスト

ナレーター	石塚運昇
ケーン・ワカバ	菊池正美
タップ・オセアノ	大塚芳忠
ライト・ニューマン	堀内賢雄
リンダ・プラート	藤井佳代子
ローズ・パテントン	平松晶子
ダイアン・レイン	勝生真沙子
マイヨ・プラート	小杉十郎太
カール・ゲイナー	島田敏
ウェルナー・フリッツ	竹村拓
ダン・クリューガー	柏倉つとむ
ジャック	頓宮恭子
ダニー	坂本千夏
ベティ	水谷優子
ギルトール	大木正司
ベン・ルーニー	島香裕
ダグラス	大滝進矢
ロイ・ギブソン	秋元羊介
ソウル・ジルセット	鈴木れい子
アオイ・ワカバ	火野カチコ
ジム・オースチン	島俊介
ギニール	池本通洋
チェホフ	飯塚昭三
ラインハルト	戸谷公次
ゲドマン	徳丸完
ビル・ブライアン	鳥海勝美
パウエル	戸谷公次
マーチン	田中正彦
オードリー	高島正彦
ドルチェノフ	飯塚昭三
グン・ジェム	加藤治
ミン	島津冴子
ゲルポック	西村知道
チェンドル	千葉耕市
アデン	星野充昭
ソニア	秋山嘉子
クララ	水谷優子

る　しかしジンの裏切りにより、反撃に出たドラグナーの前に散るのであった。

●第33話予告

タップ「手ごわい相手だったが、どうにかやっつけたな」

ケーン「奴ら、統合参謀本部から送り込まれてきたらしいぜ」

ライト「内部抗争が起こり、あせってきているんだろう。あの蒼き鷹も巻き込まれ、大分きな臭くなっているようだぜ」

ケーン「ギガノスのアホタレどもはみんなギッタギッタになればいいんだ」

タップ「次回、機甲戦記ドラグナー『ギガノスの異変』！」

ライト「リンダちゃんが悲しむなぁ」

ケーン　困っちゃうなぁ…

●第33話「ギガノスの異変」

ギガノス軍のドルチェノフ中佐は、反乱鎮圧に全力を傾注せず、地球へのマスドライバー全面攻撃も避けるギルトール元帥に対し不満を抱き、ついに元帥を暗殺。そして、その罪をマイヨにきせてしまう

●第34話予告

ケーン「なぁなぁな、聞いたか？ビッグニュースだぜ」

ライト「ギガノス帝国の政変だろ？」

タップ「蒼き鷹、元帥を暗殺／お前、新聞見てないの？」

ケーン「あれ？」

ライト「お前が見るのはTV版ばっかしだもんな」

ケーン　悪いかよ」

タップ　まぁなんだな。ギガノスぶっつぶしのひとつの節目かもな」

ライト「次回、機甲戦記トラグナー『追撃／土蜘蛛作戦』！」

タップ「また、あのグン・ジェムの汚物どもが汚いこと企んでくるぜ」

●第34話「追撃／土蜘蛛作戦」

マイヨが元帥を暗殺し地球へ逃亡したという報を受けたリンダは、ドラグナーをおびき出すためのグン・ジェムのにせ情報とも知らず、マイヨの漂着地点と思われる場所へ急ぐ。そこにはゴルのミサイルランチャー群が……

●第35話予告

ケーン「ーったく。こりねぇ野郎だぜ」

タップ『俺の嫁さーん』ときたもんな」

ライト　こいつは強力なライバルですよ」

タップ「奴さん今度こそマジできますよ」

ライト「彼の場合プラトニックだからなおさら」

タップ「今度は、何でも風呂屋の煙突よりでかい大砲持ち出してくるみたいだぜ」

ケーン　次回、機甲戦記トラグナー『恐怖／無限機動砲』！」

ライト　まっ、彼女を取られないように気をつけるんですな」

ケーン「ウッソ～」

●第35話「恐怖／無限機動砲」

グン・ジェムはドラグナーせん滅のために最新兵器・無限機動砲を出撃させる。その破壊力に驚愕するケーンたちだが、グン・ジェムたちの出撃を見すまして攻撃を開始し、ゴルもろとも機動砲の破壊に成功する

●第36話予告

タップ「ったく！敵さんこりずにいろんなアブネエもんもちだしてきやがんなあ」

ケーン　おかげでこちとら息つくヒマないぜ」

ライト「ま今回は欠陥品だったから倒せたが」

タップ「敵の攻撃もハンパじゃすまねぇぞ」

ケーン「上等じゃねーか。うけて立とうじゃないのよ！」

ライト「次回、機甲戦記トラグナー『猛攻／怒りのグン・ジェム』！」

タップ「いよいよ御大のお出ましだー」

ケーン「グン・ジェムこわくてヒーローつとまるかってんだ！」

●第36話「猛攻／怒りのグン・ジェム」

ゴルを失ってドラグナーへの復讐に燃えるグン・ジェムの攻撃により、ドラグナー隊は多大な損傷を受ける　しかしリンダが、過去のデータから弱点を見つけ、グン・ジェム機に手傷を負わし敗走させる

●第37話予告

タップ「やっぱり実力の差かね？」

ラスト「拳法にかけちゃ雲泥の差」

タップ　月にスッポン、苗木に大木」

ライト　めだかに鯨、アニメは視聴率」

ケーン　いいかげんにしろ！俺は今、天才によくあるスランプに陥っているんだ」

ライト「元気だせ。グン・ジェム必勝法はヤム少佐の親父さんが伝授してくれるって」

タップ「次回、機甲戦記トラグナー『打倒／毒蛇の青竜刀』！」

ライト　鬼に金棒」

タップ「馬に人参」

ライト　猫に小判」

タップ「おけらにたいこ」

ケーン　朝までやってろ」

●第37話「打倒／毒蛇の青竜刀」

一度はグン・ジェムを敗走させたものの、再び同じ手が通用する相手でないと知ったケーンは、ヤムの父ラオチュンに剣技を学ぶ　そして敵の動きを見切れるようになったケーンは、ガナンのMAを両断する。

●第38話「登場／究極のMA」

ゴル、ガナンと相次いで部下を失い怒り心頭のグン・ジェムは、開発中の究極の巨大MAギルカサムネを使用し、トラグナー隊を翻弄する　しかし伝導システムの暴走で正気を失ったグン・ジェムは、ジンを爆死させてしまう。

●第39話「壮絶／グン・ジェムの最期」

ギガノス秘密工場を破壊すべく、新兵器の光子バズーカを装備したドラグナーに、再びグン・ジェムが襲いかかる。しかし新型MAが高性能すぎるゆえに制御しきれないと見抜いたドラグナーに、秘密工場もろとも破壊される。

●第40話「狡猾／ハイデルネッケン少佐」

ギガノス軍は新たに思考コントロールシステムを完成した　このシステムを用いた宇宙要塞の破壊がケーンたちの新任務となった。だがその前に、このシステムを使った新型MAを操るハイデルネッケン少佐が立ち塞がる

●第41話「復活／ギガノスの蒼き鷹」

マイヨが接収した輸送艦には、ミンとハイデルネッケンが乗っていた　ミンを盾に脱出したハイデルネッケンを追って出撃したマイヨは、ケーンのD－1と接触する……！

●第42話「発動／ギガノス無敵要塞」

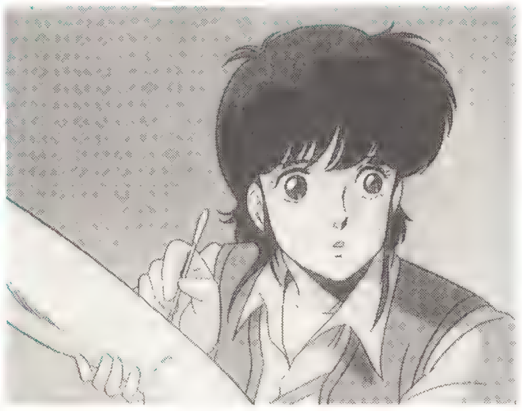
宇宙要塞の強大さに困惑する連合軍、ギガノスからの投降勧告の無線が母の声であることに気づいたケーンは、母を助けるためD－1でギガノスに投降した　博士は[illegible]を要塞にぶつけようと試みる。しかし…。

●第43話「決戦／巨大要塞攻略作戦」

母を人質に取られたケーンは、ギガノスの要塞に投降する。彼を待っていたのは、卑劣なドルチェノフの作戦だった　単身攻撃をしかけてきたマイヨとの対決を強要したのだ。2人の激闘のさなか、連合軍の攻撃が開始された

●第44話「[illegible]／ドラグナー対ドラグナー」

[illegible]のダメージは大きく、[illegible]。そこでドルチェノフは、[illegible]かけようとする発電衛星への破壊をケーンに命じた。[illegible]のなかにはD－2、D－3が！[illegible]ケーンが



●第45話「特攻／復讐の蒼き鷹」

要塞へ帰還したケーンは、混乱に乗じて母を捜し出そうとする。一方、ミンとプラクティーズに助けられたマイヨも、態勢をたてなおしドルチェノフを倒すため、ふたたび要塞に奇襲をかけた。ダンの捨て身の攻撃…そして。

●第46話「突入／アオイワカバ救出」

悩みながら監禁されるケーン　そんなケーンに気づいたリンダとベンは、アオイの救出に向かった。要塞内で出会うマイヨ一行とリンダ、無事アオイも救出され、ケーンはドルチェノフに対して怒りの反撃に出た。

●第47話「閃光／ミン大尉の最期」

火を噴く宇宙要塞。ドルチェノフは味方を盾にして、ひとり脱出しようとしていた。追いつめるマイヨたち　ミンの[illegible]からギルトール暗殺を自白するドルチェノフのことばが、宇宙要塞内にひびきわたる

●第48話「[illegible]／大宇宙」の[illegible]

今まさに落ちんとする要塞内でドルチェノフを追いつめるマイヨ。そこに彼を追うケーンが現われ、[illegible]。さらにプラート博士が現われ、自分の元に[illegible]マイヨに[illegible]する　だがマイヨは宇宙へと…

【正しいドラグナー百科事典の読み方】 昭和62年3月7日から放映されたTVアニメーション「機甲戦記ドラグナー」という作品に関係する人物や事柄を、多方面にわたり分析、解説するためにこの事典はつくられました。この事典によって「ドラグナー」を一から勉強するという人には、きっと役立つことでしょう。もちろんこの事典は、「ドラグナー」の世界を中心に構成されているわけですが、内容や表現についてはむしろひとつの読み物として楽しんでいただけるように配慮しました。まだ「ドラグナー」を知らない人にでも、やさしく楽しく読んでいただけると思います。また、ファンのみなさんには、「ドラグナー」に関するひとつひとつの思い出をていねいに掘りおこすお手伝いをしてくれるものになるのが、この百科事典です。さらに、内容の充実をはかるため著述は各方面の「ドラグナー」記者数名の協力と、サンライズ企画室・井上幸一氏の惜しみない助力を得ました。この場をかり厚く御礼申し上げます。また、この事典を作成するにあたり、各界のさまざまな方々に放映された作品に関するご意見をうかがわさせていただきました。多謝！

この事典によって、あなたのなかのドラグナー世界が広がりをみせてくれることを祈ります。

あア

「あ」は「安」の草体
「ア」は「阿」の偏

アイダホ【IDAHO】「ドラグナー」の1クール、すなわち宇宙編における主要な移動機関。難民船に擬装されていたが、実は地球連合軍の輸送船で、連合軍が入手した、統一帝国ギガノス開発の秘密兵器ドラグナーをひそかに輸送することを目的としている。中立エリア、スペースコロニー・アルカードに寄港するが、秘密物資の輸送に気づいたギガノスは巡洋艦フンボルトをもってこれを追撃し、アルカードに対して武力を行使した。まったく、何の関係もないアルカードの住民こそいい迷惑であった。その後、ケーンたちを乗せ、ギガノス軍に執拗に追われつつもなんとか無事に地球にたどり着き、その使命を終えた。今は北欧の海底に眠っている。

アイドリング・パワー【IDRING POWER】 メタル・アーマーにおいては、即、戦闘に突入できる臨界状態を指す。(19話)

アイランド【ISLAND】 戦闘艦における艦橋の俗称。(13話〜)

アオイ・ワカバ【AOI WAKABA】 ケーンの母親。連合軍軍人だった夫ジム・オースチンと離婚後、女手ひとつで彼を育てていた。コロニー〝アルカード〟の入国管理官を務めていたが、ギガノスの突如の攻撃によって行方不明になってしまう。別にキャリアウーマンといった風体はなく、淡々と自分がやるべきことをやっているタイプの女性であった。こういう働く女性こそ美しいというに足る存在なのである。

あおもりけんろうじんだん【青森県老人団】 若葉ミツのいた青森県の人々。(22話)

あかいカケス【赤いカケス】 ケーンたちの親友だったビルの乗っていたギガノスの高高度高速偵察機の暗号名。(16話)

アクアポリス【AQUAPOLIS】 ノルウェー沖に沈んだアイダホの跡を継いで、ドラグナー輸送の任についた連合軍の戦闘空母。アイダホ着水地点から連合軍北欧司令部、さらにカナダのハドソン湾へと続く長旅の間、ギガノス軍の手からドラグナーを死守した。全長383メートル。現行の空母と比べて約1・5倍の兵力を搭載している。ギガノス勢力下の大西洋を横断するときには、クラウドタイプのフリゲート艦2隻、マードックタイプのエイジス艦2隻、さらにブルチェク、シェフィールド両艦が護衛についた。艦長はゲドマン少将。この作品が「トップガン」的なかっこよさをもち得たのは、この艦の存在があったことも大きな要因となっている。

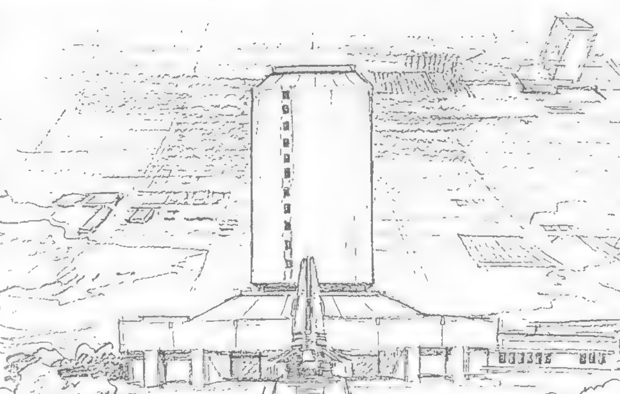
アクアポリスりくせんたい【アクアポリス陸戦隊】 航空・海洋戦力が主である第5海洋戦域軍の、上陸および対陸戦用の部隊。カムチャツカ半島沖にあるギガノス軍補給基地を砕く際に登場した。(21話)

アザルトナイフ【ASSAULT KNIFE】 レーザーソードのエネルギーが上がってしまったときなどに使用する白兵戦用の武器。ドラグナー1の場合、両脚のふくらはぎの後ろ側に装着されている。特殊鋼の刃によって、メタル・アーマーの装甲さえ切り裂くことが可能である。原始的ではあるが、効果的な装備だ。ただし、当然のことながらレーザーソードを受け止めるような器用な真似はできないので念のため。作業などにも使用できるようになっている。ただし、今のところほとんど使われている形跡はない。手榴弾の存在すら知らなかったケーンのことだから、ひょっとするとまだこんな装備があることすら気がついていない可能性もないではない。

アステロイドブレッド【ASTEROID BLEAD】 マスドライバーによって射出された岩石弾のこと。(1話)

アストロノーツ【ASTRONAUT】 直接的には宇宙飛行士などの意だが、「ドラグナー」では宇宙時代における、実際に宇宙的な理念をもった宇宙飛行士や各種技術者などを含めた宇宙で生活する人々を指しているらしい(!?)。

アストロノーツ養成学校【ASTRONAUT ACADEMY】 あすの宇宙時代を担うための人材を養成すべく各コロニーごとに設立されている。入校するためにはまず身体検査も含めた試験にパスすることが必要である。もっとも、それほどその査定自体は厳しいものではない(ケーンたちが在籍していたのもうなずける)。むしろ、入学後の進級および卒業のほうが難しく、進級できるものは4割、卒業できるものとなると2割5分ほどである。やはり宇宙時代っつうくらいだから、日本の大学のように、入ったら後は遊んでいてもどんなアホでも卒業できるというわけにはいかないのだろう。宇宙の過酷な環境においては、学歴や肩書きは何の意味もなさない。実力や資質のないものへの仕打ちは、取り返しのつかない事故、そして死、なのだ。



アデン【ADEAN】 ゲルポック隊の電子戦要員。30歳、中尉。一見、骨ばった顔や痩せた長身のために頼りなく見えるが、実戦では冷静な判断の下、的確な指示を下す。コーキング弾で動きを封じたはずのD-2が、回路を直結して発射した主砲の突然の攻撃からゲルポックを守り、戦死する。(31話)

アデンき【アデン機】 レビ・ゲルフ・マッフのカスタム機であり、情報収集及び戦闘状況の把握が目的である。ECM発生装置はD-3以上のものであり、ドラグナー隊を翻弄した。(31話)

アニー【ANNIE】 親をギガノス軍により殺され、生き残るためにハッサンたちとともに徒党を組んでいる。軍人を嫌っているが、命を助けてくれたケーンたちに心を開きゲルポック隊を倒すために協力する。(32話)

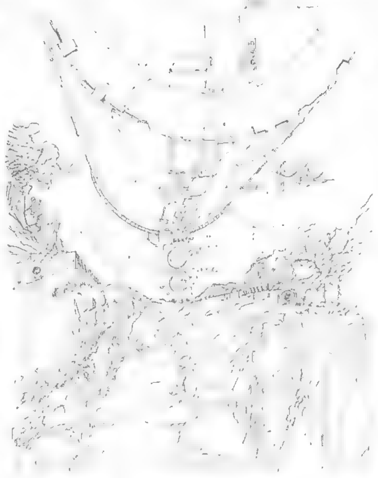
アマゾンがたせんとうぼかん【アマゾン型戦闘母艦】 戦闘用ポッドを多数搭載している宇宙重巡洋艦。ドナウ型支援母艦よりも大型である。地球をめざすアイダホの護衛に2隻が登場。1隻は連合軍第3宇宙艦隊の旗艦で名称はバージニア。(3話〜)

アラリスクきち【アラリスク基地】 ソビエトにある連合軍基地。グン・ジェム隊を倒したドラグナー遊撃隊は新たなる敵、ギガノス軍巨大宇宙要塞を叩くために、ここから宇宙へ飛び立って行く。(40話)

アリゲーター3【ARIGATOR-3】 第一防衛ラインを守っていたゴルの部隊のコードネーム。ゴルが街で女遊びをしている間にドラグナーの奇襲を受け、全滅した。(35話)

アルカード【ARCARD】 旧国連によって2070年に建設されたスペースコロニーで、約5万の人々が住んでいた。全長2万3120メートル。内部の交通機関は主に車が使用されている。とはいっても、もちろん現在のようなガソリンエンジンを積んだものではない。いわゆる電気自動車が普及しており、これは出力、スピードともにガソリン車よりも劣るのだが、たかだか数十キロの全長しかないコロニー内ではそれでも十分に用を成すのである。地球連合とギガノスとの争いには政治的中立の立場を取

っていたが、アイダホが立ち寄ったことからマスドライバーによって破壊される。ケーンたちが住んでいたのがここである。



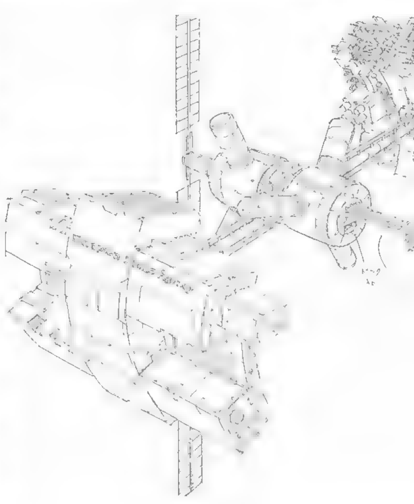
アルカードうちゅうこうだいさんゲート【アルカード宇宙港第3ゲート】アイダホが係留されていたところ。（1話）

あんぽんたん【あんぽんたん】グン・ジェム隊討伐の任を受けたドラグナー遊撃隊の3機のドラグナーの暗号名。ちなみに、リンダたちの乗る司令車の暗号名は、〝オタンコナス〟であり、ともにケーンの命名である。（28話～）

イクスペリメント【イクスペリメント】アラスカ基地からビルマ戦線へ転属となったプラクティーズが新たに警護の任に就いた場所。この地へ来る途中、グン・ジェム隊の基地に立ち寄ったばかりに、彼らはエライ目にあう。（30話）

イーグルしょうたい【イーグル小隊】アイダホの随行艦、重巡洋艦アマゾンに所属する、キラウェアを中心とした戦闘機部隊。ノーバン少佐が率いる。

ECじっけんステーション【EC実験ステーション】かつてのEC（ヨーロッパ共同体）によって設けられた研究・実験用宇宙ステーションである。この時代、すでに廃棄されていたが、クラビウスの爆発に巻き込まれて気を失ったケーンたちがたどりついた。彼らはそこで不当な責任を取らされてとばされていたギガノス軍人、チェホフと出会い、戦うが、しだいに打ち解けて戦いの心得をたたき込まれることになる。ケーンたちはこのステーションを、チェホフがプラクティーズによって射殺されてしまった後、彼の亡骸とともに宇宙に葬った。



イースヨー【YASYOR】D兵器を中国の重慶まで運搬するために、アクアポリスに代わって登場した、連合軍第7海洋戦域軍の司令空母。最新型のため、アクアポリスよりも装備、設備とも充実しており、艦体も若干大きい。そのため、搭載している戦闘機の数も増え、戦力的にはかなり向上した。艦内にはプールがあり、（アクアポリスにあったかは不明）、ヒマを持て余していたリンダたちがよく水着スタイルを披露して、男どもの目を楽しませていた。なお、随伴艦はフリゲート艦3隻であった。（19話～）

いちげきひっさつ【一撃必殺】ケーンたちとマイヨが時を同じくして考えだした戦法。マイヨが考案したのは、密集隊形を取ってケーンたちを誘い、ぎりぎりまで引き付けてから一気に四方に散り、逆に敵を包囲して撃破するというもの。彼はこの戦法にアクティブ・パック・フロントという、ご立派な名前をつけた。一方ケーンたちの取った戦法は、マイヨ機のみを集中的に攻撃するというもの。囮としてキャバリアーを射出して敵にぶつけ、その隙に敵に攻撃を加えようとしたが、思わぬ反撃を食らったため、キャバリアーを撃って爆発させ、敵がひるんだ隙をついて難を逃れた。

いちげきりだつのとっかんこうげき【一撃離脱の突貫攻撃】アイダホを大気圏直前で攻撃したギガノスの衛星軌道軍633部隊が使用した戦法。（11話）

イメージセンサー【IMAGE SENSOR】メタル・アーマーに搭載されている宇宙船用の3次元レーダー。肉眼では捕らえることのできない遠距離の敵をキャッチし、コンピュータが敵の外形を線画でモニターにトレースする。パイロットはそうして遠距離の敵機に対処することができる。敵に対する情報がある程度あれば、敵をコンピュータがイメージして対処、あるいはパイロットに情報を伝えてくれるシステムなのだ。

いわや【岩屋】グン・ジェムの住みか。似合いの住居である。ここに補給のため立ち寄ったプラクティーズは金を要求された。（30話）

ウエストポーチ【WAIST PORCH】タップが腰につけていたものだが、ほとんど異次元ポケットと化している。入っていたものはチューインガム、栓抜き、マーカー、パチンコ、カセットテープその他たくさんであった。ちなみにこの中の安全ピンでケーンたちは拘禁室の扉を開けようとした。（2話）

ヴェルナー・フリッツ【WELNAR FRITZ】マイヨ配下のプラクティーズ隊のひとり。階級は准尉。3人のなかでもとりわけ目つきが悪いと設定書には書いてあるが、あの3人の目つき、顔つきを見ればそんなことは言わずとも明らかである。（CV=竹村拓）

うそつきはどろぼうのはじまりだべー【嘘つきは泥棒の始まりだべー】忍び込んだケーンを見つけたジンを、リンダを襲ったものと思い込んだゴルが、ジンを問いつめた際の台詞。ゴルにしては知性のカケラが感じられる。（29話）

うちゅうそうようカプセル【宇宙葬用カプセル】敵ながら、どこか気が合い、いろいろなことを教えてくれながらも、彼にとっては味方であるはずのプラクティーズ隊によって殺されてしまったチェホフを宇宙葬にふした際に使用していた、2メートル程度の小型カプセルのこと。（7話）

うちゅうちゅうけいきち【宇宙中継基地】月と地球との間を結ぶ地点でのギガノスの拠点。全長3万5766メートルという大きさを誇る。5つの宇宙艦隊を統合するラグランジュ軍の本部である。マイヨとリンダはここで再会をした。ただし、兄と妹としてではなく、敵と味方として。ドラグナーと別れ別れになったアイダホは、ここに拿捕されていたが、それを知ったケーンたちは、ギガノス軍を装って基地に侵入、みごとアイダホの乗員の救出に成功した。多数の浮遊砲台など、外からの攻撃に対しては完璧なまでの防御施設が整えられているが、それに対してケーンたちは、ドラグナー3によるコンピュータ攪乱と、内部からの爆破攻撃を加えたのである。たいそうな構えをしているわりには情けないという感は否めない。それにしても、確かにレーダーには膨大な数の敵艦隊が映ってはいたが、それが事実かどうかを疑おうとも、ましてや確認しようともしない基地、そして軍人とは一体なんなのであろうか（この基地にはモニターカメラや窓のひとつもないのだろうか……）。ちなみに、ドラグナー3によって取り出したこの基地のデータは、駐留人数（常駐職員987名 欠員32名）、戦力（大型巡洋艦4 巡洋艦18 駆逐艦18 中小艦艇32 その他艦艇32）、アイダホが拿捕されている位置、捕虜収容所の位置、基地内のパトロールのスケジュールなどである。

うちゅうひょうじゅんじ【宇宙標準時】昼夜の差がない宇宙空間や、コロニーや月などで統一した時間を設定したもの。たぶん、グリニッジ標準時あたりを使用していると思われる。（3話～）

うでずもう【腕相撲】グン・ジェム隊の隊員がレクリエーションとしてよくやる遊び。単純な遊びに思えるが、甲のつく所に割れたビンが置いてあるために、やるほうも見るほうも非常に盛り上がる。（30話）

ウルフ1【WOLF-1】ゴルの部隊の哨戒機のコードネーム。（35話）

SS2のBきゅうしかく【SS2のB級資格】大気圏突入を目前に控えたアイダホは、船体とタンク（ドラグナーを運搬するためのペイロードユニット）の分離作業を行なう必要に迫られた。そのため、アイダホに乗り込んでいた民間人のなかから、技術者を募る。そのときに名乗り出た男のひとりが口にしたのがこの資格である。具体的にどのような資格なのか詳細は不明。

Aタイプひょうじゅんそうび【Aタイプ標準装備】ドラグナーの出撃時における、いちばん使用されている装備のこと。D-2、D-3はあまり多様なオプション兵器はもっていないが、D-1は白兵戦タイプのため、さまざまな標準装備がある。ちなみにこのAタイプとはハンドレールガン×1、レーザーソード×2、ショルダーボム×2、ハンドレールガン用予備マガジン×4、シールド×1などといったものが装備されていた。（4話～）

えんまく【煙幕】ごく単純な目くらまし。チャフやフレアー弾と並用することが望ましい。

おおがたゆそうき【大型輸送機】ギガノス軍がメタル・アーマーや兵員を大気圏内で輸送するために使用している。後部に大型のハッチをもち、ここから局地戦用のガンドーラやゲルドーラをパラシュートで直接戦場へ降下させることもある。まれに哨戒任務に使用されることもある。（14話～）

おおがわらくにお【大河原邦男】この人の名前を知らない者は、アニメ界には誰ひとりとしていないだろう。メカニカルデザイナーとして、イラストレーターとして大きな功績を生みつづけている。

おおぬきけんいち【大貫健一】言うに及ばぬ「ドラグナー」のキャラクターデザイナー。現在26歳独身、作画スタジオ南町奉行所の所属アニメーター。TVシリーズ「ダーティペア」の各話作監、OVA「戦国奇譚妖刀伝」のキャラデザ&作監、OVA「破邪大星ダンガイオー」のキャラ作監など多くの仕事をしている。

おおばりまさみ【大張正己】センセーショナルな作画でファンの多いアニメーター大張正己。特に今回の「ドラグナー」オープニングフィルムはベストオープニングとして日本のTVアニメ史に残るものである。本人いわく「自分では五分の出来、ほんとうは新OPでちゃんとしたものをやりたかったのですが、サンライズさんからお声がかからなかったのが残念です」。バンダイ発行のプラモデル誌「Bクラブ」をはじめ各プラモ誌、アニメ誌でも〝大張ブランド〟の作画が注目を集めている。

オタンコナス【オタンコナス】リンダたちの乗るトレーラーのコードネーム。

オートセンサー【AUTO SENSOR】量産型ドラグナーに装備されている、自動照準コントロールシステムのこと。連合軍には練度の低いパイロットしかいないため、少しでもその差を埋めるために装備された。しかし、しょせんはコンピュータまかせということであり、パターンを読まれてしまえば子供だましのものであった。ほとんどテレビゲーム感覚のものといえよう（26話〜）

おとめのはだよりえいびんなセンサー【乙女の肌より鋭敏なセンサー】ケーンたちに、メタル・アーマーのカメラに消火器の泡をつけられてしまったプラクティーズが、センサーのみで戦おうとしたときに叫んだことば。こーゆー大変すんばらしいセンサーがゲルフにはついているそうである。やっぱりそんなに感覚が鋭いと、感じ過ぎてしまって困ることもあるに違いない。しかし、今のところ戦闘中にゲルフが悶えだすというようなことは起こっていない。

おとりのはっしんき【囮の発信機】ドラグナーのグン・ジェム隊により破壊された箇所の修理中、グン・ジェム隊の目をそらすために、軍曹とローズが森の中にばらまいた。ドラグナーと同じ熱反応を出すことができ、修理の時間をかせぐのに十分役立った。（36話）

おとりゆそうぶたい【囮輸送部隊】内陸にあるノーラッドから新空母イースヨーの待つ太平洋岸まで、ドラグナーを無事に輸送するために編成された2つの部隊。故意にギガノスの監視衛星に発見されるように大がかりな部隊を組んだが、あまりのワザとらしさと、ドラグナーの張りボテから熱反応がないことから、あっという間にマイヨによって看破されて、逆に利用されてしまった。（18話）

おにんぎょうのへいたい【お人形の兵隊】ミン大尉いわく、プラクティーズのこと。同意語でグン・ジェム隊の兵士が言う〝オモチャの兵隊〟がある。（30話）

オペラグラス【OPERAGLASS】アイダホの食糧保存倉庫に忍びこむ際、キーナンバーを盗み見るためにタップガウエストポーチより取り出したもの。確か2話の時点では、こんな物は入っていなかったような気がするんだけれどなあ…。さすが異次元ポケット並み。（5話）

おまつり【お祭り】ギガノス軍宇宙中継基地で行なわれたモーデルの演説をケーンがこう呼んだ。ケーンたちには人がたくさん集まっていると、すべてお祭りに見えるらしい。彼らの物事に対する認識のあり方を知るうえで、非常に興味深いひと言であった。

オラのよめ【オラの嫁】ゴル大尉いわく、リンダのこと。美女と野獣ということばを地でいった関係である。（29話）

おれというものがありながら【俺というものがありながら】マイヨのことを守ろうとしつづけるリンダを見て、マイヨが彼女の恋人に違いないと思い込んでしまったケーンのセリフ。早トチリというべきか、男の身勝手というべきか……若いってイイナァ。（17話）

オーレンスこう【オーレンス港】ドラグナー回収後、スカンジナビア半島の連合軍北欧司令部へ向かったアクアポリスが、途中で一刻も早く軍艦から降りたいと申し出ていた難民たちのために寄港したところ。さほど大きな港ではないが、一応空母クラスの艦船も停泊できる。（12話）

おわかれパーティー【お別れパーティー】連合軍北欧司令部にたどり着いたアイダホの乗組員が開いたパーティー。これは、リンダたち女性陣がケーンたちと別れることになったというのに、あまりにもあっけらかんとしていたために、今後の交際において危機感をもったライトが提案したものである。司令部の近くにあるバイキングの古城がその会場に選ばれ、軍人、民間人入り乱れてのパーティーは大いに盛り上がりを見せた。この古城は、ライトが子供のころに何回も来ていた場所である。惜別の情やアルコールの効果も手伝ってか、ここでベンやダイアンの思わぬ本音が聞けたりもした。だがその久々の開放感も、司令部を直撃したマスドライバーによって一気にかき消されてしまった。

おんぱセンサー【音波センサー】音の反響により、距離を測るシステム。ミン大尉の攻撃によりカメラやセンサー類がすべていかれたD-1は、唯一健在であったD-3の音波センサーの情報で見事に戦い、ミンを敗走させた。（30話）

か カ

「か」は「加」の草体
「カ」は「加」の偏

かいきゅう【階級】連合軍、ギガノス軍ともに階級は大将から三等兵まで17段階に分かれている（例外として元帥もある）。それを示す階級章であるが、連合軍のものは将官クラスが金地に2本線と星マークを0〜3個、佐官がただの2本線に星マーク1〜3個というようになっており、ギガノス軍のものは将官が鷹のマークに逆三角を0〜3個、佐官が縦線と逆三角1〜3個、尉官が月のマークと横線0〜3本などとなって示されている。しかしケーンたちにとっては何の意味もなさない。

がさつなやつ【がさつな奴】これをグン・ジェムは嫌う。人の認識力などその程度のものである。（27話）

かじかのやきもの【かじかの焼物】マイヨの呼び出しによって、京都へと出向いたケーンと、いっしょについていったリンダがみやげ屋で買ったもの。敵地に行ったというのに、ほとんど恋人気取りである。（23話）

かぞくのアルバム【家族のアルバム】タップがアルカードに置いてきてしまったもの。彼はこれを取りに行くんだ、と語って母の安否を確かめに行くケーンにつきあって、D-2でアイダホを飛び出していった。（2話）

ガナン【GANAN】グン・ジェム隊第2中隊隊長。25歳、大尉。上着の袖をギザギザに破ったうえに、首にスカーフを巻き、釘をくわえるという'60年代のヒッピーも逃げ出すような素晴らしいファッションセンスをしている。ヤム少佐の父、ラオチュンより剣技を学んだケーンの最初の餌食となり散っていった。（25話〜37話）

ガナンき【ガナン機】武装はガンドーラの出力をノーマルバージョンよりも20％ほどアップさせ、ハンドレールガンをライフルと呼んでも差しつかえないような長いものにもちかえさせたものである。比較的おとなしいチューンナップといえよう。機種名スターク・ガンドーラ。（25話〜）

カーネーション【カーネーション】グン・ジェム隊のカスタムメタル・アーマー破壊を目的とする作戦で、ヤム少佐がグン・ジェム隊の基地に潜入する際に使った暗号名。しかしその割にはスリーエンジェル（この作戦でのドラグナー遊撃隊の暗号名）との通信で本名を名のったり、肝心の作戦では部下を全員失ったうえに、カスタムタイプではなく、ノーマルのガンドーラ1機を破壊しただけにとどまるという非常にまぬけな面を見せてくれた。それがよほど恥ずかしかったのか、遊撃作戦に出撃するケーンたちの見送りには姿を見せなかった。（27話）

かりひこうようユニット【仮飛行用ユニット】次々と押し寄せるギガノスの飛行可能なメタル・アーマーに対し、とにもかくにもドラグナーを飛行させるために作製された外部装着型のユニット。D-1用のものしか存在しなかった。結局は応急品であり、10分程度の飛行能力しか有しておらず、また性能もギガノス軍が作製したクラフトユニットには遠く及ばないものであり、ゲルフのキック一発で翼を折られてしまった。（15話）

カール・ゲイナー【KARL GEINAR】プラクティーズのメンバー。30話でミン大尉に散々な目にあっておきながら、予告編のセリフではミンに好意をもっているようなようすがある。何を考えているのかわからない連中が集まっているプラクティーズのなかでもいちばんわからん男。19歳。

かんさいせんとうき【艦載戦闘機】アクアポリスに搭載されている連合軍制式艦載戦闘攻撃機。なぜか機種名がない。カワイソウである。形状はアメリカ空軍の新戦術戦闘機（ADVANCED TACTICAL FIGHTER）YF-22に酷似しており、可変後退翼は装備されていない。これは未来的に後退翼はほとんど見られなくなり、かわりに翼の揚力を変化させることによって、低速から超音速までをこなす機体設計が採用されるであろう、ということからである。複座タイプも15話に登場した。しかし、せっかくスティルス性を高めるために設計されたデザインなのだから、せめて二次元ノズルくらいにはして

ほしかった。地上基地使用のものに着艦フックなどを装備させたものである。(14話〜)

かんづめ【缶詰め】作戦行動中、ケーンが食事当番のときのメニュー。ライトとタップはいつも缶詰めばかりじゃないかと不満を述べるが、どちらかというと作戦行動中に平然とフルコースを用意したり、どこからともなくフライドチキンやハンバーガーを買ってきそうな2人よりまともと思われる。(30話)

ガンドーラ【GAN-DOLLA】ギガノスの合体型メタル・アーマー。通常は高機動戦闘バイクとして使われるが、上下に分離し、上部のドーラは空中・対地上戦用のメタル・アーマーに、下部のガンツァーは高速攻撃バイクになる。また、ドーラはボートと合体してゲルドーラとなる。

ガン・ドラグナー【GAN DRAGON-AR】ガンツァーにまたがったD-1のこと。これでケーンはガナン大尉のスターク・ガンドーラと戦った。(27話)

カンナンきち【カンナン基地】ゲルポック隊がドラグナー遊撃隊をおびき出すために攻撃した連合軍の基地。ドラグーン隊が駐屯していたにもかかわらず、あっさり陥落する。(31話)

ギガノス【GUIGANOS】21世紀中盤、人類は月面の開発に着手し、これに成功した。そのなかで、月を属国と考える地球と、独自の民族意識のようなものを芽生えさせつつあった月の住民との間の意識の差は月の独立の気運を生むこととなる。そこに現われたのがギルトールである。彼は2084年、月の独立を宣言、統一帝国ギガノスを設立した。これをギガノス事変と言う。さらにギガノスは、地球連合軍に対して宣戦を布告することになる。ギガノスは、地球連合に所属するすべての人々や思想を劣悪なものとし、排除しようという強烈な選民思想を基盤としている。しかし、ギルトールの超独裁国家となり果てているといったところが実状である。

ギガノスかがくはくぶつかん【ギガノス科学博物館】21世紀の人類にとってのフロンティアである月には、多数の優れた科学者や技師などが集まってきており、そんな彼らの業績を陳列したのが、この博物館である。そして、そのなかでも特に目を引くのが、それらの科学と技術の力の集大成でもあり、今次宇宙大戦においてはじめは工業力の劣っていたギガノス帝国を緒戦において圧倒的優位にたたせた原動力といえる、メタル・アーマーとその原型のメタル・ワーカーの数々。これらは揺りかごのなかから月という異質の世界のなかで、必死に生き抜こうとした者たちの英知の結晶であり、ここはそんな月に生きる人々の誇りと自信の象徴となっている場所なのである。

ギガノスぐんえいせいきどうぐんろくさんさんぶたい【ギガノス軍衛星軌道軍633部隊】地球をめざすアイダホを、大気圏上層で迎撃した部隊。かなり無理な相対位置から出向いたために、アイダホへ攻撃できたのは、軌道が交差する数分間だけであった。(11話)

ギガノスぐんちょうほうぶいん【ギガノス軍諜報部員】ベルツ・シュタインの部下たち。マイヨと会うために京都へとやってきたケーンとリンダを捕らえようとして襲ってくる。気づかれないために手に錫杖を持ち、僧に変装している。(23話)

ギガノスぐんていさつえいせい【ギガノス軍偵察衛星】ギガノス軍が低衛星軌道上に周回させている、地表探査用の偵察衛星。テレビカメラと写真電送システムの両方を備えており、広域偵察から一部の拡大分析用にまで使えるスグレものである。本編中では地上に降りたドラグナー部隊の追跡のために登場した。なお、IR感知用のシステムなども搭載していることから、ひょっとすると本来は資源探査衛星であるものを流用したものであることも考えられる。工業力の弱かったころのギガノスならば、十分にありえることである。

ギガノスぐんほきゅうきち【ギガノス軍補給基地】カムチャツカ半島沖の南東500キロにある基地。アジア進攻作戦の補給部隊として重要な位置を占めている。そのため、近くを通過したD艦隊にメタル・アーマーの奪取とせん滅の命令が下った。結局のところ、ケーンたち3人と陸戦隊は夜襲を決行、みごとに基地を破壊したが、しかし内部にあったシュワルグの奪取には失敗してしまったのである。(21話)

ギガノスぐんマーク【ギガノス軍マーク】頭文字のGをデザイン化したもの。何かというと、大きく使いたがるようである。

ギガノスちきゅうしんこうぐん【ギガノス地球侵攻軍】ギガノス軍地上部隊の総称。総司令官はラインハルト。(11話)

ギガノスのあおきたか【ギガノスの蒼き鷹】ギガノス軍のエースパイロット、マイヨ・プラートのこと。彼の戦いぶりと、愛機のボディーカラーからこのニックネームがついた。しかし、ドラグナーにかかわりあうようになってからは負けが込んでおり、その名もいささか色あせつつある。

きこうコマンド【機甲コマンド】連合軍の地上戦闘用機甲部隊の通称。(19話)

きしゃかいけん【記者会見】アイダホが地球にたどり着いた後、ドラグナーについて行なわれたもの。ケーンはすっかりエースパイロット気取りでマスコミの取材に答えていた。それにしても、秘密兵器を取材させてしまうとは、なかなかいい根性をしているなぁ、連合軍の連中は……。

ギニールしょうい【ギニール少尉】連合軍宇宙戦艦ミンダナオに所属する第1機甲中隊の隊長。悪い意味ではなく、軍人魂をもった人物。軍人は命令があればたとえ負けるとわかっていても出撃しなくてはいけないものだとケーンたちをさとす。マイヨを相手に苦戦するケーンたちを助けるために愛機を特攻させ、壮絶な最期を遂げた。地球に残した妹へと、ケーンたちに人形を託す。

きのどくなぐんそうどの【気の毒な軍曹殿】ケーンたちの教育係に任命されたベンが自分のことを指して、嫌味半分、ジョーダン半分に言ったことば。しかし、彼の後々の苦労を考えるとあながち冗談ともいえなくなってしまった。(3話)

キャバリアー【CABARIER】ドラグナー1専用の強化ユニットで、頭部にかぶる形で使用する。2門の220ミリレールキャノンとレドームのほか、独自の機動用バーニアをもっている。また、後部のトランクルームには各種オプションを入れられるようになっている。ドラグナー1にドラグナー2、3の能力を兼ね備えさせるためのパーツで、これを装着することによってドラグナー1は最強のメタル・アーマーとなる。マイヨの攻撃をかわすため、10話で爆破してしまった。開発コードナンバーXC-00。全高/15・5メートル、動力/DPW-3D型小型核融合炉、出力/43万ポンド、重量/運行自重34・6トン、通常発進重量137・3トン(D-1搭載時)、出力/重量比/1・566、探知装置/重力場感知システムWG3型、イメージセンサーTAH7型、装甲/リアクティブデュアルアーマーゼライトコーティング剤、装甲厚/MAX275ミリ、乗員/ナシ(ドラグナーからのコントロールおよび内蔵コンピュータにより稼働、搭載兵器/D-1&兵装類1体分を内部収納、基本武装/220ミリレールキャノン×2(発射速度32発/分、携行弾数120発、弾種はプラズマ弾および徹甲弾と爆裂弾)

きゅうきょくちょうじんあ〜る【究極超人あ〜る】12話で、ドラグナーを無事地球に運んだケーンたちは、アクアポリスの乗組員たちに英雄視された。彼らは艦内食堂のコックたちに豪華な食事を振る舞われることとなる。そのときのコックのなかにいたのが、かのR・田中一郎氏である。やはり1世紀の間、おかァゆーたあきこーみササニシキ、古米外米食えればうまい、おこはもち米、にー本ばあれコシヒカリだよ、人生は〜♪というポリシーを守って、淡々とご飯を炊きつづけていたのであろうか。やはり今度は、イースヨーのナースとしてRにじゅうきゅう号を描いてほしい。「ドラグナー」世界でもっとも歴史を感じさせた一瞬であった。

きゅうせいはいえん【急性肺炎】10話でローズがかかった病気。敵の攻撃にさらされながらの不安な長旅と、両親の乗った船が沈んだという知らせを知ったことによる精神的なショックが引き金になったと思われる。確か劇中では、治療には抗生物質が必要だといっていたはずなのだが、なぜか彼女は抗生物質なしでいつの間にか全快してしまった。う〜む、女は強い……。いや、おそらくタップの愛が病をも打ち砕いてしまったと思われる(そんなワケねーだろ!!)。それにしても、艦がやばい状態にあるというのに出撃しなかったタップはちょっと問題があるような気がする。

きゅうゆき【給油機】燃料補給用の機体。メタル・アーマー用の無人タイプもあり、プラクティーズ隊のゲルフはEC実験ステーションへ向かう途中で使用していた。(6話)

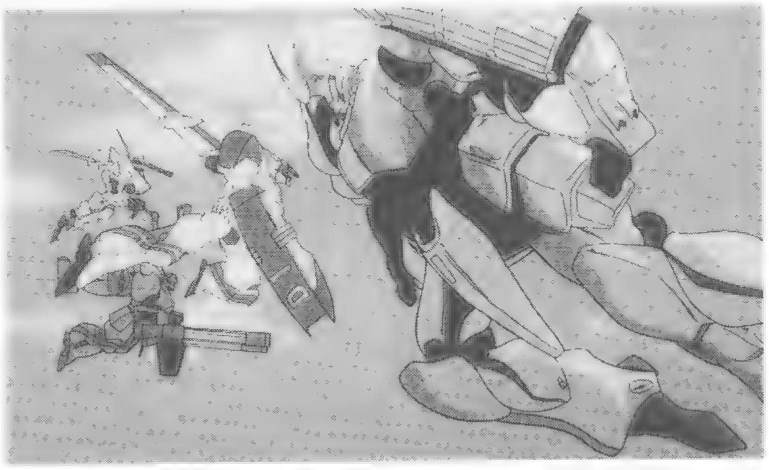
きょうせいしゅうようじょ【強制収容所】ギガノス軍宇宙中継基地内にある、捕虜専用の収容所。捕虜収容所で選別され、その際に有益な情報や技術をもたない、あるいは労働力として役に立たないと判断されたものが送り込まれる場所である。ここに送られた捕虜がはたしてどうなるのかは定かではないが、悲惨な毎日が待っているのは誰の目にも明らかだといえる。一説には月に送られて劣悪な条件のもと、基地建設の土木工事に従事させられているという。

きょうふのトリプルコナキジジイ【恐怖のトリプルコナキジジイ】ケーンたち3人の考えた必殺技。3機のMAで、1機のMAをはがい締めにし、急降下をして地面に叩きつける戦法。(29話)

きょだいうちゅうようさい【巨大宇宙要塞】ギガノスの最終兵器でギルガザムネ同様、精神コントロールが可能というとんでもない代物。ケーンたちのラストターゲット。(40話〜)

ギルガザムネ【GILLGAZAMUNE】ギガノス軍が究極と誇る全長28・3メートルもの新型巨大MA。バイオ・フィードバックという精神コントロールシステムで通常のMAとは比較にならない運動が可能である。ただし、長時間の使用はパイロットの肉体に

大きな支障となる。グン・ジェムは、ゴル、ガナンの敵をとるために無理矢理この新型MAを駆り出したうえ、同サイズの青竜刀をつくらせて打倒ドラグナーをめざすが、今まさにD－1にとどめを刺さんとしたとき、神経伝導系が過負荷状態となり伝導システムが逆流して正気を失い、逆に驚いて接近したジンを切りつけ爆死させてしまう。再度出撃した際には、ケーンたちにこのMAが高性能すぎるゆえに、機体そのものが維持しきれないという弱点を見抜かれてグン・ジェムもろとも撃破される。同タイプにハイデルネッケンの使用するものがあるが、こちらはグン・ジェムのものよりパワーアップされたものの、コントロールシステムを使用しての攻撃は10分が限度。そして5分のインターバルが必要で、その間通常システムに戻さなければならない。その間の支援機としてハイデルネッケンはグン・ジェム隊の生き残りのミン大尉を選ぶ。だが、このMAが視覚で3機の動きを感知し、主砲と補助砲を正面に移動しても、あわせて2門しかないことにドラグナー隊は気づき、ドラグナー3機をタテ一列に並べて同時に3門撃つことによって倒した。(38話〜40話)



ギルトール【GUILTORRE】 ギガノスの優れた技術力の粋を集めた結果といえるメタル・アーマーのことを、ギガノスではギルトール元帥の名前を取ってこう呼んでいた。

ギルトールげんすい【GENERAL GUILTORRE】 ギガノスの創設者にして、最高権力者。もとは某国の高級将校であった。宇宙時代に蘇ったヒトラーとでもいうべき人物である。複数で飼うと、仲間を食い殺してしまう獰猛なランブルフィッシュを愛玩していることが彼の性格を物語っているといえる。マイヨを高く評価しているが、彼を取り立てる真意には深いものがありそうだ。地球を破壊せずにみずからの手中に収めようとするが、好戦派で、地球に対しマスドライバーによる全面攻撃を望むドルチェノフ中佐と対立、射殺される。(33話)

クギ【NAIL】 ガナン大尉がいつもくわえている。エイトマンのタバコのようなものなのかもしれない。

グニャグニャぐんそう【グニャグニャ軍曹】 ダイアンに惚れてしまったベンの状態を指してケーンが語ったことば。見かけのわりに、ずいぶんとウブだったベンを端的に表現しているといえよう。(19話)

クラビウス【CRAVIUS】 フンボルトの跡を継いで、ドラグナー追討の命を受けたギガノス軍の宇宙戦艦。マイヨはこれに搭乗して現われた。ドラグナーに撃沈される。

クラフトユニット【CRAFT UNIT】 連合軍で製作されたドラグナー専用の飛行ユニット。本来は宇宙戦闘用につくられたメタル・アーマーを、大気圏内で飛行させるための外部装着型飛行用パーツ。これの完成により、短時間の飛行能力を有していたバイクメタル・アーマーやマリンメタル・アーマーが主戦力であった地球上でも、ドラグナーやファルゲンが活躍できることとなった。音速以上で飛行できるメタル・アーマーはドラグナー以外には存在せず、これの完成によってギガノスのメタル・アーマーに機動力において大きく水を開けた。ドラグナー1〜3それぞれが違うものを使用する。連合軍、ギガノス軍のものともデザインは似通っており、翼下に2〜4か所のパイロンがあるものが大部分であるのだが、この分野にかけては連合軍のほうが優れた技術をもっている。ドラグナー1用は格闘戦能力に、ドラグナー2用は航続距離に(1、3用の航続距離はそれぞれ5000キロだが、2用のものは1万キロである)、ドラグナー3用は高速性に優れている(他の2機に先行して、必要な戦闘データを収集するため)。また、ドラグナー2のものは、1、3に燃料を補給するシステムをもっている。別名フライトユニット。(15話)

グリーンランドきち【グリーンランド基地】 ギガノス軍の環大西洋およびヨーロッパ方面の拠点。マイヨとプラクティーズの面々が、ドラグナーを追って地球上にやってきたとき、降り立った場所。クルーズピートの発射された所でもある。(15話)

クルーズピート【CRUISE PEAT】 ギガノス軍グリーンランド基地からD艦隊へ発射された長距離巡航魚雷。シュモクザメのような形状をしている。本来は核兵器を装備して使用されるのだが、いまだそのような事態は起こっていない。航続距離はロングレンジブースターを使用することによって数千キロ、最高速度は100ノット以上で大陸間を射程に収める。最大の特徴は対空ミサイルや魚雷などの攻撃兵器を内蔵していることで、これにより障害物を取りのぞいて敵に体当たりをする。無人。(15話)

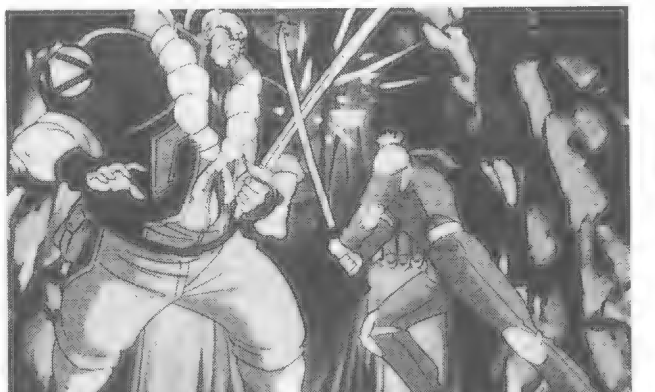
グルテン【GULTEN】 ギガノス軍404戦域軍所属の中尉。副司令官らしく、パウエルのもとでまじめに働いており、ドラグナーを追ってきたマイヨたちを出迎えたときも、嫌なそぶりなどまるで見せず応対していた、結構善人そうな人物。(17話)

クレイ9000Jクララ【CREY9000J KURARA】 クレイ9000系はドラグナー1の操縦系コンピュータである。サブ入出力方式として対話式が取られている。まったくD兵器にかかわりのないケーンたちをパイロットとして登録してしまったり、やたらと親切に説明をしてくれたりと、非常に融通のきく奴である。ちなみにドラグナー2のものはソニア、ドラグナー3のものはマギーが愛称。

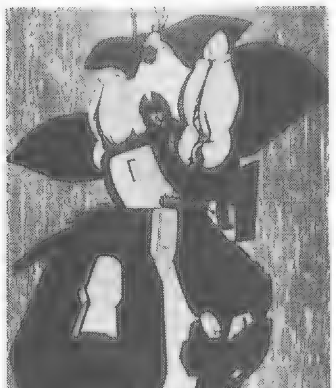
クロスラインせんぽう【クロスライン戦法】 ゲルポック隊の得意技。アデン機のECM装置で敵のレーダーをかく乱した後、互いに逆走してきたアデン機、チェンドル機が敵をはさみ込むように攻撃して注意をひき、突出したゲルポック機が狙撃する戦法。(31話)

クロームそうこう【クローム装甲】 ドラグーンの装甲材。刃物に対してはもろく、グン・ジェム隊に刻まれる。

グン・ジェム【GON JEM】 ギガノス軍のアジア方面軍機密守備隊の隊長。階級は大佐。4人の腕ききの部下たちに、それぞれひとつずつ小隊をまかせている。その荒っぽい戦闘は連合軍の兵士たちに恐れられており、彼の部隊と交戦して生き残った者はいないとまで語られており、ヤン中尉率いるドラグーン部隊も完膚なきまでにたたきのめされてしまっている。彼の性格は粗暴で野卑と、戦い方にそのまま見られるものと同じである。一時期、中国沿岸部の連合軍の基地や部隊を潰し回っていたが、命令によりアジア奥地のギガノス軍秘密工場の守備隊の任についていた。しかし、重慶基地でのドラグーン量産化の話を聞きつけて再び連合軍の勢力範囲に攻撃を仕掛けてきた。そのため、ケーンたちのドラグナー・カスタムタイプによるドラグナー遊撃隊と真っ向から戦うこととなった。根っから戦いの好きなグン・ジェムにとっては、ケーンたちはチョット歯ごたえのある相手としか思われていないようである。なお、彼は出撃するとき、両手首に蹄鉄、首にしめなわをつける癖がある。なんのためにつけているか、その理由は誰も知らない。無敵を誇るグン・ジェム隊としてその名を轟かせていたが、予想外のドラグナーの攻撃力に部下を次々と失い、ついにはみずから究極のMAと呼ばれるギルガザムネで、ドラグナーを迎え撃つが、青竜刀の動きを見切ったケーンとタップ、ライトの連携攻撃の前に敗れ去った。(26話〜39話)



グン・ジェムき【グン・ジェム機】 彼が自分専用機として、アジア奥地の秘密工場で特別に製作させたカムタムメード機。ジェネレータと動力伝達系を従来機より強化して出力に余裕をもたせたうえに、ハンドレールガンも大型で大口径なものにし、さらに左腕に内蔵されている機関砲も装弾数をアップ、それでも足りずにグレネードを両腰に計8発装着させ、背中に青竜刀をしょわせた、バケモノみたいな攻撃力をもったメタル・アーマー。彼の性格と体型を如実に表わした機体であるといえよう。おかげでノーマルのエンジンでは推力不足のために飛行ができず、D－2並みの大型エンジンを搭載した特大のフライトユニットを装備しなければならなくなってしまった。なお、肩に入っているコブラのペイントは、グン・ジェム部隊のトレードマークであり、彼の部下4人の小隊長機にも入っている。機種名ゲイザム。(26話〜)



グン・ジェムのそくじょ【グン・ジェムの側女】常に2人で行動し、主に寝室に、扇情的な姿で出没する。

けいびへいA・B【警備兵A・B】竜飛岬基地の警護にあたっていた、ギガノス軍の下級兵士。英語が話せないふりをする若葉ミツとコンニャク問答を続けていたが、結局は隠れていたケーンたちに張り倒されてしまう。それほど、悪人ではないようであった。(22話)

げつめんメタル・アーマーこうじょう【月面メタル・アーマー工場】ギガノス帝国内部にある。ファルゲンをはじめとするギガノス軍のメタル・アーマーのうち、宇宙軍のものはすべて、地上軍のものも半数以上がここで生産された。たぶん、ドラグナーもここでつくられたと思われる。(17話〜)

ゲバイ【GEWEI】量産型メタル・アーマー。ドラウの後継機で、現在ギガノス軍の主力機となっている。要はザクのようなもの。

ゲルトぐんそう【ゲルト軍曹】出動したドラグナーと初めて剣を交えたギガノス軍の兵士。巡洋艦フンボルトより、ドラグナーを破壊せよとの命を受けて出撃し、ケーンたちと対決することになる。いわゆるたたき上げの軍人というやつで、これまで2回突撃戦功賞を取っている実力派である。当然この出撃で3度目の受賞を狙っていたのだが、ドラグナーの性能の前に敗れ去った。

ゲルドーラ【GELDOLA】ギガノス軍のマリン・メタル・アーマーの名称。上下に分離が可能で上部をドーラ、下部をゲルファーと呼ぶ。ドーラのほうはバイク・メタル・アーマーの上部と基本的には同一なもので、短時間の飛行が可能である。また下部のゲルファーは飛べこそしないが、洋上での俊敏さにおいては高速魚雷艇などを凌ぐ性能をもっている。このシステムは対艦・対空戦闘を単体で三次元的に行なうために採用されたもので、特に対艦戦闘に対しては、絶大な戦力となったと思われる。基本兵装はレールキャノン2門、小型ロケット・ランチャー2基、対空ミサイル2基、大型魚雷4本、単装バルカン砲1門である。(15話〜)

ゲルフ【GELF】ギガノス軍の若きエリート部隊、プラクティーズの専用機。他の一般兵士用メタル・アーマーよりも高性能である。しゃれた形のレーザーサーベルと、乙女の肌より鋭敏なれえだあをもっているとか。3機で編隊を組んでいるが、うち2機は対ドラグナー戦用に、大型レールガンを装備したヤクトゲルフと、レーダー、センサー類を装備したレビゲルフへと後に改修されたもの。識別コードナンバー/YFMA-08A、頭頂高/17・6、動力/JTF-7B型超小型核融合炉×1、出力/21万ポンド(ドライ)30万ポンド(CMP)、メーンノズル×2、姿勢制御ノズル×4、CMP時間/25秒(MAX)【回復時間CMP≦55秒〜CMP=25 20秒】重量/運行自重65・9トン、最大発進重量95・2トン、出力/重量比/1・103(ドライ)1・576(CMP)、探知装置/イメージセンサーAS5型、装甲/シモールA型パッシブ装甲、装甲厚/MAX225ミリ、乗員/パイロット1名、基本武装―75ミリハンドレールガンSSX7型(発射速度1800発/分、携行弾数455発、弾種は徹甲弾および爆裂弾)、白兵戦用レーザーサーベル

ゲルフ用フライトユニット(ゲルフマッフ)諸元。全幅/26・1メートル、動力伝達システム/DFGS-C9、出力/25万ポンド(ドライ)38万ポンド(CMP)、アフターバーナー使用時14万ポンドをプラス、メーンノズル×2、姿勢制御ノズル×2、基本重量24・3トン、最大速度/マッハ0・86/SL(海面高度)マッハ0・95(98000フィート)、航続距離/2870ノーチカマイル(5315キロメートル)、搭載兵装―5連ミサイルポッド×2、ハードポイント×4、識別コードナンバー/MAFFU-08

ゲルポック【GELLPOCK】ゲルポック隊隊長。少佐、40歳。ギガノス随一と言っても過言でないほどの狙撃の腕をもつが、病に体を蝕まれ余命少なかった。戦死したアデン中尉の代わりに編入したグン・ジェム隊のジン中尉の裏切りにより戦死する。(31話〜32話)

ゲルポックたい【ゲルポック隊】ドラグナーの討伐隊として任命されたグン・ジェム隊が、意外に手間取っていることに懸念を感じたギガノス上層部が送り込んだ部隊。特務小隊として幾多の戦いを経験し、その戦歴は駆逐艦2隻、巡洋艦3隻撃沈、名誉勲章を受けること3回というもの。(31話〜32話)

ケーンのしょうねんじだい【ケーンの少年時代】おおっこれは誰だ！まるでバ○ファ○のケ○ツではないか！(アシダセンセってばオチャメ！)だいぶわんぱくであった。(20話)

ケーンのゆうじんたち【ケーンの友人たち】第1話のセリフのなかにでてきた、アストロノーツアカデミーの友人たち。ケーンたちよりひと足早く地球上に降りて連合軍の義勇軍に志願しているらしい。ジム・ハンターが第9陸上戦域軍に、ヤン・マジソンと、なぜか16話に登場していたビル・ブライアンが空母イースヨーの所属している第7海洋戦域軍に行った、と語っている。(1話)

ケーン・ワカバ【KAINE WAKABA】いわずと知れた「ドラグナー」の主人公。スペースコロニー・アルカードに住んでいた。直情型で、けっこう快男児ぽかったりする。ベン軍曹はケーンのこの荒っぽいが、ストレートで、妙なところでマジな性格が気に入っているらしい。なにしろ、自分の妹をケーンの嫁にやると言いだしてしまったくらいなのだから……。両親は離婚しており、母といっしょに暮らしていた。母はアルカードの入国管理センターに勤めており、父は連合軍の少将である。連合軍運命のいたずらから(お軽い性格からという噂もあるが……)ドラグナー1のパイロットになる。リンダに惚れているのダ。2クールを過ぎたにもかかわらず、「世界を救おう」とか「戦争はしちゃいけないんだ」とかいう大義を掲げることもなく、いまだに「惚れた女の子を守るため」とか「愛着あるD-1を壊されたくない」とかいう私欲のために戦っている今時珍しい掟破りの主人公。目下最大の目標が行方不明の母親捜しというのが駄目を押している。ただし、親友であり、戦友であるタップとライトの危機にはすべてをなげうって戦う熱血漢である。(CV＝菊池正美)

こうこうどげいげきき【高高度迎撃機】衛星軌道軍をも突破し、大気圏突入をするアイダホを迎撃するために地球上より上がってきた戦闘機のこと。外観がわかるほどには接近しなかったが、外装式のロケットブースターを使用して大推力を得、高度2万2000メートルまで急上昇をして宇宙からの飛来物を攻撃する戦闘機ではないかと思われる。(11話)

こうしバズーカほう【光子バズーカ砲】秘密工場破壊のため、ドラグナーに装備された。3機の火線を合わせると強大な破壊力を発生するが、合わせるには相当の技量が必要。さらにエネルギーチャージにも時間がかかる。(39話)

こうじょうちょう【工場長】ツルッパゲの頭と抑揚のない話し方が特徴。ギルガザムネに乗ったグン・ジェムを丈夫なテストパイロットくらいにしか思っていないなど、なかなかのマッドサイエンチストぶりを発揮していた。(35話)

ごうせいしょく【合成食】軍の戦闘食。政府から、一般市民や軍人に配給されていた。まずい(のであろう、やっぱり……)。チェホフはこれを好まず、ケーンたちとの朝食にはパン、コーヒー、ベーコンといった自然食を出したのである。しかし、考えてみるに、つね日ごろにおいて、われわれは有害な添加物やら何やらをそれこそたくさん摂取しているのである。意識こそしていないものの、合成食というか、モドキ食品も多いのであるからして、それらよりはよっぽどこの合成食のほうが体への悪影響は少ないかもしれない。

ごうちんぶし【轟沈節】地球についたアイダホのクルーが開いたパーティーで、ローズと下士官たちが歌っていた歌。むろん、実際にはこんな歌はない。ちなみに歌詞は「遠く地球を想う時　浮かぶあの娘のあのお尻　ミルキーウェイのきらめきは　甘く切ないあの娘の吐息　夢で抱き寝がしてみたい　いけいけ　どんどん　敵艦　轟沈♪」というものであった。

こうねつだん【光熱弾】文字どおり、強い光と熱を発し、MAのカメラやセンサー類を潰したり、装甲を歪めたりする威力をもっている。(30話)

ごおくごーるど【5億ゴールド】リンダの身代金としてグン・ジェムがプラート博士に要求した金額。現在の金額としてどれくらいの価値があるのかは不明であるが、支払いを拒否せざるをえないからには、やはりすごい金額なのだろう。これだけではなく、補給に立ち寄ったプラクティーズに燃料や武器弾薬、食料の代金を要求するなどグン・ジェムはやたら金に固執する。意外に、50歳を超えると思われる年齢を気にして年金の積み立てでもしているのかもしれない。(29話)

こがたスペース・シャトル【小型スペース・シャトル】ドラグナーを追って地球へ降りるマイヨとプラクティーズたちが使用。現代のNASAのものとほとんど同じシルエットだが、カナード翼らしき物と大気圏内用のエンジンを搭載して安定性を保持していた。(15話)

こーきんぐがん【コーキング銃(ガン)】撃ち込んだ所から接着力のある物質を流し込み、相手の動きを完全に止めることができる武器。防ぐ方法は装甲を補強するしかない。(31話～32話)

こくさいうちゅうじょうやく【国際宇宙条約】ギガノスの巡洋艦フンボルトは、ドラグナーを積んだ連合軍の輸送船アイダホに停船を命じたが、ロイ・ギブソン艦長はこの条約の第12条第2項を盾に命令を無視した。だがギガノスは地球連合の定めた条約は守るに値しないとして、攻撃を加えてきた。

ゴル【GOL】グン・ジェム隊第1中隊隊長。30歳、大尉。異彩を放つグン・ジェム隊のなかでも際立っているゴル大尉。その特徴は、角張り、肥大しきった顎にあるのではないかと思われる。〝ちょうちんゴリラ〟のあだ名の由来と思われるその顎は、とても現代人の骨格に肉付けられたものとは思えない。ただ、グン・ジェム隊の前の駐屯地がゴビ砂漠であることを考えると、ラクダのこぶと同様にその中に長時間水分を蓄えることが可能なのではないかと推察される。これはダーウィンの進化論を立証するものではないかと思われる。秘密兵器である無限機動砲でドラグナーに挑むが、あえなく最期をとげる。(25話～35話)

ゴルき【ゴル機】グン・ジェム部隊のゴルが使用しているメタル・アーマー。その巨体に合わせて、重量級のゲバイにフライトユニットを装備させて用いている。もちろん、アジア大陸奥地の秘密工場で大々的に改造を受けており、有重力下でもできる限り俊敏に行動できるようにとジェネレータの換装を受けている。主武装は腰の回りに付けたグレネードとバズーカ砲もどきのバンドレールガンを使用している。このバズーカ砲もどきのレールガンは、それこそゴル機にしか振り回せそうもない代物で、従来はマガジンはひとつしか装着できなかったのを、一度に3本組み込めるようにして、3倍の連射が可能なように改造してある。コクピットも大改造だったろう。機種名スターク・ゲバイ。(27話～)

ゴルのめにもなみだ【ゴルの目にも涙】秘密工場の第1防衛ラインをドラグナーに突破された責任を取れとグン・ジェムに叱責されたときに流した。ゴルは涙ながらに、自決してでも責任は取ると言い張ったが、そんなものイモのこやしにもならんとグン・ジェムに一喝されてしまった。

コロニー【COLONY】「ドラグナー」世界においては、スペースコロニーのことをさす。世界の人口増加による食糧不足、経済活動の発展、資源の消費増大と環境汚染などから、人類が宇宙に永住できる生活圏として構想されている。「ドラグナー」では、1974年にプリンストン大学教授G・オニール博士が提唱した宇宙植民島のアイデアを基にしているらしい。これは月軌道上のラグランジュ点(宇宙空間で運動する3つの天体は一定の相互位置がある。2つの天体の相対位置が定まっている場合、質量が無視できるほど小さな第3の天体の位置が適当な位置にあると、その天体位置は安定であり、その相対的位置は保たれる。この特定無重力地点をいう)に、回転を加えて遠心力による重力を内側の壁面に発生させた円筒状の居住地域を設け、移民するというものである。この時代には、すでにコロニーで生まれて育ったコロニーっ子も存在している。

コンテナブロック【CONTAINER B-LOCK】アイダホにおける、上部にある3基の円筒形の部分のことを示す。このブロックがあると、アイダホは大気圏突入ができないため、突入時には切り離してしまっていた。(1話～12話)

コンピュータルーム【COMPUTER ROOM】どこの基地や戦艦にもある設備だが、今回は連合軍のノーラッド基地内部にあるものを示す。このものは、連合軍にとっての数少ない対宇宙監視システムのコントロールや全軍のデータ管理を行なっている重要なものである。特に電子情報戦が多大なファクターを占める未来の戦争で、これらのデータを失うことはそのまま敗北へとつながりかねないため、マイヨによって基地内に爆弾がしかけれらたと判明したとき、司令官は真っ先にここと動力センターを探索させていた。(17話)

さ　サ

「さ」は「左」の草体
「サ」は「散」の左上

さいだいせんとうしゅつりょくいじ【最大戦闘出力維持】略称CMP。メタル・アーマーが、そのエネルギーを最大限に開放できる時間のこと。そのメタル・アーマーに搭載されている核融合炉の性能や、自重によって長さは異なる。しかし、これを行なってしまうとエネルギーを一気に消耗してしまうため、一定時間行動不能となってしまう。と、設定書にはあるのだが、画面に登場したことはなく、幻の設定となりつつある。きっと、蒼き流星にでもなってしまうのでヤバイのであろう。「D―まっくす!」と叫ぶのかナ。

さかりのついたねこ【さかりのついた猫】猫ギライのパウエルが、しぶとく抵抗を続ける連合軍を比喩していったことば。(17話)

ざとういち【座頭市】カメラやセンサー類を潰されたD―1で気配を読んでミン機を切りつけたケーンが調子にのって真似した有名な盲目の剣士。2087年でも再放送されているようだ。(30話)

さむらいガール【SAMURAI GIRL】ケーンを京都でマイヨに接触させるために、ギガノス軍諜報部が使用していた自分たちの暗号名。(23話)

さよならパーティー【さよならパーティー】無事に地球に到着し、ベルンゲンの連合軍地球戦闘軍司令部にたどりついたケーンたちが、リンダたちとの別れを惜しんで企画したパーティー。ところがどこでどうまちがったのか、6人だけの水入らずのパーティーのはずが、アイダホの仲間全員による大パーティーとなってしまう。会場は司令部近くのバイキング砦跡。酒もはいり、大いに盛り上がるパーティーだったが、ギガノスのマスドライバー攻撃により目前の司令部が壊滅、一気に盛り下がった。お別れパーティーとも言う。(13話)

CDプレイヤー【CD-PLAYER】音楽ずきのタップはいつも肌身離さずCDプレイヤーを持ち歩いている。音楽なしには生きられないのだろうか。何でも生命の次に大事な物なのだそうである。だが、ギガノスの宇宙中継基地を爆破する際に、時限装置として使われてしまい、壮烈な最期を遂げる。たかだかCDプレイヤーの分際で、ギガノスの基地を破壊できたのだから、多分な名誉といえる。その後、タップは代用品として、より性能のいいものを与えられたようである。

してんのうのあたま【四天王の頭】リンダを捕らえたものの、何も利用法を考えつかないことからすると、ただのヘルメットの台らしい。

じどうきらい【自動機雷】ギガノス軍が、いまだ制圧しきれない海上を封鎖するためにバラまいたもの。小型のスクリューをもっており、海上・海中をある程度まで航行できる。信管の方式は搭載されているコンピュータによって、触発・磁気・水圧・時限・遠隔などを自由に選択することができる。イースヨーは、一度これに触れてしまったが、大した被害は受けずにすんだ。(21話)

シマフクロウ【シマフクロウ】連合軍に奪われたドラグナーの情報を得るためにアルカードに潜入していたスパイのコード名。撃たれて瀕死のところをケーンたちに出会い、ドラグナーのディスクを渡す。何としてでも任務を遂行したかったのはわかるが、どこの誰ともわからない少年に、それも最高機密だということまでばらして託してしまったのは、スパイとしてはその資質に問題があるような気がする。

シミュレーター【SIMULATOR】アストロノーツアカデミーにあったもの。画面には4基が登場した。ライトの会話などから推察すると、宇宙船用のものだけではなく、メタル・アーマーなどの操作に近いものもあったようである。(1話)

ジム・オースチン【JIM AUSTIN】ケーンの父親。連合軍の参謀を務めている。アオイとは4年ほど前に生き方が違うとして離婚した。D兵器を一刻も早く見たいと言って視察の名目で空母イースヨーへとやってきたのだが、実はケーンに会いにやってきたのである。だが、ケーンはなかなかそんな父の心を察しようとせず、あくまで母と自分を捨てた存在としてしか見ようとしなかった。ジムはそんなケーンにアオイが生きているかもしれない、と語って去っていく。だが、そんな彼の機が襲われたことを知ったとき、ケーンは父が軍にいることによって家族や平和に生活する人々を守ろうとしていたことを悟ってドラグナーで救援に向かった。

しめなわ【注連縄】お正月などに飾るアレである。いったい、どこに登場しているかというと、出撃するときのグン・ジェム大佐の首にかかっているのだ。きっと縁起かつぎなのだろう。(25話～)

シモールAがたパッシブそうこう【シモールA型パッシブ装甲】ファルゲンとゲルフにのみ使用されいる、可逆性弾性金属装甲。要はグニャグニャまげても、ほとんど金属疲労が起こらないという、非常に便利な代物である。しかし、精錬方法が複雑なため、コストがかかりすぎ、まだ大量生産化は望めない状態である。

じゃくりんじは【寂臨寺派】中国古武道で連合軍の武道顧問。(37話)

ジャック【JACK】ローズの叔父・マーチンの長男。ローズを姉のように慕っている。アポロキャップがトレードマーク。

しゃんはい【上海】中国沿岸部を制圧している連合軍の海洋への門として、経済ともども重要な位置を占めている都市。重慶へ向かうD艦隊も、ここを通過、長江へ上っていった。ラング・プラート博士とケーンが出会ったのもここである。(25話)

しゃんはいろうさいかん【上海老菜館】上海にある中国料理店。上陸したケーンたちが念願のメシを食いまくっていたが、そこへギガノスのスパイに追われたプラート博士が乱入、眠眠服飾装苑ともどもメチャクチャになってしまった。(24話)

じゅうけいのしちょう【重慶の市長】重慶までたどり着いたD艦隊の歓迎パーティーに出席していた。でっぷりと太った、ひと目で政治家タイプとわかる50歳くらいの男性。(25話)

じゅうそくはつうしん【収束波通信】ドラグナーの世界では、通信には電波、特に宇宙空間においては超短波から極超短波を使用している。軍用無線では、一応ランダム変調と暗号通信による高速伝達を行なっているが、さらに盗聴への対抗策として照射の幅をできる限り細くして収束波として用いている。6話で、ドラグナーを捕らえた、とEC実験ステーションから月へとのシステムで伝えられたチェホフの通信を、ブラクティーズ隊はレンジ幅ギリギリのところで傍受した。(6話)

じゅうようひみつへいき【重要秘密兵器】もちろんドラグナーのことである。今のところ、どこが重要秘密兵器なのか、他のメタル・アーマーと一線を画す特徴がなんなのかがそれほどドラマに絡んでこないのは残念な限りである。

シュガー【SUGAR】輸送部隊とは別行動をとった、ダイアン、ケーン、リンダの3人が使用していた識別用の暗号。(19話)

シュワルグ【SCHWALG】ギガノス軍のフォルグ・アーマーのなかの、軽戦闘タイプの名称。機動力を主としているため、攻撃力はさほどない。変形が可能で、高速飛行時には脚部を格納する。武装はハンドレールガン1挺、機銃1門と、翼端に対空ミサイルを2基装備している。最大の欠点としては、軽量化のために装甲を薄くしたことで、損傷率がかなり高くなってしまっている。しかし、対戦闘機用メタル・アーマーとして考えるならば、その機動力は連合軍戦闘機パイロットにとって恐るべきものであろう。(20話〜)

しょうかき【消火器】ケーンたちがプラクティーズ隊を相手に奮闘したときに使用。ナント消火器の泡をメタル・アーマーにひっかけちまったのである。まあ、やってしまうケーンたちもケーンたちだが、プラクティーズもプラクティーズである。ギガノス軍の英才教育も信じられたものではないという感を抱いてしまう人はひとりや2人ではあるまい。

しょうねんたい【少年隊】プラクティーズ隊のこと。ニヤけハンサムなところといい、お坊っちゃま加減といい、言いえて妙とはこのことである。しかし、こういう連中は腹立たしいことに女にはもてるものなのだ。

じょうほうかくらん【情報攪乱】ギガノス軍宇宙中継基地に拿捕されたアイダホとその乗組員たちを助け出すためにケーンたちが取った作戦。絶大なる防御網を誇る基地に潜入するために、ドラグナー3のコンピュータを用いて基地のコンピュータにハッキングしたのだ。しかし、そこで流した偽りの情報が、何と2万8000隻の連合軍の大艦隊が侵攻してきたというものなのである。おかげで基地内部には未確認の命令が飛び交うなど、さまざまな大混乱が生じ、ケーンたちの作戦はまんまと成功を収めたのであった。マイヨただひとりが(!!)このたくらみに気づいたが、司令官のモーデルは彼の意見に耳を貸そうとしなかった。ギガノス軍の底力(?)を感じさせてくれるエピソードだった。

じょうりくてい【上陸艇】フンボルトから発進し、アルカードの外壁にじかに接触してコロニーを強襲した。中に多数の戦闘バイクを搭載している。久々にダイナミックな戦闘法をアニメで見せてくれた。しかし、目的物に取りついて、チューブの中から出撃する姿は、なつかしいのアニメ「氷河民族ガイスラッガー」を彷彿させた(と思うやつははっきりいってもう若くない)。

しょくりょうほぞんそうこ【食糧保存倉庫】アイダホ内部のものを指す。難民たちに食糧・医薬品を回さなかった軍人たちに腹を立てたケーンとタップは、この機会にリンダたちにええカッコをしようと、ここへ忍び込んでいろいろなものを持ち出していった。ちなみに外側の扉のキーナンバーは4126であった。(5話)

じょしりょう【女子寮】アストロノーツアカデミーのものを指す。男子生徒たちはよく風呂をのぞきに行っていたようである。御多分にもれず、ケーンたちもビル・ブライアンといっしょにのぞいていた。(16話)

しれいしょ【指令書】人間をいかようにでも思いのままにできる、とても便利なもの。ケーンたちもこの紙切れ一枚でさんざんな目にあわされつづけてきた。軍隊の非情さの象徴でもある。

ジン【ZIN】グン・ジェム隊第4中隊隊長。中尉。弱冠17歳でありながら、スターク・ダウツェンを駆るその戦闘力には目を見張るものがある。また、グン・ジェム隊随一の冷酷な人物であり、人をいたぶるときの執拗さには変質的なものがある。ギルガザムネの暴走に巻き込まれてあえなく戦死する。(26話〜38話)

しんえいきこうへいだん【親衛機甲兵団】ギルトール親衛隊の正式名称。生え抜きの兵士を集めて結成されたエリート部隊である。ふだんは月に駐留して、いざというときにはギルトールの生命を守ることを第一使命としている。しかし、ドラグナー奪回といった軍の最高機密にかかわる任務や、遂行が困難な高度な任務にもつく。ギガノス軍の一般兵士にとっては憧れの対象である。

ジンき【ジン機】ダウツェンをパワーアップさせたもので、外見に極端な変化は見られない。しかし、その計算高そうな性格からして、見えない所を改造して、わざわざノーマルバージョンに見せかけているのではないか、とも思える。だが、ハッタリのような改造をしている他の仲間たちに比べれば、いちばん賢いのかもしれない。機種名スターク・ダウツェン。(27話〜)

じんるいのさいせい【人類の再生】先に戦争を始めた統一帝国ギガノスが掲げている、今次宇宙大戦を正統化するための宣伝文句。プロパガンダの例にもれず聞こえはいいのだが、結局は選民思想であり、マスドライバーによる大量殺りくを都合よく解釈させるためのものでしかない。(1話〜)

スカンジナビアはんとう【スカンジナビア半島】ノルウェー、スウェーデンなどの国がある地域を示す。地球にたどりついたアイダホが着水した地域。戦いに巻き込まれるのを避けるため、マーチン家の人々はここでアルカードからともに避難してきた人々と別れた。ケーンらと難民たちは空母アクアポリスに乗り換えて司令部をめざしたが、ギガノスの追撃はここにまで及び、マスドライバーの攻撃を受ける。

すぎたるてがら【すぎたる手柄】ドラグナーを拿捕したチェホフを殺して、手柄を横取りしたプラクティーズの面々が話したことば。チェホフには分不相応な功績だというのである。彼らのおごりが表われているといえよう。(7話)

スパイ【SPY】 スカンジナビアの連合軍北欧司令部付近で情報収集をしていた2組の夫婦。ケーンたちをドラグナーのパイロットと見破り、リンダを囮として彼らの殺害をくわだてたが失敗した。

スローインボム【THROWING BOMB】 D－1カスタムタイプのオプション兵器。フリスビーのような円盤型をしており、両腕のジョイントに各1個ずつ装着できる。今までのD－1には同様の効果をもつ兵器としてショルダーボムがあった。宇宙よりも地球上のほうが効き目を発揮しそうではある。

ズワイ【ZUWAI】 重戦タイプのギガノス軍新鋭メタル・アーマー。大出力の核融合炉を搭載したため、ものすごい怪力のうえ、ホバーによる高速走行が可能となっている。武装は小型ハンドレールガンと背中の4連装ロケット・ランチャーおよび、左手の巨大な爪と、接近戦を主として考慮されている。上海より重慶へと長江を進んでいたD艦隊は、水中からこのズワイ4機の攻撃を受け、空母艦内まで侵入されて、危うく撃沈させられてしまうところであった。（24話～）

せいかんトンネル【青函トンネル】 2087年には使用されておらず、立入禁止となっている。ギガノス軍の竜飛岬基地はこれの真上に建設されており、ここからケーンたちに爆弾をしかけられ、破壊された。（22話）

せいりゅうとう【青竜刀】 グン・ジェム大佐がメタル・アーマーに乗る際に愛用する。ゲイザムに続いてギルガザムネにも特殊合金製の青竜刀が装備されている。

ぜっとーれぽーと【Z－REPORT】 ドラグナー隊討伐の命令を受けたグン・ジェム大佐にケーンたちの写真とともに渡されたドラグナー隊に関するレポート。〃TOP SECRET〃のステッカーが張られている。（26話）

セーフティロック【SAFETY LOCK】 メタル・アーマーの操縦桿についているトリガーガードのこと。もちろんこれを外さねばレールガンなどは使用できない。（1話～）

セーラムしょう【セーラム賞】 多大な功績をあげた軍人に送られる、連合軍の勲章。ドラグナーを無事に重慶基地まで届けたケーンたちは、そこで除隊してしまえば報奨金の200万ドルとともにこれがもらえるはずであった。だがドラグナーのパイロットとして戦いを続けることを決意した3人は、そんな富も名誉も捨ててしまったのである。（24話）

せんさいこじ【戦災孤児】 洞窟で自活していた。ゲルポック隊に、ドラグナーをおびき寄せるためのおとりとして利用される。（32話）

せんとうデータ【戦闘データ】 ドラグナーに搭載されているHAL－900Mk－IIタイプコンピュータは、毎日の戦闘を記録・分析し徐々に進歩していく自己発展型のものである。そのため、その蓄積されたデータをコピーすれば、パイロットの腕前にもよるが、新品のメタル・アーマーとて操縦・運動・戦闘能力ともかなりの上昇を見せるのである。今までメタル・アーマーを保持していなかった連合軍は、ドラグナーの量産化にあたり、このデータを絶対に必要としていた。しかし、D兵器内のこれはパイロットの登録解除を行なうと同時に消滅してしまうため、結局ケーンたちはみずから量産化工場のある重慶まで、パイロットを務めなければならなくなってしまったのである。

せんとうはいち【戦闘配置】 第1から第3までに分かれている。第1が直接戦闘時、第2が戦闘配置待機状態、第3が戦闘準備態勢であると思われる。（4話）

せんとうようバイク【戦闘用バイク】 ギガノスがアルカードに差し向けた特殊戦闘部隊が使用していた単座式のバイク。とはいってもかなり大型であり、シートはまたがるのではなく腰掛ける方式で、操縦者の体はちょうど飛行機のコクピットのように風防でシールドされている。コロニーの外壁に打ち込まれたチューブから侵入するというなかなかデーハーな登場の仕方をした。タイヤは電磁石になっていて、小型ミサイルや機銃、ガトリング砲などで武装している。

せんとうようポッド【戦闘用ポッド】 地球連合軍の宇宙戦艦に配備されているひとり乗りの機動ユニット。マニピュレーターや武装、レドームなどはついているものの、ギガノス軍が開発したメタル・アーマーよりはるかに性能は劣る。ここに両軍の技術力や、宇宙空間での戦闘への認識の差が明らかになっているといえるだろう。

そうきけいかいき【早期警戒機】 移動するD艦隊の周囲を偵察していた、連合軍の対空・対潜用の航空機。背部に3次元レーダーを搭載しており、米軍機AWACSのE3Cセントリーによく似たデザインをしている。D艦隊方面へと向かうクルーズピートを発見し、アイランドへ通報したが、あっという間にクルーズピートの対空ミサイルによって撃墜されてしまった。（15話）

ソウル・ジルセット【SOUL JIRSETT】 アイダホに乗り込んでいた難民のひとり。おそらくなかでは最長老ではないかと思われる。医師の資格をもっており、肺炎で倒れたローズや、北欧司令部を襲ったマスドライバーによるけが人の手当てなど、さまざまな場面で活躍をしていた。ケーンら一行にとっては、とても大切な存在である。また、身寄りのないまま旅を続けるケーンやリンダたちの親代わり的な人でもある。妙に存在感のあるオバさんで、きっと若いころはいいオンナだったのに違いない(!?)。ちなみに、独身である。さあ、そこの君、チェックを入れるんなら今のうちだゾ！

そんなきぶん【そんな気分】 なんとなくアブナイことばだが、なんのことはない。急性肺炎になったローズの傍らを離れたくないタップが戦闘に行きたくない、として語ったセリフである。（10話）

たタ

「た」は「太」の草体
「タ」は「多」の上半

ダイアン・ランス【DIANE LANCE】 「ドラグナー」に登場する3人のヒロインのなかではいちばんアダルトな雰囲気をもった女性。アイダホでケーンたちといっしょに避難してきた。1クールではあまりめだった行動もなかったのだが、実は連合軍の秘密諜報員で、13話では酔った勢いなのかタップにポロッとしゃべってしまったりもした。D兵器に関係するなんらかの目的をもって行動しているのは間違いないのだが……。ライトが一時チェックを入れていたようだが、気の毒だがどうやら噂ではベン軍曹とくっつくらしい。あの色っぽさはベンにはもったいないのだが、ライトではちょっと役不足かもしれない。NT6月号のキャプションでは、「経験豊富なダイアン姉さん」だとか、「悩みのあるボク、お姉さんに相談しにいらっしゃい❤」だとか書かれているが、やっぱり経験は豊富なんだろうか？　ま、そりゃそうだわなー、あんだけの美人だしなー、そっかそっか、相談しに行きたいなー、イロイロと……なーんて考えていてはイケナイ。（CV＝勝生真沙子）

だいいちじうちゅうたいせん【SPACE WAR I】 西暦2084年、月面の都市で独立を宣言した統一帝国ギガノスは、2086年、地球連邦に対して宣戦を布告した。これを第1次宇宙大戦という。ギガノス軍はマスドライバーによる隕石爆撃と、作業用機械から人型ロボットの発展を見せたメタル・アーマーを使い、圧倒的な有利に立った。対する連合軍はみずからの戦略の立ち遅れを痛感し、ギガノス軍の最新兵器であるD兵器を奪取、メタル・アーマーの開発と投入に着手した。と、このようなバックボーンを踏まえて「ドラグナー」は始まったわけだが、はたしていかなる展開を見せるのだろうか!?

だいいちほきゅうきち【第1補給基地】 北アメリカのカナダにある、連合軍の補給基地。ノーラッドへと向かうドラグナーはここで弾薬と推進剤の補充を行なおうとしたが、先にやってきて罠を張っていたマイヨのファルゲンの待ち伏せにあい、D－1は左腕を全壊、D－2も右足を半壊されてしまった。（16話）

だいいちほきゅうじょ【第1補給所】 補給所といっても、正式なものではない。ドラグナー輸送オペレーションにあたって、本隊が最初の中継ポイントとして使用するために物質などを集積しておいた場所。結局、ケーンたちはここでマイヨとプラクティーズの奇襲部隊を迎え撃つことになった。（19話）

たいきけんないこうこうどこうそくていさつき【大気圏内高高度高速偵察機】 ケーンたちのアストロノーツアカデミー時代の親友、ビル・ブライアンが通信兵として乗っていたギガ

ノス軍の偵察機。複座。アメリカ空軍が保有すると言われるスティルス機、F-19に近いデザインである。武装はおまけみたいなもので、本来は高度3万メートル付近から写真撮影などをするのを主任務とする機体である。(16話)

たいくうミサイル・ランチャー【対空ミサイル・ランチャー】連合軍の艦艇に備えられている、8連装ボックス・シール・タイプの対空ミサイル。例によって、当たってもほとんど意味がない。(14話～)

だいさんほうめんぐんだいにぶたいさんとうくうし【第3方面軍第2部隊3等空士】1話でドラグナーを動かしたケーンたちは、まがりなりにも操縦ができたということと、何よりドラグナーに登録されてしまったことから、軍のパイロットとして任命されることとなった。そのときに与えられた階級がこれである。

たいせんプローブ【対潜プローブ】クルーズビートを発見したアクアポリスの早期警戒機が、より多くの資料を得るために海面に投下したもの。外見は現代のものと同じだが、性能は飛躍的に向上している。(15話)

だいななかいようせんいきぐん【第7海洋戦域軍】ノーラッドから量産型ドラグナー工場のある中国の重慶までD兵器を移送させるために登場した連合軍の部隊。新鋭空母イースヨーを中心に構成されており、以前のアクアポリスを中心とする第5海洋戦域軍よりは戦力的に優れている。(21話～24話)

ダイン【DEINS】ギガノス軍の接近・格闘戦用メタル・アーマー。量産型メタル・アーマーのなかでは新しい機種。右目はカメラ・アイが露出しており、これは初期型のゲバイから引き継いだ特徴である。指揮官クラスのパイロットが主に搭乗する。どういうわけか「レイズナー」のゴステロによく似ている。しかし、ダインを見た瞬間、「ウォーズマンの正体はダインだったのか!」と思った人も多いはずだ。

ダウツェン【DAUZEHN】ギガノス軍、地球部隊が使用しているフォルグ・アーマーの一機種。軽戦闘機型のシュワルグとは異なり、重攻撃型と呼称され、機動能力よりも攻撃力や防御力に重点が置かれた設計となっており、要塞攻略戦や対艦戦闘などで真価を発揮する。基本武装は大型ハンドレールガン1挺、左腕に機銃1門、両腰に連装ロケット・ランチャー、両脚に投下用の爆弾を装備している。なお、シュワルグと同じく、こちらも高速飛行時には両脚を内部に格納する。これらの出現と連合軍のドラグナーがクラフトユニットを装備したことから、地球上における空中戦の実態は両軍ともにエスカレートしていった。

ダグラスちゅうい【ダグラス中尉】ドラグナー1の正式パイロット。本来は彼がドラグナー1に搭乗するはずだったのだが、ケーンのほうがパイロットとして先に登録を行なってしまったため、主役メカに乗ってヒーローになる機会を失ってしまった。そのため、現在のところケーンたち3人の兵法教育係として教鞭を振るう一方、実戦にも参加している。10話では、ローズの看病につきっきりのタップの代わりに出撃した。キャバリアーを使った戦法を提案し、みごとマイヨたちの攻撃を退けたところをみると、かなり有能な軍人なのであろう。

だっしゅつポッド【脱出ポッド】この場合は、アルカード内部にセットされていた緊急脱出用の小型宇宙艇を指す。コロニー内の全住人を乗せるだけの数は用意されていたが、いかんせん質量弾の飛来スピードがものすごかったため、数パーセントしか射出には成功しなかったもようである。(1話)

たっぴみさききち【竜飛岬基地】ギガノス軍が津軽海峡を封鎖するために、日本の青森県に設置した、トーチカのような基地。そのため、超大口径の砲台をもっており、付近を航行する連合軍艦船にとっては大きな驚異となっていた。真下を、この時代には使用されなくなった青函トンネルが通っており、ここから祖母の協力を得たケーンたちにより爆破されて全壊してしまった。(22話)

たっぴみさききちきょほう【竜飛岬基地巨砲】ギガノス軍が日本の津軽海峡を封鎖するために設置したもの。超巨大な大砲で、海峡全域をその有効射程内に収めている。ケーンたちD艦隊は、重慶へ向かうにあたり、ここを通過せねばならなかったため破壊工作に向かった。別名、対艦アームストロング砲。(第22話)

たっぴみさききちしれいかん【竜飛岬基地司令官】巨砲でもって津軽海峡を封鎖しているギガノス軍竜飛岬基地の最高責任者のこと。司令室で部下にあれこれ命令しているうちに、ケーンたちの攻撃で基地を破壊されてしまった。(22話)

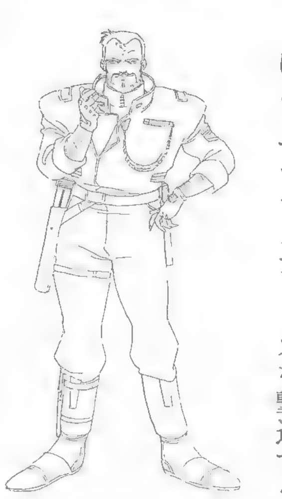
タップ・オセアノ【TAP OSEANO】アストロノーツアカデミーの生徒。ニューヨークに両親と妹がおり、仕送りをしているという顔に似合わず、けなげなところもある。かといってまじめなタイプかというとそうでもなく、ケーンに負けず劣らず、軽い。いわゆる「気は優しくて力持ち」キャラなのだが、このライトさや、音楽ずきな点など、やはり時代を感じさせる。D-2のパイロット。ローズに惚れており、10話で寝込んだローズを出撃命令を拒否してまで看病し、これで駄目を押したと思ったが、意外にローズがなびかず、苦労を強いられている。最近はあまりに能天気な面をさらけ出すローズにとまどっているのか、恋愛に関しては消極的な態度をとっている。そのウップンを晴らすかのように、きょうもD-2のキャノン砲は元気に轟くのであった。(CV=大塚芳忠)

ダニー【DANY】マーチン家の次男坊で8歳。「一体3人のどいつがダニーなんじゃ?」というビギナー・ドラグナー・ファンのキミは、ソバカスがある子、と覚えておけばよろしい。

ダミー【DUMMY】ドラグナー輸送作戦に使用された、D兵器のハリボテ。外観はよくつくってあったが、本来あるべき核融合炉の熱反応に似せたものを組み込んでいなかったため、ギガノスの偵察衛星によって、いとも簡単に正体がばれてしまった。この程度のことも考慮しないとは、連合軍も情けないとしかいいようがない。(19話)

ダン・クリューガー【DAN KRUGER】マイヨの配下であるプラクティーズの一員。19歳で准尉。年齢、階級とも他の2人と同じ19歳で准尉。本人は気を悪くするかもしれないが、実は15話で自分の汚名を返上しようとして戦死するという噂もあった。そうすればとりあえず視聴者の記憶には残るであろうし、ウェルナー、カールに水を開けることができたのに、と思うと残念でならない(とまでいうとさすがに怒るか……)。何しろ美形なのだから、運がよければアニメ雑誌で特集されたり、ファンが増えたりしたかもしれないのに……。(CV=柏倉つとむ)

チェホフ【CHEPHOV】ケーンたちがEC実験ステーションで出会った、ギガノスの軍人。かつての戦いにおいて、上官に責任をなすりつけられた過去をもっている。そのため現在は逃亡中の身であった。船の修理のためにステーションに立ち寄ったのだが、そこでケーンたち一行と遭遇したわけだ。最初はドラグナーを奪って、自分を陥れた上官を見返してやろうとするが、ケーンたちと戦ううちにしだいに彼らと意気投合し、戦士の心得を教え込んだりもした。しかし、ステーションにやってきたマイヨやプラクティーズと、ドラグナー奪回の功をめぐって対立し、あげくのはてには、ギルトールへの反逆罪をでっち上げられて射殺されてしまった。彼の死はケーンたちの怒りに火をつけ、たたき込まれた心得によってプラクティーズを撃退する。



チェホフのきょうくん【チェホフの教訓】チェホフ直伝「生き残る兵士はここが違う」全5項目 其の1「無駄玉は撃たないより始末に悪い。自分の居場所を相手に教えるようなものだ」 其の2「怖さは恥ではない。それがあるから身体が戦闘体勢を整えてくれるのだ。恐れを知らんのは単なるバカだ」 其の3「相手がいつまでも同じ場所にいると思うな。相手の動きを読んで先手を打つのだ」 其の4「周囲の状況を知り、利用できるものはなんでも利用せよ」 其の5「そして何より……生き残ることを考えるのがよい兵士だ!!」 チェホフは、兵士としての体験のなかで育んできた以上のことをケーンたちに教え込んだ。「あしたのジョー」で段平おっさんがジョーに授けた「あしたのためのそのいちっつ!!」を彷彿させる、なかなか盛り上がるエピソードであった。まるでジョーが力石に放ったジャブのように、たちまちこの教えは効果を表わし、プラクティーズとの戦闘に生かされることになった。しかし、それがいわばチェホフのとむらい合戦であったのはなんとも皮肉な事実であるとしかいいようがない。チェホ

フとわずかの間ではあるが、ともに過ごしたことによって、ケーンたちはひとまわり大きく成長したようである。なお、近日チェホフの教訓は「そして……生き残った」というタイトルで出版される予定……は、まったくない。

チェホフのゆそうかん【チェホフの輸送艦】彼の逃亡生活の足として使用されていた艦。プラクティーズは、ドラグナーを奪回した後輸送に利用しようとしていたが、そんなに世の中うまくことは運ばないものである。代わりにケーンたちの足となって、彼らをギガノスの中継基地へと導いた。ギガノスの船舶に乗っていたことが、基地への潜入が成功した大きな要因になっているであろうことを考えると、チェホフにはもっと感謝すべきである。また、中継基地を爆破するのに使用したのもこの艦に積んであった爆弾である。まあ、なんで基地をふっ飛ばせるほどの爆弾を積んでいたのかは今イチ謎ではあるが……。

チェリーブロッサム【CHERRY BLOSSOM】ケーンとマイヨの会談を提案してきたギガノス軍諜報部と連合軍の間で交わされていた会話中の暗号。連合軍のことを指している。松田聖子の歌ではない。(23話〜)

ちきゅうきどうじょうちゅうようさい【地球軌道上宇宙要塞】地球の軌道上に位置するギガノス軍の移動要塞。月面の本国、宇宙中継基地に次ぐ、ギガノスの宇宙圏における拠点であるといえるだろう。3つの艦隊を統合している。全長3760メートルを誇り、宇宙中継基地を突破されたギガノス軍は、アイダホの大気圏突入を何がなんでも阻止すべく、この基地を最後の砦として攻撃を仕掛けていた。アイダホはこれを相手に、連合軍の援軍なしに戦わなくてはならなかった。

ちきゅうれんごうぐん【地球連合軍】地球上の多数の国家が参加して設立された地球連合に所属する軍隊。ロッキー山脈の麓、ノーラッドに総司令部をもつ(しかし南北アメリカはギガノス軍の侵攻がすすんでいた)。西暦2084年、月面の都市ギガノスが地球連合政府からの独立を宣言、宣戦を布告してきたことから、交戦状態に陥る。しかし、月面開発のために発展した人型機動兵器、メタル・アーマーの投入、宇宙空間における物資運搬用に設置されたマスドライバーを使った質量爆弾攻撃、月の豊富な資源に支えられたギガノスに対して、旧態然たる兵器と戦略しかもたない連合軍は劣勢を強いられている。その現状を打ち砕くための起爆剤となるのがドラグナーである。さすがに海軍戦力などはギガノス軍を上回るようだが、現段階ではいかんせん抵抗を続けるのがやっとという状態である。しかし、物語後半に突入すると、メタル・アーマーの大量生産などにより、勢力を盛り返していくようだ。

ちきゅうれんごうぐんせんじゅつうちゅうせんとうぐんだん【地球連合軍戦術宇宙戦闘軍団】連合軍宇宙艦隊の正式名称。しかし、26話現在では、ほぼ完全な壊滅状態であり、名前だけの存在となってしまっている。

チャイナドレス【CHINA DRESS】プラート博士がリンダと再会するときの手みやげにしようとして、上海の眠眠服飾蓑苑にて買ったもの。彼は長年リンダと会っていなかったため、昔の妻のスリーサイズと同じサイズのものを買い求めていた。彼女にピッタリでよかったよかった。(24話)

チャフ【CHAFF】対レーダー探知システム用の二次兵器。アルミはくなどの電波攪乱物質の細片を散布することによって敵のレーダーや電波式のアクティブ・ホーミング・ミサイルの目を一時的にではあるが使用不能の状態にさせる効力をもつ。ドラグナーの世界ではガンダムワールドにおけるミノフスキー粒子のような物質はないため、戦場ではかなりの有効性を示すと思われる。しかし、それにもかかわらず、一度もまともに使用されたことがないのはなぜであろうか。

ちゅうかまんじゅう【中華まんじゅう】いつの時代になっても、食べ物はあまり変化しないようである。リンダとプラート博士の好物。時に博士は、いつもこれをムシャムシャやっていた。いつもこれをマイヨにすすめている光景を想像すると恐ろしい。マイヨが博士と別れたのもこう考えるとうなずける。ほんとうは小包子(シャオパオズ)と言うんだよ!(25話〜26話)

ちょうこがたかくゆうごうエンジン【超小型核融合エンジン】メタル・アーマーはこれを動力源とすることで、膨大なパワーを有することが可能となった。というよりも、メタル・アーマーのために開発されたというほうが正確なのかもしれない。それまでのメタル・ワーカーは核電池による走行システムと、化学燃料によるバーニアスラスターによって移動手段を得ていたわけで、兵器として使用するためには能力不足はいなめず、ギガノス科学陣が総力を挙げてつくり出したのである。ただ、このエンジンは燃料の補給は少なくてすむものの、運用に当たっては常時アイドリング・パワーを維持していなければならず、一度メンテナンスに入ってしまうと再びスタンバイさせるためには多大な時間を必要とすること、また破壊されたときには放射能汚染された遮蔽物質が巻き散らされてしまうことなどの欠点がある。しかし、それでも、その強力なパワー源としての魅力は軍人にとって捨てがたく、汚染のことなどまるで考慮されていない。それは連合軍とて、同じである。

ちょうしょく【朝食】チェホフと一時休戦をしたケーンたち3人が彼にお世話になったもの。ベーコン、目玉焼き、コーヒー、パンなどを急ごしらえのバーナーと鉄板で調理していた。合成タンパクによる宇宙食が嫌いなチェホフが、みずからクーラーバッグに入れて持ってきていたのである。ケーンたちにとっても久方ぶりのまともな食事だったのだが、ほとんど食べないうちに、やってきたプラクティーズ隊によって踏みつけられてしまった。(7話)

ちょうちんゴリラ【提灯ゴリラ】ミン大尉がゴル大尉を指して言ったことば。29話ではジン中尉にもこう言われている。(27話)

つちぐものす【土蜘蛛の巣】円筒形で先端にドリルがついており、地面に突き刺すと一定の深さまで潜って行き、敵が上空を通ると一斉射撃するようになっているミサイルランチャー。一か所に大量投入するのが効果

的であり、これを俗称として土蜘蛛の巣と呼ぶ。使い捨ての簡易兵器のため敵味方の識別装置などが省いてあるので、ある程度のコントロールが必要である。(34話)

ディスク【DISK】ディスケットのこと。ここではドラグナーのデータディスクをさす。当然光ディスクであろうが、磁気ディスクだったりするとコワイ。ケーン、タップ、ライトの3人は街なかでスパイから偶然入手する。その後、ギガノス軍のオートバイ部隊に追い込まれた彼らはドラグナーに乗り込み、パイロットとして登録されてしまう。パイロットが一度登録されてしまうと他の人間の操縦はドラグナーから拒否されてしまうため、ケーンたちはパイロットとして戦わざるを得なくなってしまった。その後地球で彼らの登録を解除しようとするが、ギガノスの攻撃によって登録装置の解除プログラムはオシャカになってしまった。ケーンたちには気の毒だが、主人公クラスの人間がやたらとメカを乗り換えたり、他の人間が主役メカに乗ったりするのはドラマの盛り上がりに水を差しかねないため、このパイロット登録システムはなかなかスグレ物である。

ディスク・レコーダー【DISK RECORDER】ビル・ブライアンに、上官のホルツ少尉がすべて話してしまっていることを納得させる手段として会話の録音を聞かせたときに、ケーンたちが使用した。なぜかタップのコンパクトCDではなかった。きっと彼のは再生専用なのであろう。しかし、これは早く製品化してほしい。私もほしい。(16話)

ていてつ【蹄鉄】しめなわと同じく、グン・ジェムが着けているもの。やはり縁起をかついでいるためのようである。(25話〜)

Dへいき【D-WEAPON】ギガノスの最新兵器であるメタル・アーマー、ドラグナーのこと。D-1〜D-3およびその補給物資、そしてD-1用のバックアップシステムであるキャバリアーで構成されている。装甲や武装は異なるが、基本的構造は3機とも同じである。後に、クラフトユニットをはじめとする各種オプションが連合軍によって製作される。ま

た、この3機を参考にした連合軍初のメタル・アーマー（量産型ドラグナー）や、カスタムタイプドラグナーも製作される。

ディロン【DIRON】ヤム少佐の部隊のドラグーンパイロット。模擬戦でケーンたちドラグナー隊が3機がかりでやっと倒したターゲットをひとりで簡単にかたづけてしまった。ヤム隊のメンバーは全員ディロン並みの腕をもっているようだが、セオリーどおりの戦い方を得意とするヤム隊の攻撃は、グン・ジェムには全く歯が立たず、あっさり撃破され、ケーンたちの助けがなかったらディロンも命を落とすところであった。（26話）

てっこうりゅうだん【鉄甲榴弾】非常に硬い弾頭でできており、装甲を撃ち抜くと同時に爆発し、内部を破壊することができる弾。ゲルポック隊のゲルフが装備しており、コーキング弾との併用で威力を発揮した。

てりゅうだん【手榴弾】本来歩兵が使うものだが、メタル・アーマーにも同様の武器が存在する。ドラグナー1の場合、両肩にそれぞれ1個ずつマウントされている。敵のメタル・アーマーが密集形態を取っているときなど、1発で3〜4機に同時に大きなダメージを与えることができる。ライトが知っていたのに、かんじんのパイロットのケーンはドラグナー1に手榴弾があることすら知らなかった。まったく困ったものである。名称はショルダー・ボム。

てんかだいいち【天下第一】ドラグーンの量産工場にでかでかと書かれていた。意味は不明。安全第一なら納得もいくのだが……。（25話）

でんしロック【電子ロック】ケーンたちは、無断で重要機密であるドラグナーを動かしたために、アイダホの中で監禁される。アルカードが敵の攻撃を受けたことを知り、彼らは脱出を試みるのだが、そのときタップが安全ピンで開けようとしたのが電子ロックである。3人は無事脱出してドラグナーに乗り込むことができたのだが、ロックを解除したのは実はリンダだった。おいおい、いくらメカに強いからって、安全ピンで電子ロックが開くかって!!

とういつていこくギガノス【統一帝国ギガノス】ギガノスの正式名称。別に怪しい宗教団体のことではない。もっともかなり怪しい連中の集まりではある。

どうりょくセンター【動力センター】基地などの動力供給を一手に負っている設備。ドラグナーの時代においては、すでに核融合炉、それも超コンパクトなものが開発されているため、一度稼動させると、ほとんど10年単位のオーダーで無補給で活動できるようになっている。ノーラッドへ潜入したマイヨとダンは、ここを3番目の爆破目標としていたが失敗してしまった。（17話）

とくべつてあて【特別手当】ドラグナーのパイロットにならざるを得なくなったケーンたちに与えられるという。のではあるが、一度も実際に出たためしはないような気がする。ケーンいわく「軍は嘘をつかん！」ということなのだが……。

どくりつさいさんせい【独立採算制】補給を求めるプラクティーズに対しグン・ジェムはこう言って金を要求した。ちなみにお値段のほうは、燃料100ガロン＝50ゴールド、HGタイプ対空ミサイル1発＝2500ゴールド、食料10ゴールドである。（30話）

どさまぎ【どさまぎ】最初に「どさまぎ」というセリフを聞いたときはいったいなんのことだろう？　と思ったが、タップいわく「どさくさにまぎれて」のことだそうである。わざわざセリフで説明してくれてはいるのだが、単にそれだけの話で、落ちていない。自分でふっといて、自分で落ちを説明すんじゃねえっての！

としまおんな【年増女】ケーンがミン大尉を罵倒した際、言ったことば。25歳であるミン大尉の逆上を誘発することとなる。（30話）

ドナウがたしえんくうぼ【ドナウ型支援空母】アイダホの護衛艦隊を構成する戦艦の一タイプ。具体的な艦名は不明だった。ちなみにもう一方の護衛艦のタイプはアマゾン型という。地球連合軍では、空母のタイプ名に、河川の名称をつけるのが習慣になっているらしい。するとやはり、石神井川タイプ空母とか、荒川放水路タイプ空母なんかも存在するのだろうか……。

ドーラ【DOLLA】ギガノス軍の大気圏内用メタル・アーマー。ゲルファーやガンツァーと合体して使用される。それというのも、脚をもっていないために空中でしか使用できず、さらに、ペイロードが少なく長時間の飛行ができないので局地戦専用となっているからである。しかし逆にいえば、空中と地・海上の二面攻撃を可能とするので、便利といえば便利ではある。（14話〜）

ドラウ【DREU】ギガノス軍が開発したメタル・アーマーのなかでも最も初期の型である。専用の武装やシールドはもっていない。また、まだ頭部は本体から完全に独立したユニットにはなっておらず、人型になる過渡期の機体であるといえる。

どらぐな【怒羅愚那】ドラグナーの中国語のあて字。たしかにもっともらしい雰囲気は出ているといえる。無事に中国へ到着したケーンたちを歓迎する横断幕などに書かれていた。ちなみに現在、香港で発売されているアニメ誌「A-CLUB」での「機甲戦記ドラグナー」は「機甲戰記威龍」と表記されていた。こりゃ、カッコエエ！（25話〜26話）

ドラグナー【DRAGONAR】言わずとしれた本編の3機の主役メカのこと。25話でギガノスの新型MAに対抗すべく、徹底改造がなされる。しかし急激なパワーアップにより、ケーンたちは逆にその力をもて余すようになり、遊撃活動に出て最初の敵であるグン・ジェム隊によりあっさり大破させられてしまう。しかしケーンたちの成長とともにその揺るぎない力を発揮するようになり、本当の意味でギガノス軍を戦慄させることとなる。

ドラグナーしゅうのうコンテナ【ドラグナー収納コンテナ】ドラグナーを1機ずつと武器・補給品一式を納めていたコンテナ。簡単な整備くらいなら内部でできそうである。ちなみにアイダホを大気圏突入させるときには、直前まで艦外で作業していた人々を内部に入れて、単独で突入するという離れ業をやってのけていた。（1話〜）

ドラグナー1【DRAGONAR-1】ケーン・ワカバが搭乗する最新鋭のメタル・アーマー。ギガノス製である。それまでのメタル・アーマーとは一線を画す性能をもっている。主な武器はレールガン、レーザーソード、そして肩部ユニットにマウントされた手榴弾である。また、接近戦用にアザルトナイフをもつ。接近戦用のD-1、後方支援用のD-2、電子戦用のD-3、さらにD-1に他の2機の性能を兼ね備えさせるためのキャバリアーを用途に応じて運用することにより、さまざまな状況に応じた作戦行動を取ることができる。開発コードナンバーXD-01。頭頂高／17・6メートル、動力／EPW-2D型超小型核融合炉×2、出力／21万ポンド（CMP）、（ドライ）33・8万ポンド、メーンノズル×6、姿勢制御ノズル×12、CMP時間／37秒（MAX）【回復時間CMP≦5　2秒〜CMP＝37　14秒】CMP→最大戦闘出力維持、重量／運行自重61・5トン、最大発進重量91・6トン、出力・重量比／1・146（ドライ）1・834（CMP）、探知装置／イメージセンサーTAS1型、装甲／マルチプルハイブリッド型ゼライトコーティング剤、装甲厚／MAX205ミリ、乗員／パイロット1名、基本武装／75ミリハンドレールガンLPS9型（発射速度1800発／分、携行弾数は作戦に応じて変更、弾種は徹甲弾および爆裂弾）、マルチディスチャージャー（LPS9型プラズマグレネード×2発、銃身下部に取り付けた装置。スモーク、チャフ、フレアーなども発射可能）、白兵戦用レーザーソード、アザルトナイフ、ハイブリッドシールド、対MA用手榴弾ほか

D-1用フライトユニット（リフター1）諸元。識別コードナンバー／XDFU-01、全幅／25・6メートル、動力伝達システム／DFGS-AFN、出力／21万ポンド（ドライ）33・6万ポンド（CMP）、アフターバーナー使用時15万ポンドをプラス、メーンノズル×2、姿勢制御ノズル×4、基本重量／19・7トン、搭載兵装——5連デュアルミサイルポッド×2、ハードポイント×2（ペイロード総量13・2トン）

ドラグナー1カスタムタイプ【DRAGONAR-1 CUSTOM TYPE】量産型のドラグーンよりも性能が劣ってしまい、ギガノスの新型メタル・アーマーと対抗できなくなりはじめたドラグナーを、新たに改造して武装などを強化したもの。基本的に白兵戦タイプであることには変わりないが、レールガンやレーザーソード、推進システムなどは数十％のパワーアップをしており、向かうところ敵なしの強さを誇るようになった。具体的な改造点としては、レールガンの冷却システムをパワーアップさせ、飛距離・破壊力ともに増したことやレーザーソードを左腰に2本装備させたこと、さらに機体とバインダーの装甲を厚くし、防御力の向上を計ったなどが挙げられる。しかし、やはりドラグナーの活躍すべき場所は地上ではなく、増設されたバーニアや小型融合炉の性能向上などの成果が出るのは、連合軍が再び宇宙へ戦力を展開させたときになるだろうことは十分に予想される。改造は中国の重慶基地で、ドラグナー自身の設計者であるラング・プラート博士の指揮によって行なわれた。（25話〜）

開発コードナンバー／XD-01SR、頭頂高／17・6メートル、動力／FPW-4M型超小型核融合炉×2、出力／24万ポンド（ドライ）39・5万ポンド（CMP）、アフターバーナー使用時9・5万ポンドをプラス、メーンノズル×6、姿勢制御ノズル×16、最大速度マッハ0・98／SL（海面高度）マッハ1・64（3万2000フィ）、航続距離2460ノーチカマイル（4556キロメートル）、CMP時間／32秒（MAX）【回復時間CMP≦

5 1・8秒〜CMP＝32 8秒】重量／運行自重72・2トン、最大発進重量121・6トン、出力／重量比／0・987（ドライ）2・015（CMP＋A／B）、探知装置／イメージセンサーTAS15型、重力場感知システムWG3S型、装甲／トリプルハードニス型（ビーコーティング、装甲厚／MAX155ミリ）、乗員／パイロット1名、基本武装――55・6ミリハンドレールガンLPS32型（発射速度2200発／分、携行弾数1600発、弾種は徹甲弾および爆裂弾）、マルチディスチャージャー（携行弾数5発、弾種は徹甲弾、爆裂弾およびプラズマ化弾）、6連デュアルミサイルポッド×2、白兵戦用レーザーソード×2、白兵戦用アザルトナイフ×2、スーパーハイブリッドシールド、対メタル・アーマー用手榴弾、スローインボム、2連25ミリ機関砲×2（1500発／分、携行弾数800発、弾種は徹甲弾および爆裂弾）、ハードポイント×2（ペイロード総量18トン）

ドラグナー3【DRAGONAR-3】電子戦用のメタル・アーマーで、巨大なレドームが特徴。頭部と胸部にはレーダーと各種センサーを搭載している。武装や装甲は比較的軽い。ライト・ニューマンが搭乗する。開発コードナンバーXD-03。頭頂高／18・2メートル、動力／FPW-2F型、超小型核融合炉×2、出力／19・2万ポンド（ドライ）30・0ポンド（CMP）、メーンノズル×4、姿勢制御ノズル×12、CMP時間／12秒（MAX）【回復時間CMP≦5 2秒〜CMP＝12 9秒】重量／運行自重44・5トン、最大発進重量82・3トン（重量増加分のほとんどがプロペラント剤）、出力・重量比／1・166（ドライ）2・186（CMP）、探知装置／重力場感知システムWG11S型、イメージセンサーTAS3SR型、装甲／マルチプルハイブリッド型ゼライトコーティング剤、装甲厚／MAX112ミリ、乗員／パイロット1名、基本武装／50ミリハンドレールガンLPS3型（発射速度2400発／分、携行弾数320発）

D-3用フライトユニット（リフター3）諸元。識別コードナンバー／XDFU-03、全幅／25・6メートル、動力伝達システム／DFGS-AFN、出力／19・2万ポンド（ドライ）36万ポンド（CMP）、アフターバーナー使用時8・2万ポンドをプラス、メーンノズル×3、姿勢制御ノズル×2、基本重量／17・2トン、最大速度／マッハ0・95／SL（海面高度）マッハ1・31（3万6000フィート）、航続距離2700ノーチカマイル（5001キロメートル）、搭載兵装――デュアルミサイル×2、ハイルor対レーダーミサイル×2、ハードポイント×2（ペイロード総量8・7トン）

ドラグナー2【DRAGONAR-2】長距離支援用のメタル・アーマー。背部に280ミリレールキャノンと2連装自動砲を装備しており火力は極めて大きいが、その分動きは制限される。開発コードナンバーXD-02。頭頂高／16・8メートル、動力／FPW-4D型・超小型核融合炉×2、出力／28・8万ポンド（ドライ）43・2万ポンド（CMP）、メーンノズル×6、姿勢制御ノズル×12、CMP時間／57秒（MAX）【回復時間CMP≦5 5秒〜CMP＝57 29秒】重量／運行自重110・2トン、最大発進重量172・9トン、出力・重量比／0・833（ドライ）1・249（CMP）、探知装置／重力場感知システムWG9、イメージセンサーTAS3型、装甲／マルチプルハイブリッド型ゼライトコーティング剤、装甲厚／MAX450ミリ、乗員／パイロット1名、基本武装――88ミリハンドレールガン、LPS7型（発射速度1300発／分、携行弾数540発、弾種は徹甲弾および爆裂弾）、マルチディスチャージャー、LPS7型プラズマグレネード×2発、280ミリレールキャノン×2（発射速度20発／分、携行弾数120発）、75ミリ2連装自動砲×2（発射速度130発／分、携行弾数40発）、2連25ミリ機関砲×2（発射速度1500発／分）

D-2用フライトユニット（リフター2）諸元。識別コードナンバーXDFU-02、全幅／30・2メートル、動力伝達システム／DFGS-AWN、出力／28・8万ポンド（ドライ）43・2万ポンド（CMP）、アフターバーナー使用時8・6万トンをプラス、メーンノズル（PW-F403型ターボファン）×2、基本重量／27・3トン、最大速度／マッハ0・94／SL（海面高度）マッハ1・08（1万6000フィート）、航続距離／5700ノーチカマイル（1万0557キロメートル）、搭載兵装――10連デュアルミサイルポッド×2、ハードポイント×2（ペイロード総量16・7トン）

ドラグナー2カスタムタイプ【DRAGONAR-2 CUSTOM TYPE】ドラグナー1といっしょに、中国の重慶で改造された。主な変更点は、ジェネレータの性能アップ、肩の大型レールキャノンの冷却システムの向上による破壊力、連射能力のアップ（これがため砲身の外観が太くなった）、および照準システムの改良などである。なお、両肩にあったバルカン砲は、今までのクラフトユニットを装着すると使用が不可能になってしまっていたために、背部に1門のみの装備となった。（25話〜）

開発コードナンバー／XD-02SR、頭頂高／16・8メートル、動力／FPW-4DM型超小型核融合炉×2、出力／32・4万ポンド（ドライ）42・9万ポンド（CMP）、アフターバーナー使用時12万ポンドをプラス、メーンノズル×8、姿勢制御ノズル×14、最大速度マッハ0・90／SL（海面高度）マッハ1・32（3万2000フィート）、航続距離／5850ノーチカマイル（1万0836キロメートル）、CMP時間／52秒（MAX）【回復時間CMP≦5 2秒〜CMP＝52 26秒】重量／運行自重132・5トン、最大発進重量189・9トン、出力・重量比／0・853（ドライ）1・445（CMP＋A／B）、探知装置／イメージセンサーTAS12型、重力場感知システムWG9型、装甲／トリプルハードニス型（ビーコーティング、装甲厚／MAX475ミリ）、乗員／パイロット1名、基本武装――640ミリレールキャノンBM06型（発射速度180発／分、携行弾数240発、弾種は徹甲弾、爆裂弾およびプラズマ化弾）、88ミリハンドレールガンLPS33型（発射速度1450発／分、携行弾数660発、弾種は徹甲弾および爆裂弾）、マルチディスチャージャー（携行弾数3発、弾種は徹甲弾、爆裂弾およびプラズマ化弾）、75ミリ2連装自動砲（発射速度130発／分、携行弾数260発、弾種は徹甲弾および爆裂弾）、10連デュアルミサイルポッド×2、2連ヘビーデュアルミサイル、白兵戦用アザルトナイフ×2、2連25ミリ機関砲×2（発射速度1500発／分、携行弾数800発、弾種は徹甲弾および爆裂弾）、ハードポイント×2（ペイロード総量27トン）

ドラグナーゆそうオペレーション【ドラグナー輸送オペレーション】北米大陸内部にあるノーラッドから、太平洋岸のバンクーバーまで、D兵器3体を陸路で輸送するために行なわれた作戦。本隊のほかにドラグナーのハリボテを輸送するダミー部隊が2隊、別行動をとり、ギガノスの目をごまかし、同時にギガノス空挺部隊をせん滅しようと考えて試みられたものであった。しかし、マイヨとパウエルによって本隊を見破られてしまい、逆に奇襲をかけられてしまったが、ドラグナーに新たに装備された連係プレイによって、ケーンたちはなんとかピンチを脱した。（19話）

ドラグーン【DRAGOON】重慶で量産されたドラグナーの量産型MA。その力はカスタム化以前のドラグナーを上回る。ギガノス軍のMAでもこれに対抗できるのはファルゲン、ゲルフなどのユニークタイプやグン・ジェム隊が使用するカスタムタイプぐらいである。各地で優秀な戦績をあげ、連合軍とギガノス軍との優劣を逆転する結果となる。

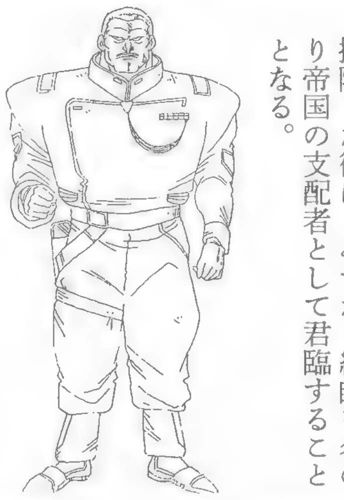
ドラグーンせいぞうこうじょう【ドラグーン製造工場】中国の重慶基地にある、連合軍のメタル・アーマー量産工場。総指揮をラング・プラート博士がとり、ドラグーンの生産やドラグナーのパワーアップなどを行なった。26話の時点では、連合軍にとって唯一の量産工場である。（26話〜）

ドラグーンのパイロットたち【ドラグーンのパイロットたち】メタル・アーマーの実戦経験もないのにケーンたちをバカにしていたが、案の定あっけなくグン・ジェムにやられてしまった。（26話）

ドラッグ・シュート【DRAG SHUTE】連合軍が広く使用している戦闘機はSTOLタイプではあるが、やはりかなり長めの滑走路を必要とせねばならないため、メタル・アーマーと比較すると多分に軍用性が低い。ましてや制空権はほとんどギガノス軍に握られているわけで、滑走路に着陸できない場合も考慮しなければならない。これらの欠点を少しでも補おうと、連合軍の戦闘機のほとんどには着陸時用のドラッグ・シュートが装備されているのである。まァ気休めといえなくもないのではあるが……。

トランク【TRUNK CASE】マイヨとダンが変装してノーラッド基地に潜入したときに携帯していたもの。二重底で下に多量の時限爆弾を隠してあるうえに、超小型センサーや情報端末用のコンピュータとしても使えるデラックスなもの。きっとほかにも催涙ガスが噴き出したり、絞殺用ワイヤーやナイフ、50枚の金貨も仕込まれているに違いない。ギガノスも妙なところに凝っているものである。（17話）

ドルチェノフ【DOLCHENOF】親衛隊機甲兵団による腐敗した帝国上層部の刷新を求める反乱の対策会議に参謀として列席していた男。好戦的な性格であり、反乱軍の武力排除や地球へのマスドライバー全面攻撃に踏み切らないギルトール元帥に対し強い不満をもっている。ついにはギルトールを暗殺したうえ、マイヨにその罪を着せ追放し、反乱軍を武力排除した後は、みずから総帥を名のり帝国の支配者として君臨することとなる。



ドルチェノフのそっきん【ドルチェノフの側近】ドルチェノフがギルトールを撃ち殺したとき、警備兵を殺し、マイヨがギルトールを撃ったとふれ回った。この男がいなければドルチ

ェノフが捕まっていただろう。(33話)

どんがめのまごども【鈍亀の孫ども】ギガノス軍が地球軍の戦闘用ポッドのことをあざ笑って呼んでいたことば。機動性に優れたメタル・アーマーのパイロットからみれば戦闘用ポッドなど、トロくてしかたがないのであろう。よく言ったものだ。(4話～)

な ナ

「な」は「奈」の草体
「ナ」は「奈」の最初の二画

なんぶせんせん【南部戦線】左遷されたマイヨの、次なる戦地。南太平洋に広く拡大してしまった戦線のこと。両軍首脳部とも、あまり重要な地域とは考えておらず、そのため戦闘回数・規模ともに小競りあい程度のものしか行なわれていない。つまり、それだけ昇進の見込みもない、ということであり、マイヨと彼のファルゲンにとっては、屈辱的な場所なのである。(19話～)

なんみんしゅうようじょ【難民収容所】マスドライバーによる攻撃などで大打撃を受けた地球各所に設けられている、一般市民の一時収容施設。アイダホの地球降下後、ケーンたちと別れたリンダやローズたちは、ノルウェー基地近辺のこれにとどまっていた。

にじゅうごメガのシーターは【25メガのシーター波】アイダホの大気圏突入時に、3つの輸送用タンクのうち2つをダミーにし、ひとつに難民を乗せたコンテナを入れておき、これを切り離して突入させようとした。この作戦はうまくいったかのように思えたが、タンクの外装が配線が切れて外れなくなってしまった。そこでドラグナー3から25メガのシーター波を出して爆発ボルトを作動させた。

にひゃくまんドル【200万ドル】中国の重慶基地まで、無事にドラグナーを運んできたケーンたち3人に与えられるはずだった報奨金の額。もちろんUSドルである。現代から100年後ということで、物価もだいぶ異なるであろうが、極端な無駄遣いをしなければ一年食える金額である。除隊するつもりだったタップは、ケーンとライトからもこの金を借りてショービジネスを始めたがっていたが、結局パイロットとして軍に残ることになったため、オシャカになってしまった。(24話)

にゅうこくかんりセクション【入国管理セクション】一般的に国境などを出入国する者や物資のチェックを行なうところ。本編ではコロニー・アルカードのセクションが登場した。アルカードは一応、中立の立場をとっていたため、領空内での戦闘行為の監視などもすべてここで行なっていた。しかしギガノスの戦闘攻撃兵器に対抗するだけの設備自体がアルカードにはないため、現実的にはなにもできないに等しかった。本来はコロニーにおけるこの管理セクションの役割は、検疫などが主任務であるのだから、やむを得ないといえよう。ケーンの母、アオイ・ワカバはここの管理官のひとりであり、アイダホを追撃してきたクラビウスが接近してきたとき、丁度勤務についていた。(1話)

ニューマンけのしつじ【ニューマン家の執事】子供のころからライトを可愛がり、教育やしつけをしていた。ライトはこの執事の死を家からの手紙で知るが、戦場の空気に慣れ、ピンとこないとケーンたちに話す。

にんかんとくれいほうひゃくにじょう【任官特例法102条】ケーンたちに適用された「軍人の臨時採用」法。ものすごく乱暴ない方をしてしまえば、召集令状のようなものだろうか。ドラグナーのパイロットとして登録されたケーンたちを、最高機密に触れてしまったものとして、また、貴重な戦力であるドラグナーを稼動できる人物として、軍としてはただの民間人としては扱えなくなったわけだ。これによって彼らは、地球連合軍戦術宇宙軍の指揮下に入り、第3方面軍第2部隊3等空士という階級を得た。彼らの軍役は、ドラグナーのパイロット登録装置が解除されるまで続くことになる。当初は地球に降りしだいで退役できる予定であったが、マスドライバーの攻撃によりってしまい、結局彼らは連合軍総司令部があるノーラッドまで軍人として務めることになる。しかし、ケーンたちはパイロットとしての登録が解除された後も、戦いの意義を知り、みずからの意思によって参戦していく。

にんしきカード【認識カード】連合軍情報部員であったダイアンが、自分の身分を明かすときに取り出した。軍のコンピュータ端末を操作するときにも使用している。(17話)

にんしきばんごう【認識番号】ドラグナーのパイロットを固定登録するためのもの。ケーンは単純明快に1234567にした。タップはキャッシュカードのナンバーを入力したそうである。

ネイビー・タイムス【NAVY TIMES】アイランド艦内の床屋に置いてあった軍の広報雑誌。ケーンたちはそのなかのギガノス軍の写真にビル・ブライアンを見つけた。(16話)

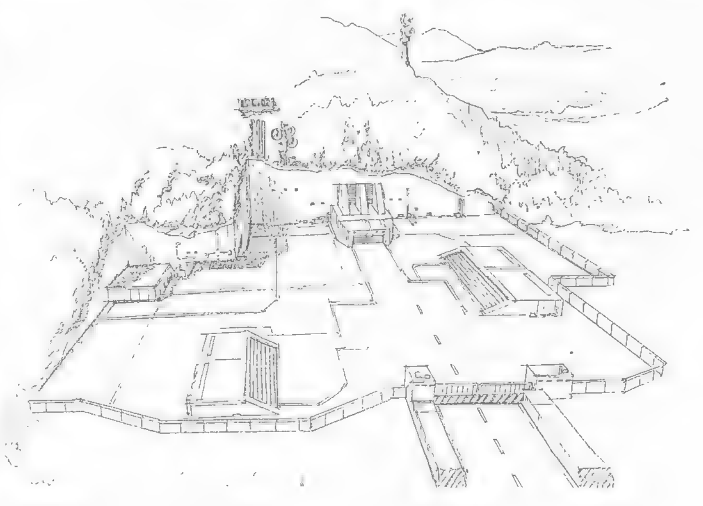
ねつはんのう【熱反応】いわずとしれた輻射熱を主とした温度変化反応。ギガノスの偵察衛星は、これを探知するための赤外線スキャナーも搭載しており、そのためにダミーのドラグナー輸送部隊は正体を見破られたりした。(19話)

ねつれつかんげいドラグナー【熱烈歓迎怒羅愚那】重慶でのケーンたちの歓迎パレード時、こう書かれた看板がいたる所にあった。ドラグナーを漢字で書くとこうなるのかどうかは疑問。(25話)

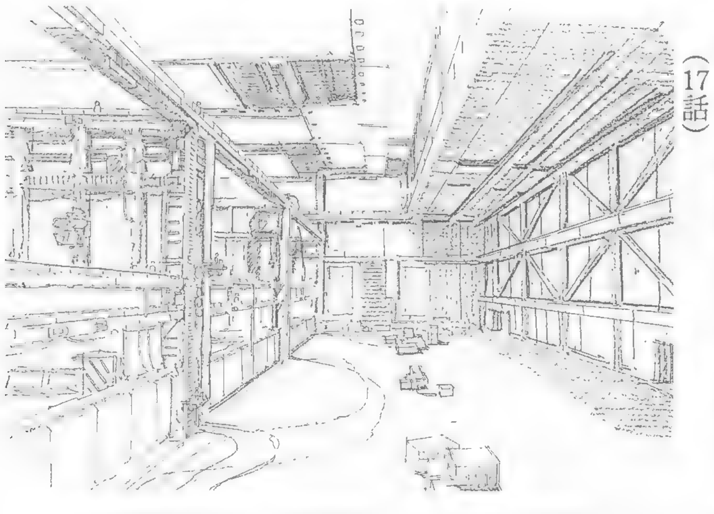
ネルソンがわ【ネルソン河】北米大陸内部にあるノーラッドへ向かったアクアポリスをはじめとするD艦隊が通過した河。連合軍の拠点であるノーラッドを潰すために、たび重なるマスドライバーの爆撃を受けており、流れも現在とはまるで変わってしまった。(16話)

ノーバンしょうい【ノーバン少尉】重巡洋艦アマゾンの将校。5話での戦いにおける指揮官を務める。

ノーラッド【NORAD】北米防空司令部のこと。北米のシャイアン山の地下深くにある。対宇宙監視用に建設されたものであり、現代ではアメリカ軍がICBMおよび衛星の早期警戒に使用しているが、ドラグナー世界(2087年)ではその機能を生かして地球連合軍の総司令部とされた。ケーンたちD艦隊はスカンジナビアの基地が破壊された後、ここへ向かいパイロットの登録解除を行なおうとした。数少ない連合軍の宇宙監視基地のため、守りは非常に堅い。ドラグナー用のクラフトユニットもここでケーンたちに引き渡された。(17話～18話)



ノーラッドないせいびこうじょう【ノーラッド内整備工場】中国の重慶とまではいかないが、かなりの能力をもっており、ドラグナー用のクラフトユニットはここで生産された。ライトンが完成すれば、かなりの量産型ドラグナーが生産されることになろう。(17話)



は ハ

「は」は「波」の草体
「ハ」は「八」の変体

バイク・メタル・アーマー【BIKE METAL ARMOR】ギガノス軍が有重力下で使用している、局地戦および地域制圧用の可変・分離可能なメタル・アーマー。名称のとおり巨大なオートバイの形状をしている。上部と下部に分離でき、上部のみ単体で短時間の飛行をする。今のところこのタイプのものはガンドーラ1種類である。(14話～)

ハイデルネッケンしょうさ【ハイデルネッケン少佐】ギルガザムネ2号機のパイロットとして新たにドラグナーの前に立ちはだかった男。グン・ジェムと違い、ギルガザムネの思考コントロールシステムの使用方法をマスターしていたが、ギルガザムネの弱点である思考コントロールシステムと通常システムの切り換えと、センサーの盲点をつかれ、敗退する。(40話～)

パイロットスーツ【PILOT SUIT】メタル・アーマーや戦闘ポッドなどの操縦者が使用している宇宙服。耐Gスーツを兼ねているため、大気圏内戦闘においても有効なスーツである。性能的には連合軍のものも、ギガノス軍のものも大差はない。(1話～)

パイロットとうろくそうち【パイロット登録装置】機密の保持と機体の強奪、悪用などを防ぐための、パイロットを特定の人間に限定する機能。メーンコンピュータに認識番号と氏名、声紋を登録すればOK。ただし、一度登録してしまうと、そのプロテクトは堅く、解除するのは極めて困難である。おそらく、よほど大容量のコンピュータ施設のある基地にでも行かないとそれは不可能であろう。できるのは、地球連合軍のうちでそれが地球上の北欧司令部、北欧司令部、ノーラッドの総司令部、重慶基地くらいしかない。ところで、ロボットのパイロットメモリー機構といえば、真っ先に思い出すのはジャイアントロボのそれであろう。ジャイアントロボは、電子頭脳(!!)に最初に声を吹き込んだものの命令にしか従わないよう

に設計されていた。もうひとつ、こっちはちとマイナーだがレッドバロン。このロボットは、最初に操縦桿を握った者の指紋を記憶し、それ以外の人間が動かそうとしてもウンともスンともいわない。しかし、極めつけはグレンダイザーで、デュークフリード以外の人間がある一定範囲よりも近づくと自動排除してしまうのだ。逆に、実に賢いロボットとしては大鉄人17が存在する。17は、南三郎少年のいうことしか聞かない(三郎のかぶっているヘルメットで、意思を伝え合うことができる)が、それは17が彼を信じるに足る人間だと「判断」し、「信頼」しているからである。従って三郎少年のことばにすら従わない場合がままある。それは17自身になんらかの考えがあるからなのである。いわば、究極の自己判断能力(もはやこれは「人格」とすらいっていい)をもったロボットである。

ハウゼンかんちょう【ハウゼン艦長】巡洋艦フンボルトの艦長。お話の冒頭に出てきたというだけで、その後何の活躍もしなかったが、とりあえず視聴者に名前を覚えてもらえた。「ガンダム」におけるジーンやデニムのような存在であろう。

ハエ【FLY】ギガノス軍アジア方面軍第1基地のブリード中将の部屋にいた。ゴル大尉の機関砲に追い回されたまま、ガナン大尉のナイフに真っ二つにされた。(26話)

パーキンス【PERKINCE】ギルトール親衛隊の隊長。かなり権威をかさにきるタイプで、典型的なイヤラシ中間管理職。こういう奴は必ずといっていいほど、ドラマのなかで悲惨な死に方をするものである。マイヨとは折り合いが悪いのだが、それもうなずける。

バージニア【VIRGINIA】アイダホの護衛艦隊を構成するアマゾン型戦闘空母。アイダホ、ミンダナオ、そしてこのバージニアと、地球連合軍では艦の名前に地名をつけるならわしがあるらしい。

パジャマ【PYJAMAS】急性肺炎で倒れたローズが着ていた。実は21話の絵コンテ時で彼女が着ていたネグリジェに比べると、ずっとおとなしいデザインであった。あたりまえか…。なお、色はピンク。(11話)

はちまき【はちまき】2話でケーンが出撃するときにしていた白いハチマキ。ケーンがおでこを負傷して出血したため日の丸ハチマキになってしまった。アノ予告編を見て、アブナー番組だと思った人もいたとか……。

ハッサン【HATSAN】親を戦争で失い、同じ境遇のアニーたちとともにギガノス兵が乗り捨てたMAドラウを使って自活している。ケーンたちに命を助けられるが、軍人を嫌っているために心を開こうとしなかった。だが自分たちのことを心配してくれるケーンたちの心に偽りがないことを知ると、ゲルポック隊を倒すために協力し、軍の保護を受けることとなる。(32話)

バーボン【BOURBON】パウエル司令官の好物。数年ぶりに教え子であるマイヨがやってきたときには再会を祝って〝とびっきり〟のものを引っぱり出していた。とはいっても最前線のこと、ジャックダニエルとまでは望むべくもないであろう。(17話)

バルカン・ファランクス【VULCAN FALANCS】空母アクアポリスの各所に装備されている対空砲座。リモート・コントロール・タイプで、直接内部に人間は入っていない。給弾は上部のハッチより行なう。単装。(13話〜)

ハル・コールマン【HALL CALLMAN】連合軍の第3陸上戦域軍63航空軍団に所属する。階級は中尉。マイヨといっしょにノーラッドへ潜入するときにダンが用いていた名前である。やはり本物は捕虜となって収容所にでも送られてしまっていると思われる。(17話)

Bへいき【B兵器】一部マニアの間で恐れ崇拝されている究極のロボット兵器。正式名称バリグナー。要するに大張版ドラグナーのこと。オープニングフィルムにのみ登場しているほか、スポンサーのバンダイさんから頭部と肩の改造パーツも発売されている。

ひつじかいのしょうねん【羊飼いの少年】「ドラグナー」冒頭の説明のシーンで、マスドライバーの直撃を人類史上初めて受けたうらやましい人(!?)。しかしここで重要なのは、視聴者はマスドライバーよりも、日◯アニメーション社の作品のようなキャラクターに驚愕したという事実であろう。一説によると映画〝アリオン〟の羊だとか…。一瞬番組を間違えたと思ってしまった人は多いはずだ。

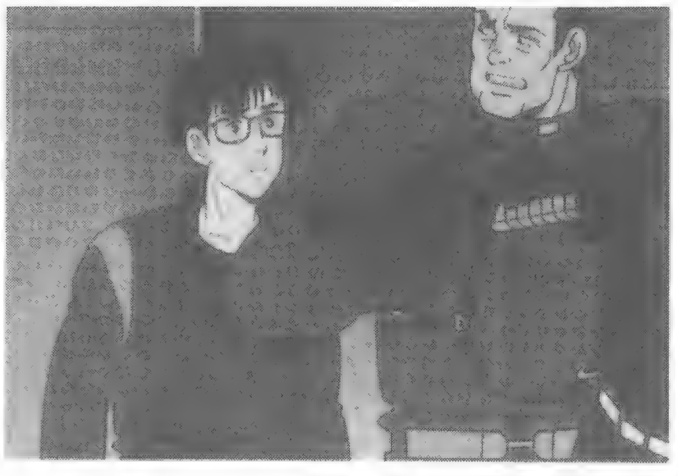
ひつじかいのしょうねん(2)【羊飼いの少年2代目】中国大陸の荒野で、ゴル大尉に羊を盗まれる。「〜アルヨー!」ことばが印象的。1話の少年との因果関係は不明だが、ともに不幸な身の上である。マークⅢの登場が待たれるきょうこのごろである。(29話)

ひつじかいのしょうねん(3)【羊飼いの少年3代目】正確にはケーンたちの変装。「〜アルヨ」ことばは強烈!(29話)

ひなんみんのしょうじょ【避難民の少女】全壊した連合軍北欧司令部の近くに住んでいた少女。離れ離れになってしまった母親を捜して、ひとりで歩いていた。カワイイ。7〜8歳ぐらい。(14話)

ビール【BEER】チェホフとの戦いにおいて、ケーンたちが使用した武器(!?)。無重力ブロックに浮かんでいた缶ビールを見つけたケーンは、リングプルを抜いてチェホフに浴びせかけ、目潰しに使った。続けて、段ボールの箱ごと投げつけたのはちょっとあんまりじゃないかという気もする。さしもの歴戦の勇者チェホフもビールには手痛い打撃を受けてしまった。

ビル・ブライアン【BILL BRIAN】ケーンたち3人とはアストロノーツアカデミー時代に親友であった。秀才タイプで一見、気が弱そうである。ひと足早く地球上の実家へ帰ってきていたが、その3日目に付近一帯をギガノスに占領されてしまい、家族と自分の生命を守るために徴兵に応じ、ギガノス軍偵察部隊通信班に属していた。しかし、偶然からD艦隊に捕まりケーンたちと再会する。旧交をあたためながらも、素直に質疑に応じれば解放されるようにする、と言うケーンのことばに、戦争はそんなに甘くはない、と語って拒否して脱走するビル。だがマイヨの罠によってケーンのD-1がピンチとなったとき、彼は思わずランチャーでファルゲンを撃つ。だが、友を救うためとはいえ、自軍を撃ってしまったことに呆然となったところをマイヨによって殺されてしまう。このビルの死はケーンたちに戦争への憎しみを認識させることになった。(16話)



ファルゲン【FALGUEN】マイヨ・プラート専用メタル・アーマー。マイヨがその操縦桿を握ったとき、ドラグナーをも圧倒する戦闘能力を示す。装甲はシモールA型パッシブ装甲といい、可逆性弾性金属によって装甲されている。硬質ゴムに近い金属で特にファルゲンの腰の部分には特徴が表われている(両脚の動きによって腰部の装甲が広がる)。背中には3連のマルチディスチャージャーを2基装備する。

識別コードナンバー/XFMA09、頭頂高/19・9メートル、動力/JTF7C型超小型核融合炉×1、出力/22万ポンド(ドライ)35ポンド(CMP)、メーンノズル×2、姿勢制御ノズル×8、CMP時間/36秒(MAX)【回復時間CMP≦5〜CMP=36　1・5秒】重量/運行自重66・1トン、最大発進重量95・6トン、出力/重量比/1・151(ドライ)1・831(CMP)、探知装置イメージセンサーASV2型、重量

場感知システムGVS5型、装甲／シモールA型パッシグ装甲、装甲厚／MAX225ミリ、乗員／パイロット1名、基本武装――75ミリハンドレールガンSSX9型（発射速度2000発／分、携行弾数630発、弾種は徹甲弾および爆裂弾）、マルチディスチャージャー（SSX9型用プラズマグレネード×2発）、白兵戦用レーザーソード×2、3連マルチディスチャージャー×2（通常はロケット弾だが、スモーク、チャフ、フレアーなども発射可能）

ファルゲン用フライトユニット（ファルゲンマッフ）諸元。全幅／26・5メートル、動力伝達システム／DGS－C7、出力／22万ポンド（ドライ）35万ポンド（CMP）、アフターバーナー使用時13万ポンドをプラス、メーンノズル×6、基本重量／23・7トン、最大速度／マッハ0・85／SL（海面高度）マッハ0・98（9800フィート）、航続距離2680ノーチカマイル（4964キロメートル）、搭載兵装――デュアルミサイル×6、3連マルチディスチャージャー×2、ハードポイント×4（ペイロード総量18・5トン）、識別コードナンバー／MAFU－09

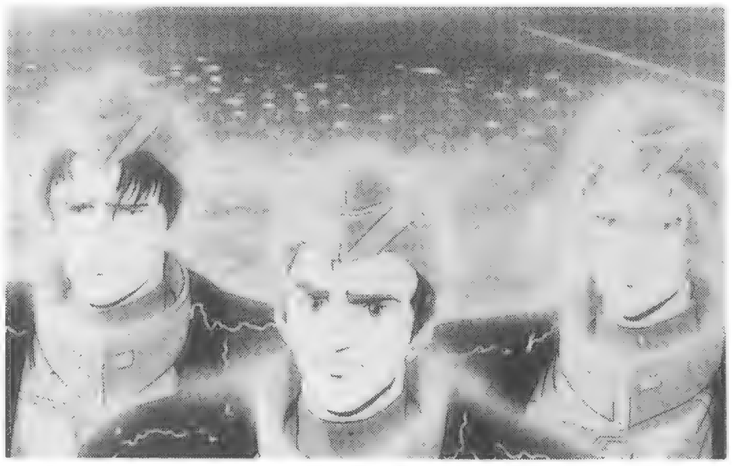
フォルグ・アーマー【FORGE ARMOR】 新型メタル・アーマー。ギガノス軍が飛行戦闘用として開発した。そのため大気圏内での作戦が主任務となる。今までのメタル・アーマーにクラフトユニットを装着させたものは、汎用性においては優れているが単価が高すぎるため、大量生産ができなかった。その点、このタイプは用途を限定したぶんだけ安価に製作できるため、かなりの機体が生産されることとなった。しかし、いかんせん能力的にはいま一歩のしろものであり、連合軍のドラグーンの性能と比較すると、総合的には劣ってしまっていた。なお、このフォルグ・アーマーには軽戦闘型のシュワルグと、重攻撃型のダウツェンがある。

ブタにしんじゅ【ブタに真珠】 ゴルがリンダをヨメにほしいと言ったところ、ジンが発言する。簡潔明瞭にして的確なる表現である。（29話）

ふゆうほうだい【浮遊砲台】 ギガノス宇宙中継基地の防衛システムのひとつ。小惑星に見せかけてつくられた有人の砲台で、基地の周りを取り囲むようにして設置されている。ベースが小惑星や月から採出した資源の屑なので、極めて安価であり、かつ砲台だと見破られにくいという一石二鳥のシステムである。遠距離用、近距離用の2種類の砲を装備している。また、バーニアスラスターをもち、単独での移動も可能。小惑星をそのまま使ったようなものと、上半分を切り落としてトーチカをかぶせたようなものとの2つのタイプがある。全長は30メートル。

フライトユニット【FLIGHT UNIT】
⇩クラフトユニット

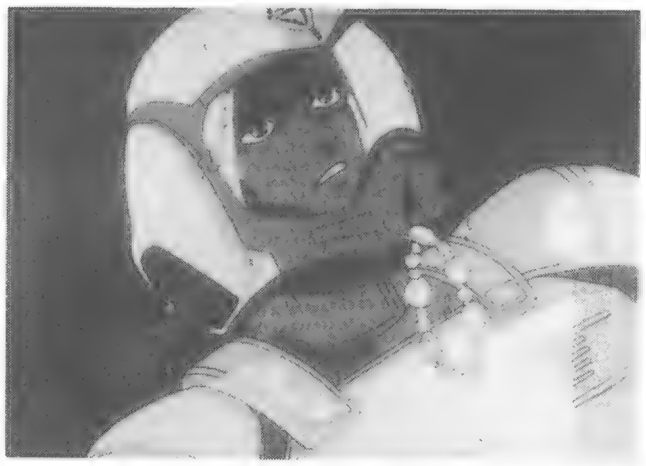
プラクティーズ【PRACTIES】 親衛機甲兵団のエリート部隊。と思っているのは本人たちだけで、友軍からはオモチャの兵隊呼ばわりされ、ケーンたちからさえもお坊ちゃま連中と軽く見られている。大した戦歴もないのに新型の親衛機を与えられたり、希望の地に転属できたりと順調に出世コースを歩んでいるようだ。実に不思議な連中である。



ブリードちゅうじょう【ブリード中将】 ギガノス軍アジア方面軍第1基地の司令官。グン・ジェムの直属の上官であり、彼を毛嫌いしているが、グン・ジェムの功績により昇進してきたために頭が上がらず、グン・ジェム隊の傍若無人の尻ぬぐいに追われている。性格も容貌もグン・ジェムに反して、神経質で気の弱い小男。（26話〜）

フレアーだん【フレアー弾】 赤外線パッシブ・ホーミング方式のミサイルをかわすために使用される、高熱発生弾。マグネシウムやリンの化合物などが用いられている。マルチディスチャージャーからも射出できる。マルチチャフと同じく、現代の戦闘兵器にも装備されている。

ブレスレット【BRACELET】 5話で出撃するケーンに、リンダがお守りとして手渡したもの。彼女がいうところによると「安物」なのだが、実は何か彼女にとってとても大切な品らしい。もちろんケーンのこと、そんなことはまったく気づかずにいるのだが……。おそらく、親の形見とか、兄からもらったものといった感じではないだろうか？ 捕虜収容所で、ケーンがこれをもっていることを知ったマイヨはリンダを激しく叱責する。

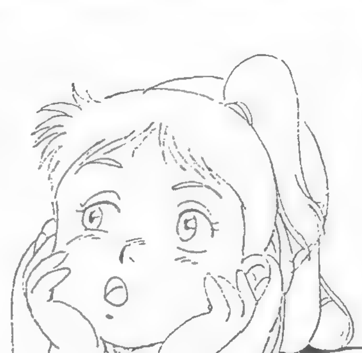


プロペラントタンク【PROPELLANT TANK】 無人となったEC実験ステーションに残されていたもの。中の燃料は数十年ほうっておかれていたが、一応まだ使える状態だったためチェホフの輸送艦やドラグナーは、これによって補給を受けていた。（6話）

フンボルト【HUMBOLDT】 ドラグナーの機密の漏洩を阻止するため、輸送艦アイダホを追ってきたギガノスの巡洋艦。

ヘッドクォーター【HEADQUARTER】 司令部のこと。マスドライバーから射出された質量弾の接近を知ったアルカードは、ギガノスのことと連絡をとり弾のコースを変えさせようとしたがだめであった。（1話）

ベティ【BETTY】 ローズの叔父・マーチンの末娘。5歳。おシャマな感じがなかなか将来を予感させて楽しみではある。しかし、こういっては何だが、「ガンダム」のカツ、レツ、キッカほど存在感がなかったのはちと寂しい。



ヘビ【SNAKE】 ミン大尉をおびえさせた強者。ガナン大尉のナイフに串刺にされ、グン・ジェム大佐に生き血を飲まれる。（28話）

ベルツ・シュタイン【BELTS SHUTAIN】 ギガノス軍統合参謀本部情報第3課に所属している人物。階級は少佐。かつてのマイヨの部下たちが月面のギガノス本国で反乱を進めていることから、彼が首謀者ではないかと内偵をしていた。しかし、そうではないことを知り、逆にマイヨに反乱者たちをなだめよ、という指令を伝える。マイヨはそのむねを承諾するが、秘密裏にケーンと会わせよ、という条件をつける。その条件をのんだベルツはケーンを京都に呼び出し、2人を面会させた。だが、そのことすら利用し、ケーンを捕らえようとしたために彼はマイヨの逆鱗に触れてしまう。（23話）

ベルンゲンこう【ベルンゲン港】 スカンジナビア半島にある港。連合軍北欧司令部の近くのため、海洋戦力としてはかなりの規模を有している。アイダホの乗員・難民とドラグナーを回収したアクアポリスを含む連合軍第5海洋戦域軍もここへ向かった。（12話〜14話）

ベルンゲンちきゅうれんごうぐんちきゅうせんとうぐんしれいぶ【ベルンゲン地球連合軍地球戦闘軍司令部】 スカンジナビア半島にある地球連合軍の地球戦闘軍を総監する司令部。アイダホ乗組員とD兵器を収容した空母アクアポリスがここをめざしていた。ケーンたち3人はこのベルンゲンでドラグナーのパイロット登録を解除されるはずだったが、マスドライバーの直撃を受けて司令部は壊滅してしまう。（第13・14話）

ベンぐんそう【ベン軍曹】 フルネームはベン・ルーニー。急きょ連合軍兵士にされたケーンたちの教育係に任命された鬼軍曹である。ケーンの髪を切ったり、アノ性格の3人に兵士としての訓練を施したりと、むさい容貌のわりにはなかなかまめな性格である。戦いに関することには極めて厳しいが、性格自体は豪放磊落で、決して悪い人間ではなく、話せる男である。ローズの看病のために出撃しようとしないタップのため、ソウルに頼んで彼の偽の診断書をつくらせたりもしている。彼の任務は、北欧司令部でケーンたちのパイロット登録が解除され、彼らの軍役が終了する時点で終わる予定だったが、ケーンたちとの腐れ縁は大西洋まで続いてしまった。これからもまた続くのだゾ、きっと……。なお、ケーンたちはドラグナーのパイロットに任

命されたため准尉に昇進したが、ベンは軍曹のままだった。階級の上では立場が逆転したものの、3人の親父、あるいは兄貴的な存在であることに変わりはない。リンダ、ローズまでもが尉官待遇となったにもかかわらず、いまだ軍曹のかわいそうな人。確かに手柄は立てていないが、ケーンたちのお守をさせられて手柄を立てろというほうが無理な話。最近は心労のため、自慢のスキンヘッドの輝きもイマイチ。これはきっとケーンたちが三等空士時代に、尉官でもないくせに殿をつけて呼ばせていたせいだろう。(CV=島香裕)

ぼうちょうはん【防諜班】対潜入工作員などを相手とする部隊。ノーラッドへ潜入したマイヨとダンを追いつめようとしたが、失敗した。(17話)

ぼくどう【牧童】養っている羊をグン・ジェムの酒の肴にするために、ゴル大尉に軍務として徴用されてしまう。リンダの救出に来たケーンにグン・ジェム隊の基地を教えて潜入を助ける。(29話)

ほくべいせんせん【北米戦線】連合軍の司令部であるノーラッドと、そこを落とそうとするアラスカのギガノス軍404戦域軍が展開させている戦線の呼称。ながらくこう着状態であったが、ドラグーンを得てからは連合軍の反攻が始まり、ギガノス軍は徐々に押されていった。(17話)

ほねつきにく【骨つき肉】グン・ジェム隊の常用食。ゴルは骨まで食べる。

ほりょしゅうようじょ【捕虜収容所】捕虜を暫定的に収容しておくための施設。捕虜はここで選別され、役に立たないと判断されたものは強制収容所へと送られてしまう。まさか集団ガス室送りだとか、人体実験などということはないだろう。アイダホの難民たちは宇宙中継基地の収容所に送り込まれるが、選別が行なわれる前にケーンたちが救出したため、全員無事だった。また、リンダはこの一室でマイヨと再会している。

ポール・カミング【PAUL COMMING】転属により地球連合軍戦術宇宙戦闘軍団第3宇宙艦隊からノーラッドへ向かっていた少佐。しかし、その途中でマイヨたちによって捕らえられてしまった気の毒な人物。マイヨはこの男に変装してノーラッドへ潜入、破壊工作を行なおうとした。だが、偶然リンダと出会ってしまったことからダイアンに不審な人物と見抜かれてしまい、目的なかばにして脱出せざるを得なくされてしまった。ちなみに本物のほうは制服をハギ取られて下着姿にされたうえに、収容所にでも送られてしまったようである。きっと大殺界だったに違いあるまい。どー考えてもヒサンな運命の人である。(17話)

ホルツ【HOLTS】ギガノス軍の兵士。階級は大尉。偵察部隊に属し、ビルを従えて高高度高速偵察機に乗っていたところをD-2によって撃墜され、捕虜となった。偉そうなことを言うわりにはナサケナイ人物だった。脱走したときに警備兵に撃たれ、大西洋のサメの餌となった。(16話)

ホルツ【HOLTS】ギガノス軍親衛機甲兵団中尉。月で反乱を起こした改革派のリーダー。ギルトールを暗殺したドルチェノフの武力導入による反乱鎮圧により壮絶な最期をとげる。有能な軍人であったらしく、マイヨの信任も厚かった。何故マイヨがこのような有能な人物でなく、プラクティーズなどをつれて歩いていたのか疑問である。

ホログラフィー【HOLOGRAPHY】ジン中尉のスターク・ダウツェンに搭載されている。ミサイルに内蔵されたバッテリーでホログラフィーを発生させ、自機を何機にもみせ、敵を混乱させる。(32話)

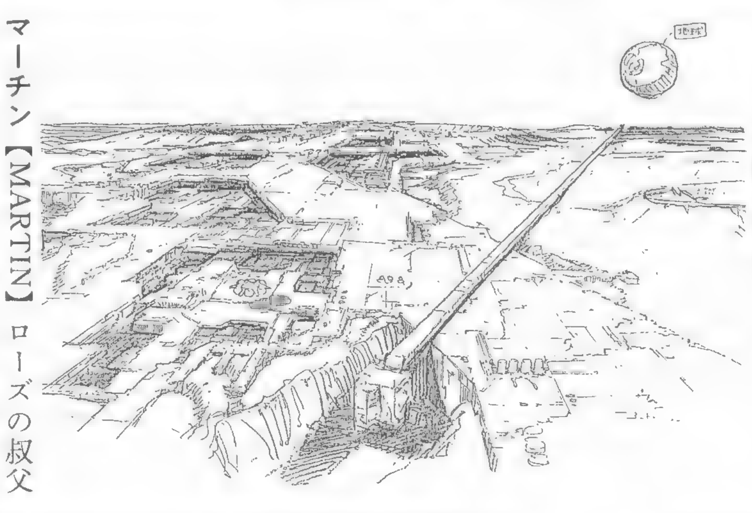
ホロベツ【HOROBETU】アイダホの随行艦。フンボルトのミサイル攻撃により撃沈する。

ま

「ま」は「末」の草体
「マ」は「末」「万」の二画

マイヨ・プラート【MEIO PLATO】ギガノス軍親衛隊の若きエース。その驚異的なメタル・アーマーの操縦テクニックと、言動の精悍さから"ギガノスの蒼き鷹"の異名を取る。彼の思想は強烈な能力至上主義であり、地球連合のもとにある体制を破壊して、ギガノスによる規律ある統制(支配)が行なわれるべきだと思っている。その意味では彼ほどギガノスに合った人間はいないだろう。かつて、ギルトールの片腕といわれた父、ラング・プラートが裏切り者である負い目と、彼自身が父の取った行動を許すことができなかったため、率先してギガノスの理想をめざすべく行動している。ギルトール元帥の信頼も厚い(もっともそれはギルトールが彼の利用価値を十分わきまえてのことでもある)。ドラグナー追討の任を受けるが、思わぬ苦戦を強いられる。ギガノスでクーデターが起こるが、このとき彼はラング・プラートの息子という理由により、反ギルトール勢力によってかつぎ上げられ、しだいにギガノスを己の手中に収めようという野心を抱くようになる。妹リンダ・プラートがいるが、彼女はマイヨの考え方に反発し、彼のもとを離れた。偶然にも捕虜収容所でリンダと再会をするが、2人の溝は深まるばかりだった。シスコンである。親衛隊機甲兵団による反乱と、それに乗じだドルチェノフのギルトール元帥の暗殺事件に巻き込まれ、ギルトール元帥暗殺の冤罪を受け、地球へ逃亡するはめになる。そして彼が再び宇宙へ戻るとき、真の戦いが始まる。(CV=小杉十郎太)

マスドライバー【MASS DRIVER】本来は、月から採出した宇宙開発の資源を(簡単にいってしまえば金属や砂利など)、リニアカタパルト(電磁力によって物質を加速し、射出する装置)によって安価に運搬しようというシステムだった。ギガノスはこれを一種の質量爆弾として使用した。つまり、加速されて莫大な破壊力をもった隕石を、地球の都市や連合政府の拠点などにぶつけたわけである。効果は抜群、核兵器のような環境汚染の心配は無用、弾丸の原料は月からただで供給できるなど、宇宙時代ならではの合理的、かつ恐ろしい兵器である。



マーチン【MARTIN】ローズの叔父で、妻と3人の子持ちである。両親が行方不明になってしまったローズの親代わりとして、アイダホでの旅をしてきた。地球にたどり着いた後は、戦火に巻き込まれるのを恐れて、ノルウェーで他の難民たちとは行動を別にする。妻の名はオードリー。

マリン・メタル・アーマー【MARINE METAL ARMOR】海洋戦闘用にギガノス軍が使用しているもの。現在までに登場しているのはゲルファー一機種のみである。バイク・メタル・アーマーとは非常に似通った構造をしており、こちらも機体が上下に分離できるようになっている。(15話〜)

マルチディスチャージャー【MULTI DISCHARGER】メタル・アーマーのもつレールガンの下部に装着して使用できるサブ・ウェポン。グレネード、チャフ、フレアー弾、スモーク(煙幕)など多種類のものをセレクトできる…といったとっても便利なものなのに、いまだ本編中ではまともに使用された形跡はない。

みあげたヘアースタイル【見上げたヘアースタイル】いわずと知れた、あのケーンのヘアースタイルのことである。ださい。はっきりいって、今どきリーゼントなんて、いったい何を考えていたのだろうか、ケーンは……。これまたお笑いもののサングラスがまっすますイモっぽさを悲しいまでに演出してしまっているが、一部女性ファンには母性本能をくすぐる…と愛でられている。

ミサイルしゃ【ミサイル車】連合軍が使用している、6連装対空ミサイルを装備した戦闘車両。8輪走行タイプで、ミサイルはボックス・シールタイプ。これは補充のしやすさと、ミサイルの耐用年数アップのためからである。(18話)

みなみまちぶぎょうしょ【南町奉行所】大貫健一、大張正己の所属する作画スタジオの名前。一風変わったスタジオ名にふさわしい個性的なメンバーがそろっている。「マシンロボぶっちぎりハッカーズ」のキャラデザインの鶴山修、「ドラグナー世界のメカニック戦史」での描き下ろしイラストを毎回手がけている西井正典、OVA「妖刀伝」で初監督のまかせ!の佐々間清明、常時出張中の山崎理、動画のクリンナップならおの古川佳正。以上が'87年12月現在の総メンバーである。

ミルク【MILK】戦いに次ぐ戦いを強いられたアイダホは、しだいに物資の不足に悩ませられることになった。そのシワ寄せをもっとも直接的に受けたのが難民たちであった。赤ん坊がいるにもかかわらず、ミルクさえ配給にならないのを見たケーンたち

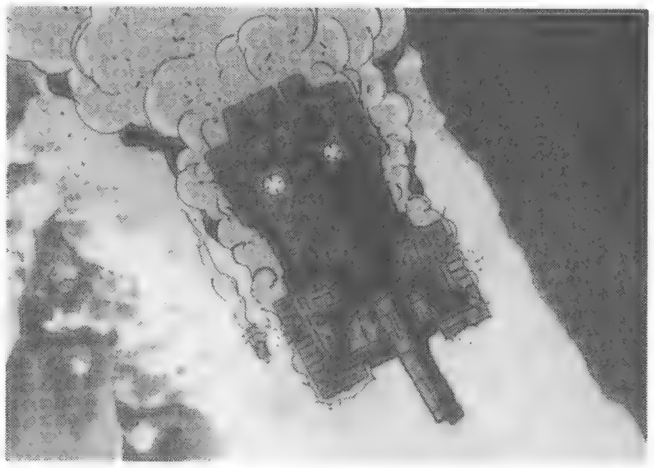
は、無断で保存倉庫から食料品や治療道具を持ち出して、難民たちに分け与えた。これによって、今イチこじれつつあったケーンとリンダの仲は、また復活した。のはいいのだが、いつ地球に着くか、あるいは補給が受けられるかわからないのに勝手に食料を持ち出してしまって、後で不足したらどうするつもりだったのだろうか？……軽率な行動である。

ミン【MIN】グン・ジェム隊第3中隊隊長。25歳、大尉。無敵を誇るグン・ジェム隊であったが、ドラグナーの前に次々と散っていき、とうとうこのミン大尉ひとりになってしまった。この事実はミン大尉のプライドを著しく傷つけることとなった。その割にはちゃっかりマイヨに乗り換えるあたり、さすがにしたたかな女性である。（25話〜）

ミンき【ミン機】グン・ジェム部隊のミン専用機のこと。基本的にはダインにフライトユニットを装備させたものであるが、やはりギガノス軍アジア機密工場で大規模な改造を受け、パワーアップさせている。変更点としては、動力系統の容量アップとハンドレールガンの換装はいうに及ばず、新たに両腕内側に飛び出し式のチェーンソーを仕込んでいる。しかし、それでも全体的にゴツいイメージになるのを嫌ったのは、女性であるがゆえと思われる。機種名スタークダイン（25話〜）

ミンダナオ【MINDANAO】4コマアニパロ漫画家のことではない。地球連合軍宇宙艦隊の旗艦を務める大型戦艦。全長約400㍍。本編では、アイダホの護衛艦隊の旗艦として3話より登場した。アイダホを死守するために全力を尽くしたが、マイヨとプラクティーズの攻撃の前に、5話で撃沈。艦長はホイットマン大尉である。

むげんきどうほう【無限機動砲】グン・ジェムが打倒ドラグナーのために持ち出した超巨大ビーム砲。未完成の試作品のため、一回発射した後のエネルギーチャージに時間をくいすぎるという欠点がある。（35話）



むらさきのやろう【紫の野郎】ケーンたちが、さんざん嫌な思いをさせてくれるマイヨをこう呼んでいる。確かに、あの全身ド紫のファルゲンを見つづけていれば、こうなるであろう。（5話〜）

めいよのふしょう【名誉の負傷】ケーンとタップがマイヨの拷問によって受けた傷のことを指して、アイダホの乗員たちが感謝の意を込めて語ったことば。イタソーである。（10話）

メタル・アーマー【METAL ARMOR】ギガノス軍が開発した人型の機動兵器。これの導入により、ギガノス軍の戦力は連合軍に対して、有利なものとなっている。宇宙での開発用機械が発展したものである。現在ギガノス軍に正式採用されているものは、量産機としては初期型のドラウ、一般兵士用のゲバイ、隊長や格闘戦用に使われるダインが、スペシャル機としてはマイヨ専用機のファルゲン、プラクティーズ用のゲルフがある。

メタル・アーマーだいいちごうき【メタル・アーマー第1号機】形式番号XAMA-01。名称はダルヌという。このタイプを改良していくことによって、後にゲバイが登場する。まだ、この1号機にはメタル・ワーカーとしての名残も強くあるが、初めて小型核融合炉を搭載することに成功して比較にならないほどの強力なパワーを備えた。さらに腕をジョイント部より交換することで、ロケット・ランチャーなど数種の攻撃用兵器を装着できるようになり、すでに工業用機械の域を出たと言い切れる性能をもつに至った。ドラグナーやファルゲンと比べれば、それはあまりに貧弱なものではあるが、メタル・アーマーの名称を冠されても決しておかしくはないものなのである。ロールアウトは２０８０年１月。２機のみの生産にとどまった。２０８７年、この記念すべき1号機はギガノス科学博物館に展示されている。

メタル・ワーカー【METAL WORKER】月開発用に開発された工作機械。作業用のマニピュレーターや、月の荒れた大地に対応するためのランディングギアなどを装備したところから、後にこれがメタル・アーマーへと発展していく。本誌「ドラグナー世界のメカニック戦史」参照のこと。

メーンディッシュ【MAIN DISH】3隊のドラグナー輸送部隊のうち、ケーンたち本体を指していた暗号。（19話）

モーデル【MORDEL】ギガノス宇宙中継基地の司令官。ケーンが「お祭り」と呼んだ大集会で、演説をぶっていた男がこいつである。その演説内容を要約すると「地球は腐敗と退廃に満ちている。もはや奴らに地球を任せておいてはならない。われわれこそが真理であり、人類の代表となるべき存在である」というようなことを言いたいらしい。ご立派な意見である。しかし、どうやら達者なのは口だけだったらしく、ライトがコンピュータを攪乱させて流した偽の情報にはたやすく引っかかって、マイヨの忠告には耳を貸そうともしなかった。さらに、「敵を倒すためなら多少の犠牲は仕方あるまい」と、ドラグナーと戦っているマイヨのファルゲンにまで砲撃を加えたりと、まったくもってご立派な限りである。

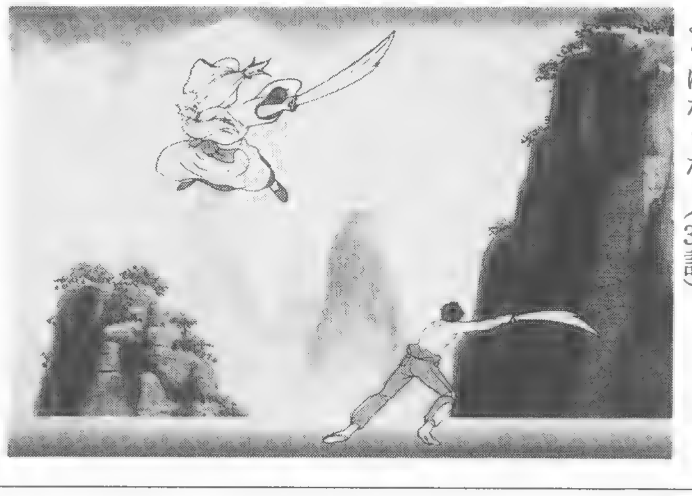
や ヤ

「や」は「也」の草体
「ヤ」は「也」の略体

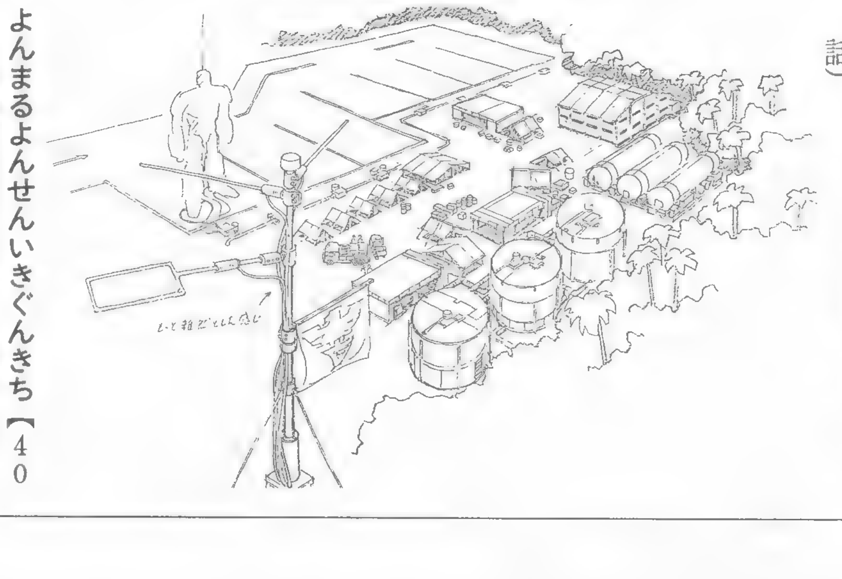
ヤクト・ゲルフ【YAKT GELF】ドラグナーの特徴である、3機がそれぞれ異なった長所をもつ（白兵戦用、長距離支援用、電子戦用）というフォーメーション攻撃に悩まされつづけてきたギガノス軍が、対抗して月面工場で製作しているゲルフを発展させた新型メタル・アーマー。火力に重点を置いたタイプであるため、ドラグナーでいえばD-2にあたる働きをする。ちなみにD-3の役目を受けもつものをレビ・ゲルフと呼び、同時に開発を進めている。（17話〜）

ヤム【YAMMU】連合軍量産型メタル・アーマー、ドラグーンのパイロット。階級は少佐。勝ち気でなにかというと正規の軍人でなかったケーンたちとドラグナーを馬鹿にしていた。5人の部下をもっており、このヤムをはじめとする6人が連合軍最初の正式メタル・アーマー小隊を構成した。しかしグン・ジェム率いるギガノスのズワイ部隊と交戦したとき、部下は全滅。彼の乗るドラグーンも大破してしまい、その鼻っ柱を折られてしまった。（25話〜）

ヤム・ラオチュン【YAMMU RAOCHYUN】元連合軍大佐。ヤム少佐の父親であり、グン・ジェムと引きわけた唯一の人物。2人は連合軍時代に禁止されていた真剣による試合を行ない、グン・ジェムは片目を失い、ラオチュンは片手を失った。その結果、グン・ジェムは軍のなかで出世の道を断たれ、ラオチュンは野に下り、山に入った。ケーンはラオチュンの教えによりグン・ジェムの青竜刀の動きを見切ることができるようになった。（37話）



よんまるさんかいようせんいきぐん【403海洋戦域軍】左遷されたマイヨがとばされた、南太平洋海域軍。はっきり言って最前線である。（23話）

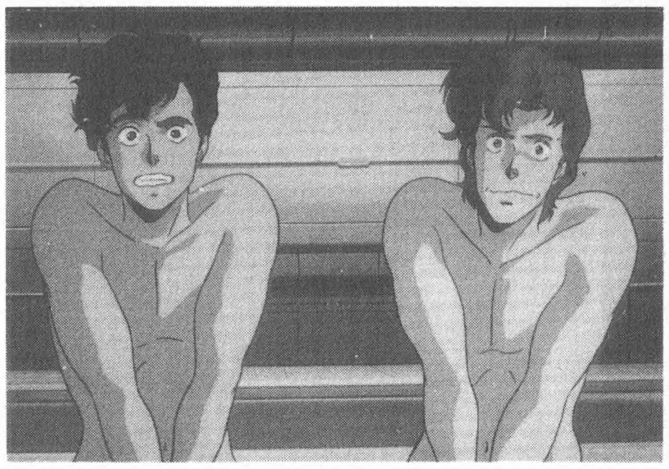


よんまるよんせんいきぐんきち【404戦域軍基地】ギガノス軍の北アメリカ方面軍の拠点。守りの堅い連合軍の北米防空司令部を眼前にしているだけあって、ここもかなりの戦力を有している。司令官は元マイヨの教官であったパウエル大佐。（17話〜19話）

ら ラ

「ら」は「良」の草体
「ラ」は「良」の上部

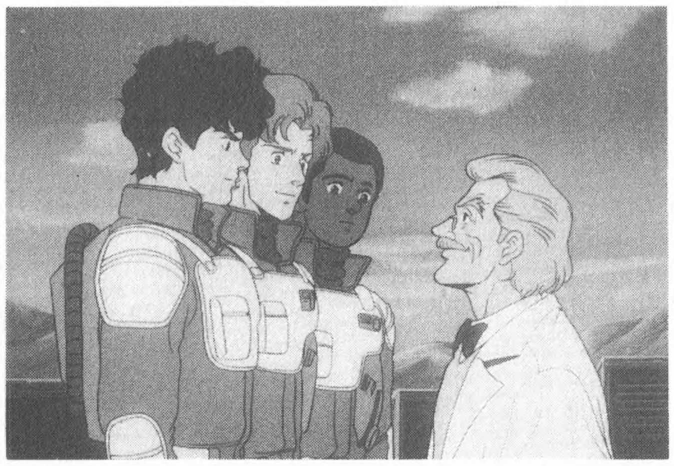
ライト・ニューマン【LIGHT NEWMAN】主役の3人組のなかのひとりで、彼らのなかでは最も冷静かつ知的なイメージがある。コンピュータに通じており、そのためドラグナー3に搭乗する。一応貴族の家の生まれであり、それが性格や立ち居振る舞いにも表われているのだろうか。アクアポリスの艦長・ゲドマンは彼の祖父であるバーモント卿と知り合いで、彼にその事実を尋ねるのだが、なぜかライトはことばを濁らせてしまう。あまり家族のことを話したがらないことからみても、彼は家族や自分の生まれについて何か抱えているものがありそうだ。その反動でアストロノーツアカデミーに入学したり、ケーンたちお軽い仲間とつき合うようになったのかもしれない。ケーンと同じく、最初はリンダにひと目惚れをするが、ダイアンを気にかけているようすもわずかにする。しかし、そうするときっと彼は失恋してしまうのだゾ。ダイアンさんが姿を消した後は全く女の子に対する興味を示さないことからも年増好みは本当なのかもしれない。カワイソー！



ラジコンたいせんヘリ【ラジコン対潜ヘリ】向かってくるクルーズピートを撃つためにD艦隊から発進した、魚雷4本を装備する対潜攻撃用の無人ヘリコプター。しかし、しょせんは消耗兵器であり、ほとんど何もせぬままクルーズピートから発射された対空ミサイルによって撃墜された。

ラーメンやのおやじ【ラーメン屋の親父】京都までやってきたケーンとリンダをマイヨの元まで連れていくために登場した、ギガノス軍の連絡員。見た目はただのとぼけたおっさんだが、ナルトの裏に指示を書くなど、変なところに気を回す不可思議な人物である。しかしいったい何を使ってナルトの裏に字を書いたのだろう…。(23話〜)

ラング・プラート【LANGUE PLATO】元ギガノス軍のメタル・アーマー開発主任。リンダとマイヨの父親である。ギガノスの建国にあたっては、ギルトールにかなりの協力をしたようであったが、戦闘開始後はマスドライバーの無差別爆撃などに反対、死んだと見せかけ、みずから設計・開発したドラグナー3体とともに地球連合軍へ単身亡命を決行した。しかし、彼の心にわだかまっていたのは、月に置き去りにしてきた、妻の忘れ形見でもあるマイヨとリンダのことであった。たが、ギガノスこそが正義と信じるマイヨが、彼の元へやってくるわけもなく、せめてリンダだけでもと思い、ドラグナーを月より奪取する際、ともに連れてきてほしいと連合軍情報部に依頼、なんとか再会を果たしたのだった。と同時にいっしょにやってきたケーンたちドラグナーのパイロットとも出会い、彼らの能力と心を見抜き、ドラグナーを3人のために改造したのである。現在は連合軍重慶基地でドラグーン量産の総指揮をとっている。常時、紙袋に入れた中華まんじゅうを携帯し、重要な作戦中でも突然取り出して食べだす。しかも始末の悪いことに、周囲にいる誰かまわず勧めるクセがある。楽天家なのかと思うと、今後の戦いの行方やマイヨやリンダのことで苦悩しているようすを見せたりすることもある。やはり、天才は奥が深いのである。みずからまいた戦争の種を刈り取るために連合軍の重慶基地でドラグーンの開発にあたるなど、苦悩する人間をイメージさせるが、見た目にはそんなことを感じさせない中華マンジュウの好きな、ただの明るいジイサンである。なお、ファルゲンは彼の息子であるマイヨのためにつくり上げた、当時最新鋭のメタル・アーマーである。(24話〜)



リフター【LIFTER】D兵器用フライトユニット。それぞれにリフター1、2、3と呼ばれる。(19話〜)

りょうあんじ【龍安寺】現実に京都に建っている寺。石庭が有名である。マイヨから呼び出しを受けたケーンとリンダは、ここで彼と会見をした。(23話)

りょうさんがたドラグナー【量産型ドラグナー】連合軍がギガノスから奪い取ったD兵器をもとにラング・プラート博士の協力を得て製造された。D-1、2、3の長所をミックスさせた性能をもつが、しょせんは量産品の悲しさで、それ相応の性能しかない。しかし、それでも旧ドラグナーを凌ぐ運動性と火力を有しており、対ギガノス戦にはかなり有効であろうと思われる。シルエットはD-1とよく似ているが、量産にあたり各部を簡略化している。基本武装はハンドレールガン1挺(マルチディスチャージャーはなし)、大型ショルダーレールガン1門、双方向レーザーソード1振となっており、その肩にサイド・アームスをもつ。もちろん大気圏内戦闘タイプにはパイロンを2か所もつクラフトユニットが標準装着されている。すなわち、オールユーズタイプの設計で、あくまで戦線に大量投入されてこそ、役にたつといった代物である。工業力の勝っている連合軍らしい発想といえよう。(25話〜) 開発コードナンバー/MBD-1A、頭頂高/17・3メートル、動力/IHI301型超小型核融合炉、出力/28万ポンド(ドライ)34万ポンド(CMP)、アフターバーナー使用時8万をプラス、メーンノズル×3、姿勢制御ノズル×17、最大速度/マッハ0・98/SL(海面高度)マッハ1・47(3万2000フィート)航続距離/2920ノーチカルマイル(5408キロメートル)、CMP時間/46秒(MAX)【回復時間CMP≦5 2秒〜CMP=46 12秒】、運行自重/79・2トン、最大発進重量/116・8トン、出力・重量比/1・199(ドライ)1・798(CMP+A/B)、探知装置/イメージセンサーTAS14型、重力場感知システムWG3S型、装甲/トリプルハードニス型(ビーコーティング、装甲厚/MAX250ミリ、乗員/パイロット1名、基本武装――460ミリレールキャノンKGX-9型(発射速度240発/分、携行弾数120発、弾種は徹甲弾、爆裂弾およびプラズマ化弾)、55・6ミリハンドレールガンLPS22型(発射速度2200発/分、携行弾数810発、弾種は徹甲弾および爆裂弾)、10連デュアルミサイルポッド×2、白兵戦用レーザーソード、ハードポイント×2(ペイロッド総量17・5トン)

りょしゅう【旅愁】アイダホの乗組員が開いたパーティーでケーンが歌いだした曲。視聴者はのけぞった。惜別の思いを駆り立てるいいシーンであったが、その直後にはマスドライバーの攻撃があって、雰囲気もぶち壊しになってしまった。

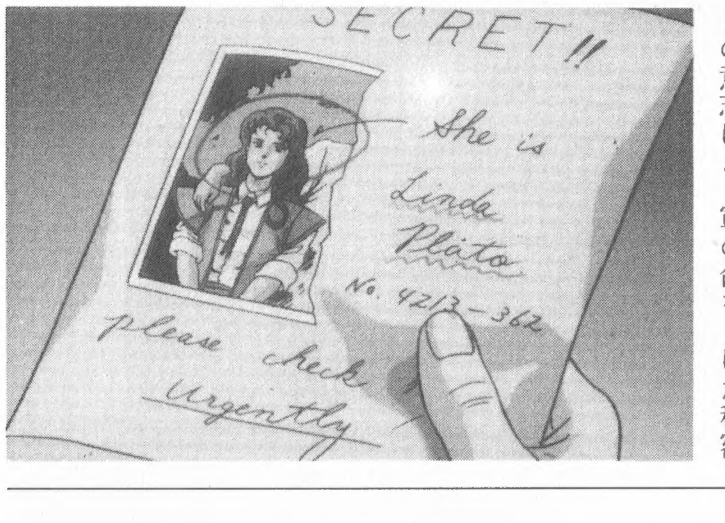
リロン【RILON】ドラグーンのド新人パイロット。実戦テストをあっという間に終えたが、グン・ジェムにあっという間に落とされる。(26話)

りんけん【臨検】アルカードへと向かう輸送船アイダホを停めて、ギガノス軍の戦艦フンボルトが行なおうとしていたこと。要は強制的な船内捜査のことである。(1話)

リンダのははおや【リンダの母親】当然マイヨの母親でもある人物。今のところセリフのなかのみでの登場しかしていないが、そのことばによると2人がまた幼いころに、仕事にばかり熱中するラング・プラートに愛想をつかしてひとりで地球へ行ってしまったらしい。マイヨはことばのうえでは彼女を嫌っていたが、本心はどうなのであろうか。父が死んだと信じていたリンダは当初、月を脱出して彼女の元へ行くつもりだったようである。(13話)

リンダのブラジャー【リンダのブラジャー】グン・ジェム隊にとらわれたリンダがジンに服を破かれた際に公開されたもの。フロントホックではなかったため、サイによるいたぶりに耐え抜く。無念である。(29話)

リンダ・プラート【LINDA PLATO】アイダホに乗っていた難民のひとりだった。実はギガノスの蒼き鷹ことマイヨ・プラートの実の妹である。とても16歳とは思えない大人っぽさ(もっともそれが災いし今イチ爆発的な人気が得られないのだといい噂もあり、もったいないところ)と憂いを秘めた瞳の持ち主で、ケーンは一発で彼女に夢中になる。いわば過去を背負った女、というわけで、ケーンたちに対して当初はかたくなな拒否の態度を取るが、次第に打ちとけていく。アイダホによる逃避行の最中にとらわれたギガノス宇宙中継基地でマイヨと再会するが、冷酷かつ選民思想の塊である兄との溝は深まるだけであった。地球連合軍総司令部のあるノーラッドにドラグナーを運ぶ任に就いたケーンとは一度別れ別れになるが、ラング・プラートの意志により軍の命をうけた秘密



諜報員ダイアンによって後を追うように彼女もローズらとともにノーラッドへと向かう。そして再びケーンたちと行動をともにし、特務中尉としてドラグナー遊撃隊のオペレーターを務める。争い事を嫌い、この戦争の引き金となったMAの開発者である父と、そのMAのパイロットである兄を憎んでいたが、何もせずに解決の糸口は見出すことはできない、と活発な行動を見せるようになる。16歳。（CV＝藤井佳代子）

レーザーソード【LASER SWORD】メタル・アーマーが主に白兵戦に使用する巨大なレーザートーチ。剣のようにして使う。ドラグナー1のものは、腰の両側に1本ずつマウントされており、これはつなげてなぎたのようにしても使用できる。極めて効果的な武器ではあるが、逆にうまく使いこなすのにはパイロットの高度な熟練が必要となる。

レッドチーム【RED TEAM】アイダホの護衛をしていた、連合軍第3宇宙艦隊所属の戦闘用ポッドにおける小隊の名称。隊長であるレッドリーダーにはケーンに娘への人形を託したギニール中尉があたっていた。（4話）

レドーム【RE-DOME】レーダードームの略称。D-3の頭部はこれである。（1話〜）

レビ・ゲルフ【LEVI GELF】ヤクト・ゲルフと同時製作されている、ギガノス軍の新型メタル・アーマー。エリントおよびコミント能力を重要視した、電子戦用のD-3に対抗する機体といえる。はたして、ラング・プラート博士に寝返られてしまった状態で、残っているギガノスの技師たちがどこまでドラグナーに迫る性能の機体をつくるのか、見ものである。なお、このレビ・ゲルフとヤクト・ゲルフは、ドラグナーと同じように他の白兵戦タイプのファルゲンなどのメタル・アーマーと編隊を組んで使用する。（17話〜）

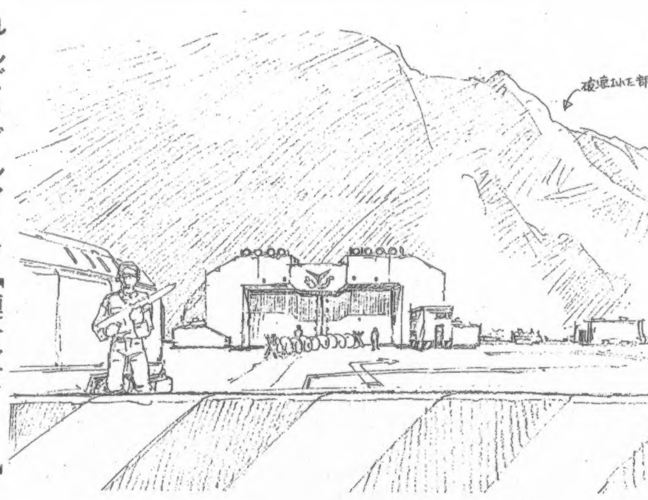
レールガン【RAIL GUN】蓄積された電気エネルギーを、瞬間的に放電したときに生じる電磁力によって砲弾を加速する兵器。ひらたくいえば電磁砲のことである。その原理は、2本のレールの間を砲弾が滑走すると、そこに電流回路がつくられ、別に蓄えられた電気エネルギーを一斉に放電すると回路に大電流が流れ、2本のレールの間に強力な磁界が発生し、砲弾を通る電流と磁界の間に垂直方向に力が生じて砲弾が発射されるというものである。これをメタル・アーマー用の兵器としたものがハンドレールガンだ。また、スペアマガジンをドラグナー1は腕に1本ずつ携帯している。1本あたり200以上の弾丸を収めているのだが、弾丸の種類は徹甲弾（先端に硬質金属をかぶせ、敵の装甲を貫通させる弾）と爆裂弾（内部に爆薬を詰め込み、目的物の表面ないし内部で破裂する弾）を用途によって使いわける。なお、レールガンは現在、SDIの迎撃兵器のひとつである運動エネルギー兵器として研究が進められており、アメリカでは質量450ムグラの弾体を秒速4キロで発射することに成功している。

れんごうぐんじょうほうぶ【連合軍情報部】ダイアンの所属している部署。連合軍における内諜・外諜の分野を一手に引き受けている。そのためか、かなり強い権限を付与されており、アイダホでのD兵器の秘密輸送などについても、別の形で行動を進めるなどしていたのだった。ダイアンが難民を装ってアイダホに搭乗していたのもそのためで、彼女はD兵器輸送の確認とリンダを無事にラング・プラート博士の元まで送りとどけるべく指令を受けて行動していたのである。なおコードナンバーは30205。（17話〜）

れんごうぐんせいしきハンドミサイル・ランチャー【連合軍制式ハンドミサイル・ランチャー】ビルが危機に陥ったケーンのD-1を救うために使用。（16話）

れんごうぐんだいごかいようせんいきぐん【連合軍第5海洋戦域軍】アイランドをはじめとするD艦隊の正式名称。最初登場したときは空母1、フリゲート艦2、ピケット艦2、という陣容であったが、何度か増減があった。後にクルーズビートによってフリゲート艦シェフィールドは沈められてしまった。たった5隻の護衛艦で空母を守ろうというのだからスゴイものである。ギガノスに沈めてください、と言っているようなものだ。もっとも逆に被害を1隻ですませたD兵器の性能とケーンたちの腕をほめるべきなのかもしれない。

れんごうぐんほくおうしれいぶ【連合軍北欧司令部】別名、連合軍地球戦闘司令部。スカンジナビア半島のノルウェーあたりにあった。当初、ケーンたちはここでパイロットの登録解除を行なう予定であったが、基地自体がマスドライバーの直撃を受けて完全に破壊されてしまい、目的を果たせなかった。（13話〜14話）



れんごうぐんマーク【連合軍マーク】地球連合軍の基地や艦艇などにつけられているマーク。ベンツのマークを上下逆にしたようなものをオリーブの葉が下から囲んでいる。

れんそうしきレールガン【連装式レールガン】バルカン砲のような多銃身のレールガンを2基並べたもの。D-2が宇宙で使用していた。（10話〜）

ロイ・ギブソン【ROY GIBSON】アイダホの艦長。階級は中佐である。ドラグナーを月から地球へと運ぶ大任を果たす。これが軍人としての最後の任務となる。この仕事の後、彼は退役した。ドラグナーの運搬に関しては、敵ギガノスの攻撃が最大の障害であったことはもちろんであるが、よりによって素人であるケーンたちがいきなりドラグナーのパイロットになってしまったことも、予想だにしなかっただけに、大きな悩みの種だったに違いない（無理もない話だ）。もし彼が胃かいようででも入院したとしたら、それはケーンたちのせいも、絶対にある。だが、お別れパーティーの席でケーンに「お前は将軍の器だ」と言ったりしたことから察するに、悪い感情はもっていなかったようだ。まあ、「出来の悪い子ほどかわいい」といったところだろうか……。

ローズのシチュー【ローズのシチュー】別にローズをダシに使っているわけではない。巨大ナベでローズが作った。得体の知れない物体が多数混入されている。ローズの●●が隠し味である。辛い。（28話）

ローズのひとこと【ローズのひと言】「リンダをさらったのは身代金が欲しいからなのね！」。このひと言にはマスドライバーなみの破壊力がある。（29話）

ローズ・パテントン【ROSE PATTENTON】アイダホに難民として乗り込んでいた少女。タップを兄のように慕っている。一時はアイダホを降りていたが、17話でリンダ、ダイアンにつれられケーンたちと再会、戦争で行方不明になった両親の消息を求め、ケーンたちと行動をともにしている。特務少尉としてドラグナー遊撃隊のオペレーターも務めている。両親のことで悩んでいるようすも見せず、常に明るく振る舞っている。だが、最近ではあまり明るすぎるその振る舞いに周囲を辟易させることもしばしばある。（CV＝平松晶子）

ロリコン【ロリコン】リンダを襲おうとしたジンに対してローズが発したことば。ジンの変質者的な性格をたったひと言で見事に表現しているが、ジンが17歳で、リンダが16歳であることを考えてみると言いえて妙である。

わ ワ

「わ」は「和」の草体
「ワ」は「和」のつくり
一説、輪の符号「口」

わかばミツ【若葉ミツ】アオイ・ワカバの母親。つまりケーンの祖母。純粋な日本人で青森県に住んでいる。年齢はそれ相応としか言いようがない。占領軍であるギガノスを憎んでおり、一時はドラグナーでやってきた孫のケーンを敵とまちがえたりもする。ナギナタを振り回したりと、年齢を感じさせないところもあり、ケーンたちのギガノス軍竜飛岬要塞破壊作戦に手を貸したりした。（22話）

NEWTYPE 100% COLLECTION 8

METAL ARMOR DRAGONAR SPECIAL EDITION 2

©サンライズ・創通エージェンシー

ART WORKS
表紙＝大貫健一　ケーン・ワカバ＆リンダ・プラート　with　2088
原画＝大貫健一➡P3、P16、P17、P18、P19、P20、P21、P22、P23、P24、P25、P26、P27、P28、P29、P60、P61、P71　大張正己➡P16、P17、P18、P19、P30、P31　西井正典➡P37　内田順久➡P33　重田智➡P32、P33、P35　城前龍治➡P34、P36
イラスト＝伊東守➡P4、P5、P6、P7、P8　土屋吹美敏➡P10、P11、P16、P28、P29　かときはじめ➡P48、P49　小林誠➡P46、P47　羽原信義➡P23、P25、P27、P29
MODEL WORKS＝小林誠➡P38、P39、P40、P41、P42、P43、P44、P45、P46、P47
フォトグラファー＝吉田昌美
カラーコーディネーター＆セルワークス＝中山久美子

THANKS
サンライズ　サンライズ7スタ＆6スタ　企画室・飯塚正夫　南町奉行所　中山久美子

ニュータイプ別冊100％コレクション⑧
機甲戦記ドラグナー 2
昭和63年1月20日発行
発行人・角川春樹　編集人・井川浩
発行所・〒102 東京都千代田区富士見2-13-3　角川書店　ニュータイプ編集部
印刷・大日本印刷株式会社

©Kadokawashoten 1988 禁・無断転載 **雑誌コード・07010-1／20**

METAL ARMOR

DRAGONAR

SPECIAL EDITION 2

Newtype THE MOVING PICTURES MAGAZINE 1月号 別冊

NEWTYPE 100% COLLECTION

NEWTYPE 100% COLLECTION 8

機甲戦記ドラグナー2

角川書店

雑誌07010—1/20

ニュータイプ別冊100%コレクション⑧機甲戦記ドラグナー　昭和63年1月20日発行
発行人・角川春樹　編集人・井川浩　〒102　東京都千代田区富士見2—13—3　ニュータイプ編集部☎03—265—1620
©Kadokawashoten 1988 Printed in JAPAN
大日本印刷株式会社印刷

定価980円　角川書店